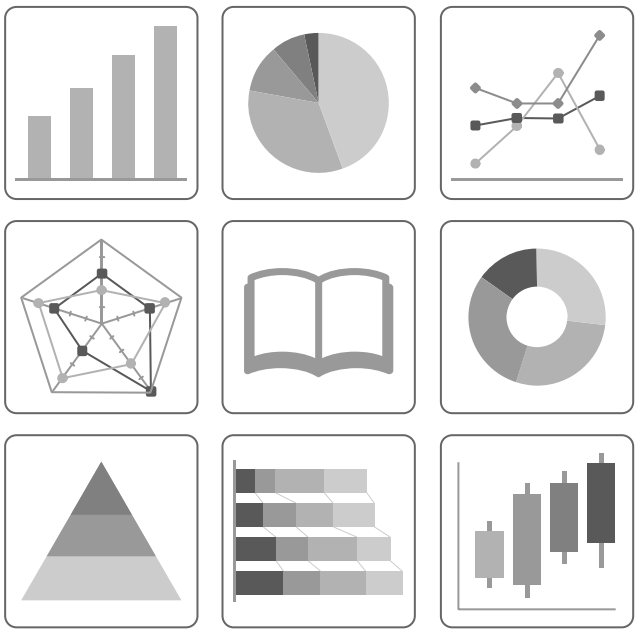
岸和田市
子ども・子育て支援事業計画策定に関する
アンケート調査
調査結果報告書



令和６年５月

岸　和　田　市

目　次

Ⅰ　調査の概要 1
　1　調査の目的 1
　2　調査対象 1
　3　調査期間 1
　4　調査方法 1
　5　回収状況 1
　6　調査結果の表示方法 1

Ⅱ　調査結果 2
　1　就学前児童調査 2
　（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて 2
　（2）封筒のあて名のお子さんが、平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて 20
　（3）封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応について（平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用している方のみ） 32
　（4）平日（月曜日から金曜日）に、封筒のあて名のお子さんに定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについて 43
　（5）封筒のあて名のお子さんについて、幼稚園や保育所、認定こども園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望について 47
　（6）育児休業など、仕事と子育ての両立について 55
　（7）封筒のあて名のお子さんが５歳以上である方に、 小学校就学後の放課後の過ごし方について 78
　（8）封筒のあて名のお子さんの幼稚園や保育所、認定こども園などの 不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について 92
　（9）封筒のあて名のお子さんの地域の子育て支援サービスの利用状況に ついて 103
　(10) 市への要望について 112
　(11) 封筒のあて名のお子さんの生活習慣について 115
　(12) 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について 117
　(13) 子育てに対する意識について 122
　(14) 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんが３人以上いる、 もしくは多胎（双子や三つ子）のお子さんがいる方 133

２　小学生児童調査 135
（１）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて 135
（２）封筒のあて名のお子さんのチビッコホーム（放課後児童クラブ）の 利用について 153
（３）封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応や、 不定期な一時預かりについて 171
（４）仕事と子育ての両立について 183
（５）市への要望について 187
（６）封筒のあて名のお子さんの生活習慣について 189
（７）封筒のあて名のお子さんの普段の過ごし方について 191
（８）封筒のあて名のお子さんの地域での自然体験などへの参加などに ついて 200
（９）子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について 204
（10）子育てに対する意識について 207
（11）封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんが３人以上いる、 もしくは多胎（双子や三つ子）のお子さんがいる方 218

Ⅲ　自由回答 219
１　保健・医療について 219
２　保育所について 219
３　幼稚園について 220
４　認定こども園について 220
５　学童保育について 221
６　小学校について 222
７　中学校について 223
８　子育て支援について 223
９　遊び場、居場所づくり、生活環境整備について 225
10　仕事との両立支援について 225
11　その他 226

Ⅲ　調査票 227
１　就学前 227
２　就学児 241

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

岸和田市では、令和７年度（2025 年度）に、子ども・子育て支援法第 61 条に基づき、2025 年度から 2029 年度までを計画期間とする「第３期岸和田市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

2　調査対象

岸和田市内在住の「就学前（０～６歳児）」がいる世帯・保護者（就学前児童調査）
岸和田市内在住の「小学生（１～６年生）」がいる世帯・保護者（就学前児童調査）

3　調査期間

令和６年２月 29 日～令和６年３月 22 日

4　調査方法

郵送による配布・郵送回収及びインターネット回答

5　回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童調査	3,000通	1,297通	43.2%
小学生児童調査	3,000通	1,428通	47.6%

6　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が１桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ　調査結果

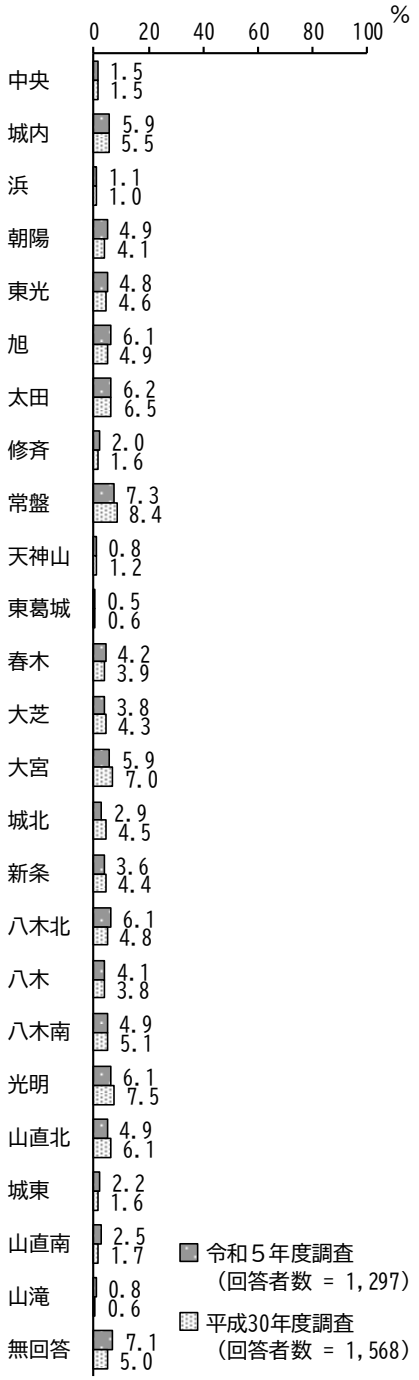
1　就学前児童調査

（1）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問1　お住まいの小学校区について、あてはまる番号1つに○をつけてください。小学校区が分からない場合は、（　）に町名を記入してください。

「常盤」の割合が 7.3%と最も高くなっています。

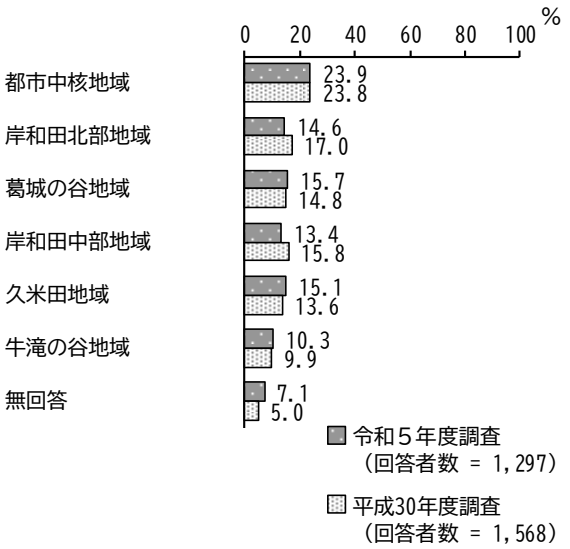
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



居住地域

「都市中核地域」の割合が 23.9%と最も高く、次いで「葛城の谷地域」の割合が 15.7%、「久米田地域」の割合が 15.1%となっています。

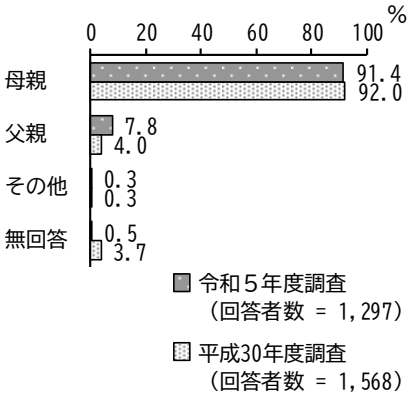
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問２　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号１つに○をつけてください。

「母親」の割合が 91.4%、「父親」の割合が 7.8%となっています。

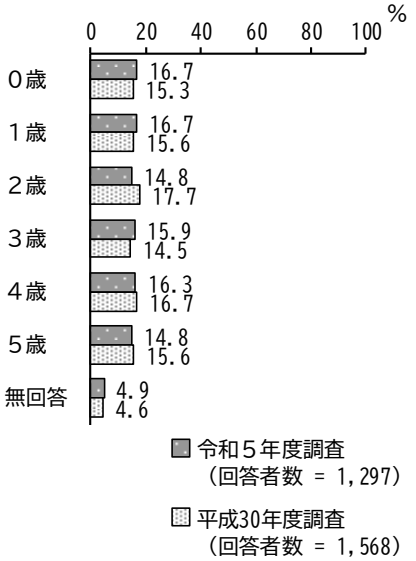
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問３　封筒のあて名のお子さんの生年月について、「平成」か「令和」か「西暦」に○をつけ、枠内に数字を入れてください。

「０歳」、「１歳」の割合が 16.7%と最も高く、次いで「４歳」の割合が 16.3%となっています。

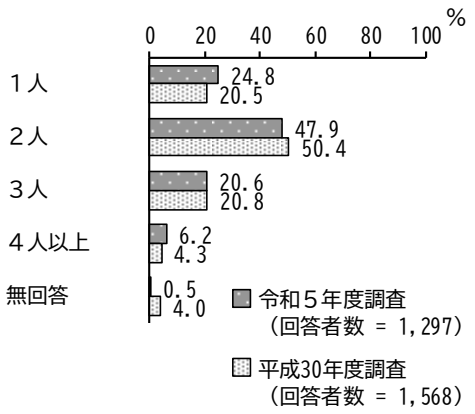
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問４　封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、２人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和５年４月１日現在の年齢）を記入してください。

「２人」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「１人」の割合が 24.8%、「３人」の割合が 20.6%となっています。

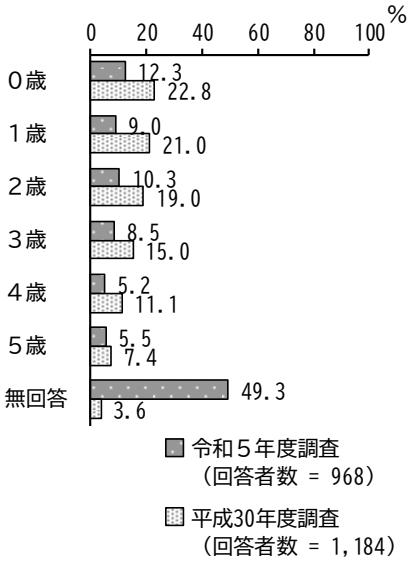
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



子どもが２人以上いる場合の末子の年齢

「０歳」の割合が 12.3%と最も高く、次いで「２歳」の割合が 10.3%となっています。

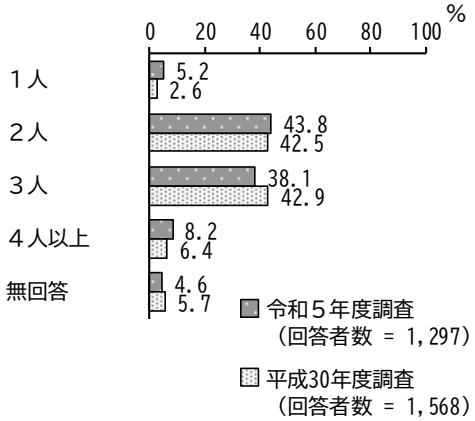
平成 30 年度調査と比較すると、「０歳」、「１歳」、「２歳」、「３歳」、「４歳」の割合が減少しています。



問５　希望として、子どもは何人ほしいですか。

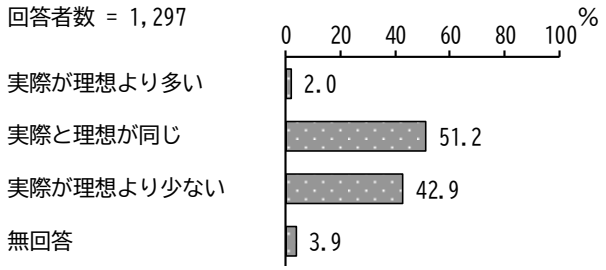
「２人」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「３人」の割合が 38.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



子どもの人数の実際と理想

「実際と理想が同じ」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「実際が理想より少ない」の割合が 42.9%となっています。



【実際の子どもの人数別】

実際の子どもの人数別にみると、１人で「実際が理想より少ない」の割合が高くなっています。

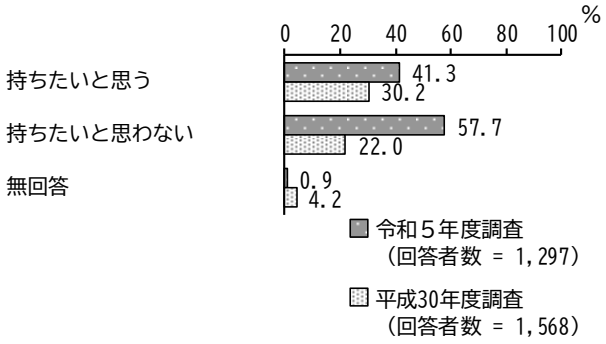
単位：%

区分	回答者数（件）	実際が理想より多い	実際と理想が同じ	実際が理想より少ない	無回答
全　体	1,297	2.0	51.2	42.9	3.9
１人	322	0.3	19.6	78.3	1.9
２人	621	1.0	56.8	39.9	2.3
３人	267	3.0	78.3	13.5	5.2
４人以上	80	13.8	48.8	23.8	13.8

問６　もう１人以上の子どもを持ちたいと思いますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「持ちたいと思う」の割合が 41.3%、「持ちたいと思わない」の割合が 57.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「持ちたいと思う」、「持ちたいと思わない」の割合が増加しています。

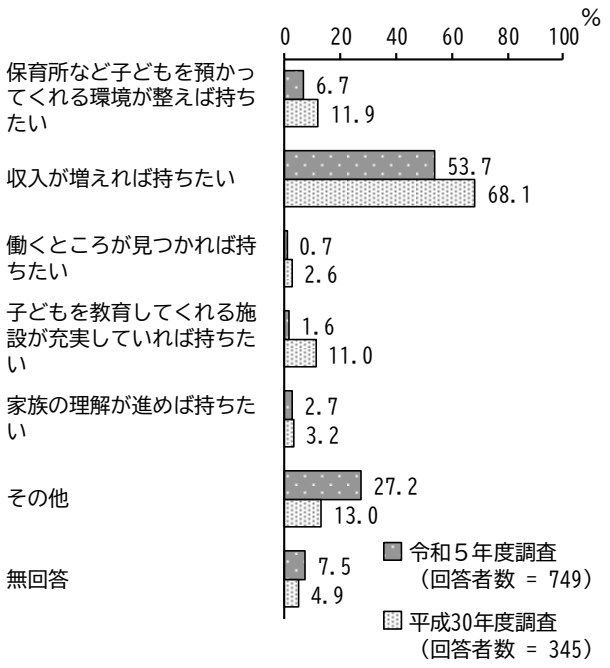


※前回調査では、「現状に満足している」の選択肢がありました。
※前回調査では、「持ちたいと思う」の選択肢は「生み育てたいと思う」、「持ちたいと思わない」の選択肢は「生み育てたいと思わない」となっていました。

問６－１　問６で「２．持ちたいと思わない」を選ばれた方におうかがいします。どのような環境が整えばもう１人以上の子どもを持ちたいと思いますか。もっともあてはまる番号１つに○をつけてください。

「収入が増えれば持ちたい」の割合が 53.7%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「保育所など子どもを預かってくれる環境が整えば持ちたい」、「収入が増えれば持ちたい」、「子どもを教育してくれる施設が充実していれば持ちたい」の割合が減少しています。

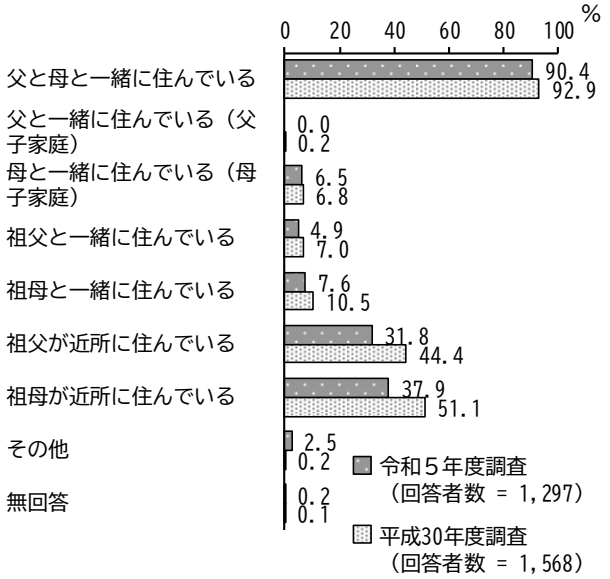


※前回調査では、「保育所など子どもを預かってくれる環境が整えば持ちたい」の選択肢は「保育所など子どもを預けられる環境が整えば生み育てたい」、「収入が増えれば持ちたい」の選択肢は「収入が増えれば生み育てたい」、「働くところが見つかれば持ちたい」の選択肢は「働くところが見つかれば生み育てたい」、「子どもを教育してくれる施設が充実していれば持ちたい」の選択肢は「子どもの教育施設が充実していれば生み育てたい」、「家族の理解が進めば持ちたい」の選択肢は「家族の理解が得られれば生み育てたい」となっていました。

問７　封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

「父と母と一緒に住んでいる」の割合が 90.4%と最も高く、次いで「祖母が近所に住んでいる」の割合が 37.9%、「祖父が近所に住んでいる」の割合が 31.8%となっています。

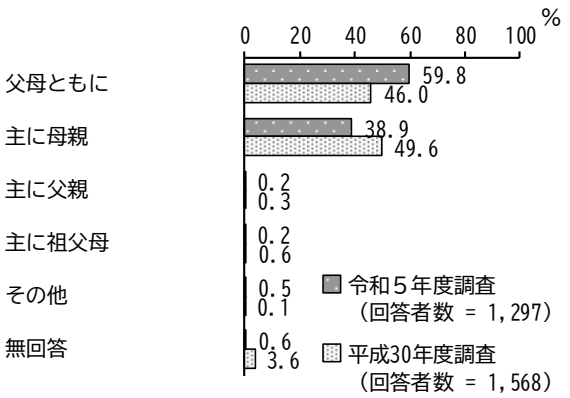
平成 30 年度調査と比較すると、「祖父が近所に住んでいる」、「祖母が近所に住んでいる」の割合が減少しています。



問８　封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

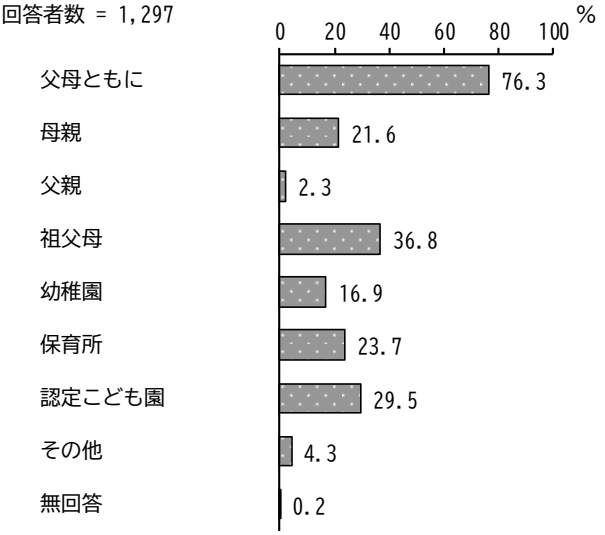
「父母ともに」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 38.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。



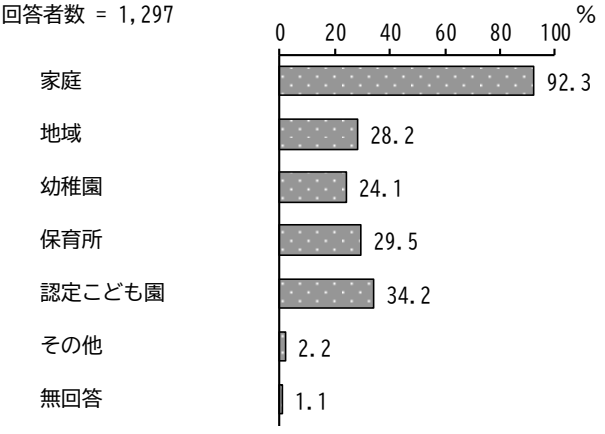
問９　封筒のあて名のお子さんの子育てや教育に日常的に関わっている人や施設として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。人についての選択肢はお子さんからみた関係です。

「父母ともに」の割合が 76.3%と最も高く、次いで「祖父母」の割合が 36.8%、「認定こども園」の割合が 29.5%となっています。



問 10　封筒のあて名のお子さんの子育てや教育にもっとも影響すると思われるものとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

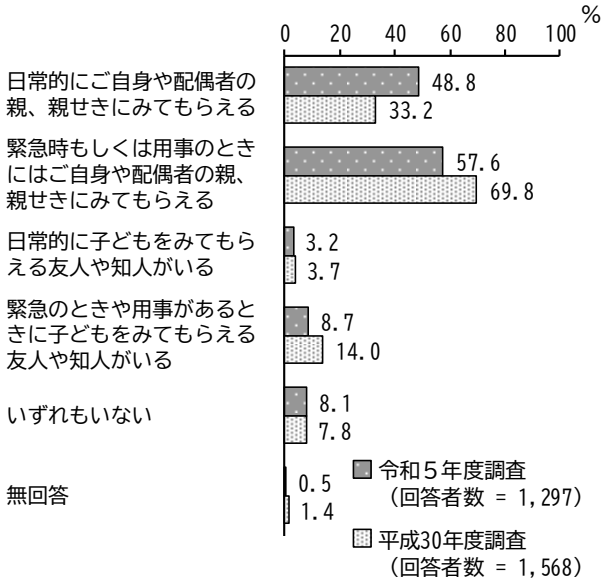
「家庭」の割合が 92.3%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が 34.2%、「保育所」の割合が 29.5%となっています。



問 11　日頃、封筒のあて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」の割合が 48.8%となっています。

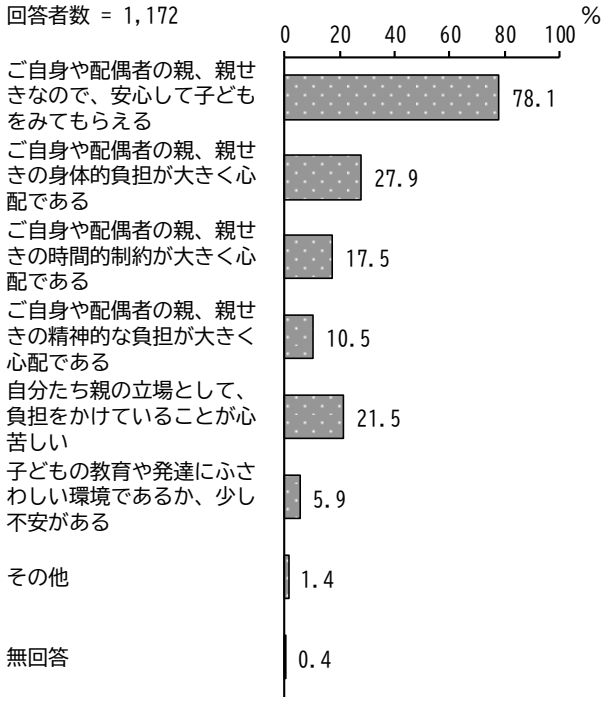
平成 30 年度調査と比較すると、「日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」の割合が増加しています。一方、「緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」、「緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」の割合が減少しています。



※前回調査では、「日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」の選択肢は「日常的に子どもの祖父母、親せきにみてもらえる」、「緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」の選択肢は「緊急時や用事のときには子どもの祖父母、親せきにみてもらえる」となっていました。

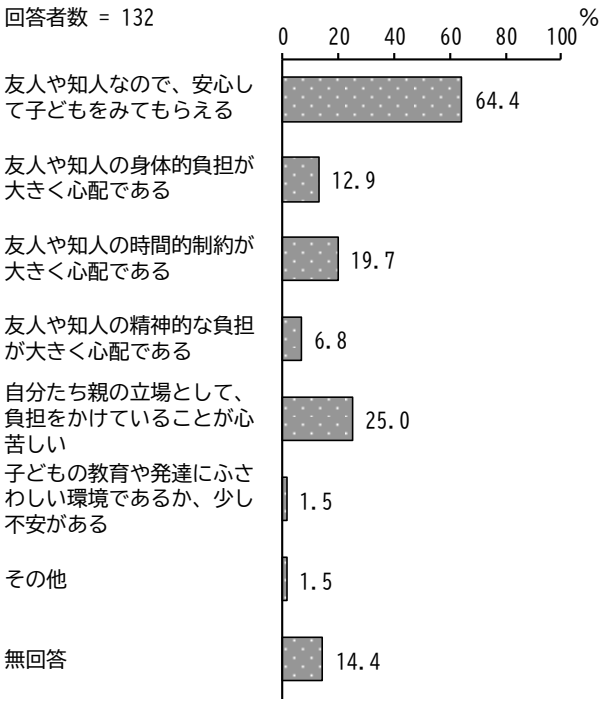
問 11－1　問 11 で「1.」または「2.」を選ばれた、お子さんをご自身や配偶者の親、親せきにみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「ご自身や配偶者の親、親せきなので、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 78.1%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せきの身体的負担が大きく心配である」の割合が 27.9%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 21.5%となっています。



問 11－２　問 11 で「３.」または「４.」を選ばれた、お子さんを友人や知人にみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

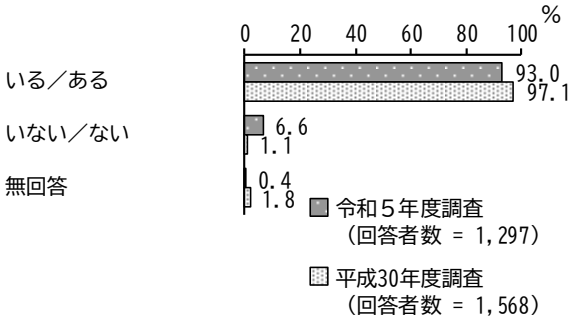
「友人や知人なので、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 64.4%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 25.0%、「友人や知人の時間的制約が大きく心配である」の割合が 19.7%となっています。



問 12　あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が 93.0%、「いない／ない」の割合が 6.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「いない／ない」の割合が増加しています。

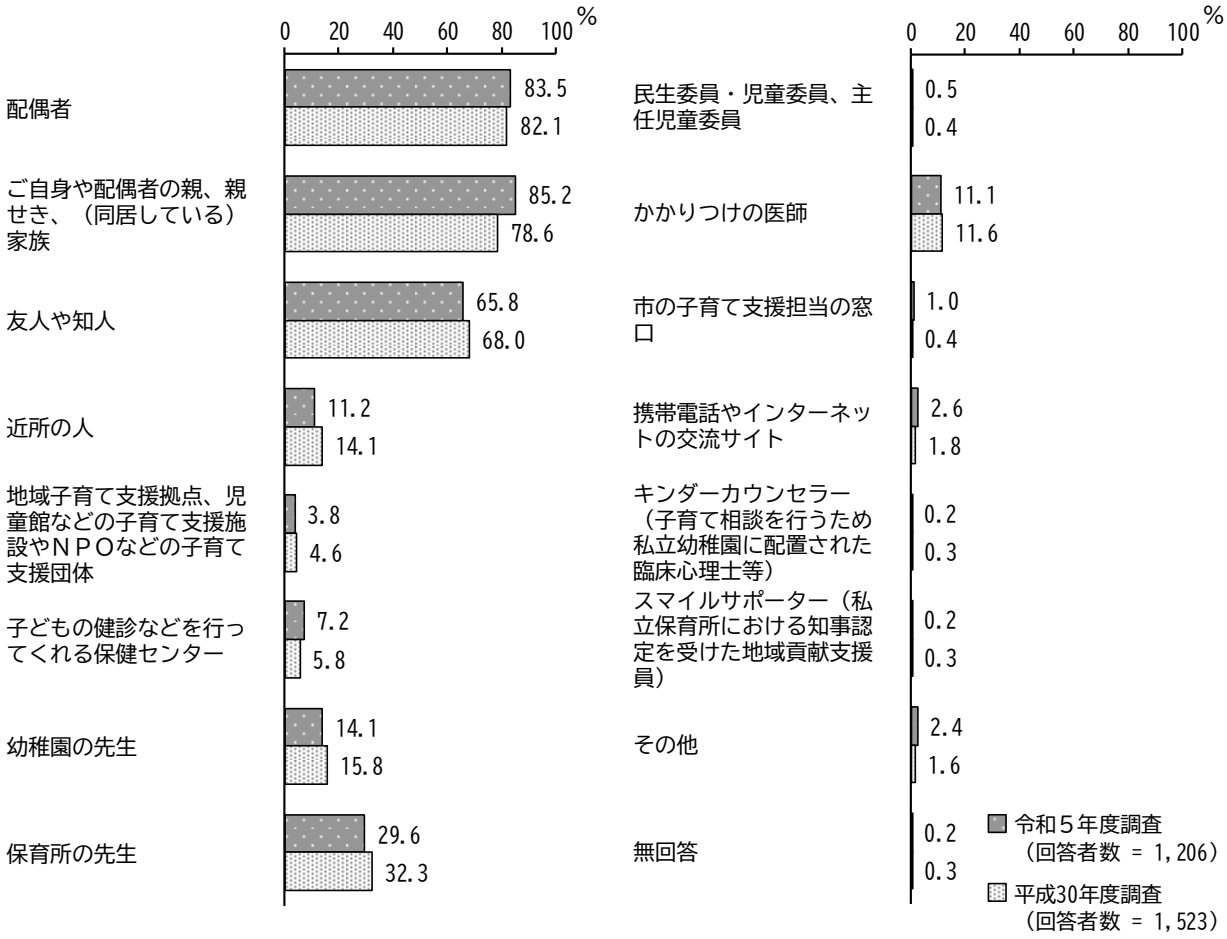


※前回調査では、「いる／ある」の選択肢は「ある」、「いない／ない」の選択肢は「ない」となっていました。

問 12－１　問 12 で「いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」の割合が 85.2%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 83.5%、「友人や知人」の割合が 65.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」の割合が増加しています。

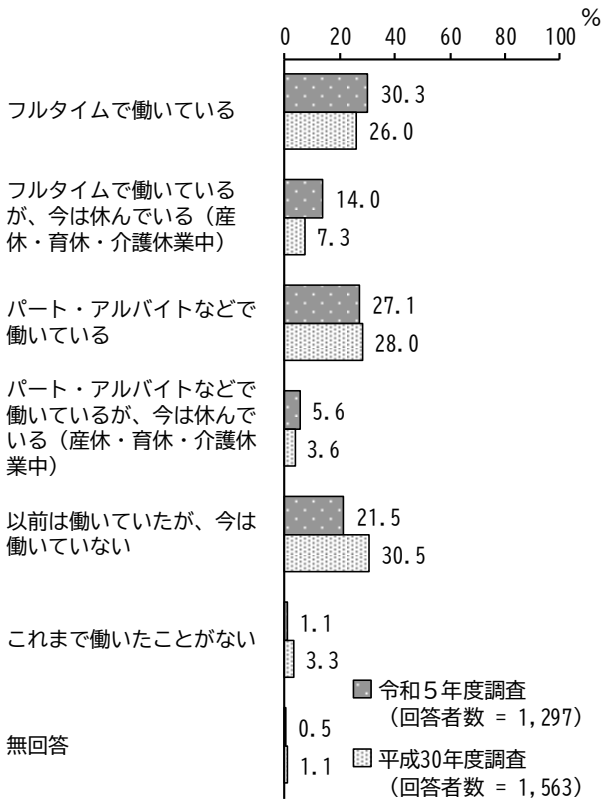


※前回調査では、「ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」の選択肢は「子どもの祖父母、親せき、（同居している）家族」、「地域子育て支援拠点、児童館などの子育て支援施設やＮＰＯなどの子育て支援団体」の選択肢は「子育て支援センターやＮＰＯなどの子育て支援団体」、「子どもの健診などを行ってくれる保健センター」の選択肢は「子どもの健診を行う保健センター・保健所」、「保育所の先生」の選択肢は「保育施設の保育士」、「市の子育て支援担当の窓口」は「市役所の子育て支援担当の窓口」となっていました。

問 14　封筒のあて名のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「フルタイムで働いている」の割合が 30.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイトなどで働いている」の割合が 27.1%、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が 21.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）」の割合が増加しています。一方、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が減少しています。

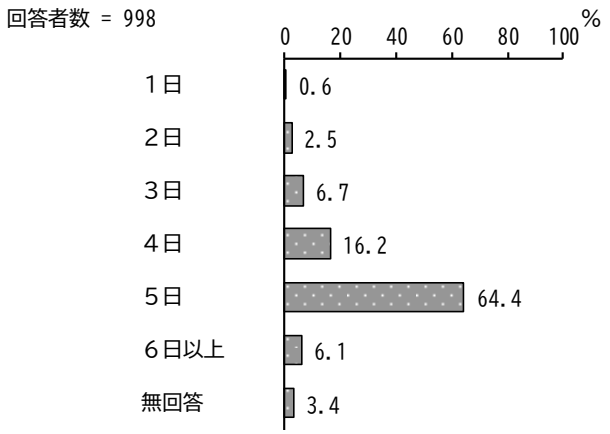


※前回調査では、「学生（専門学校生・大学生・大学院生など）」の選択肢がありました。
※前回調査では、「パート・アルバイトなどで働いている」の選択肢は「パート・アルバイト・派遣などで働いている」、「パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）」の選択肢は「パート・アルバイト・派遣などで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）」となっていました。

問 14－１　問 14 で「１.」から「４.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。１週間にどのくらいの日数働きますか。また、１日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

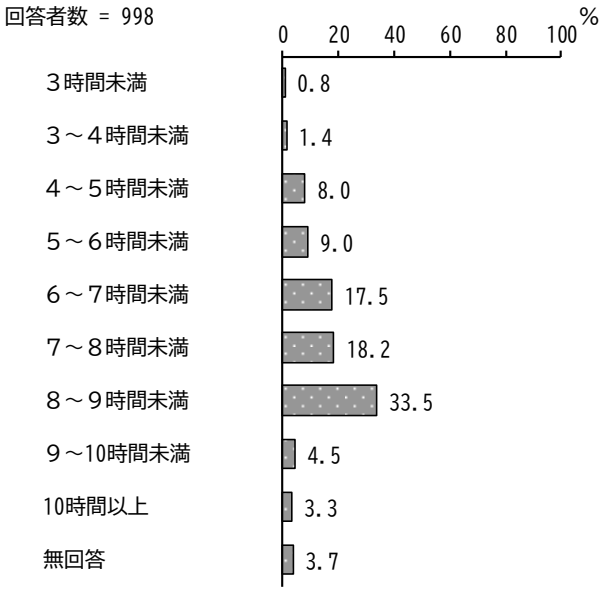
１週当たりの就労日数

「５日」の割合が 64.4%と最も高く、次いで「４日」の割合が 16.2%となっています。



１日当たりの就労時間

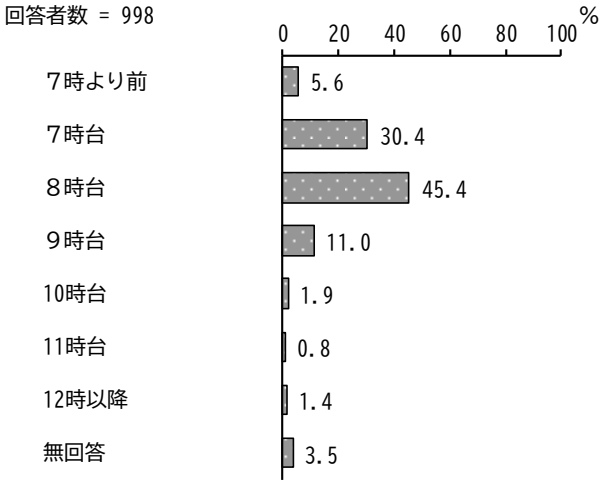
「８～９時間未満」の割合が 33.5%と最も高く、次いで「７～８時間未満」の割合が 18.2%、「６～７時間未満」の割合が 17.5%となっています。



問 14－２　問 14 で「１.」から「４.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、24 時間制でお答えください。

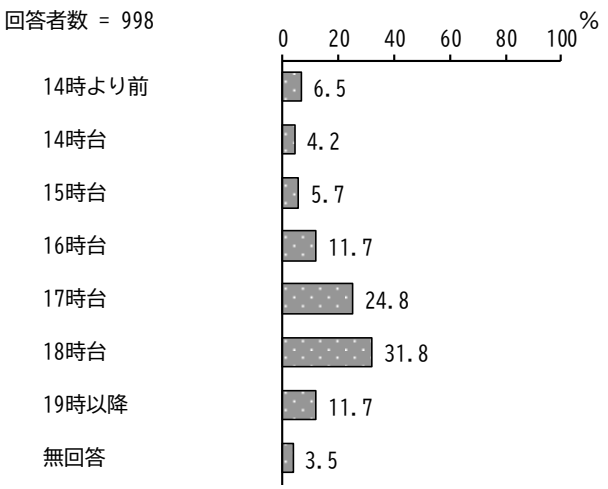
家を出る時間

「８時台」の割合が 45.4%と最も高く、次いで「７時台」の割合が 30.4%、「９時台」の割合が 11.0%となっています。



帰宅時間

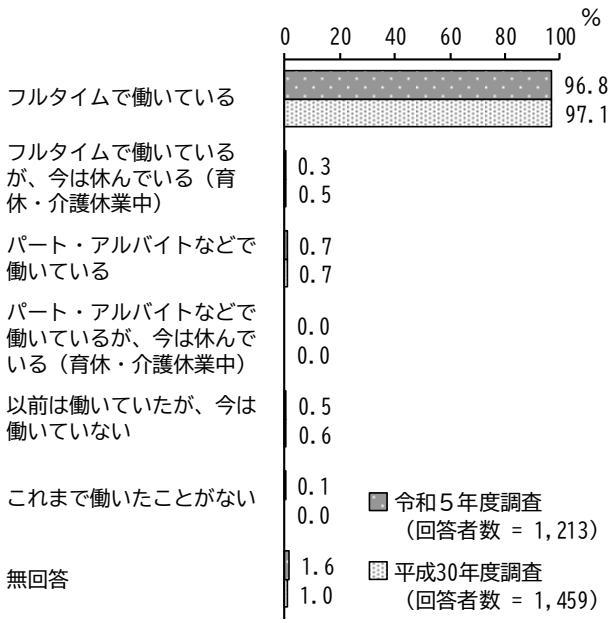
「18 時台」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 24.8%、「16 時台」、「19 時以降」の割合が 11.7%となっています。



問 15　封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「フルタイムで働いている」の割合が 96.8%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



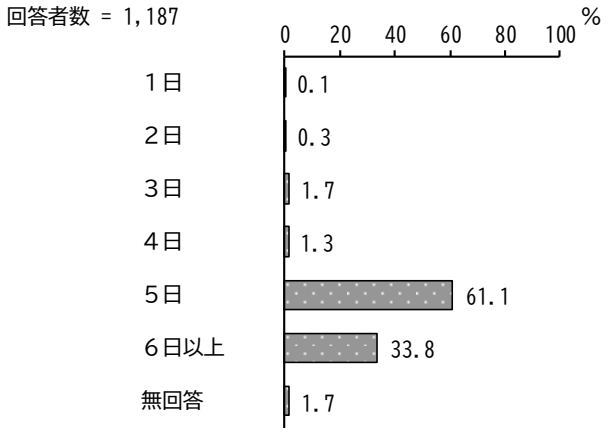
※前回は「学生（専門学校生・大学生・大学院生など）」の選択肢がありました。

※前回調査では、「パート・アルバイトなどで働いている」の選択肢は「パート・アルバイト・派遣などで働いている」、「パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）」の選択肢は「パート・アルバイト・派遣などで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）」となっていました。

問 15－１　問 15 で「１.」から「４.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。１週間にどのくらいの日数働きますか。また、１日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

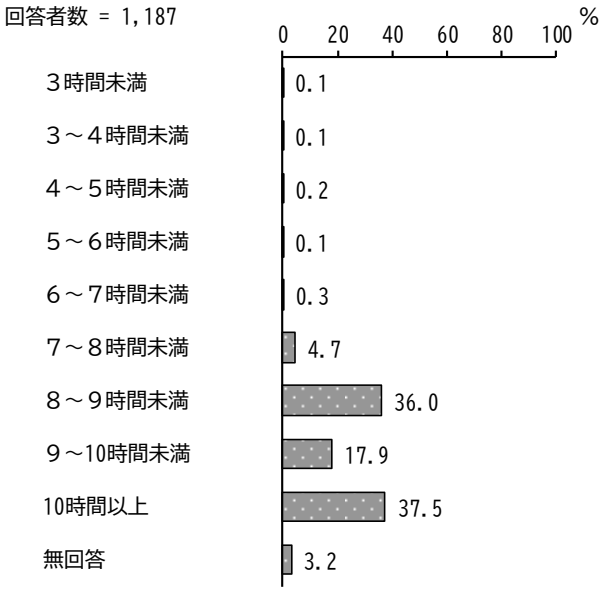
１週当たりの就労日数

「５日」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「６日以上」の割合が 33.8%となっています。



１日当たりの就労時間

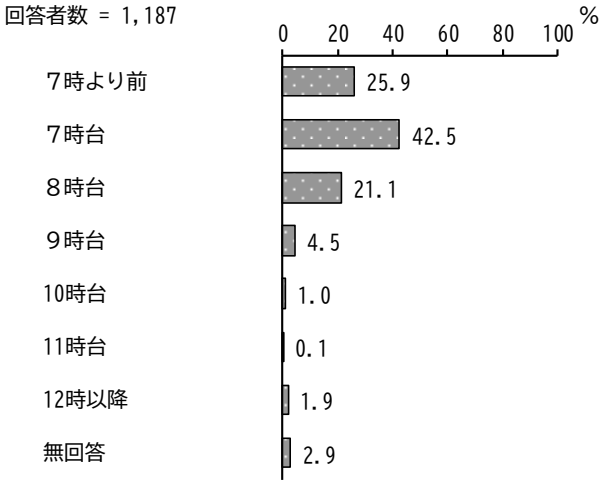
「10 時間以上」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「８～９時間未満」の割合が 36.0%、「９～10 時間未満」の割合が 17.9%となっています。



問 15－２　問 15 で「１.」から「４.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、24 時間制でお答えください。

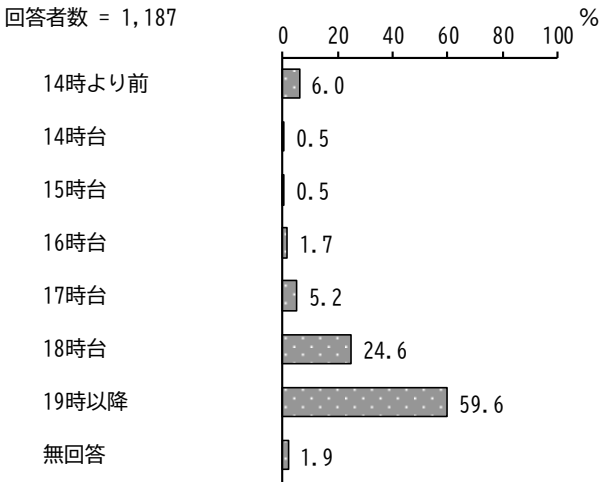
家を出る時間

「７時台」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「７時より前」の割合が 25.9%、「８時台」の割合が 21.1%となっています。



帰宅時間

「19 時以降」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 24.6%となっています。

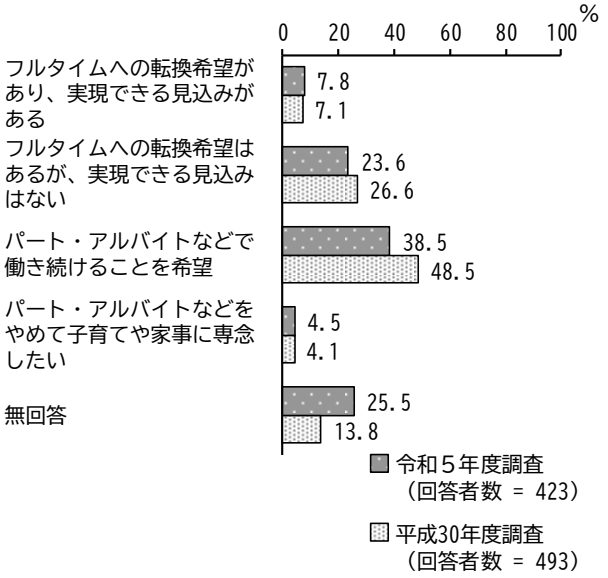


問 16　問 14 または問 15 で、「３.」または「４.」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

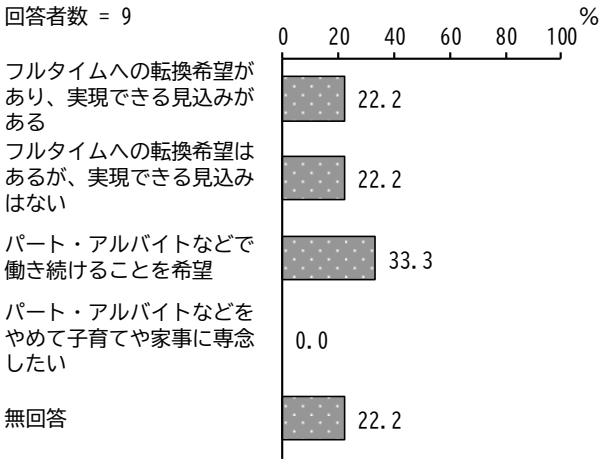
「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 23.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」の割合が減少しています。



（２）父親

「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が３件となっています。「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が２件となっています。

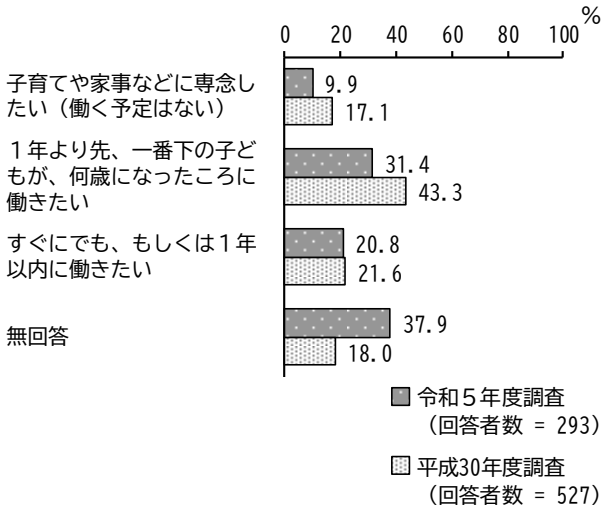


問 17　問 14 または問 15 で「５.」または「６.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方におうかがいします。働きたいという希望はありますか。あてはまる番号１つに○をつけ、枠内に具体的な数字を入れてください。

（１）母親

「１年より先、一番下の子どもが、何歳になったころに働きたい」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい」の割合が 20.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」、「１年より先、一番下の子どもが、何歳になったころに働きたい」の割合が減少しています。

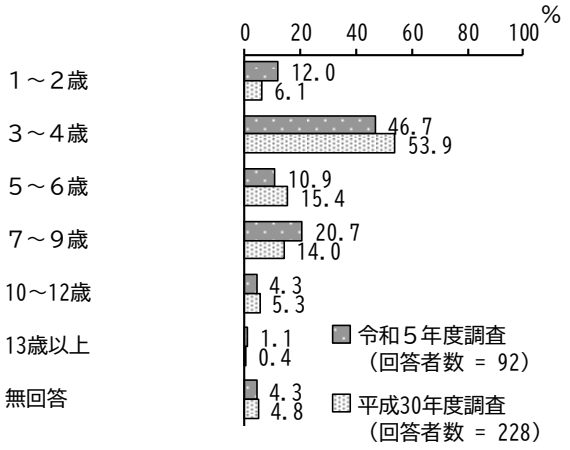


※前回調査では、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」の選択肢は「子育てや家事などに専念したい（働く、勉強する予定はない）」、「１年より先、一番下の子どもが、何歳になったころに働きたい」の選択肢は「１年より先、一番下の子どもが、何歳になったころに働き・勉強したい」、「すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい」は「すぐにでも、もしくは１年以内に働き・勉強したい」となっていました。

母親が１年より先に働き・勉強したい時の一番下の子どもの年齢

「３～４歳」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「７～９歳」の割合が 20.7%、「１～２歳」の割合が 12.0%となっています。

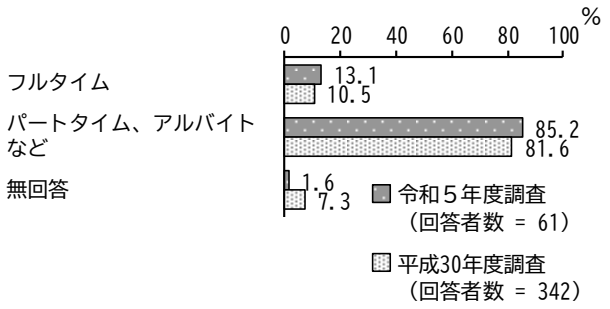
平成 30 年度調査と比較すると、「１～２歳」、「７～９歳」の割合が増加しています。一方、「３～４歳」の割合が減少しています。



希望する働き方

「フルタイム」の割合が 13.1%、「パートタイム、アルバイトなど」の割合が 85.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

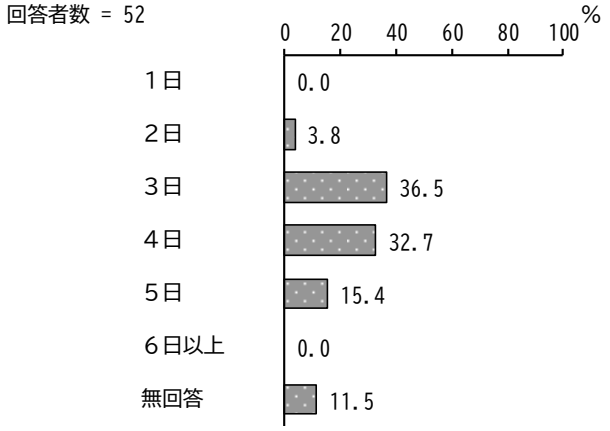


※前回調査では、「専門学校生、大学生、大学院生など」の選択肢がありました。

※前回調査では、「パートタイム、アルバイトなど」の選択肢は「パートタイム、アルバイト、派遣など」となっていました。

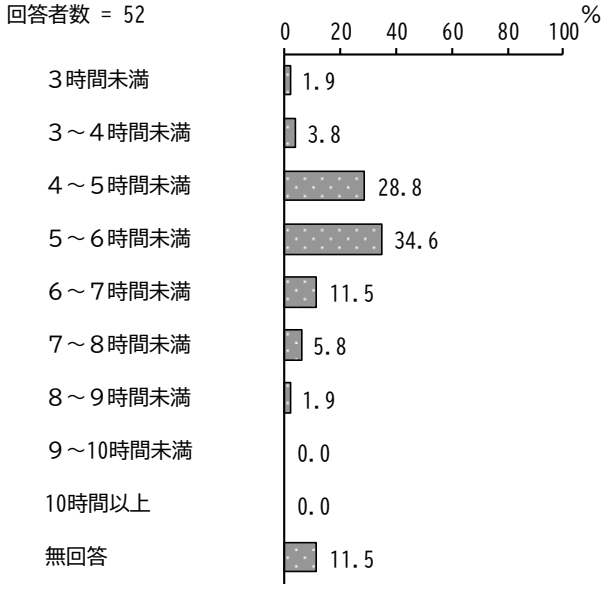
母親の１週当たりの希望就労日数

「３日」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「４日」の割合が 32.7%、「５日」の割合が 15.4%となっています。



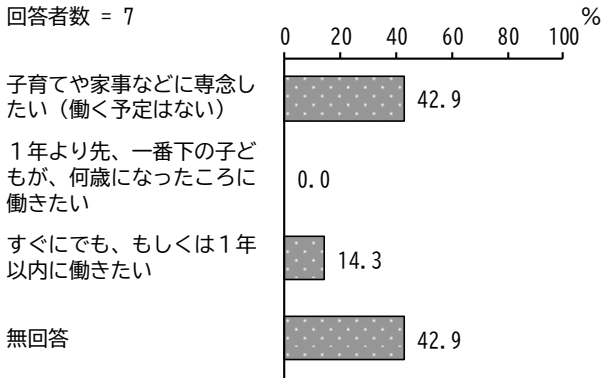
母親の１日当たりの希望就労時間

「５～６時間未満」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「４～５時間未満」の割合が 28.8%、「６～７時間未満」の割合が 11.5%となっています。



（2）父親

「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が３件となっています。「すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい」が１件となっています。

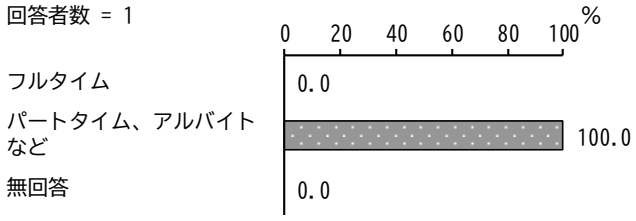


父親が１年より先に働き・勉強したい時の一番下の子どもの年齢

有効回答がありませんでした。

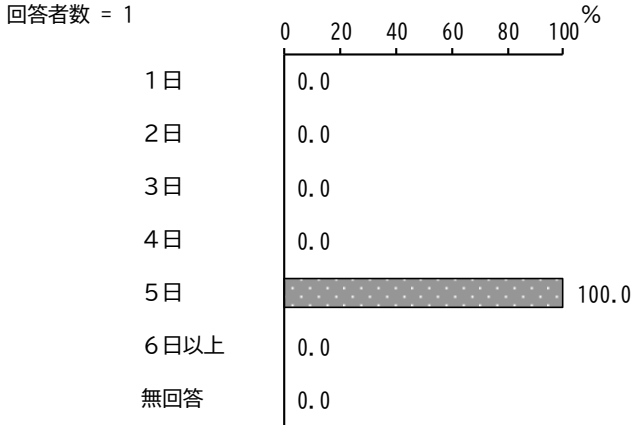
希望する働き方

「パートタイム、アルバイトなど」が１件となっています。



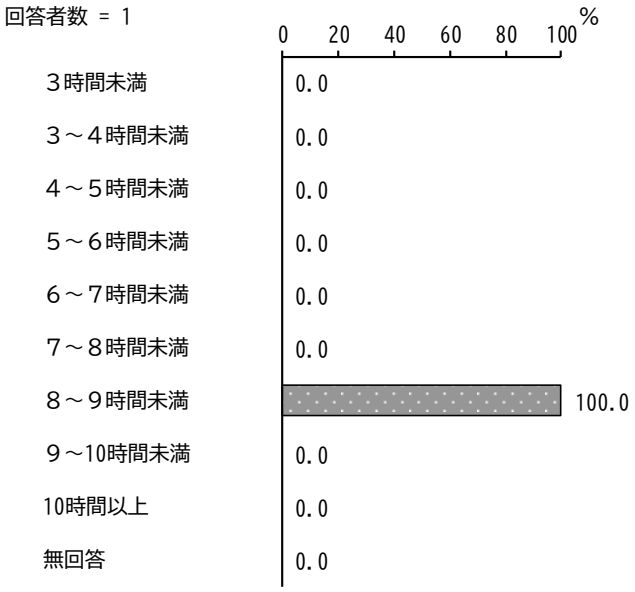
父親の１週当たりの希望就労日数

「５日」が１件となっています。



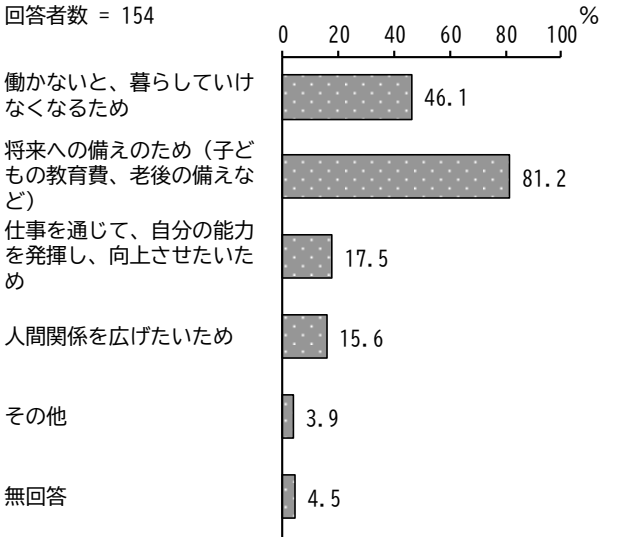
父親の１日当たりの希望就労時間

「８～９時間未満」が１件となっています。



問17－１　問17の（１）または（２）で「２.」「３.」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方におうかがいします。働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）」の割合が81.2%と最も高く、次いで「働かないと、暮らしていけなくなるため」の割合が46.1%、「仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため」の割合が17.5%となっています。

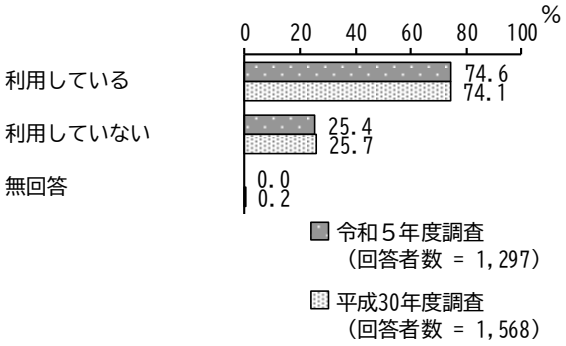


（２）封筒のあて名のお子さんが、平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて

問 18　平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園や保育所、認定こども園などの子どもを預かる施設（問 18―２に記載の施設）やサービスを「定期的に」利用されていますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「利用している」の割合が 74.6%、「利用していない」の割合が 25.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、０歳で「利用していない」の割合が高くなっています。

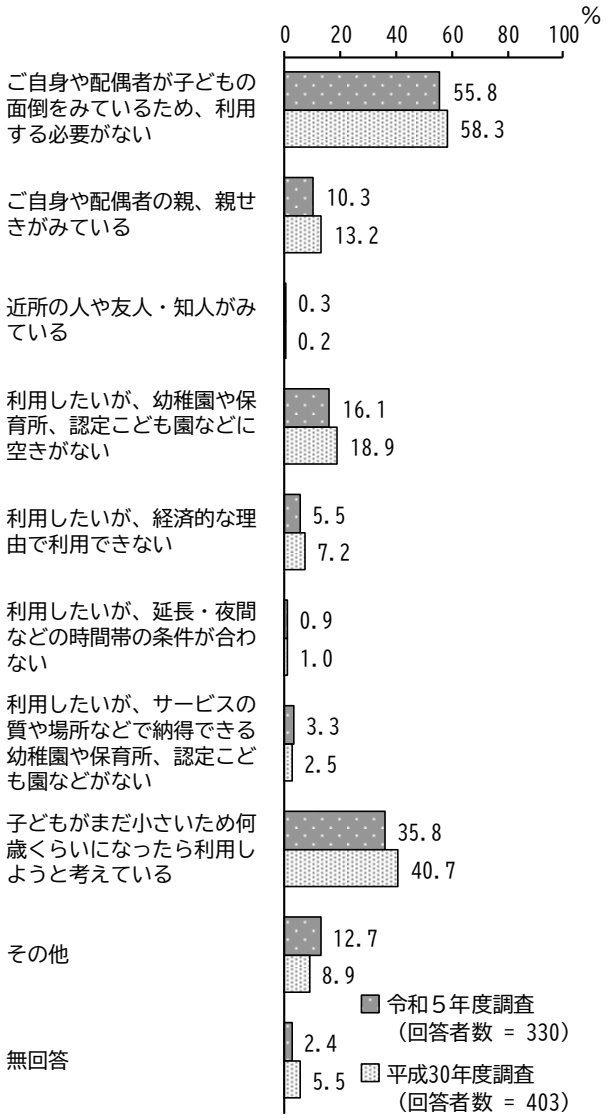
単位：%

区分	回答者数（件）	利用している	利用していない	無回答
全　体	1,297	74.6	25.4	－
０歳	216	21.8	78.2	－
１・２歳	408	69.1	30.9	－
３～５歳	609	97.7	2.3	－

問 18－１　問 18 で「２．利用していない」を選ばれた方におうかがいします。幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が 35.8%、「利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない」の割合が 16.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「ご自身や配偶者の親、親せきがみている」の選択肢は「子どもの祖父母、親せきがみている」、「利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない」の選択肢は「利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない」、「利用したいが、サービスの質や場所などで納得できる幼稚園や保育所、認定こども園などがない」の選択肢は「利用したいが、サービスの質や場所などで納得できる幼稚園や保育所などがない」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、３～５歳で「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」の割合が高くなっています。

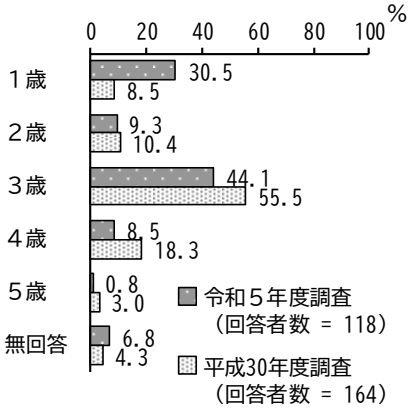
単位：％

区分	回答者数（件）	ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない	ご自身や配偶者の親、親せきがみている	近所の人や友人・知人がみている	利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない	利用したいが、経済的な理由で利用できない	利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない	利用したいが、サービスの質や場所などで納得できる幼稚園や保育所、認定こども園などがない	子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用しようと考えている	その他	無回答
全　体	330	55.8	10.3	0.3	16.1	5.5	0.9	3.3	35.8	12.7	2.4
０歳	169	47.9	8.9	0.6	13.6	3.6	0.6	1.8	40.2	13.6	4.1
１・２歳	126	61.1	10.3	－	23.8	9.5	1.6	5.6	31.0	13.5	0.8
３～５歳	14	85.7	14.3	－	－	－	－	7.1	－	7.1	－

利用を考えている子どもが大きくなったときの年齢

「３歳」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「１歳」の割合が 30.5%となっています。

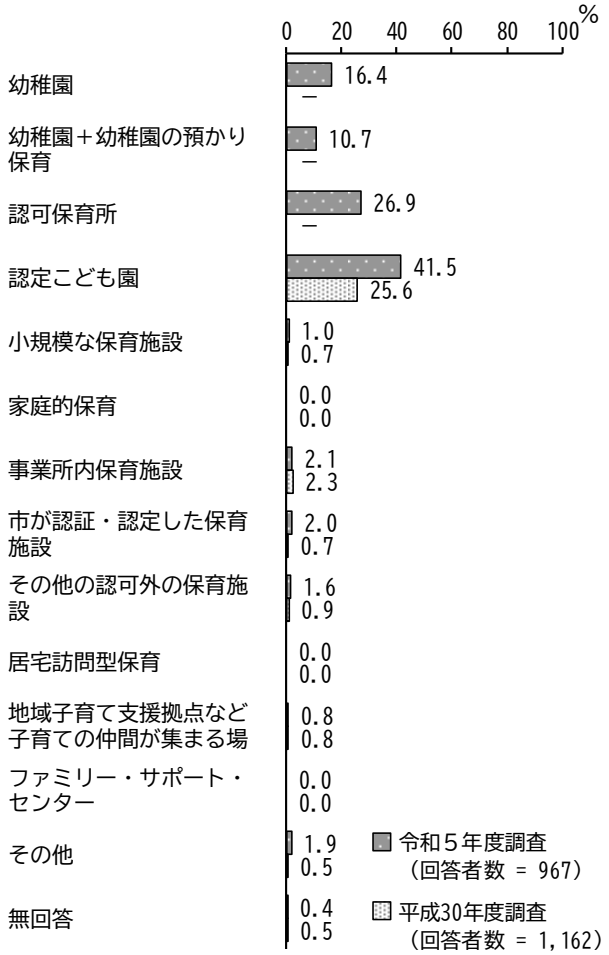
平成 30 年度調査と比較すると、「１歳」の割合が増加しています。一方、「３歳」、「４歳」の割合が減少しています。



問 18－２　問 18 で「１．利用している」を選ばれた方におうかがいします。封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用されている施設やサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「認定こども園」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が 26.9%、「幼稚園」の割合が 16.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。



※前回調査では、「幼稚園」、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」、「認可保育所」は、公立と民間に分けて聞いていたため比較できませんでした。

※前回調査では、「市が認証・認定した保育施設（認可外だが、市が定める基準を満たした施設）」の選択肢は「市役所が認証・認定した保育施設（認可外だが、市役所が定める基準を満たした施設）」となっていました。

【地区別】

地区別にみると、岸和田北部地域で「認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
全　体	967	16.4	10.7	26.9	41.5	1.0	－	2.1
都市中核地域	229	16.6	13.1	30.1	35.8	1.3	－	1.3
岸和田北部地域	132	7.6	4.5	21.2	59.1	－	－	2.3
葛城の谷地域	156	25.0	12.2	28.2	30.1	0.6	－	0.6
岸和田中部地域	134	13.4	10.4	35.8	33.6	0.7	－	4.5
久米田地域	149	20.8	10.7	20.8	48.3	1.3	－	1.3
牛滝の谷地域	91	16.5	12.1	18.7	46.2	2.2	－	4.4

区分	市が認証・認定した保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全　体	2.0	1.6	－	0.8	－	1.9	0.4
都市中核地域	0.9	0.9	－	1.3	－	2.2	0.4
岸和田北部地域	1.5	1.5	－	0.8	－	2.3	1.5
葛城の谷地域	3.8	1.3	－	0.6	－	2.6	0.6
岸和田中部地域	2.2	2.2	－	1.5	－	2.2	－
久米田地域	0.7	2.0	－	0.7	－	2.0	－
牛滝の谷地域	2.2	2.2	－	－	－	－	－

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、１・２歳で「認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
全　体	967	16.4	10.7	26.9	41.5	1.0	－	2.1
０歳	47	2.1	－	31.9	40.4	2.1	－	10.6
１・２歳	282	5.3	2.1	29.8	48.2	3.2	－	4.3
３～５歳	595	22.2	15.5	26.1	38.0	－	－	0.5

区分	市が認証・認定した保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全　体	2.0	1.6	－	0.8	－	1.9	0.4
０歳	4.3	4.3	－	6.4	－	－	－
１・２歳	1.8	3.2	－	1.8	－	2.8	－
３～５歳	2.0	0.7	－	－	－	1.7	0.3

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、働いていない（学生含む）で「幼稚園（通常の就園時間利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
全　体	967	16.4	10.7	26.9	41.5	1.0	－	2.1
フルタイム（休業中含む）	461	2.4	4.6	37.7	48.2	0.9	－	3.0
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	356	16.0	19.4	21.9	41.0	1.7	－	1.7
働いていない（学生含む）	145	62.1	8.3	4.8	21.4	－	－	－

区分	市が認証・認定した保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全　体	2.0	1.6	－	0.8	－	1.9	0.4
フルタイム（休業中含む）	2.4	1.7	－	0.9	－	0.7	0.7
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	2.0	1.7	－	0.3	－	2.0	－
働いていない（学生含む）	0.7	0.7	－	2.1	－	5.5	0.7

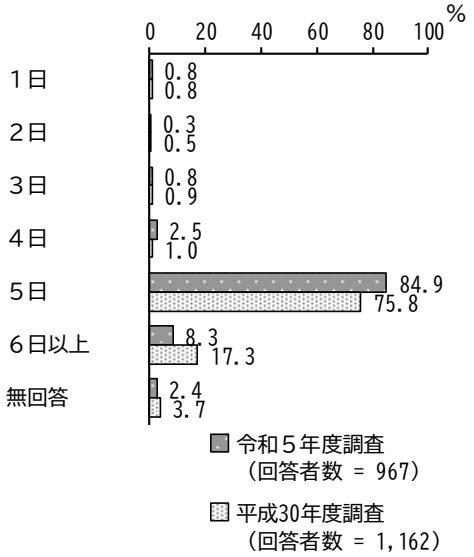
問 18－３　問 18 で「１．利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在利用している幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、１週間に何日利用し、また、１日あたり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように 24 時間制で記入してください。

（１）現在

１週当たりの利用日数

「５日」の割合が 84.9%と最も高くなっています。

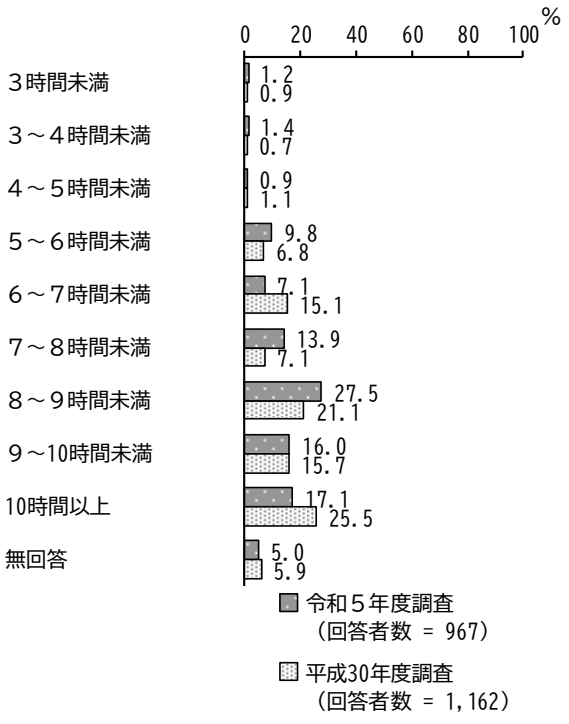
平成 30 年度調査と比較すると、「５日」の割合が増加しています。一方、「６日以上」の割合が減少しています。



１日当たりの利用時間

「８～９時間未満」の割合が 27.5%と最も高く、次いで「10 時間以上」の割合が 17.1%、「９～10 時間未満」の割合が 16.0%となっています。

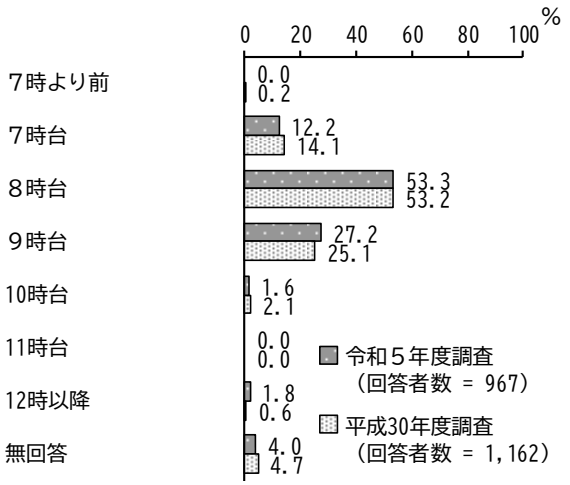
平成 30 年度調査と比較すると、「７～８時間未満」「８～９時間未満」の割合が増加しています。一方、「６～７時間未満」、「10 時間以上」の割合が減少しています。



利用開始時刻

「８時台」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 27.2%、「７時台」の割合が 12.2%となっています。

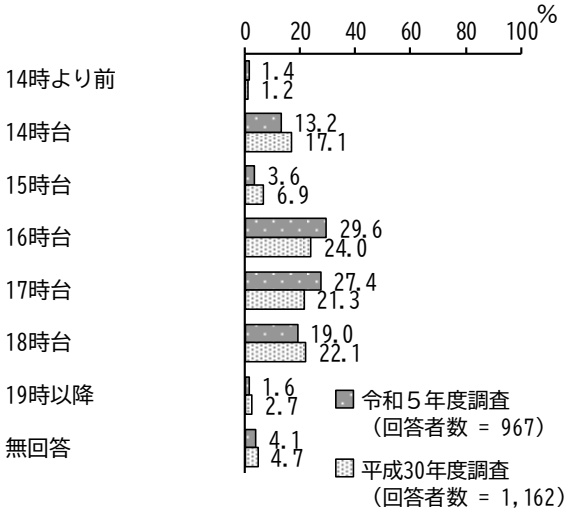
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用終了時刻

「16 時台」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 27.4%、「18 時台」の割合が 19.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」、「17 時台」の割合が増加しています。

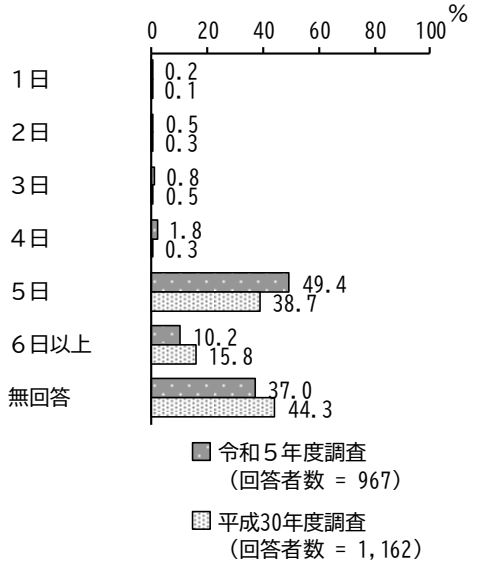


（２）希望

１週当たりの利用日数

「５日」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「６日以上」の割合が 10.2%となっています。

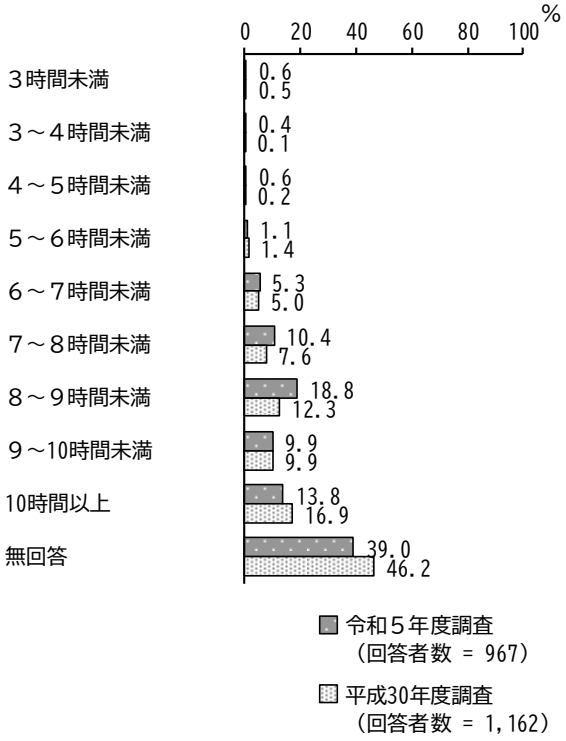
平成 30 年度調査と比較すると、「５日」の割合が増加しています。一方、「６日以上」の割合が減少しています。



１日当たりの利用時間

「８～９時間未満」の割合が 18.8%と最も高く、次いで「10 時間以上」の割合が 13.8%、「７～８時間未満」の割合が 10.4%となっています。

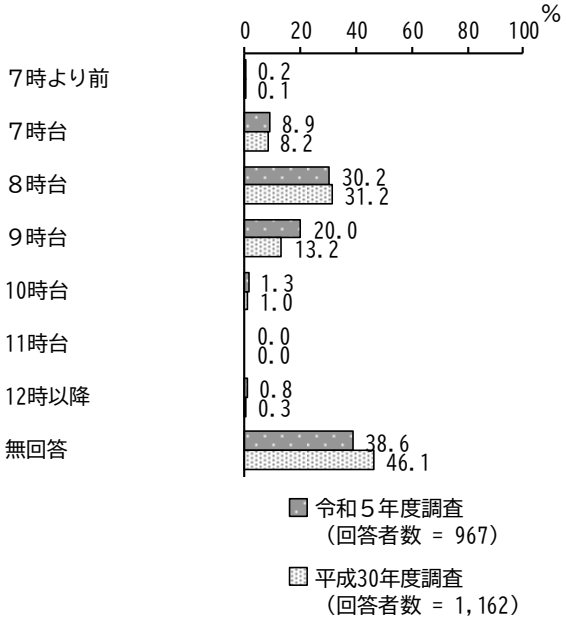
平成 30 年度調査と比較すると、「８～９時間未満」の割合が増加しています。



利用開始時刻

「８時台」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 20.0%となっています。

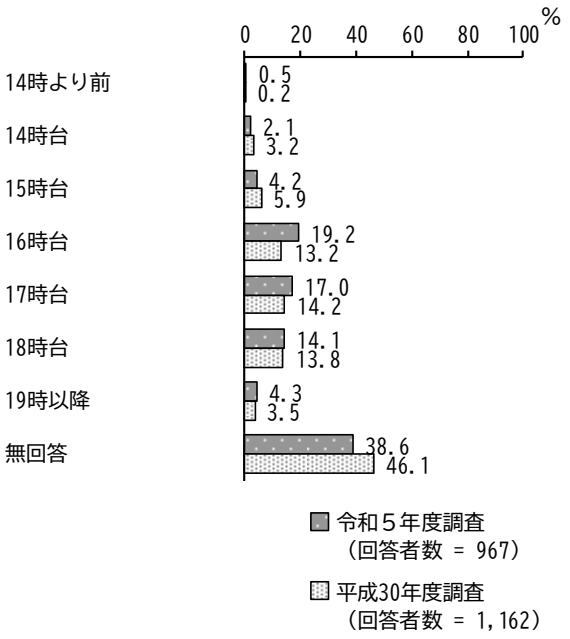
平成 30 年度調査と比較すると、「９時台」の割合が増加しています。



利用終了時刻

「16 時台」の割合が 19.2%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 17.0%、「18 時台」の割合が 14.1%となっています。

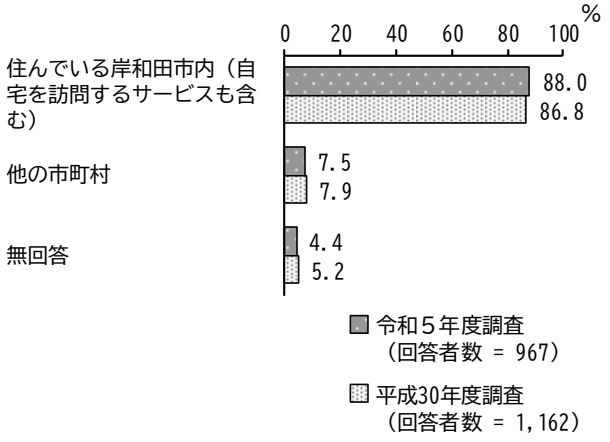
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が増加しています。



問 18－４　問 18 で「１．利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在、利用されている施設などはどこにありますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。「２.」を選択された方は、その市町村名についても枠内に記入してください。

「住んでいる岸和田市内（自宅を訪問するサービスも含む）」の割合が 88.0%、「他の市町村」の割合が 7.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

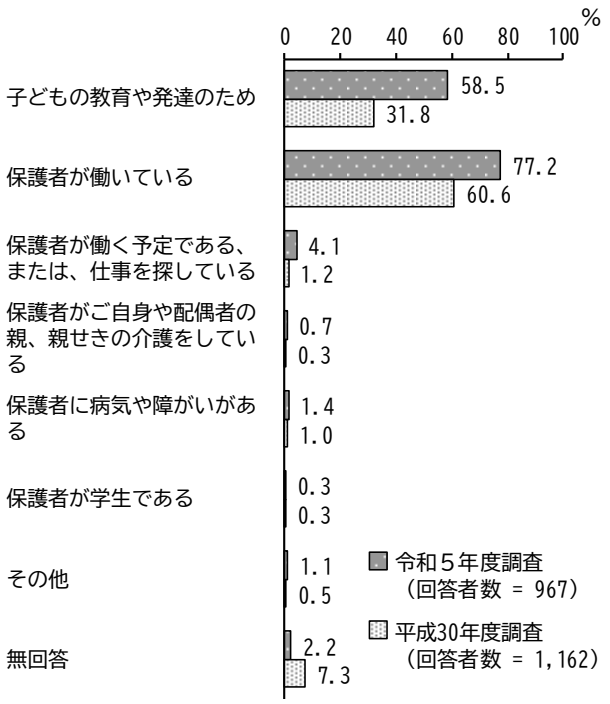


※前回調査では、「住んでいる岸和田市内（自宅を訪問するサービスも含む）」の選択肢は「岸和田市内」となっていました。

問 18－５　問 18 で「１．利用している」を選ばれた方におうかがいします。幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用されている理由について、もっともあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「保護者が働いている」の割合が 77.2%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 58.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どもの教育や発達のため」、「保護者が働いている」の割合が増加しています。



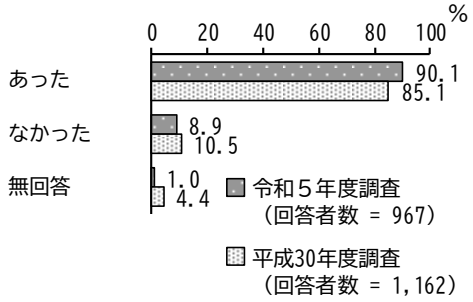
※前回調査では、「保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている」の選択肢は「保護者が子どもの祖父母、親せきの介護をしているため」となっていました。

（３）封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応について（平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用している方のみ）

問 19　平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などを利用していると答えた保護者の方（問 18 で１に○をつけた方）に、封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この１年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかったことはありますか。

「あった」の割合が 90.1%、「なかった」の割合が 8.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	あった	なかった	無回答
全　体	967	90.1	8.9	1.0
０歳	47	83.0	10.6	6.4
１・２歳	282	93.6	5.0	1.4
３～５歳	595	89.2	10.4	0.3

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

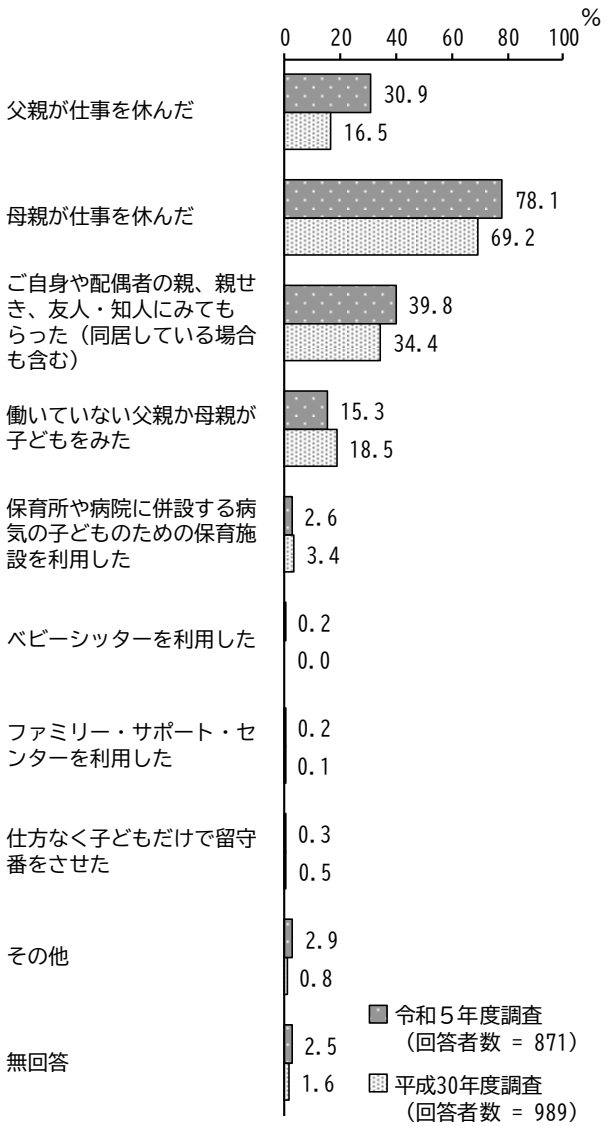
単位：%

区分	回答者数（件）	あった	なかった	無回答
全　体	967	90.1	8.9	1.0
フルタイム（休業中含む）	461	93.3	5.6	1.1
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	356	89.9	9.0	1.1
働いていない（学生含む）	145	80.0	19.3	0.7

問 19－１　問 19 で「１．あった」を選ばれた方におうかがいします。この１年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について枠内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

「母親が仕事を休んだ」の割合が 78.1%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」の割合が 39.8%、「父親が仕事を休んだ」の割合が 30.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父親が仕事を休んだ」、「母親が仕事を休んだ」、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」の割合が増加しています。



※前回調査では、「ベビーシッターを利用した」の選択肢は「民間事業者による訪問型サービス（ベビーシッター）を利用した」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、０歳で「母親が仕事を休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	働いていない父親か母親が子どもをみた	保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全　体	871	30.9	78.1	39.8	15.3	2.6	0.2	0.2	0.3	2.9	2.5
０歳	39	35.9	87.2	43.6	7.7	2.6	2.6	2.6	2.6	－	7.7
１・２歳	264	37.5	84.5	41.3	11.0	4.5	－	－	－	1.9	2.3
３～５歳	531	27.7	75.0	39.0	17.5	1.9	－	－	0.4	3.8	2.1

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、働いていない（学生含む）で「働いていない父親か母親が子どもをみた」の割合が高くなっています。

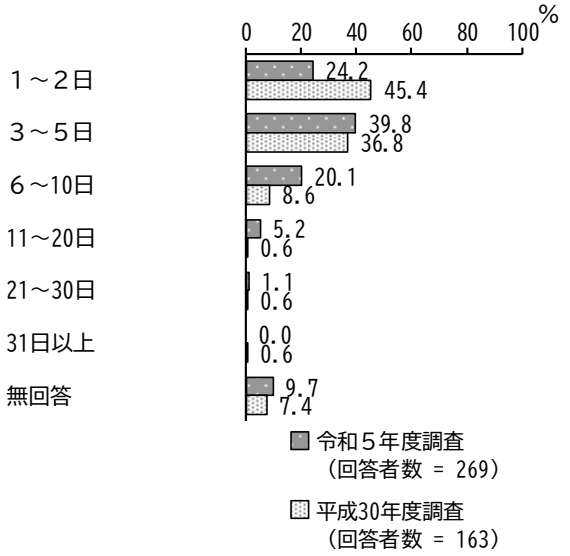
単位：％

区分	回答者数（件）	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	働いていない父親か母親が子どもをみた	保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全　体	871	30.9	78.1	39.8	15.3	2.6	0.2	0.2	0.3	2.9	2.5
フルタイム（休業中含む）	430	42.6	89.8	51.4	4.7	3.7	0.5	0.5	0.7	3.3	0.9
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	320	22.5	87.2	33.4	6.9	2.2	－	－	－	1.9	4.4
働いていない（学生含む）	116	11.2	11.2	15.5	77.6	－	－	－	－	3.4	3.4

１．父親が仕事を休んだ

「３～５日」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「１～２日」の割合が 24.2%、「６～10 日」の割合が 20.1%となっています。

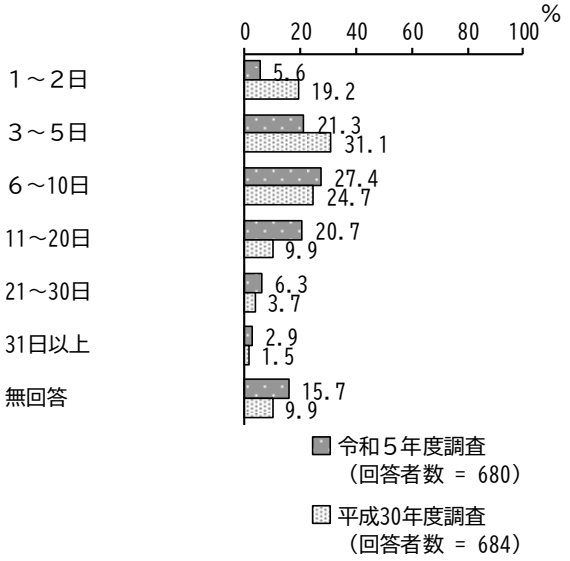
平成 30 年度調査と比較すると、「６～10 日」の割合が増加しています。一方、「１～２日」の割合が減少しています。



２．母親が仕事を休んだ

「６～10 日」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「３～５日」の割合が 21.3%、「11～20 日」の割合が 20.7%となっています。

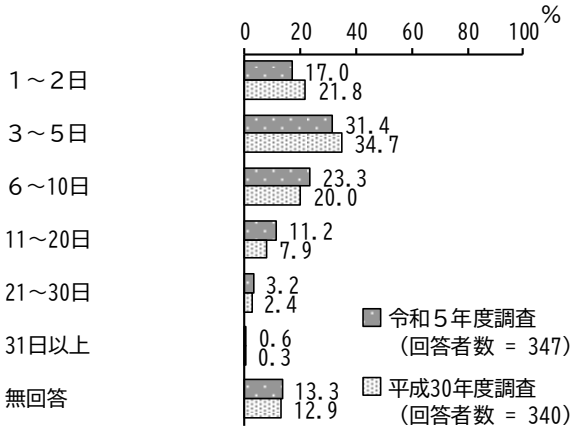
平成 30 年度調査と比較すると、「11～20 日」の割合が増加しています。一方、「１～２日」、「３～５日」の割合が減少しています。



３．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）

「３～５日」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「６～10 日」の割合が 23.3%、「１～２日」の割合が 17.0%となっています。

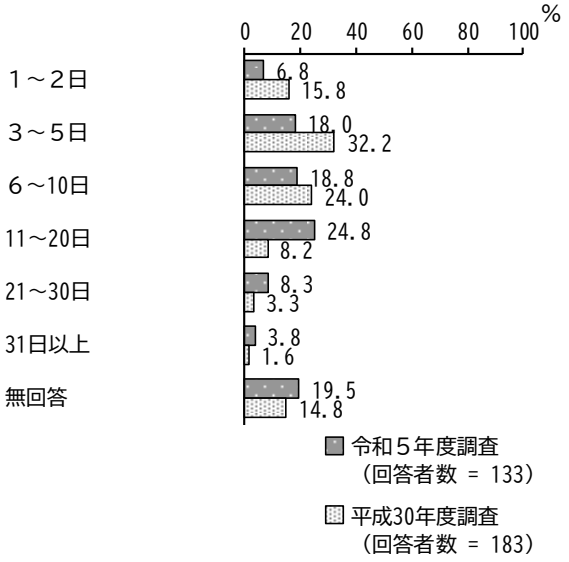
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



４．働いていない父親か母親が子どもをみた

「11～20 日」の割合が 24.8%と最も高く、次いで「６～10 日」の割合が 18.8%、「３～５日」の割合が 18.0%となっています。

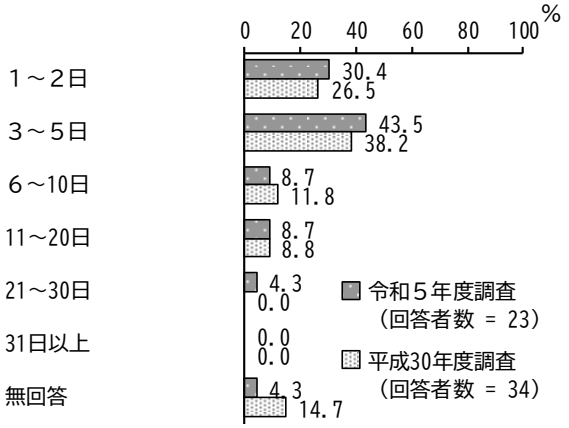
平成 30 年度調査と比較すると、「11～20 日」、「21～30 日」の割合が増加しています。一方、「１～２日」、「３～５日」、「６～10 日」の割合が減少しています。



５．保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した

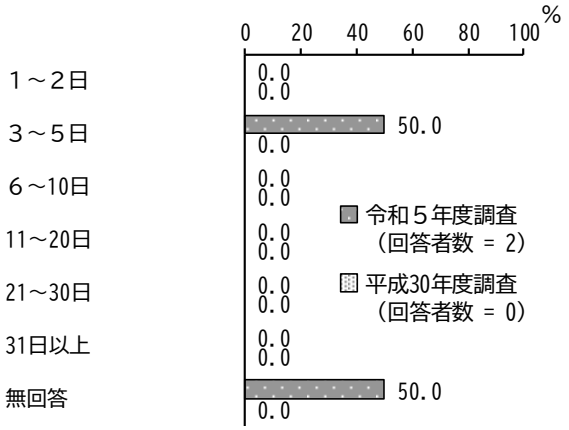
「３～５日」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「１～２日」の割合が 30.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「３～５日」の割合が増加しています。



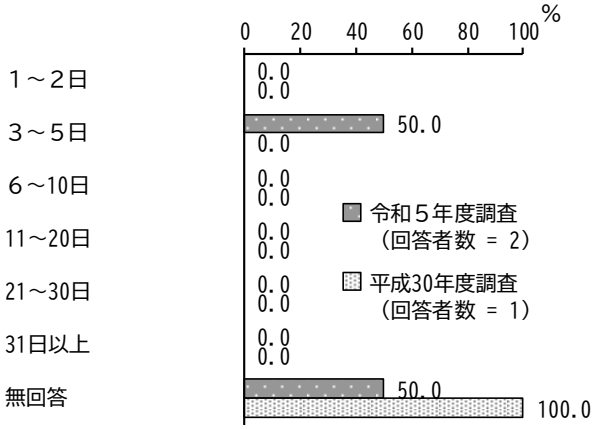
６．ベビーシッターを利用した

「３～５日」が１件となっています。



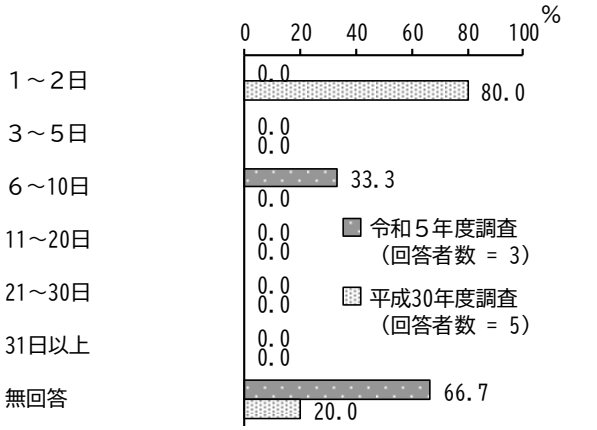
7．ファミリー・サポート・センターを利用した

「３～５日」が１件となっています。



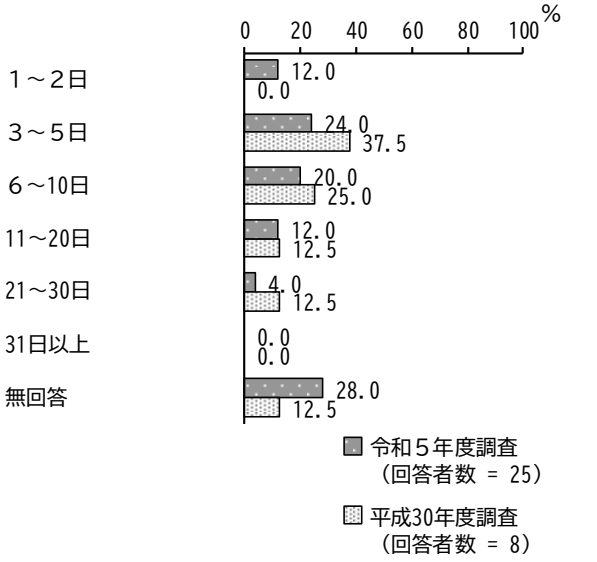
8．仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「６～10 日」が１件となっています。



9．その他

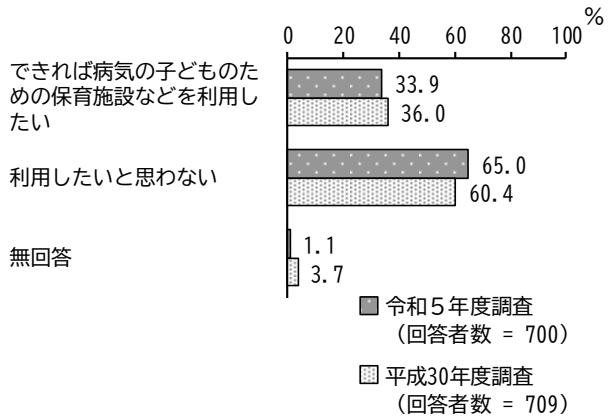
「３～５日」の割合が 24.0%と最も高く、次いで「６～10 日」の割合が 20.0%、「１～２日」、「11～20 日」の割合が 12.0%となっています。



問19－２　問19－１で「１.」「２.」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号１つに○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」の割合が 33.9%、「利用したいと思わない」の割合が 65.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、０歳で「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」の割合が高くなっています。

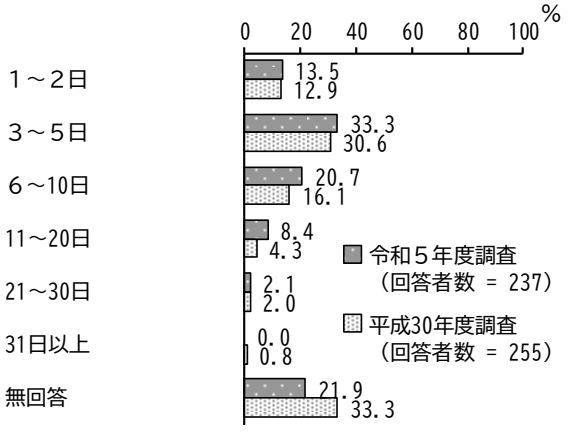
単位：%

区分	回答者数（件）	できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい	利用したいと思わない	無回答
全　体	700	33.9	65.0	1.1
０歳	34	50.0	50.0	－
１・２歳	231	37.7	61.5	0.9
３～５歳	409	30.3	68.5	1.2

病児・病後児保育施設の利用希望日数

「３～５日」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「６～10 日」の割合が 20.7%、「１～２日」の割合が 13.5%となっています。

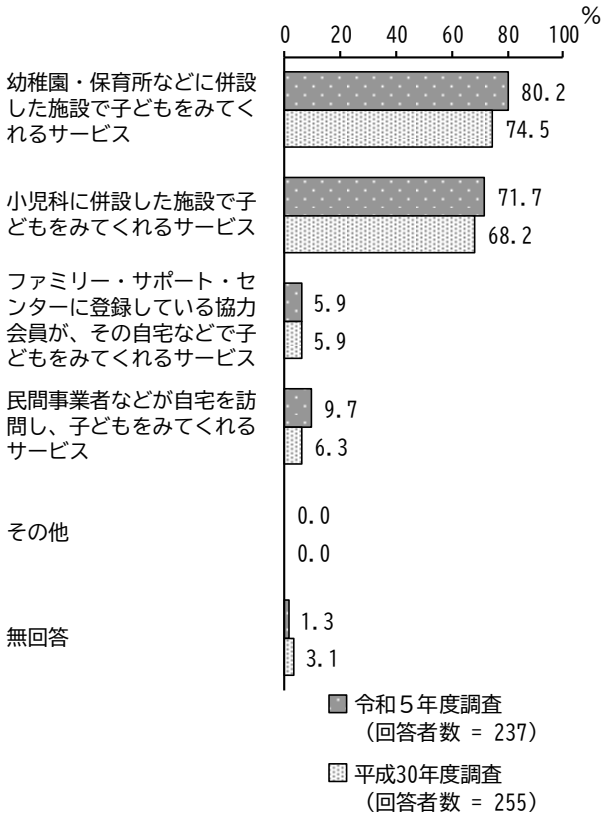
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 19－３　問 19－２で「１．できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」を選ばれた方におうかがいします。利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が 80.2%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が 71.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が増加しています。

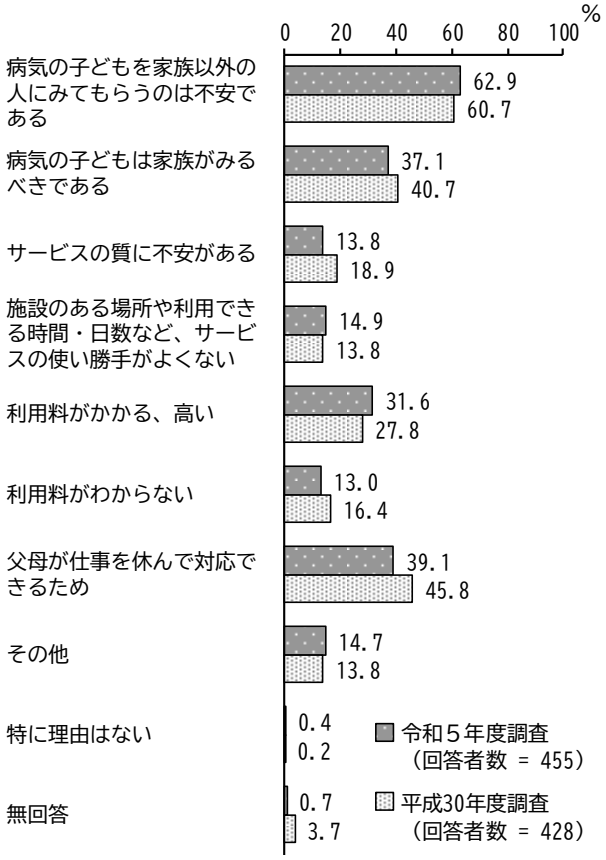


※前回調査では、「ファミリー・サポート・センターに登録している協力会員が、その自宅などで子どもをみてくれるサービス」の選択肢は「ファミリー・サポート・センターに登録している地域住民がその自宅などで子どもを預かるサービス」、「民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス」の選択肢は「ベビーシッターなどが利用者宅を訪問し、子どもを保育するサービス」となっていました。

問 19－４　問 19－２で「２．利用したいと思わない」を選ばれた方におうかがいします。その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「父母が仕事を休んで対応できるため」の割合が 39.1%、「病気の子どもは家族がみるべきである」の割合が 37.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「サービスの質に不安がある」、「父母が仕事を休んで対応できるため」の割合が減少しています。



【地区別】

地区別にみると、牛滝の谷地域で「施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である	病気の子どもは家族がみるべきである	サービスの質に不安がある	施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない	利用料がかかる、高い	利用料がわからない	父母が仕事を休んで対応できるため	その他	特に理由はない	無回答
全　体	455	62.9	37.1	13.8	14.9	31.6	13.0	39.1	14.7	0.4	0.7
都市中核地域	98	63.3	35.7	11.2	19.4	35.7	10.2	33.7	13.3	1.0	1.0
岸和田北部地域	66	71.2	40.9	15.2	15.2	28.8	15.2	37.9	22.7	－	－
葛城の谷地域	78	62.8	47.4	15.4	12.8	28.2	16.7	41.0	15.4	－	－
岸和田中部地域	66	60.6	39.4	16.7	10.6	31.8	7.6	45.5	15.2	－	－
久米田地域	69	53.6	34.8	8.7	7.2	27.5	11.6	37.7	15.9	－	2.9
牛滝の谷地域	44	56.8	20.5	13.6	27.3	40.9	20.5	38.6	6.8	2.3	－

【子どもの年齢別】

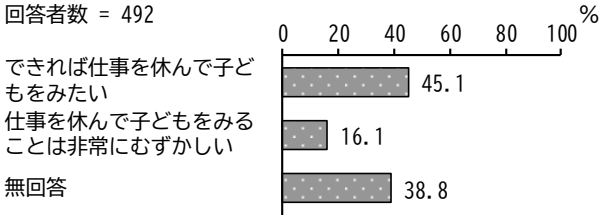
子どもの年齢別にみると、１・２歳で「父母が仕事を休んで対応できるため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である	病気の子どもは家族がみるべきである	サービスの質に不安がある	施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない	利用料がかかる、高い	利用料がわからない	父母が仕事を休んで対応できるため	その他	特に理由はない	無回答
全　体	455	62.9	37.1	13.8	14.9	31.6	13.0	39.1	14.7	0.4	0.7
０歳	17	58.8	17.6	5.9	17.6	35.3	－	35.3	17.6	－	－
１・２歳	142	65.5	36.6	13.4	12.0	26.8	12.7	47.9	9.2	－	0.7
３～５歳	280	61.8	38.6	14.3	16.8	34.3	13.6	35.0	17.9	0.7	0.7

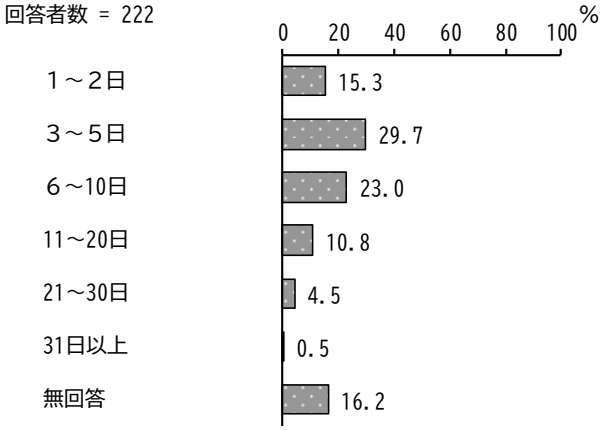
問19－５　問19－１で「３.」から「９.」を選ばれた、仕事を休まずに対応された方におうかがいします。「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい。」と思われましたか。あてはまる番号１つに○をつけ、選ばれた「３.」から「９.」でご記入された日数のうち、仕事を休んでお子さんの看病をしたいと思われた日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。

「できれば仕事を休んで子どもをみたい」の割合が45.1%、「仕事を休んで子どもをみることは非常にむずかしい」の割合が16.1%となっています。



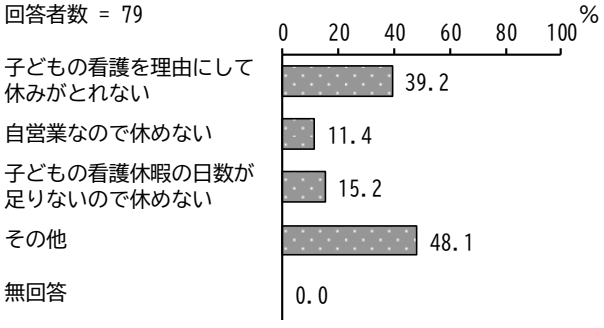
できれば仕事を休んで子どもをみたい日数

「３～５日」の割合が29.7%と最も高く、次いで「６～10日」の割合が23.0%、「１～２日」の割合が15.3%となっています。



問19－６　問19－５で「２.」を選ばれた、仕事を休まないで対応される方におうかがいします。そう思われる理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由にして休みがとれない」の割合が39.2%と最も高く、次いで「子どもの看護休暇の日数が足りないので休めない」の割合が15.2%、「自営業なので休めない」の割合が11.4%となっています。

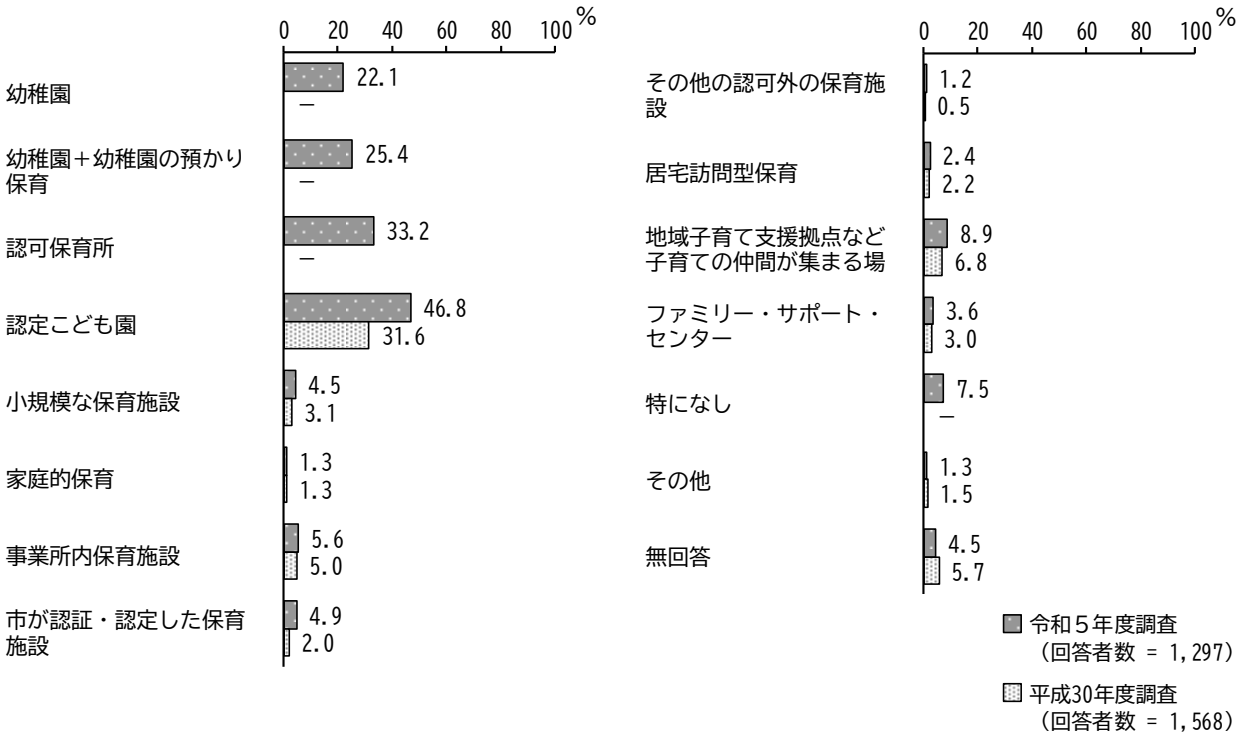


（４）平日（月曜日から金曜日）に、封筒のあて名のお子さんに定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについて

問 20　幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）に封筒のあて名のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するためには、一定の利用料を支払う必要があります。

「認定こども園」の割合が 46.8%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が 33.2%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」の割合が 25.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。



※前回調査では、「幼稚園」、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」、「認可保育所」は公立と民間に分けて聞いていたため比較できませんでした。
※前回調査では、「市が認証・認定した保育施設（認可外だが、市が定める基準を満たした施設）」の選択肢は「市役所が認証・認定した保育施設（認可外だが、市役所が定める基準を満たした施設）」となっていました。
※前回調査では、「特になし」の選択肢はありませんでした。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、０歳で「認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
全　体	1,297	22.1	25.4	33.2	46.8	4.5	1.3	5.6
０歳	216	17.6	19.4	43.1	57.4	10.2	1.9	7.9
１・２歳	408	23.0	27.0	37.7	51.5	5.9	1.5	5.6
３～５歳	609	23.0	26.6	28.2	40.9	1.3	1.0	4.6

区分	市が認証・認定した保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場	ファミリー・サポート・センター	特になし	その他	無回答
全　体	4.9	1.2	2.4	8.9	3.6	7.5	1.3	4.5
０歳	10.6	2.8	2.8	16.2	8.8	5.1	1.4	5.1
１・２歳	5.4	1.5	2.9	9.8	3.7	6.9	1.2	4.7
３～５歳	2.5	0.3	2.1	5.4	1.6	8.5	1.5	3.6

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、働いていない（学生含む）で「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」の割合が高くなっています。

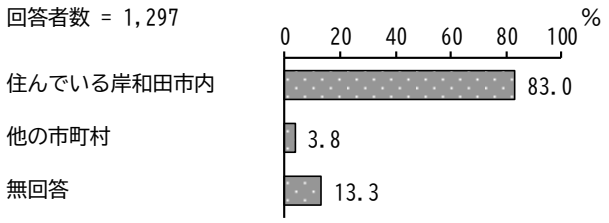
単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
全　体	1,297	22.1	25.4	33.2	46.8	4.5	1.3	5.6
フルタイム（休業中含む）	575	6.8	17.7	42.8	54.8	4.3	1.9	6.3
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	423	20.3	30.5	33.6	47.3	2.8	0.5	5.2
働いていない（学生含む）	293	54.6	33.1	14.3	30.7	7.2	1.4	4.8

区分	市が認証・認定した保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場	ファミリー・サポート・センター	特になし	その他	無回答
全　体	4.9	1.2	2.4	8.9	3.6	7.5	1.3	4.5
フルタイム（休業中含む）	4.7	1.4	2.3	9.2	4.7	8.2	1.2	3.3
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	4.3	0.9	3.3	5.4	2.6	6.9	1.4	4.3
働いていない（学生含む）	6.5	1.0	1.4	13.3	3.1	7.2	1.4	7.5

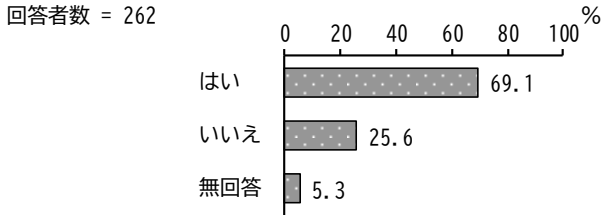
問 20－１　利用を希望している施設やサービスはどこにありますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。「２.」を選択された方は、その市町村名についても枠内に記入してください。

「住んでいる岸和田市内」の割合が 83.0%、「他の市町村」の割合が 3.8%となっています。



問 20－２　問 20 で「１．幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「２．幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている）」に○をつけ、かつ３～12 にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

「はい」の割合が 69.1%、「いいえ」の割合が 25.6%となっています。



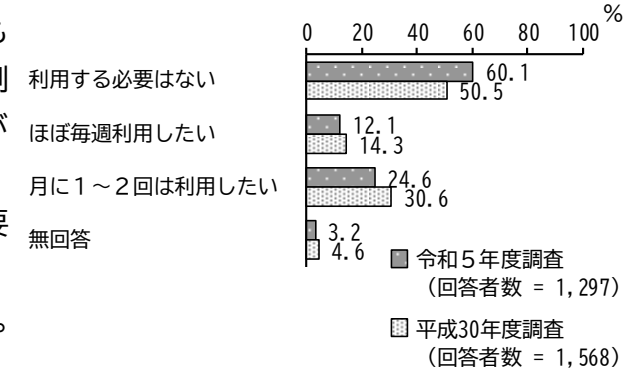
（５）封筒のあて名のお子さんについて、幼稚園や保育所、認定こども園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望について

問 21　封筒のあて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所、認定こども園などの利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号１つに○をつけてください。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

（１）土曜日

「利用する必要はない」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が 24.6%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が 12.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「月に１～２回は利用したい」の割合が減少しています。



※前回調査では、「月に１～２回は利用したい」の選択肢は「たまに利用したい」となっていました。

【地区別】

地区別にみると、葛城の谷地域で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

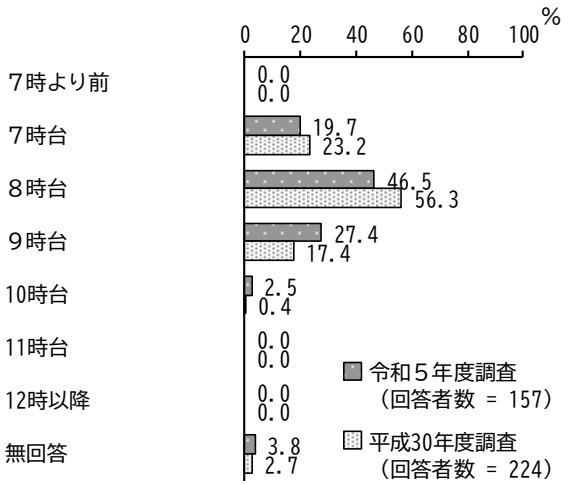
単位：%

区分	回答者数（件）	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に１～２回は利用したい	無回答
全　体	1,297	60.1	12.1	24.6	3.2
都市中核地域	310	59.0	15.5	22.3	3.2
岸和田北部地域	189	60.3	11.6	24.3	3.7
葛城の谷地域	203	65.5	8.9	22.7	3.0
岸和田中部地域	174	64.4	7.5	25.9	2.3
久米田地域	196	57.1	10.2	28.6	4.1
牛滝の谷地域	133	57.9	17.3	21.1	3.8

“ほぼ毎週利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 27.4%、「７時台」の割合が 19.7%となっています。

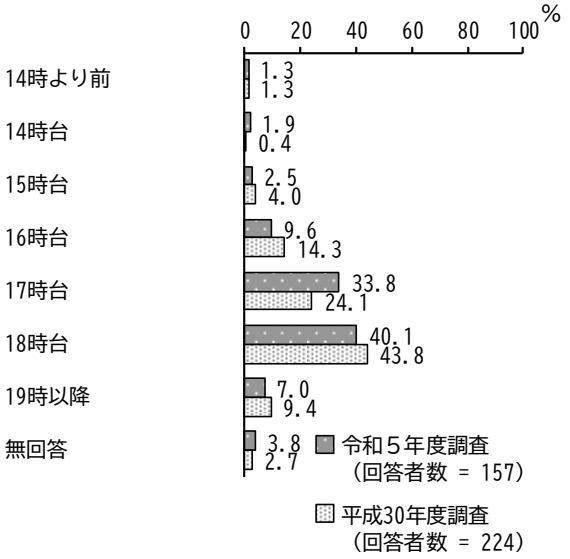
平成 30 年度調査と比較すると、「９時台」の割合が増加しています。一方、「８時台」の割合が減少しています。



“ほぼ毎週利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「18 時台」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 33.8%となっています。

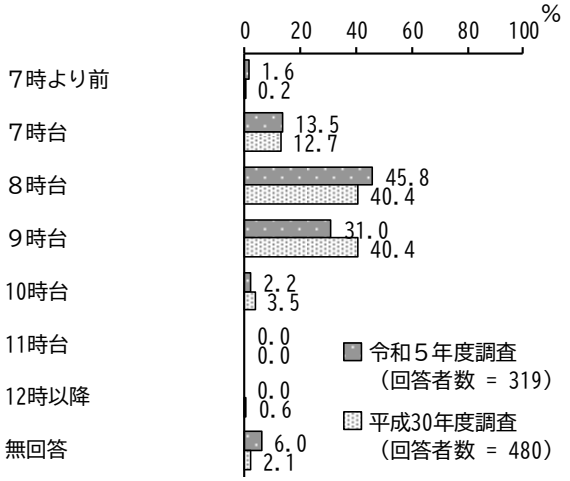
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が増加しています。



“月に１～２回は利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 31.0%、「７時台」の割合が 13.5%となっています。

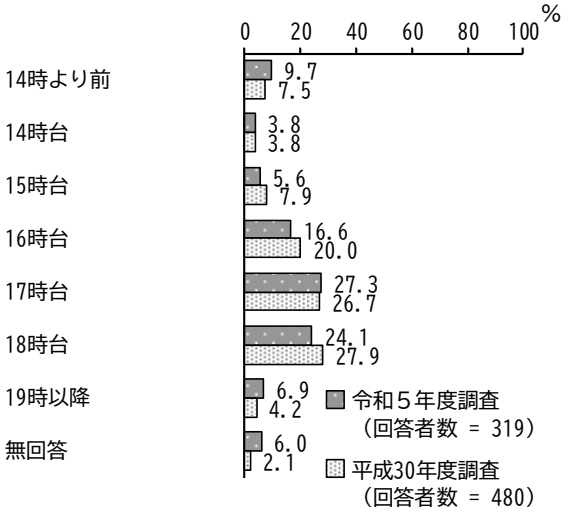
平成 30 年度調査と比較すると、「８時台」の割合が増加しています。一方、「９時台」の割合が減少しています。



“月に１～２回は利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「17 時台」の割合が 27.3%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 24.1%、「16 時台」の割合が 16.6%となっています。

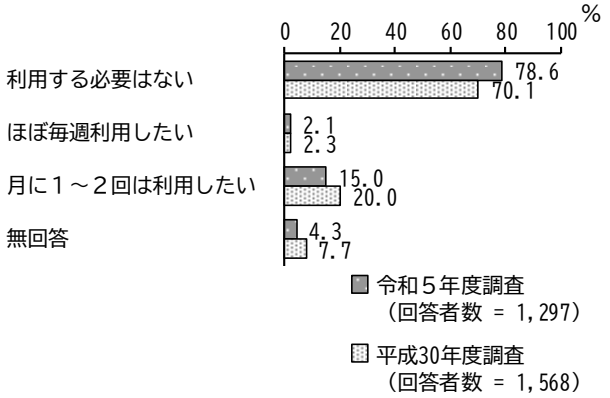
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



（２）日曜日・祝日

「利用する必要はない」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が 15.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。



※前回調査では、「月に１～２回は利用したい」の選択肢は「たまに利用したい」となっていました。

【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。

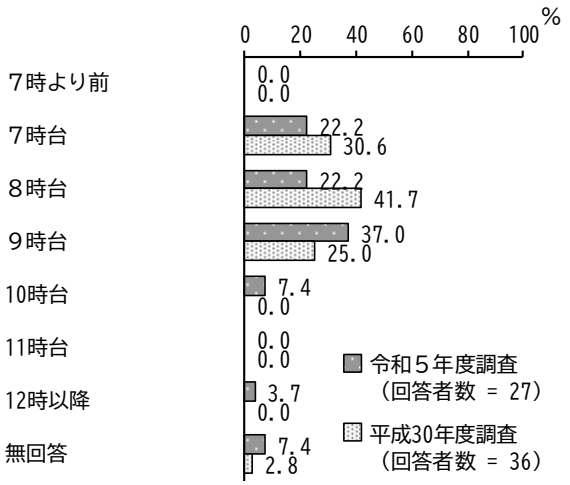
単位：%

区分	回答者数（件）	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に１～２回は利用したい	無回答
全　体	1,297	78.6	2.1	15.0	4.3
都市中核地域	310	78.1	1.9	16.5	3.5
岸和田北部地域	189	78.8	1.1	14.8	5.3
葛城の谷地域	203	81.8	2.5	10.8	4.9
岸和田中部地域	174	81.0	0.6	14.9	3.4
久米田地域	196	77.0	0.5	16.8	5.6
牛滝の谷地域	133	76.7	6.0	13.5	3.8

“ほぼ毎週利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「９時台」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「７時台」、「８時台」の割合が 22.2%となっています。

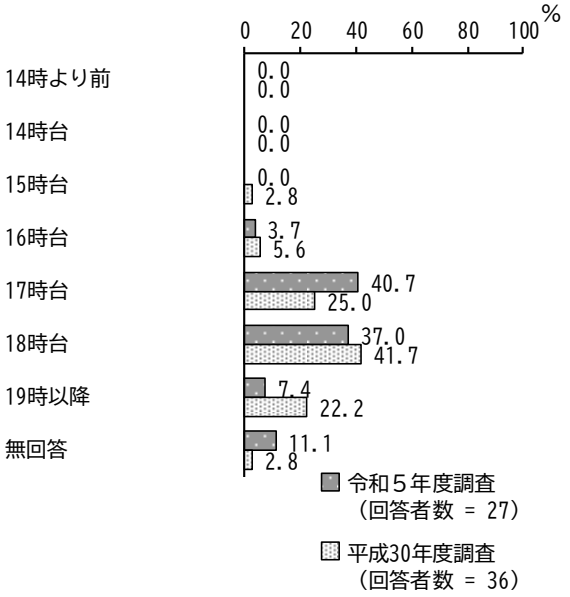
平成 30 年度調査と比較すると、「９時台」、「10 時台」の割合が増加しています。一方、「７時台」、「８時台」の割合が減少しています。



“ほぼ毎週利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「17 時台」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 37.0%となっています。

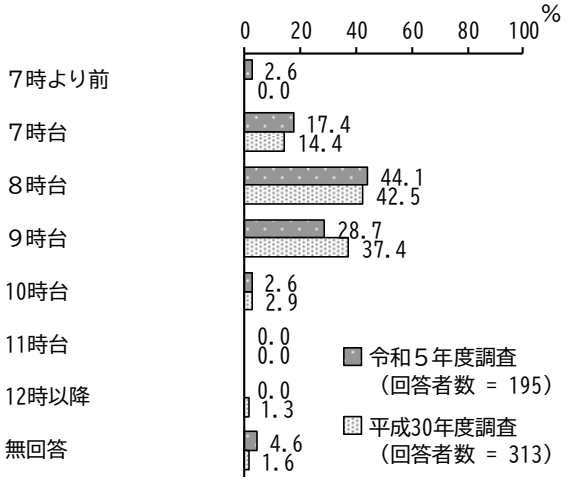
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が増加しています。一方、「19 時以降」の割合が減少しています。



“月に１～２回は利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 28.7%、「７時台」の割合が 17.4%となっています。

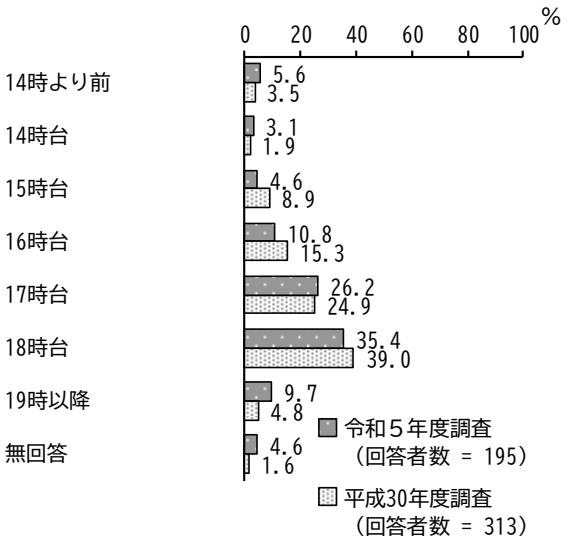
平成 30 年度調査と比較すると、「９時台」の割合が減少しています。



“月に１～２回は利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

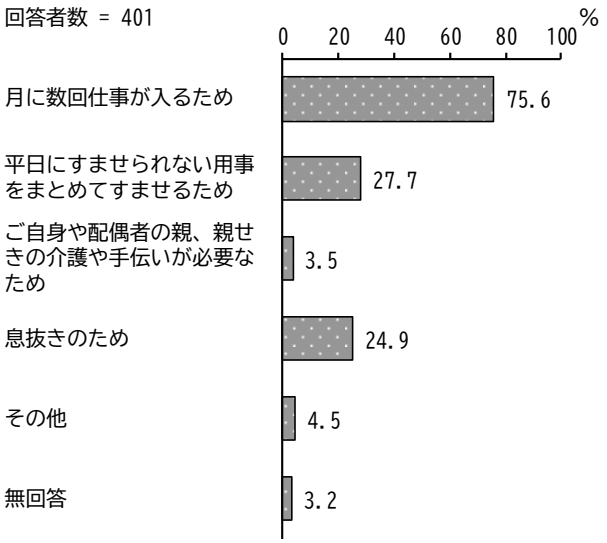
「18 時台」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 26.2%、「16 時台」の割合が 10.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 21－１　問 21 の（１）または（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

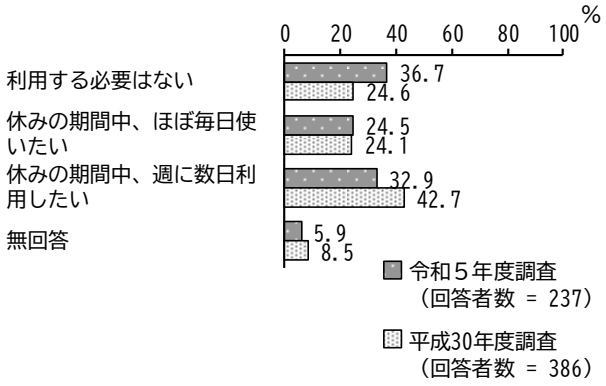
「月に数回仕事が入るため」の割合が 75.6%と最も高く、次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」の割合が 27.7%、「息抜きのため」の割合が 24.9%となっています。



問 22　封筒のあて名のお子さんが「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。
夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。あてはまる番号に○をつけてください。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように 24 時間制で記入してください。なお、これらの施設などを利用するためには、一定の利用料が必要です。

「利用する必要はない」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 32.9%、「休みの期間中、ほぼ毎日使いたい」の割合が 24.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が減少しています。



※前回調査では、「休みの期間中、ほぼ毎日使いたい」の選択肢は「ほぼ毎日利用したい」、「休みの期間中、週に数日利用したい」の選択肢は「たまに利用したい」となっていました。

【地区別】

地区別にみると、岸和田北部地域で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

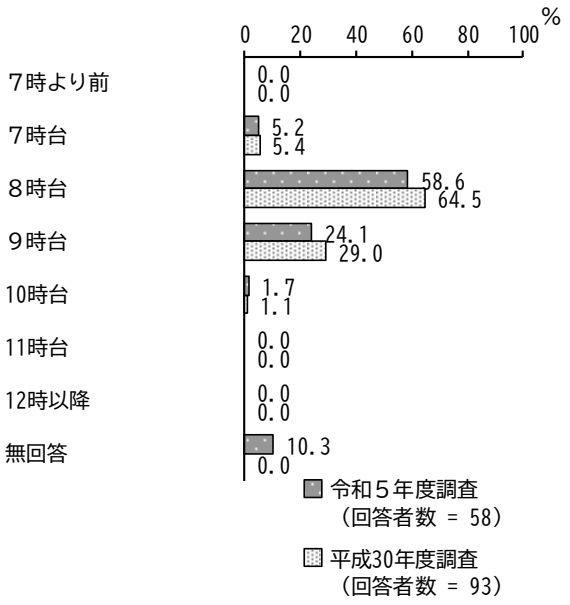
単位：%

区分	回答者数（件）	利用する必要はない	休みの期間中、ほぼ毎日使いたい	休みの期間中、週に数日利用したい	無回答
全　体	237	36.7	24.5	32.9	5.9
都市中核地域	63	30.2	27.0	38.1	4.8
岸和田北部地域	16	50.0	31.3	12.5	6.3
葛城の谷地域	51	39.2	23.5	31.4	5.9
岸和田中部地域	29	27.6	20.7	44.8	6.9
久米田地域	40	45.0	17.5	35.0	2.5
牛滝の谷地域	23	39.1	26.1	26.1	8.7

“ほぼ毎日使いたい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 24.1%となっています。

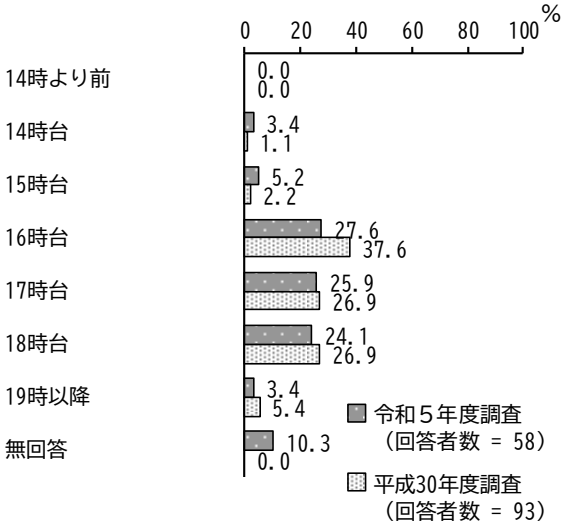
平成 30 年度調査と比較すると、「８時台」の割合が減少しています。



“ほぼ毎日使いたい”と回答した人の利用希望終了時刻

「16 時台」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 25.9%、「18 時台」の割合が 24.1%となっています。

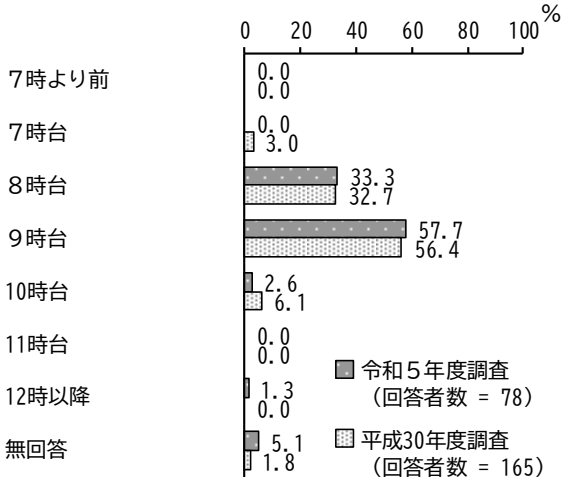
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が減少しています。



“週に数日利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「９時台」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「８時台」の割合が 33.3%となっています。

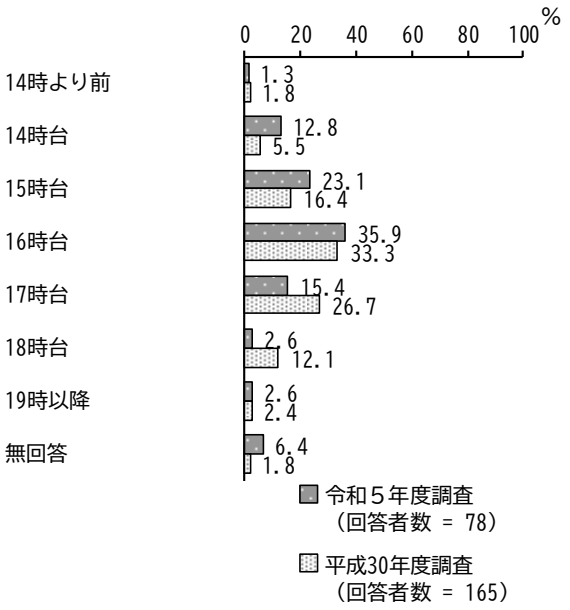
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



“週に数日利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

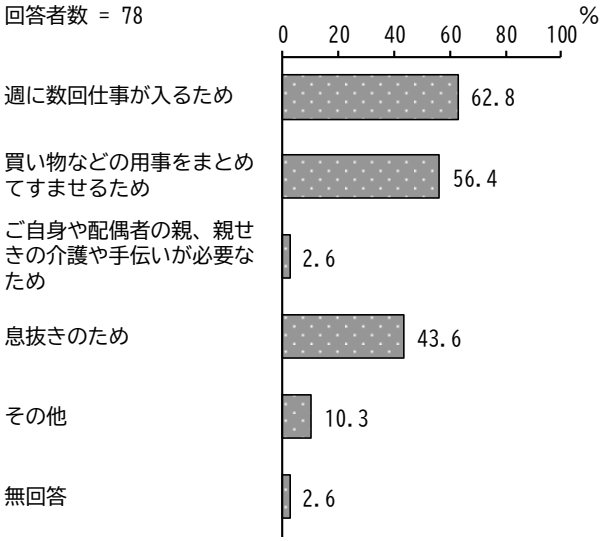
「16 時台」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「15 時台」の割合が 23.1%、「17 時台」の割合が 15.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「14 時台」、「15 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」、「18 時台」の割合が減少しています。



問 22－1　問 22 で「３．休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「週に数回仕事が入るため」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「買い物などの用事をまとめてすませるため」の割合が 56.4%、「息抜きのため」の割合が 43.6%となっています。



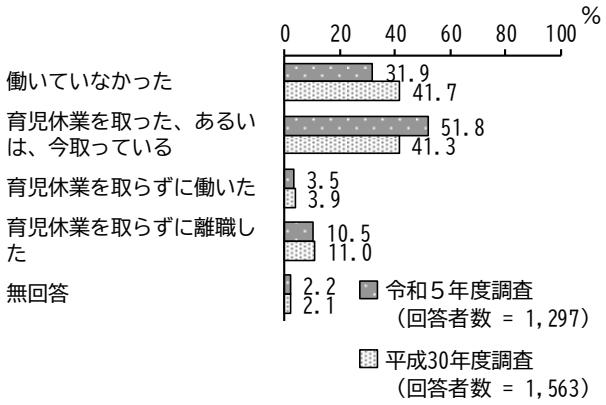
（６）育児休業など、仕事と子育ての両立について

問 23　封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。父親について、「２.」を選ばれた場合は、育児休暇を取得された、あるいは、取得予定の日数について枠内に数字を入れてください。
また、「３.」「４.」選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

（１）母親

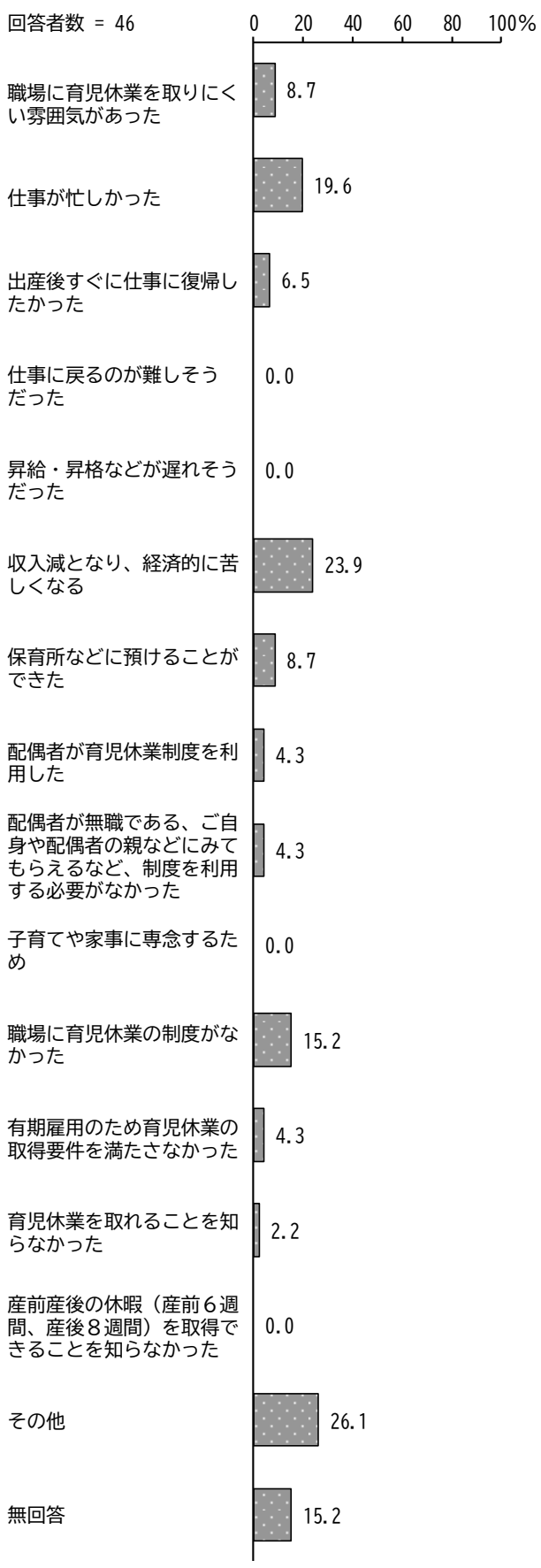
「育児休業を取った、あるいは、今取っている」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が 31.9%、「育児休業を取らずに離職した」の割合が 10.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



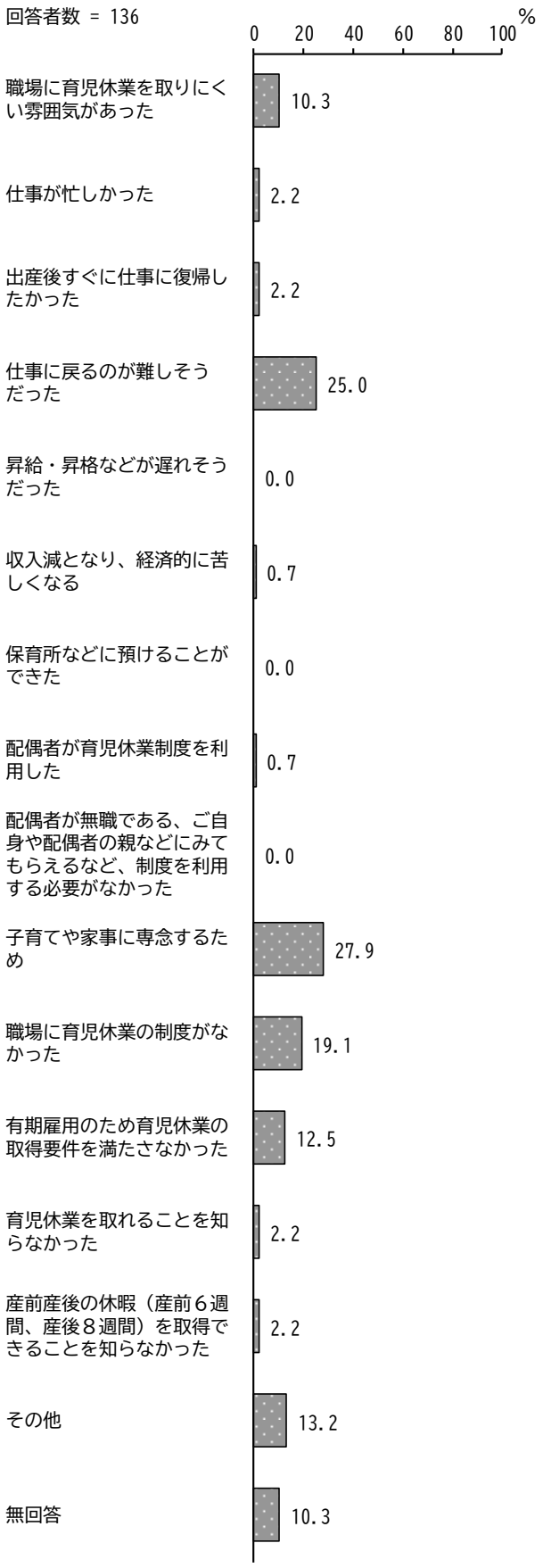
育児休業を取らずに働いた　その理由

「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が 23.9%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が 19.6%、「職場に育児休業の制度がなかった」の割合が 15.2%となっています。



育児休業を取らずに離職した　その理由

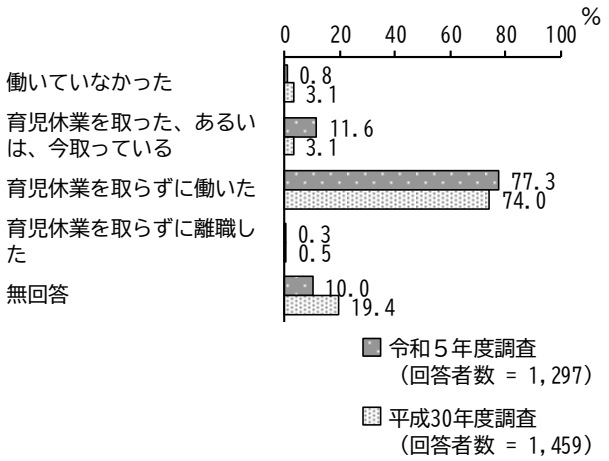
「子育てや家事に専念するため」の割合が27.9%と最も高く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」の割合が25.0%、「職場に育児休業の制度がなかった」の割合が19.1%となっています。



（2）父親

「育児休業を取らずに働いた」の割合が 77.3%と最も高く、次いで「育児休業を取った、あるいは、今取っている」の割合が 11.6%となっています。

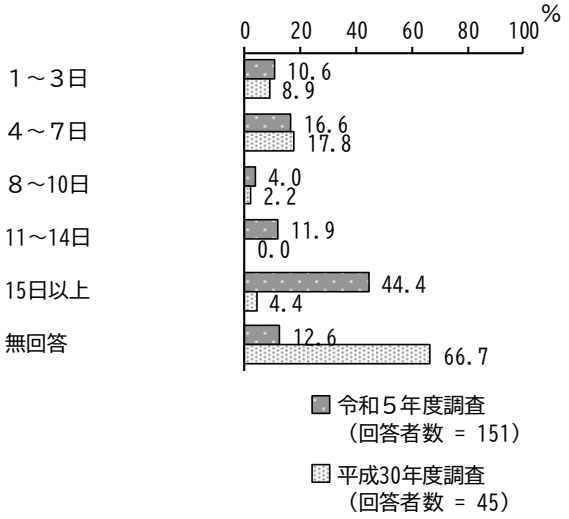
平成 30 年度調査と比較すると、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」の割合が増加しています。



育児休業を取った、あるいは、今取っている日数

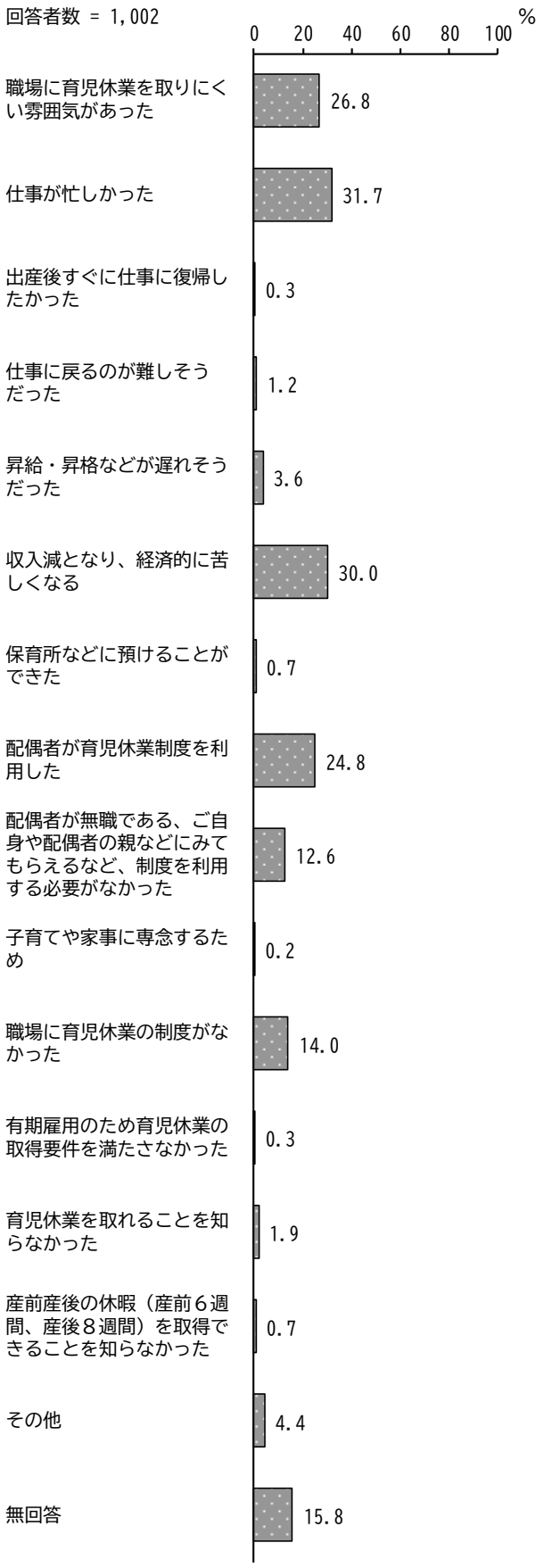
「15 日以上」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「４～７日」の割合が 16.6%、「11～14 日」の割合が 11.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「11～14 日」、「15 日以上」の割合が増加しています。



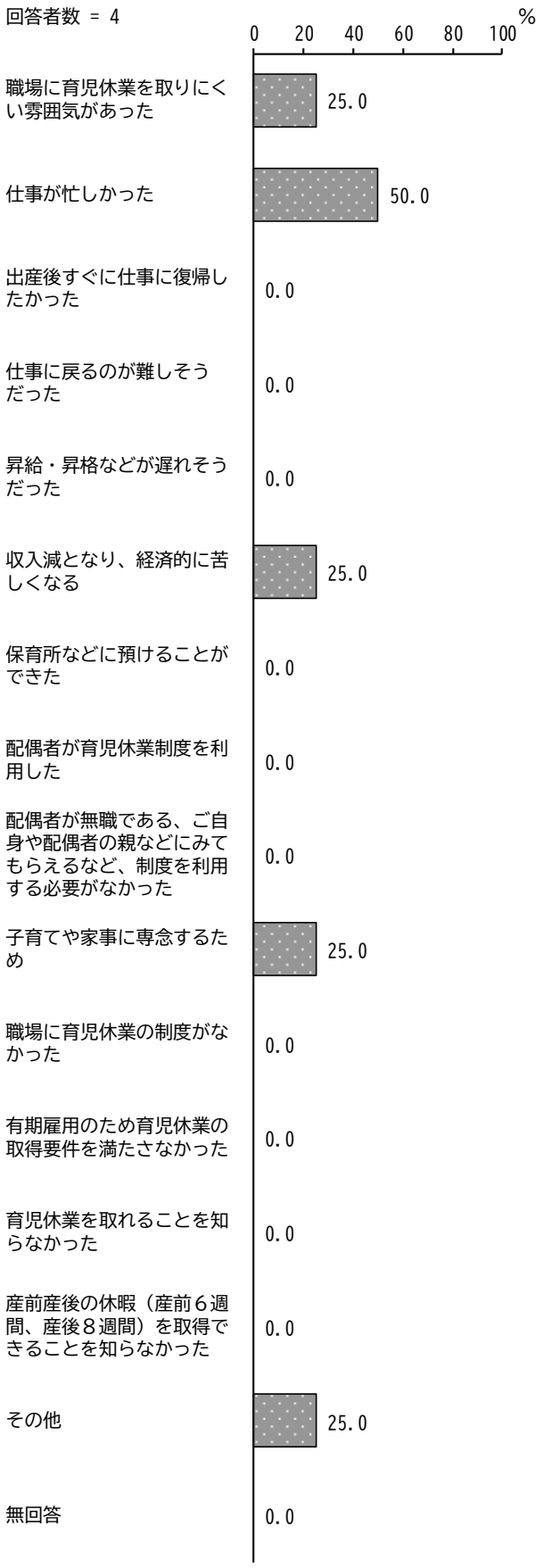
育児休業を取らずに働いた　その理由

「仕事が忙しかった」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が 30.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 26.8%となっています。



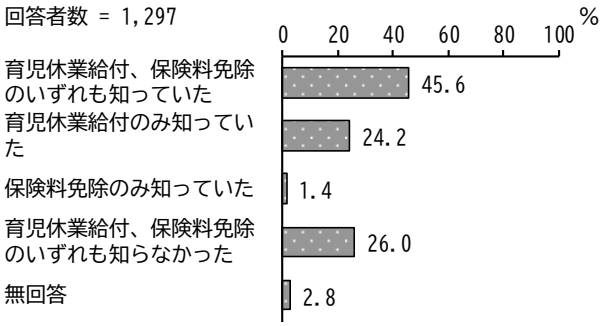
育児休業を取らずに離職した　その理由

「仕事が忙しかった」が２件となっています。「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「子育てや家事に専念するため」が１件となっています。



問 23－１　子どもが１歳（一定の要件を満たす場合は１歳６ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが３歳になるまでの育児休業などの期間について健康保険や厚生年金の保険料が免除になる仕組みがありますが、知っていましたか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が 26.0%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が 24.2%となっています。

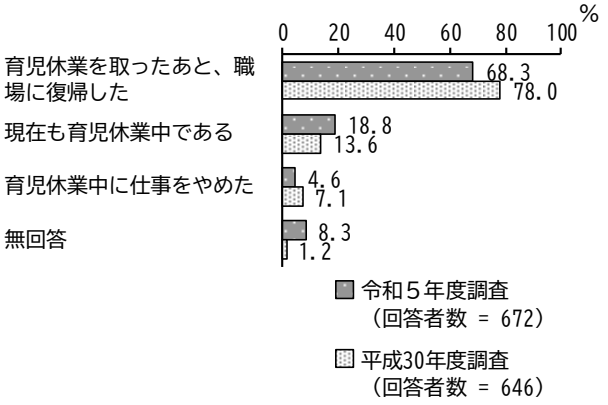


問 23－２　問 23 の（１）、（２）とも、または、どちらかで「２.」を選ばれた、育児休業を取られた方におうかがいします。育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号１つを選び、その番号を記入してください。（問 23 で、片方が「２.」を選び、もう片方が「２.」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

（１）母親

「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 18.8%となっています。

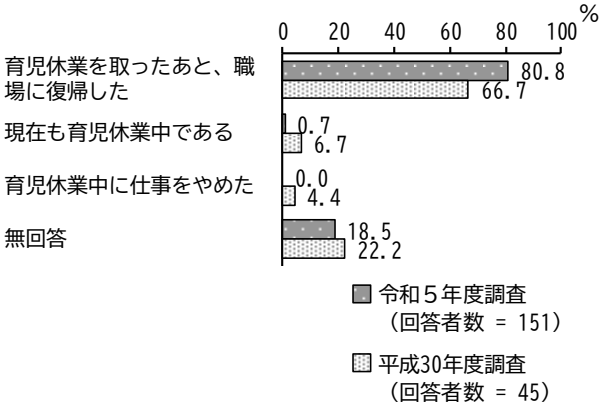
平成 30 年度調査と比較すると、「現在も育児休業中である」の割合が増加しています。一方、「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」の割合が減少しています。



（２）父親

「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」の割合が 80.8%と最も高くなっています。

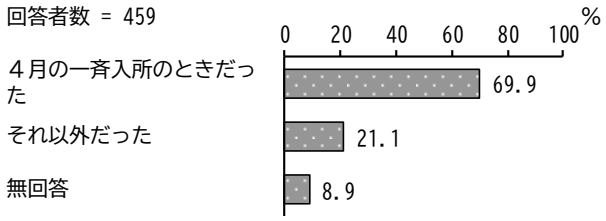
平成 30 年度調査と比較すると、「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」の割合が増加しています。一方、「現在も育児休業中である」の割合が減少しています。



問 23－３　問 23－２の（１）、（２）とも、または、どちらかで「１.」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。育児休業から職場に復帰されたのは、４月の保育所の一斉入所のときでしたか。あるいはそれ以外のときでしたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号１つを選び、その番号を記入してください。４月からの保育所入所の申し込みをしたうえで、１月～２月ごろに職場に復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合は「１.」を選択してください。また、この場合で、実際には保育所に入れなかったという場合も「１.」を選択してください。（問 23－２で、片方が「１.」を選び、もう片方が「１.」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

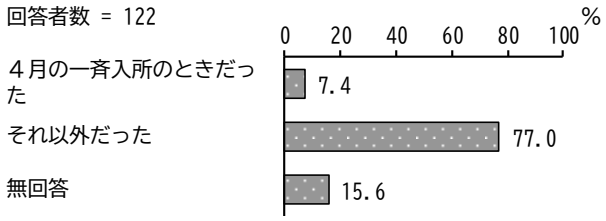
（１）母親

「４月の一斉入所のときだった」の割合が 69.9%、「それ以外だった」の割合が 21.1%となっています。



（２）父親

「４月の一斉入所のときだった」の割合が 7.4%、「それ以外だった」の割合が 77.0%となっています。



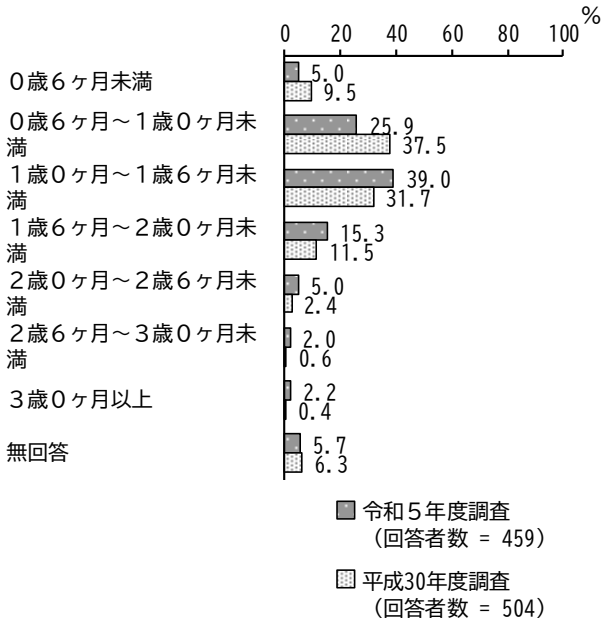
問 23－４　問 23－２の（１）、（２）とも、または、どちらかで「１.」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのことになりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号１つに○をつけてください。（問２３－２で、片方が「１.」を選び、もう片方が「１.」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

（１）母親

実際の取得期間

「１歳０ヶ月～１歳６ヶ月未満」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「０歳６ヶ月～１歳０ヶ月未満」の割合が 25.9%、「１歳６ヶ月～２歳０ヶ月未満」の割合が 15.3%となっています。

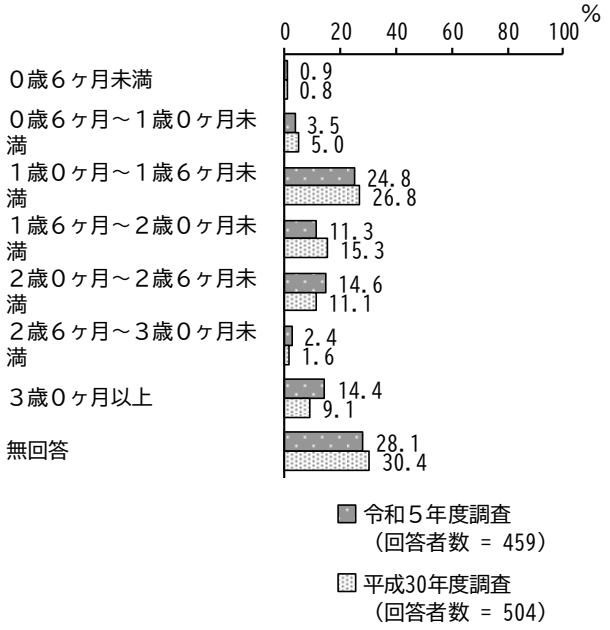
平成 30 年度調査と比較すると、「１歳０ヶ月～１歳６ヶ月未満」の割合が増加しています。一方、「０歳６ヶ月～１歳０ヶ月未満」の割合が減少しています。



希望の取得期間

「１歳０ヶ月～１歳６ヶ月未満」の割合が 24.8%と最も高く、次いで「２歳０ヶ月～２歳６ヶ月未満」の割合が 14.6%、「３歳０ヶ月以上」の割合が 14.4%となっています。

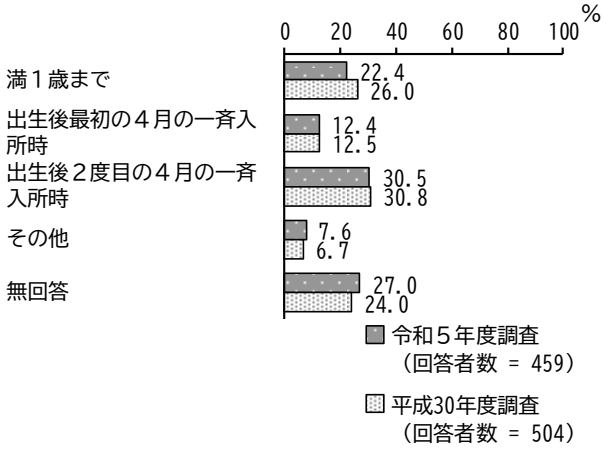
平成 30 年度調査と比較すると、「３歳０ヶ月以上」の割合が増加しています。



職場復帰のタイミング

「出生後２度目の４月の一斉入所時」の割合が30.5%と最も高く、次いで「満１歳まで」の割合が22.4%、「出生後最初の４月の一斉入所時」の割合が12.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

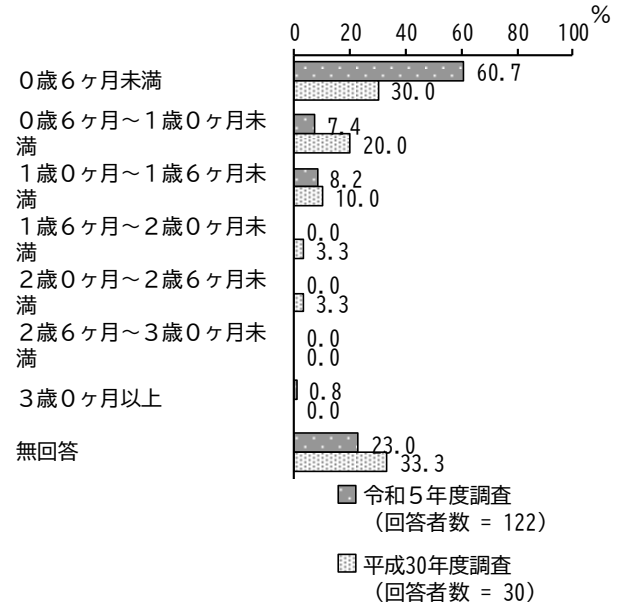


（２）父親

実際の取得期間

「０歳６ヶ月未満」の割合が60.7%と最も高くなっています。

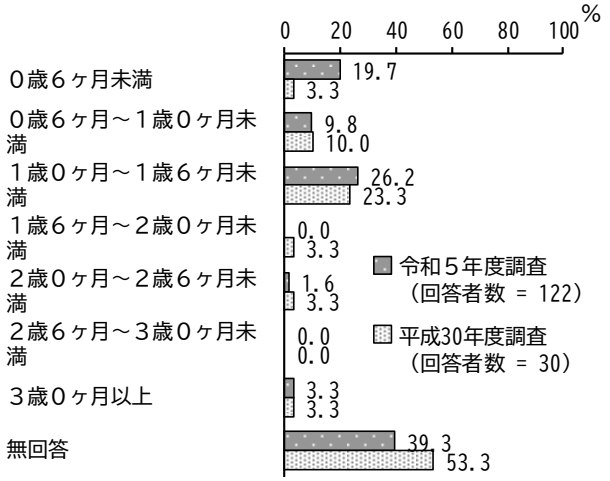
平成30年度調査と比較すると、「０歳６ヶ月未満」の割合が増加しています。一方、「０歳６ヶ月～１歳０ヶ月未満」の割合が減少しています。



希望の取得期間

「１歳０ヶ月～１歳６ヶ月未満」の割合が26.2%と最も高く、次いで「０歳６ヶ月未満」の割合が19.7%となっています。

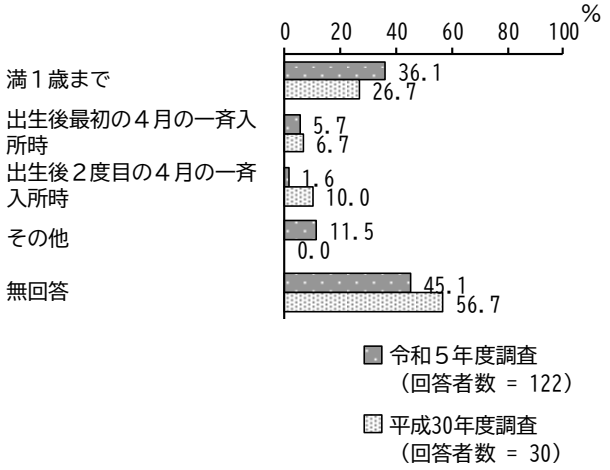
平成30年度調査と比較すると、「０歳６ヶ月未満」の割合が増加しています。



職場復帰のタイミング

「満１歳まで」の割合が 36.1%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「満１歳まで」の割合が増加しています。一方、「出生後２度目の４月の一斉入所時」の割合が減少しています。

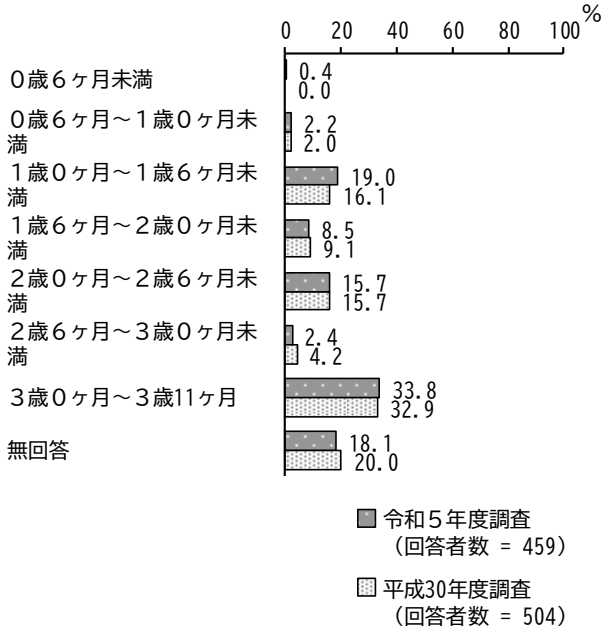


問 23－５　問 23－２の（１）、（２）とも、または、どちらかで「１.」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。職場に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れてください。（問 23－２で、片方が「１.」を選び、もう片方が「１.」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

（１）母親

「３歳０ヶ月～３歳 11 ヶ月」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「１歳０ヶ月～１歳６ヶ月未満」の割合が 19.0%、「２歳０ヶ月～２歳６ヶ月未満」の割合が 15.7%となっています。

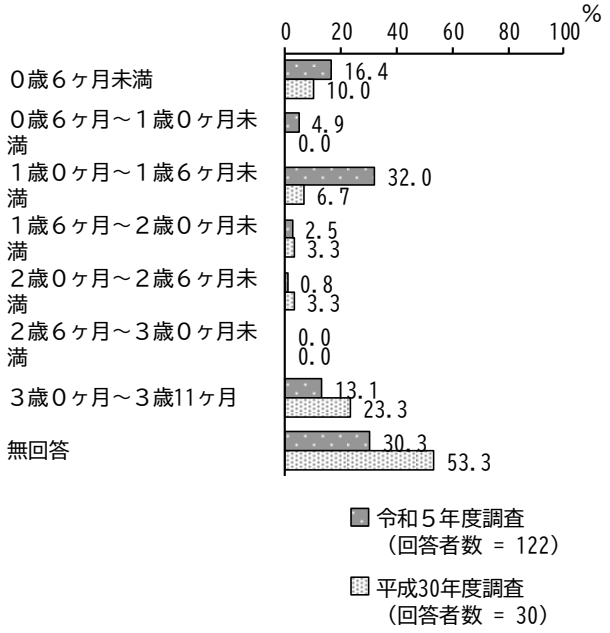
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



（２）父親

「１歳０ヶ月～１歳６ヶ月未満」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「０歳６ヶ月未満」の割合が 16.4%、「３歳０ヶ月～３歳 11 ヶ月」の割合が 13.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「０歳６ヶ月未満」「１歳０ヶ月～１歳６ヶ月未満」の割合が増加しています。一方、「３歳０ヶ月～３歳 11 ヶ月」の割合が減少しています。

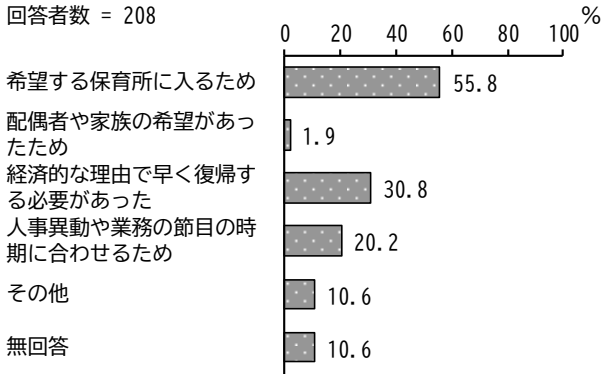


問 23－６　問 23－４で実際の復帰と希望が異なる方におうかがいします。希望の時期に職場復帰しなかった理由について、枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。（問 23－４で、片方が実際の復帰と希望が異なり、もう片方が実際の復帰と希望が同じの場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

（１）「希望」より早く復帰した方

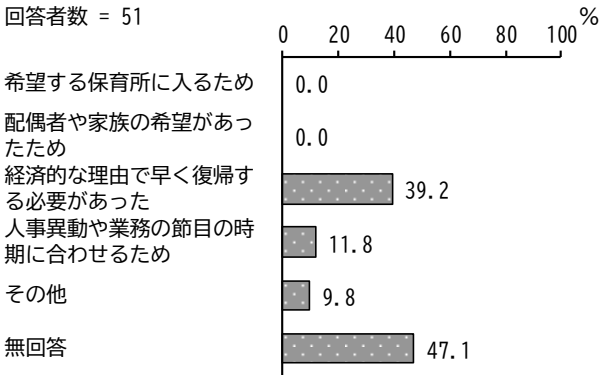
ア．母親

「希望する保育所に入るため」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 30.8%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 20.2%となっています。



イ．父親

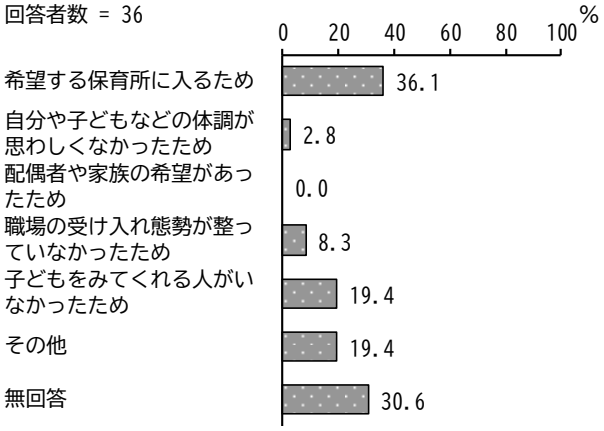
「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 11.8%となっています。



（2）「希望」より遅く復帰した方

ア．母親

「希望する保育所に入るため」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が 19.4%となっています。



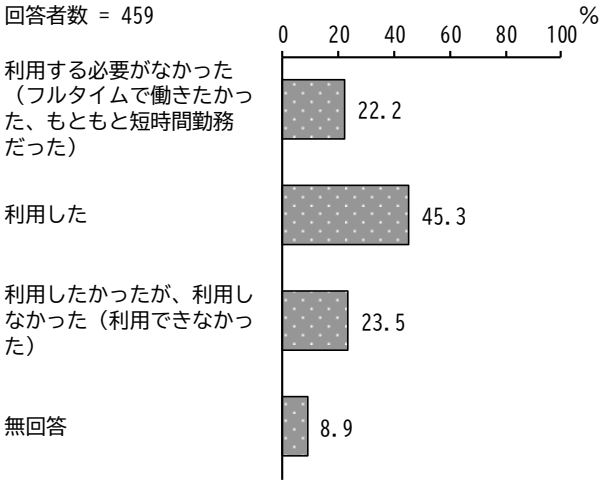
イ．父親

有効回答がありませんでした。

問 23－７　問 23－２の（１）、（２）とも、または、どちらかで「１.」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。育児休業を終え、職場復帰するときに、短時間勤務制度を利用しましたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号１つを選び、その番号を記入してください。(問 23－２で、片方が「１.」を選び、もう片方が「１.」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。)

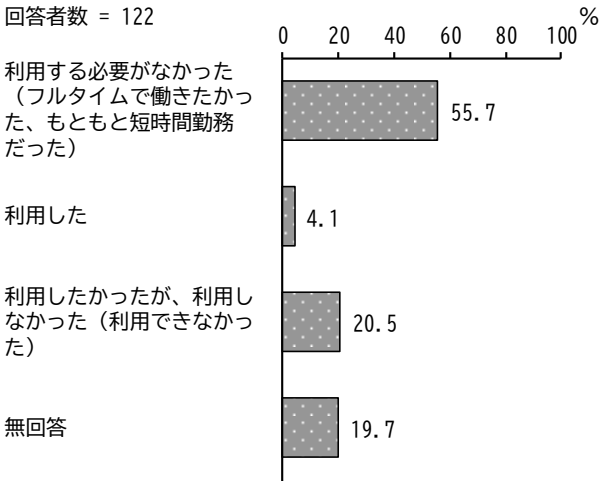
（１）母親

「利用した」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった)」の割合が 23.5%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が 22.2%となっています。



（２）父親

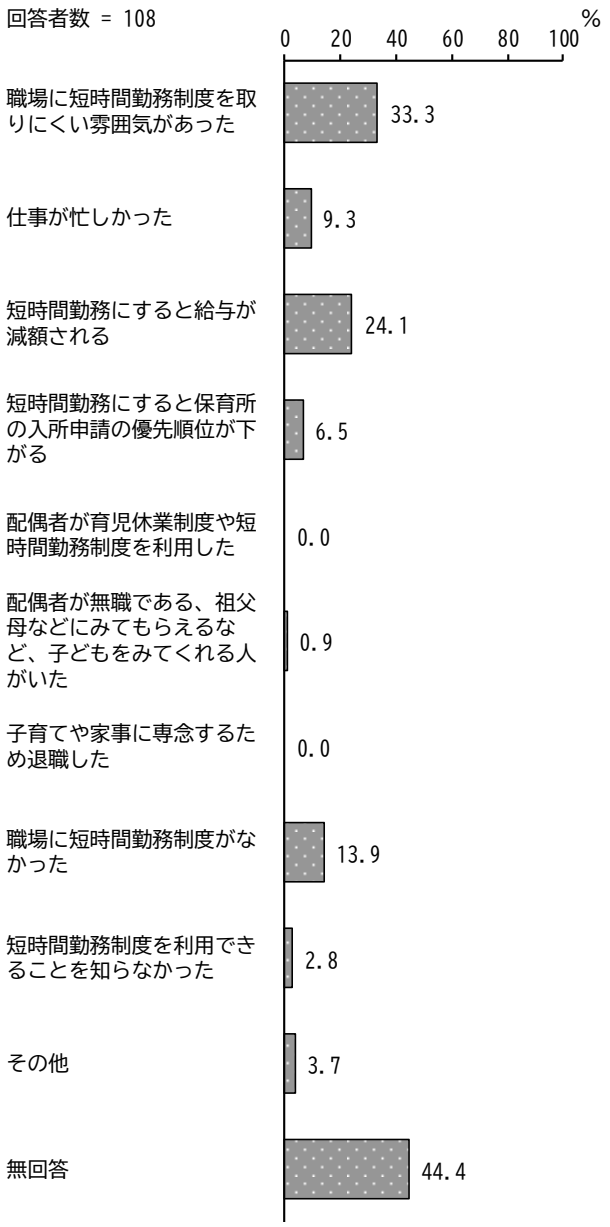
「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった)」の割合が 20.5%となっています。



問 23－８　問 23－７の（１）、（２）とも、または、どちらかで「３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選ばれた方におうかがいします。利用しなかった理由について、枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。（問 23－７で、片方が「２．」を選び、もう片方が「２．」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

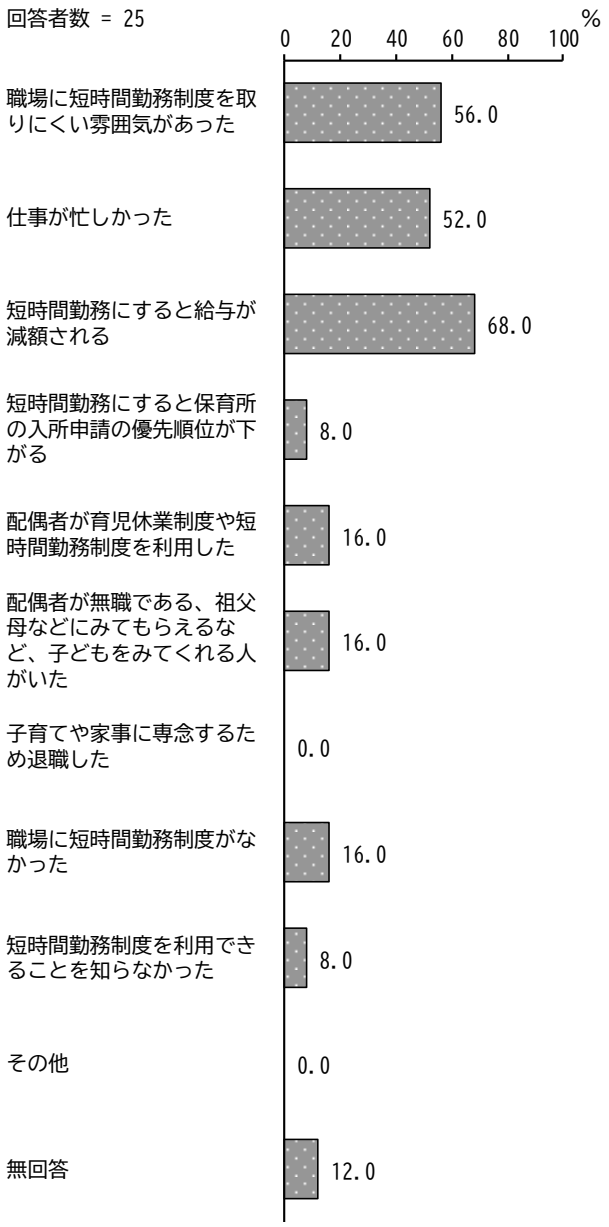
（１）母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 24.1%、「職場に短時間勤務制度がなかった」の割合が 13.9%となっています。



（2）父親

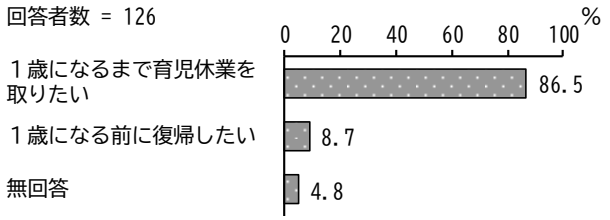
「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 56.0%、「仕事が忙しかった」の割合が 52.0%となっています。



問 23－９　問 23－２の（１）、（２）とも、または、どちらかで「２．現在も育児休業中である」を選ばれた方におうかがいします。封筒のあて名のお子さんが１歳になったときに必ず保育所などに預けることができれば、１歳になるまで育児休業を取りますか。または、保育所などに預けられたとしても１歳になる前に復帰しますか。あてはまる答えの番号１つに○をつけてください。（問 23－２で、片方が「２.」を選び、もう片方が「２.」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

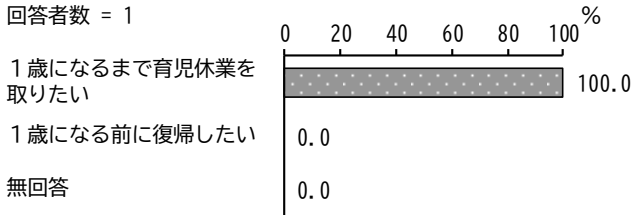
（１）母親

「１歳になるまで育児休業を取りたい」の割合が 86.5%、「１歳になる前に復帰したい」の割合が 8.7%となっています。



（２）父親

「１歳になるまで育児休業を取りたい」が１件、「１歳になる前に復帰したい」が０件となっています。



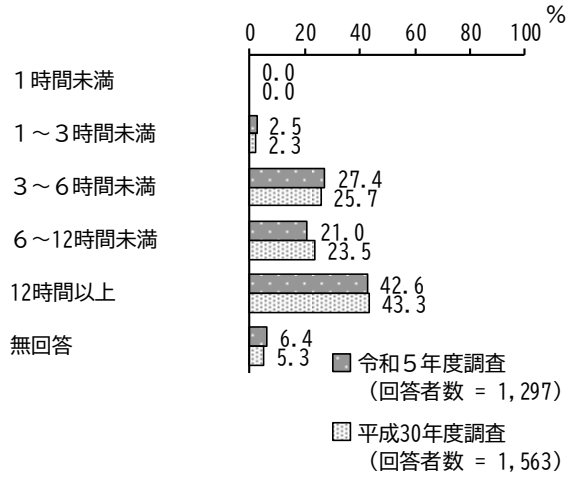
問 24　１日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。１週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を１つだけ記入してください。

（１）母親

ア．平日　子どもと一緒に過ごす１日当たりの時間

「12 時間以上」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「３～６時間未満」の割合が 27.4%、「６～12 時間未満」の割合が 21.0%となっています。

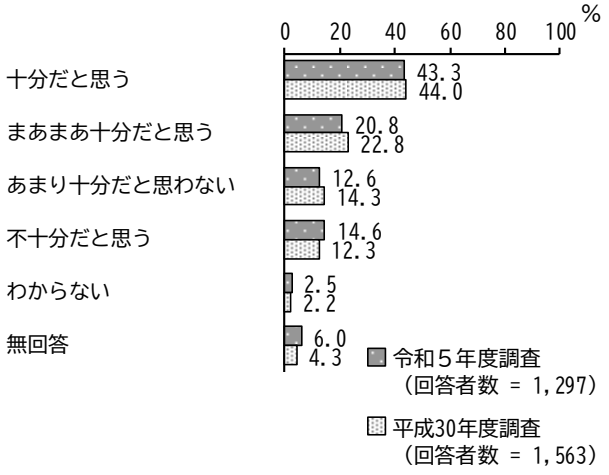
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



その時間は十分だと思うか

「十分だと思う」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」の割合が 20.8%、「不十分だと思う」の割合が 14.6%となっています。

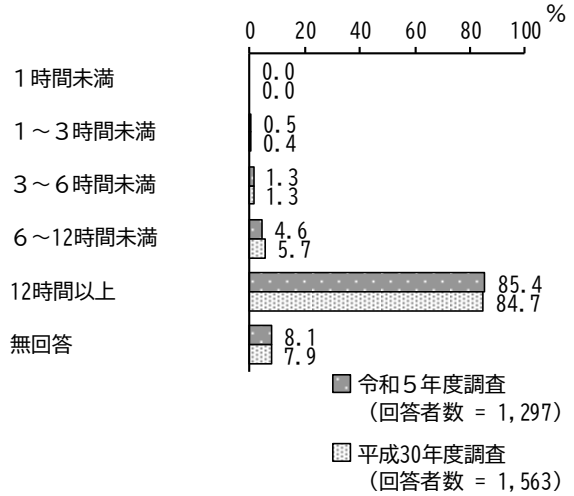
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ．休日　子どもと一緒に過ごす１日当たりの時間

「12 時間以上」の割合が 85.4%と最も高くなっています。

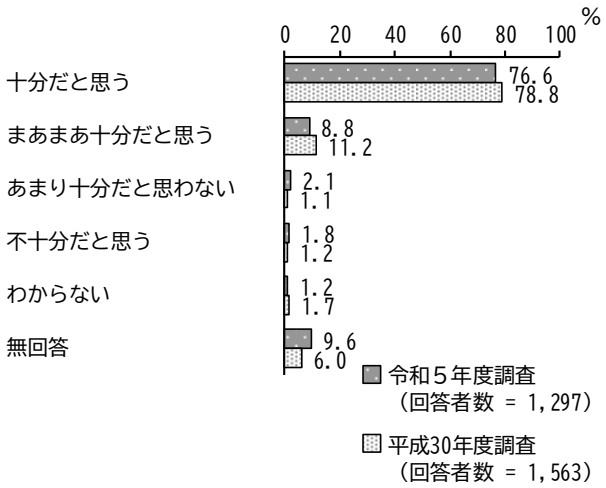
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



その時間は十分だと思うか

「十分だと思う」の割合が 76.6%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

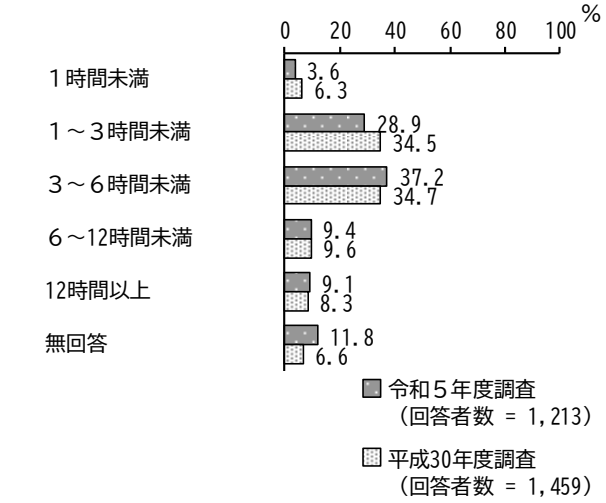


（２）父親

ア．平日　子どもと一緒に過ごす１日当たりの時間

「３～６時間未満」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「１～３時間未満」の割合が 28.9%となっています。

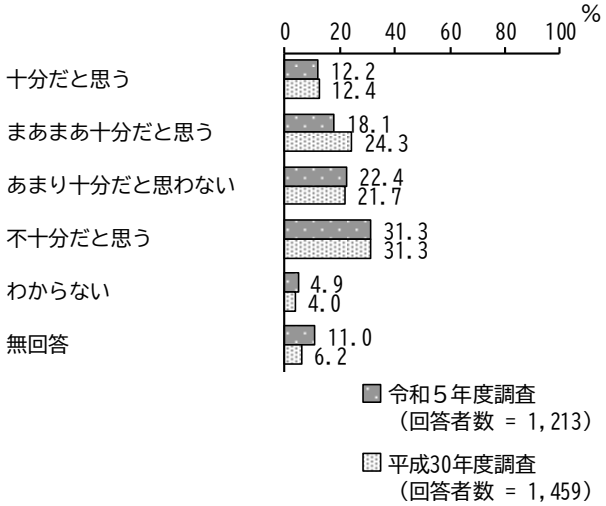
平成 30 年度調査と比較すると、「１～３時間未満」の割合が減少しています。



その時間は十分だと思うか

「不十分だと思う」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「あまり十分だと思わない」の割合が 22.4%、「まあまあ十分だと思う」の割合が 18.1%となっています。

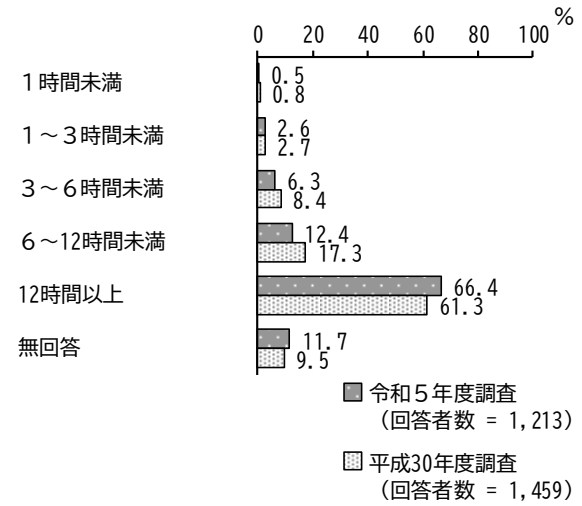
平成 30 年度調査と比較すると、「まあまあ十分だと思う」の割合が減少しています。



イ．休日　子どもと一緒に過ごす１日当たりの時間

「12 時間以上」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「６～12 時間未満」の割合が 12.4%となっています。

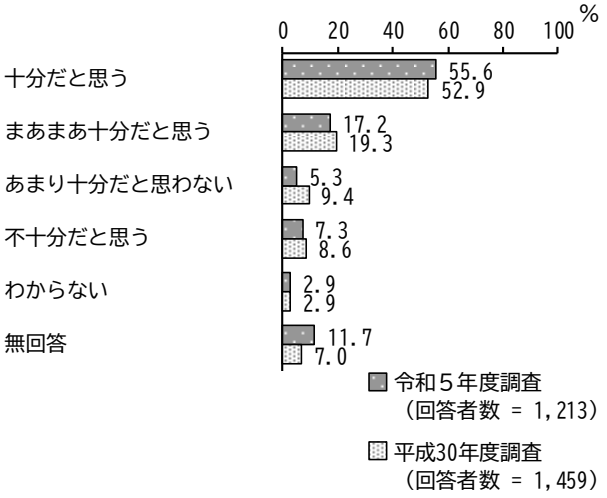
平成 30 年度調査と比較すると、「12 時間以上」の割合が増加しています。



その時間は十分だと思うか

「十分だと思う」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」の割合が 17.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

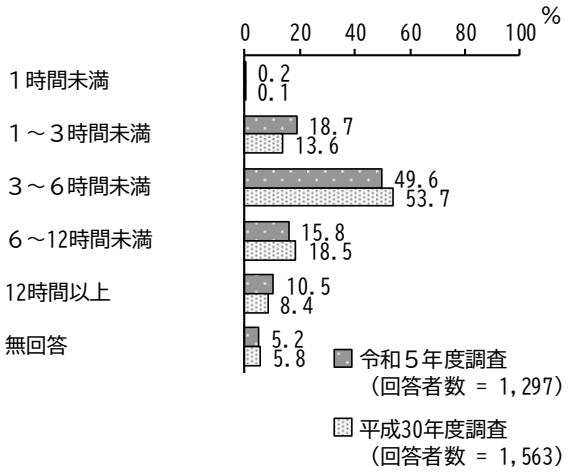


問 25　１日当たりの家事を何時間くらいしますか。１週間の平均的な時間を記入してください。

（１）母親

「３～６時間未満」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「１～３時間未満」の割合が 18.7%、「６～12 時間未満」の割合が 15.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「１～３時間未満」の割合が増加しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイム（休業中含む）で「１～３時間未満」の割合が高くなっています。

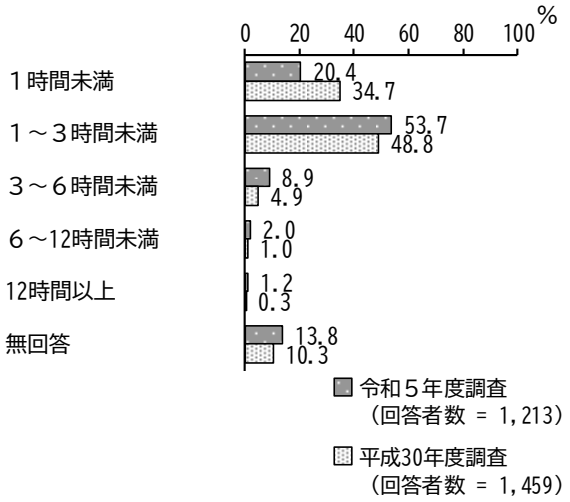
単位：%

区分	回答者数（件）	1時間未満	1～3時間未満	3～6時間未満	6～12時間未満	12時間以上	無回答
全　体	1,297	0.2	18.7	49.6	15.8	10.5	5.2
フルタイム（休業中含む）	575	0.2	24.7	48.2	12.7	9.0	5.2
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	423	0.2	16.1	53.4	16.8	9.7	3.8
働いていない（学生含む）	293	－	10.9	47.1	20.8	14.3	6.8

（２）父親

「１～３時間未満」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「１時間未満」の割合が 20.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「１時間未満」の割合が減少しています。



【父親の就労状況別】

父親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

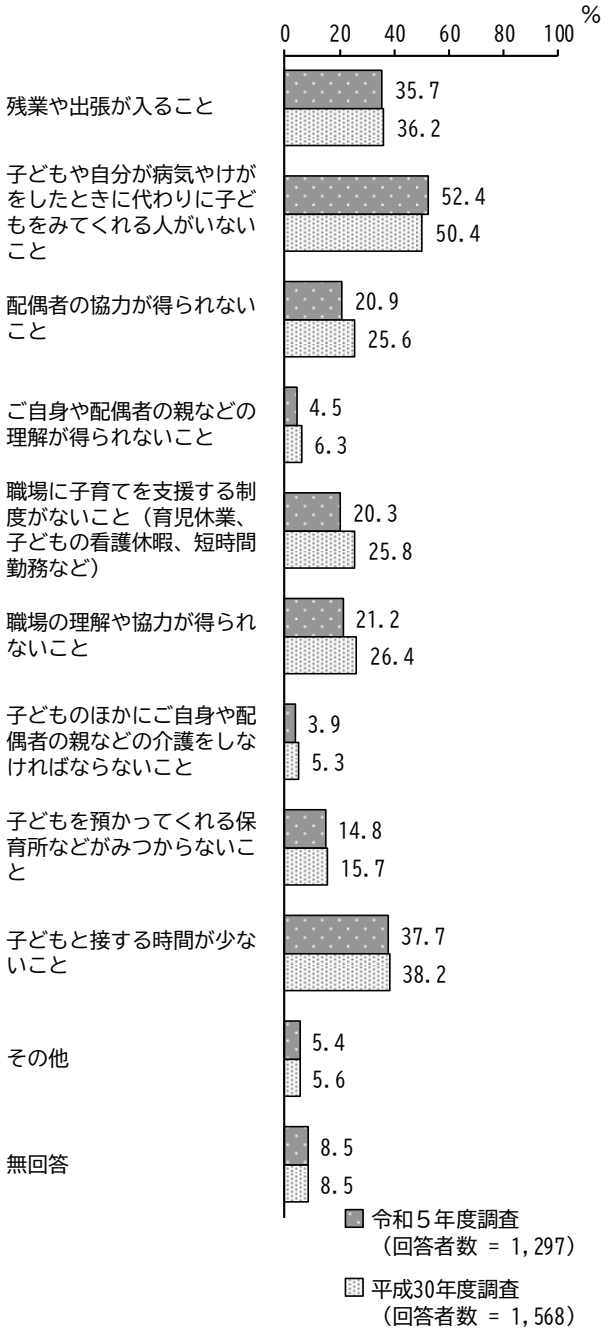
単位：%

区分	回答者数（件）	1時間未満	1～3時間未満	3～6時間未満	6～12時間未満	12時間以上	無回答
全　体	1,213	20.4	53.7	8.9	2.0	1.2	13.8
フルタイム（休業中含む）	1,178	20.5	54.5	8.7	2.0	1.2	13.0
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	9	11.1	33.3	33.3	－	－	22.2
働いていない（学生含む）	7	28.6	28.6	－	－	14.3	28.6

問 26　仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」の割合が 37.7%、「残業や出張が入ること」の割合が 35.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など）」「職場の理解や協力が得られないこと」の割合が減少しています。



（７）封筒のあて名のお子さんが５歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

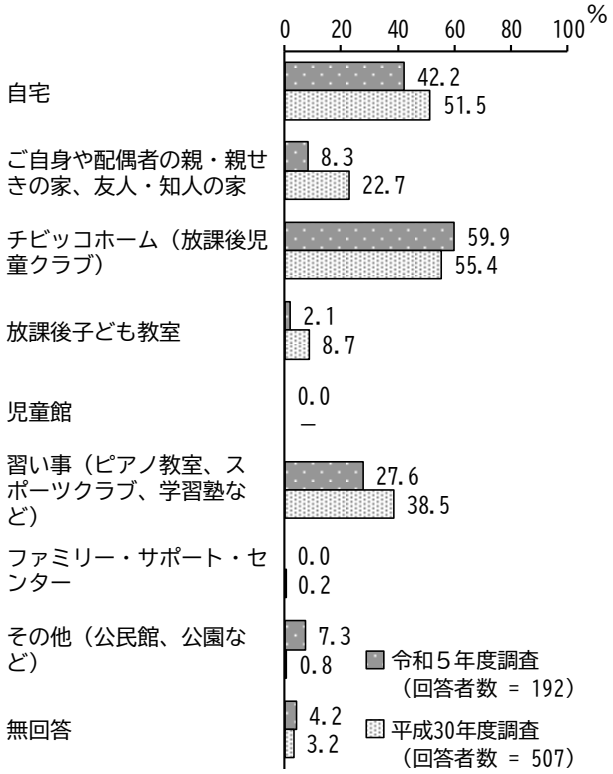
（※前回調査では、４歳以上となっていました）

問 27　小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する１週間の利用日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。

「チビッコホーム（放課後児童クラブ）」を選択された場合には、利用を希望する時間についても枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように 24 時間制で記入してください。

「チビッコホーム（放課後児童クラブ）」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 42.2%、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が 27.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「その他（公民館、公園など）」の割合が増加しています。一方、「自宅」「ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家」「放課後子ども教室」「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。

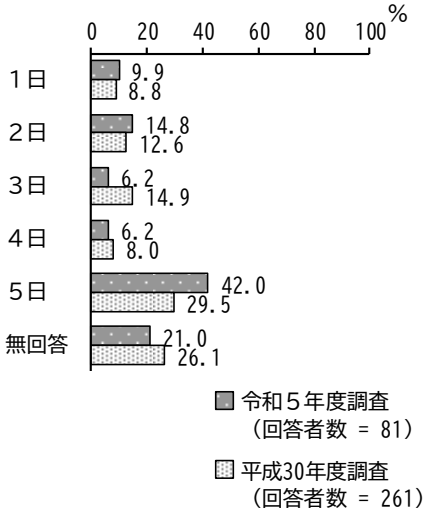


※前回調査では、「ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家」の選択肢が「自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家」、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）」の選択肢が「放課後児童クラブ（チビッコホーム）」でした。
※前回調査では、「児童館」の選択肢はありませんでした。

１．自宅

「５日」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「２日」の割合が 14.8%となっています。

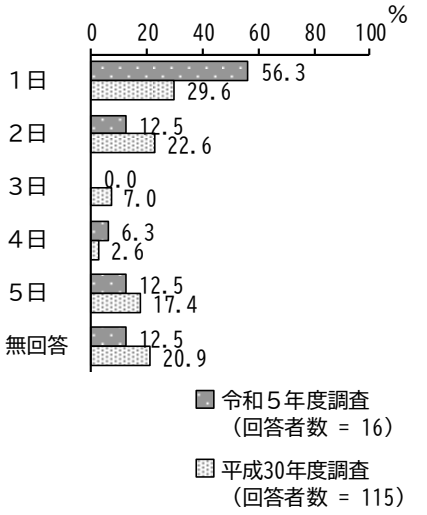
平成 30 年度調査と比較すると、「５日」の割合が増加しています。一方、「３日」の割合が減少しています。



２．ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家

「１日」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「２日」、「５日」の割合が 12.5%となっています。

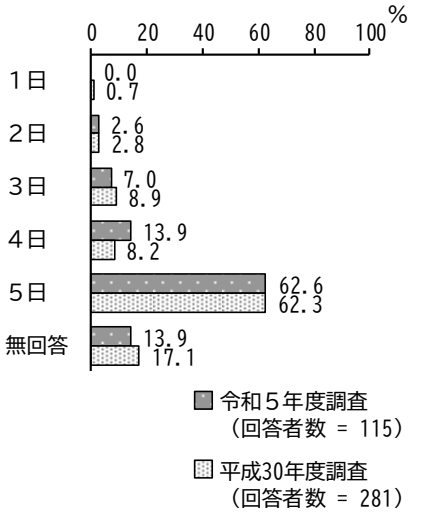
平成 30 年度調査と比較すると、「１日」の割合が増加しています。一方、「２日」「３日」の割合が減少しています。



３．チビッコホーム（放課後児童クラブ）

「５日」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「４日」の割合が 13.9%となっています。

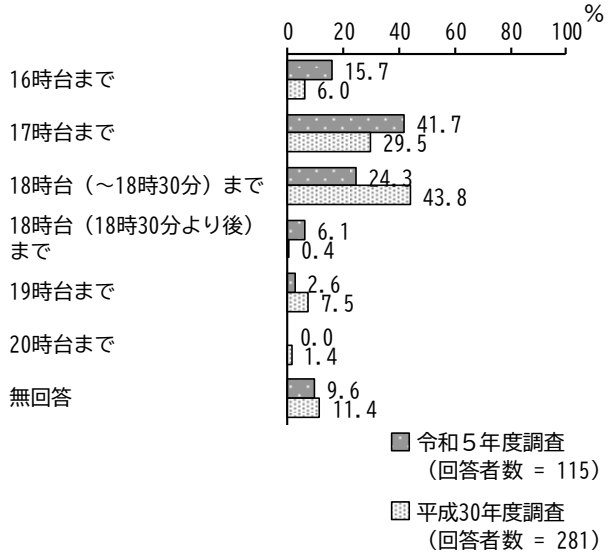
平成 30 年度調査と比較すると、「４日」の割合が増加しています。



チビッコホーム（放課後児童クラブ）の利用希望終了時刻

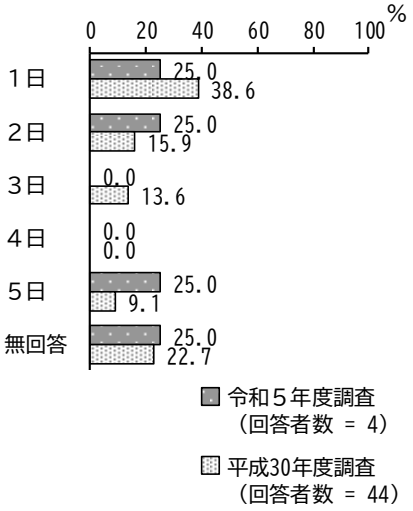
「17 時台まで」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「18 時台（～18 時 30 分）まで」の割合が 24.3%、「16 時台まで」の割合が 15.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台まで」「17 時台まで」「18 時台（18 時 30 分より後）まで」の割合が増加しています。一方、「18 時台（～18 時 30 分）まで」の割合が減少しています。



４．放課後子ども教室

「１日」、「２日」、「５日」が１件となっています。



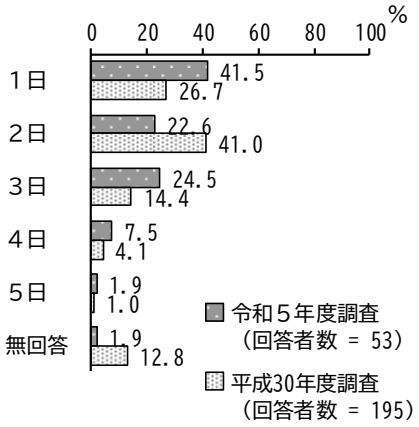
５．児童館

有効回答がありませんでした。

6．習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）

「１日」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「３日」の割合が 24.5%、「２日」の割合が 22.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「１日」「３日」の割合が増加しています。一方、「２日」の割合が減少しています。

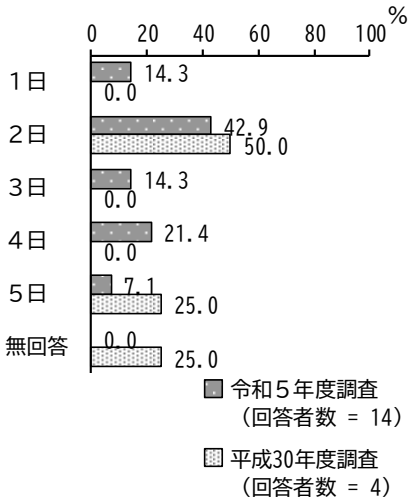


7．ファミリー・サポート・センター

有効回答がありませんでした。

8．その他（公民館、公園など）

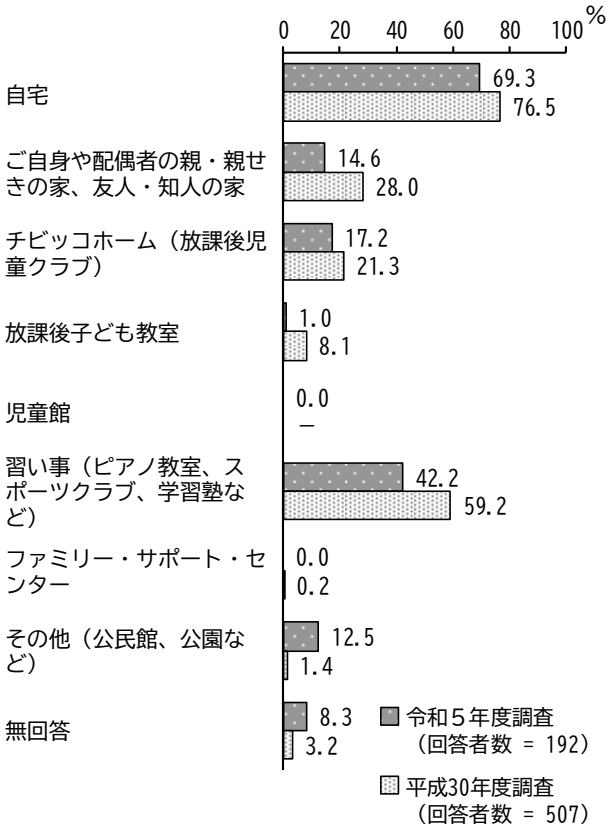
「２日」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「４日」の割合が 21.4%、「１日」、「３日」の割合が 14.3%となっています。



問 28　小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのように場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する１週間の利用日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。
「チビッコホーム（放課後児童クラブ）」を選択された場合には、利用を希望する時間についても枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように 24 時間制で記入してください。　※だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

「自宅」の割合が 69.3%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が 42.2%、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）」の割合が 17.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「その他（公民館、公園など）」の割合が増加しています。一方、「自宅」「ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家」「放課後子ども教室」「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。

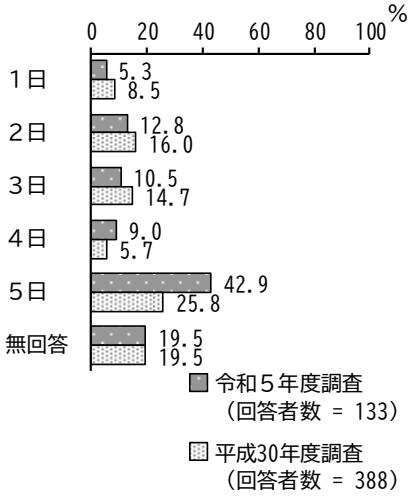


※前回調査では、「ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家」の選択肢が「自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家」、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）」の選択肢が「放課後児童クラブ（チビッコホーム）」でした。
※前回調査では、「児童館」の選択肢はありませんでした。

１．自宅

「５日」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「２日」の割合が 12.8%、「３日」の割合が 10.5%となっています。

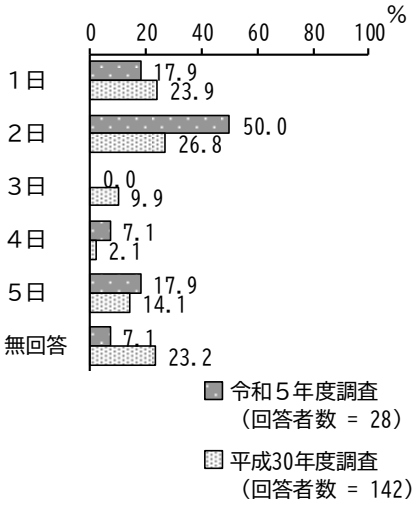
平成 30 年度調査と比較すると、「５日」の割合が増加しています。



２．ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家

「２日」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「１日」､「５日」の割合が 17.9%となっています。

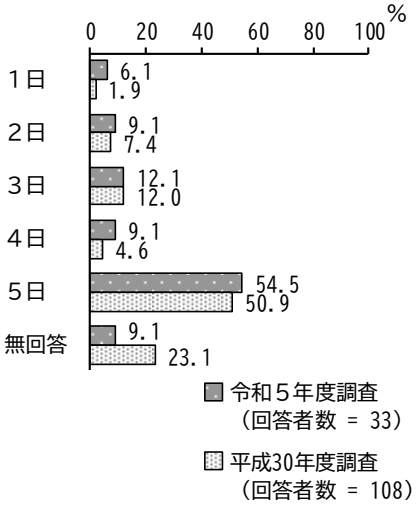
平成 30 年度調査と比較すると、「２日」の割合が増加しています。一方、「１日」「３日」の割合が減少しています。



３．チビッコホーム（放課後児童クラブ）

「５日」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「３日」の割合が 12.1%となっています。

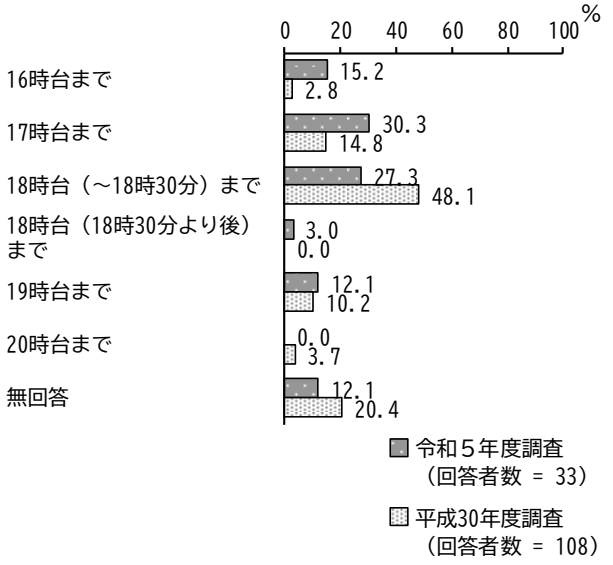
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



チビッコホーム（放課後児童クラブ）の利用希望終了時刻

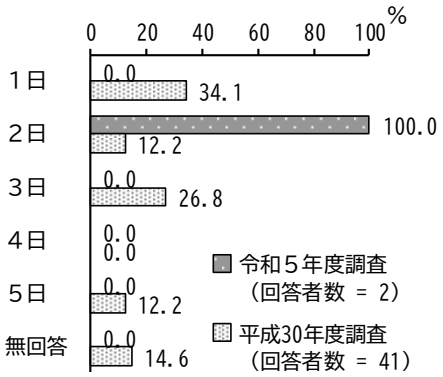
「17 時台まで」の割合が 30.3%と最も高く、次いで「18 時台（～18 時 30 分）まで」の割合が 27.3%、「16 時台まで」の割合が 15.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると､「16 時台まで」「17 時台まで」の割合が増加しています。一方、「18 時台（～18 時 30 分）まで」の割合が減少しています。



４．放課後子ども教室

「２日」が２件となっています。



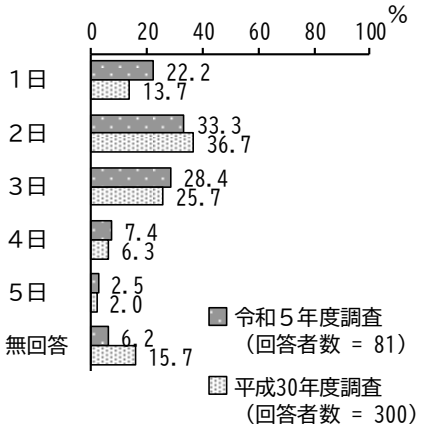
５．児童館

有効回答がありませんでした。

６．習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）

「２日」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「３日」の割合が 28.4%、「１日」の割合が 22.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「１日」の割合が増加しています。

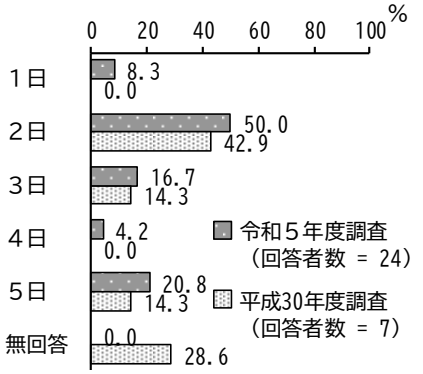


７．ファミリー・サポート・センター

有効回答がありませんでした。

８．その他（公民館、公園など）

「２日」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「５日」の割合が 20.8%、「３日」の割合が 16.7%となっています。

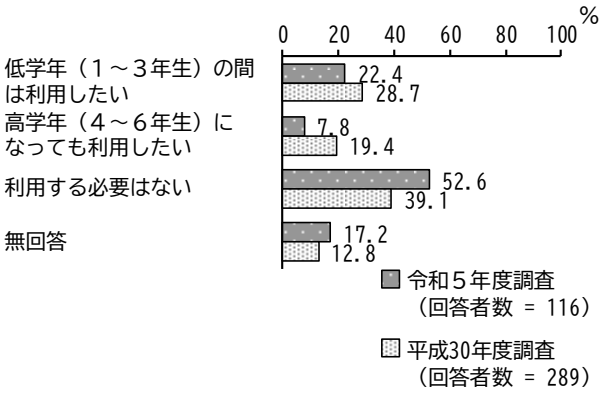


問 29　問 27 または問 28 で「３．チビッコホーム（放課後児童クラブ）」を選ばれた方におうかがいします。土曜日、日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、枠内に（9:00～18:00）のように 24 時間制で入れてください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

（１）土曜日

「利用する必要はない」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が 22.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が減少しています。



【地区別】

地区別にみると、岸和田中部地域で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

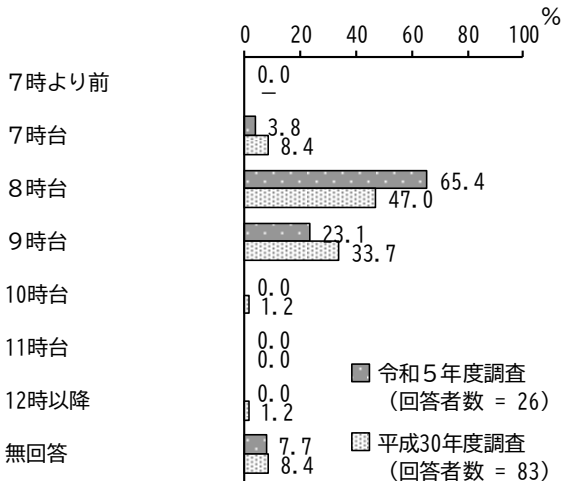
単位：%

区分	回答者数（件）	低学年（1～3年生）の間は利用したい	高学年（4～6年生）になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
全　体	116	22.4	7.8	52.6	17.2
都市中核地域	25	28.0	8.0	44.0	20.0
岸和田北部地域	15	20.0	20.0	40.0	20.0
葛城の谷地域	22	13.6	9.1	54.5	22.7
岸和田中部地域	20	5.0	－	85.0	10.0
久米田地域	20	25.0	10.0	50.0	15.0
牛滝の谷地域	9	33.3	－	55.6	11.1

“低学年の間は利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 23.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「８時台」の割合が増加しています。一方、「９時台」の割合が減少しています。

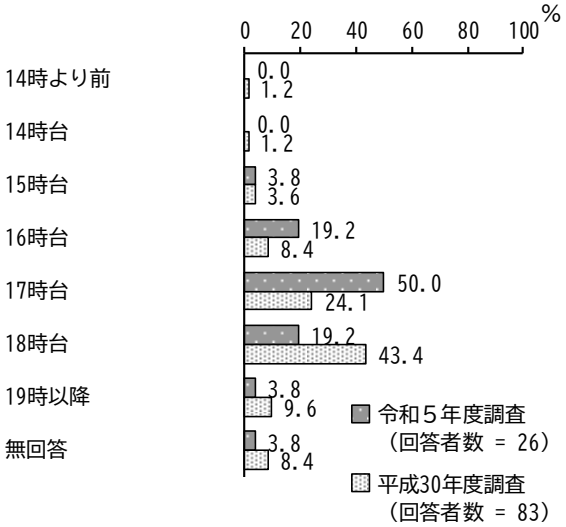


※前回調査では、「７時より前」の選択肢はありませんでした。
※前回調査では、「８時台」が 30 分毎で分けられていたため合算した数値となっております。

“低学年の間は利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「17 時台」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「16 時台」、「18 時台」の割合が 19.2%となっています。

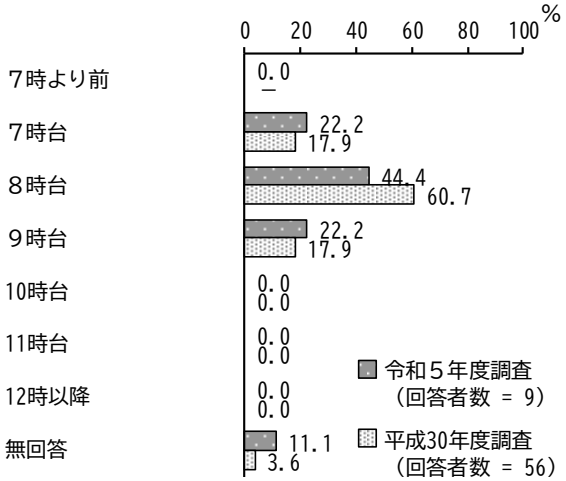
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」「17 時台」の割合が増加しています。一方、「18 時台」「19 時以降」の割合が減少しています。



※前回調査では、「18 時台」が 30 分毎で分けられていたため合算した数値となっております。

“高学年になっても利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

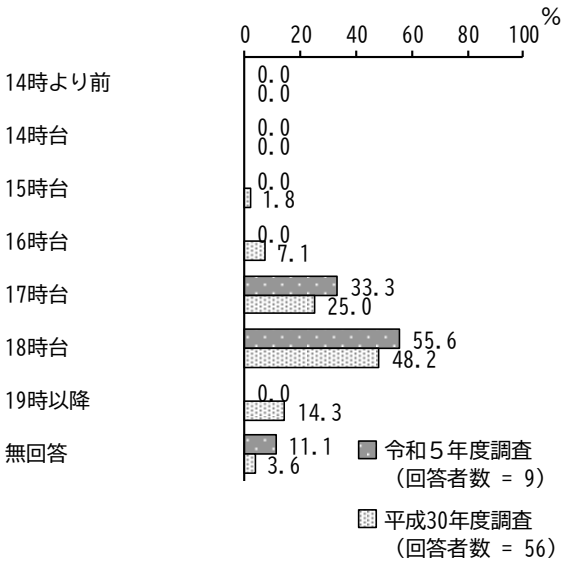
「８時台」が４件となっています。「７時台」、「９時台」が２件となっています。



※前回調査では、「７時より前」の選択肢はありませんでした。
※前回調査では、「８時台」が 30 分毎で分けられていたため合算した数値となっております。

“高学年になっても利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「18 時台」が５件となっています。「17 時台」が３件となっています。

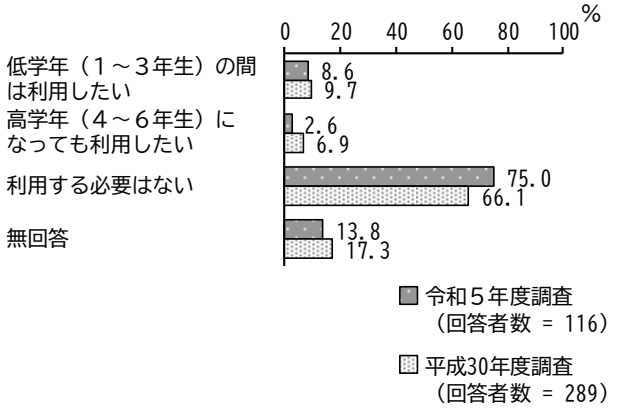


※前回調査では、「18 時台」が 30 分毎で分けられていたため合算した数値となっております。

（２）日曜日・祝日

「利用する必要はない」の割合が 75.0%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。



※前回調査では、「７時より前」の選択肢はありませんでした。
※前回調査では、「８時台」が 30 分毎で分けられていたため合算した数値となっております。

【地区別】

地区別にみると、岸和田中部地域で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

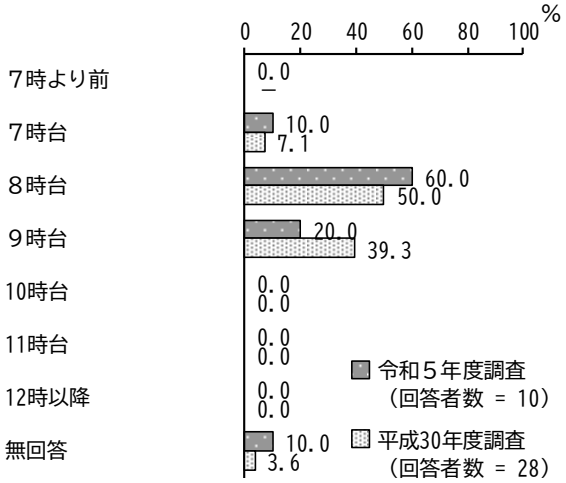
単位：%

区分	回答者数（件）	低学年（1～3年生）の間は利用したい	高学年（4～6年生）になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
全　体	116	8.6	2.6	75.0	13.8
都市中核地域	25	8.0	－	80.0	12.0
岸和田北部地域	15	6.7	6.7	73.3	13.3
葛城の谷地域	22	－	4.5	72.7	22.7
岸和田中部地域	20	5.0	－	85.0	10.0
久米田地域	20	10.0	5.0	75.0	10.0
牛滝の谷地域	9	22.2	－	66.7	11.1

“低学年の間は利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 20.0%、「７時台」の割合が 10.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「８時台」の割合が増加しています。一方、「９時台」の割合が減少しています。

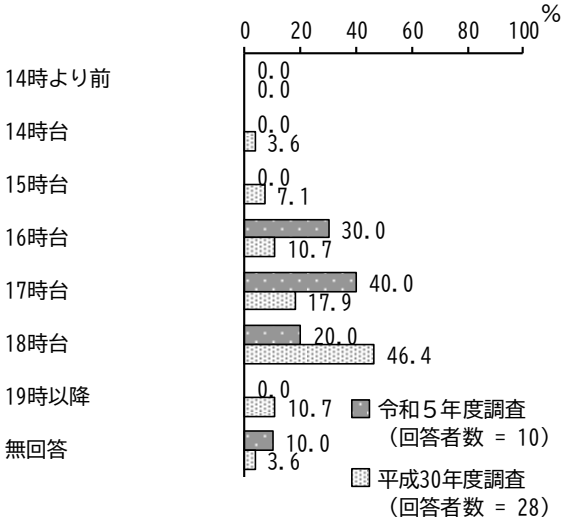


※前回調査では、「７時より前」の選択肢はありませんでした。
※前回調査では、「８時台」が 30 分毎で分けられていたため合算した数値となっております。

“低学年の間は利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「17 時台」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 30.0%、「18 時台」の割合が 20.0%となっています。

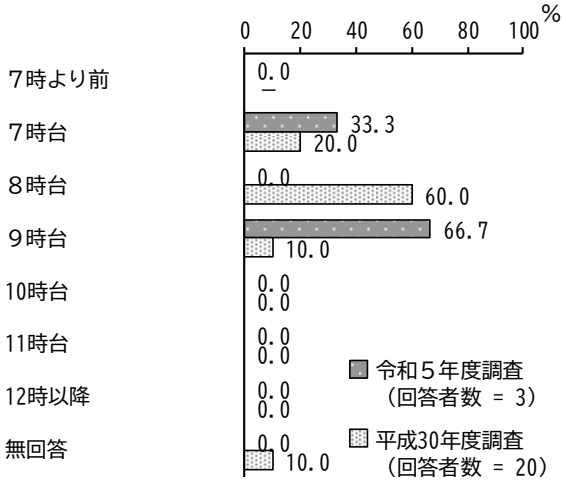
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」「17 時台」の割合が増加しています。一方、「15 時台」「18 時台」「19 時以降」の割合が減少しています。



※前回調査では、「18 時台」が 30 分毎で分けられていたため合算した数値となっております。

“高学年になっても利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

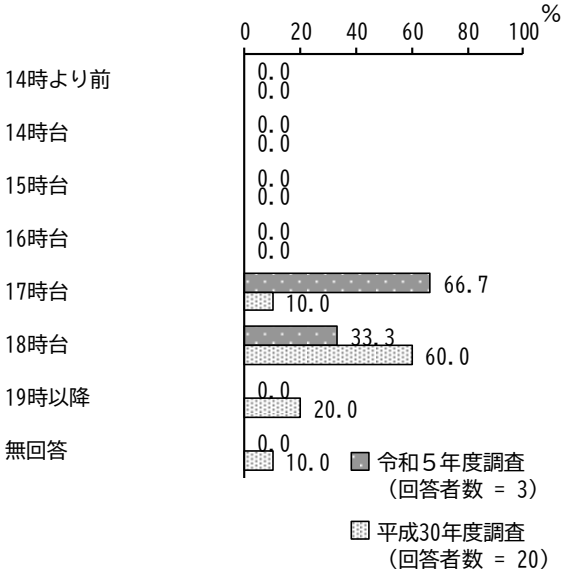
「９時台」が２件となっています。「７時台」が１件となっています。



※前回調査では、「７時より前」の選択肢はありませんでした。
※前回調査では、「８時台」が 30 分毎で分けられていたため合算した数値となっております。

“高学年になっても利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「17 時台」が２件となっています。「18 時台」が１件となっています。

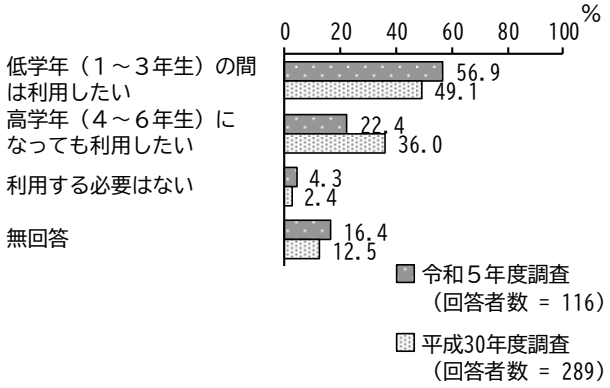


※前回調査では、「18 時台」が 30 分毎で分けられていたため合算した数値となっております。

問 30　問 27 または問 28 で「３．チビッコホーム（放課後児童クラブ）」を選ばれた方におうかがいします。お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、枠内に（9:00～18:00）のように 24 時間制で入れてください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が 22.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が増加しています。一方、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が減少しています。



【地区別】

地区別にみると、岸和田北部地域で「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が高くなっています。

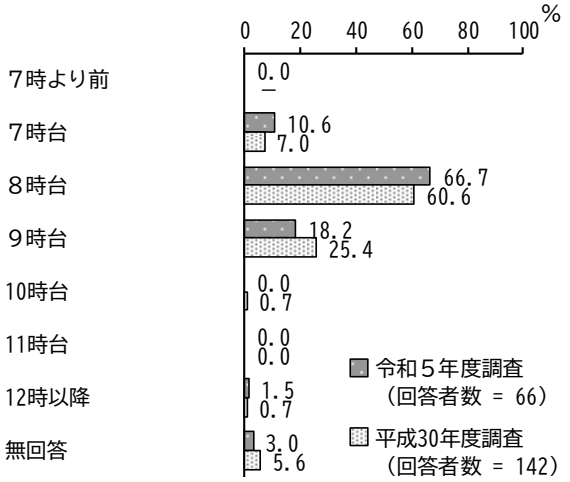
単位：％

区分	回答者数（件）	低学年（1～3年生）の間は利用したい	高学年（4～6年生）になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
全　体	116	56.9	22.4	4.3	16.4
都市中核地域	25	60.0	16.0	4.0	20.0
岸和田北部地域	15	46.7	40.0	－	13.3
葛城の谷地域	22	45.5	27.3	9.1	18.2
岸和田中部地域	20	60.0	15.0	5.0	20.0
久米田地域	20	55.0	25.0	－	20.0
牛滝の谷地域	9	77.8	22.2	－	－

“低学年の間は利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 18.2%、「７時台」の割合が 10.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「８時台」の割合が増加しています。一方、「９時台」の割合が減少しています。

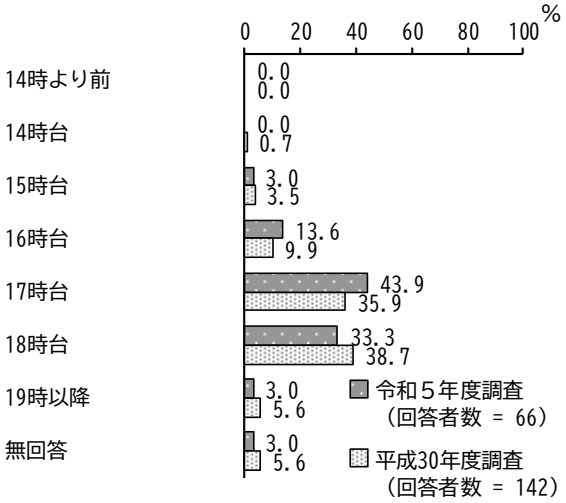


※前回調査では、「７時より前」の選択肢はありませんでした。
※前回調査では、「８時台」が 30 分毎で分けられていたため合算した数値となっております。

“低学年の間は利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「17 時台」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 33.3%、「16 時台」の割合が 13.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が増加しています。一方、「18 時台」の割合が減少しています。

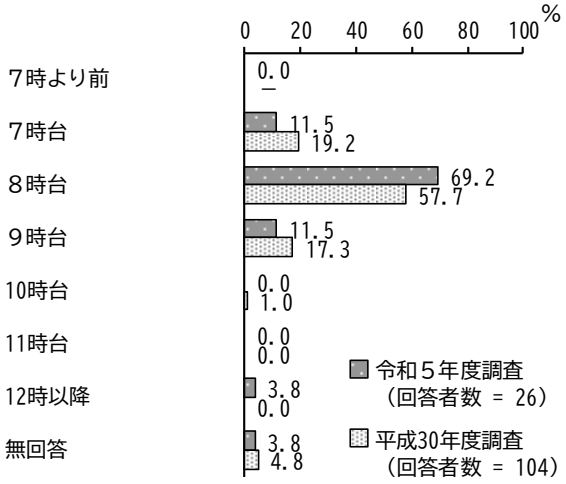


※前回調査では、「18 時台」が 30 分毎で分けられていたため合算した数値となっております。

“高学年になっても利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「７時台」、「９時台」の割合が 11.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「８時台」の割合が増加しています。一方、「７時台」「９時台」の割合が減少しています。

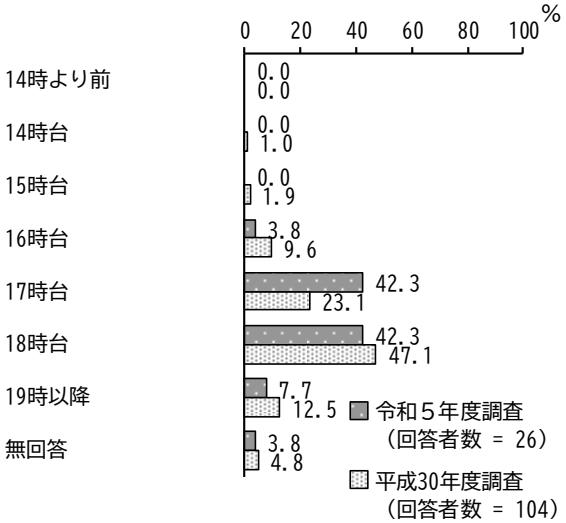


※前回調査では、「７時より前」の選択肢はありませんでした。
※前回調査では、「８時台」が 30 分毎で分けられていたため合算した数値となっております。

“高学年になっても利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「17 時台」、「18 時台」の割合が 42.3%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が増加しています。一方、「16 時台」の割合が減少しています。



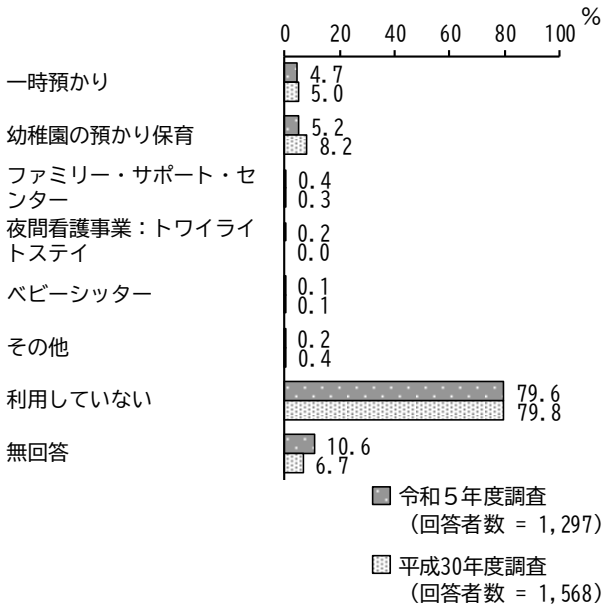
※前回調査では、「18 時台」が 30 分毎で分けられていたため合算した数値となっております。

（８）封筒のあて名のお子さんの幼稚園や保育所、認定こども園などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問 31　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。（幼稚園や保育所、認定こども園などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）あてはまる番号すべてに○をつけ、１年間のおおよその利用日数について枠内に具体的な数字を入れてください。

「利用していない」の割合が 79.6%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「ファミリー・サポート・センター」の選択肢が「ファミリー・サポート・センターを利用した」、「夜間看護事業：トワイライトステイ」の選択肢が「トワイライトステイを利用した」、「ベビーシッター」の選択肢が「ベビーシッターを利用した」でした。

【地区別】

地区別にみると、岸和田北部地域で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	夜間看護事業：トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全　体	1,297	4.7	5.2	0.4	0.2	0.1	0.2	79.6	10.6
都市中核地域	310	4.5	6.5	0.3	0.6	－	－	78.7	10.0
岸和田北部地域	189	5.3	2.1	－	－	－	－	85.7	6.9
葛城の谷地域	203	3.9	8.4	－	－	－	－	77.8	11.3
岸和田中部地域	174	6.9	2.9	0.6	－	－	－	81.0	8.6
久米田地域	196	4.1	5.1	1.0	－	0.5	0.5	81.1	9.2
牛滝の谷地域	133	5.3	5.3	－	－	－	－	77.4	12.8

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、０歳で「利用していない」の割合が高くなっています。

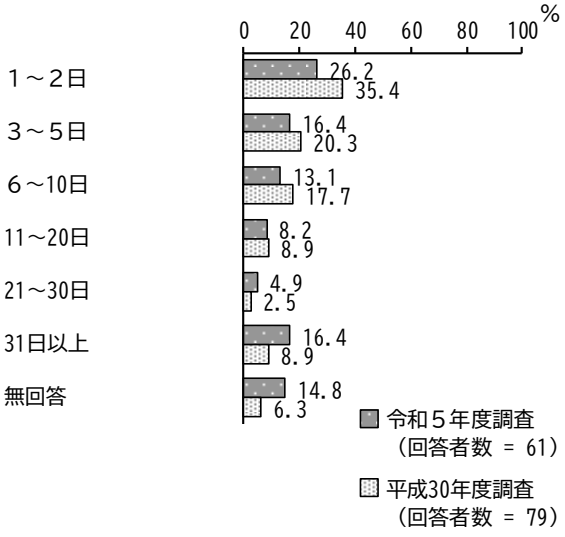
単位：％

区分	回答者数（件）	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	夜間看護事業：トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全　体	1,297	4.7	5.2	0.4	0.2	0.1	0.2	79.6	10.6
０歳	216	5.1	－	0.5	－	0.5	－	86.6	7.9
１・２歳	408	6.1	2.5	－	0.2	－	0.5	78.2	13.2
３～５歳	609	3.1	9.2	0.7	－	－	－	78.8	9.0

１．一時預かり

「１～２日」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「３～５日」、「31 日以上」の割合が 16.4%となっています。

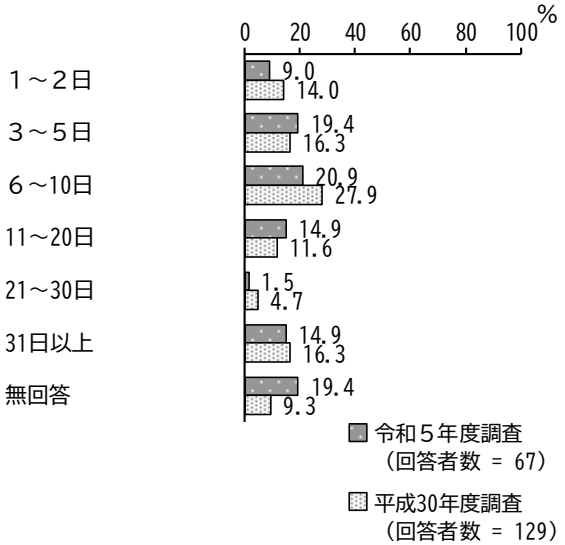
平成 30 年度調査と比較すると、「31 日以上」の割合が増加しています。一方、「１～２日」の割合が減少しています。



２．幼稚園の預かり保育

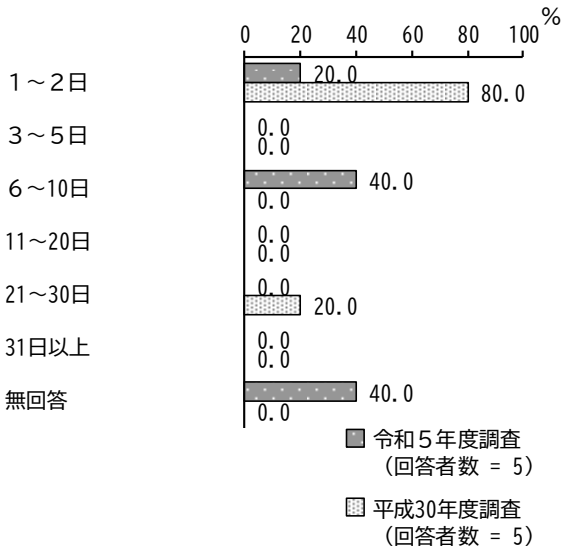
「６～10 日」の割合が 20.9%と最も高く、次いで「３～５日」の割合が 19.4%、「11～20 日」、「31 日以上」の割合が 14.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「６～10 日」の割合が減少しています。



3．ファミリー・サポート・センター

「６～10日」が２件となっています。「１～２日」が１件となっています。



4．夜間看護事業：トワイライトステイ

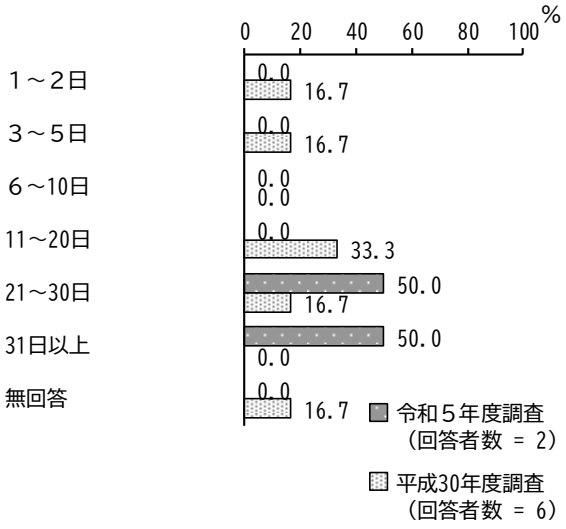
有効回答がありませんでした。

5．ベビーシッター

有効回答がありませんでした。

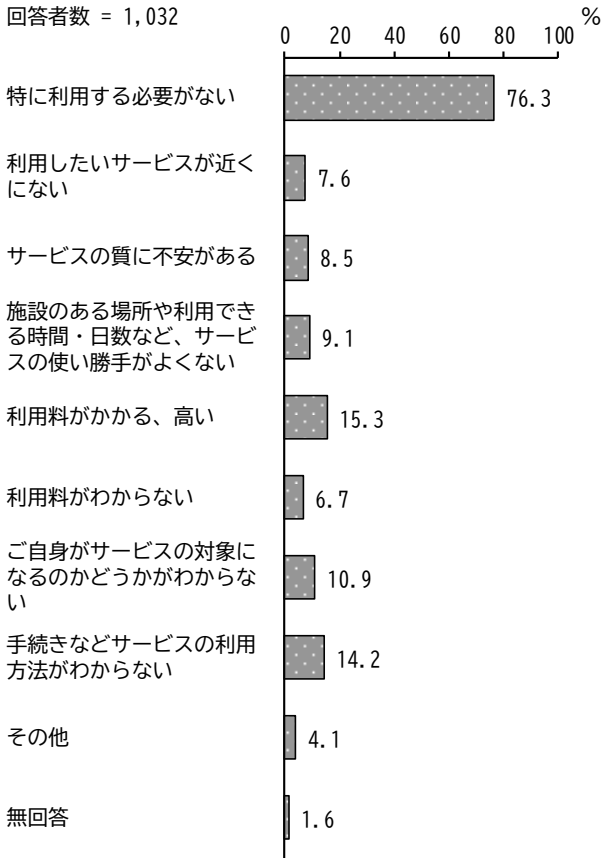
6．その他

「21～30 日」、「31 日以上」が１件となっています。



問 31－１　問 31 で「７．利用していない」を選ばれた方におうかがいします。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

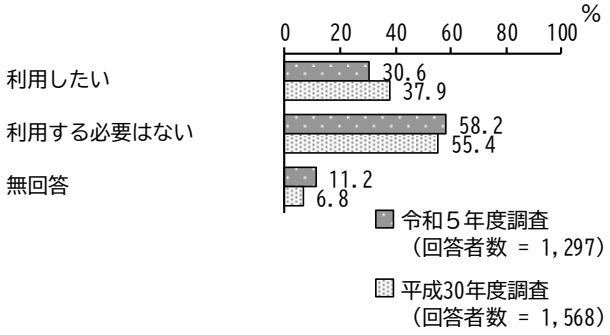
「特に利用する必要がない」の割合が 76.3%と最も高く、次いで「利用料がかかる、高い」の割合が 15.3%、「手続きなどサービスの利用方法がわからない」の割合が 14.2%となっています。



問 32　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、１年間に何日くらい保育所などで実施されている「一時預かり」を利用したいと思いますか。利用したいか、する必要がないかについて、どちらか１つに○をつけてください。利用したいに○をつけた場合、利用したい目的ごとに枠内に日数を記入し、合計の枠内についても記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

「利用したい」の割合が 30.6%、「利用する必要はない」の割合が 58.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が減少しています。



【地区別】

地区別にみると、岸和田中部地域で「利用したい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	利用したい	利用する必要はない	無回答
全　体	1,297	30.6	58.2	11.2
都市中核地域	310	29.4	59.0	11.6
岸和田北部地域	189	33.9	57.7	8.5
葛城の谷地域	203	31.0	57.6	11.3
岸和田中部地域	174	35.6	58.0	6.3
久米田地域	196	30.6	59.7	9.7
牛滝の谷地域	133	29.3	56.4	14.3

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、０歳で「利用したい」の割合が高くなっています。

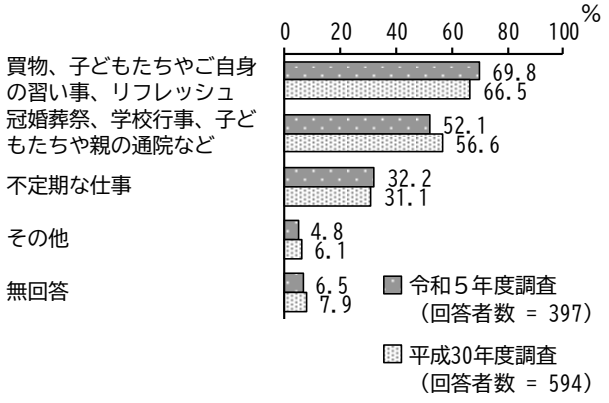
単位：％

区分	回答者数（件）	利用したい	利用する必要はない	無回答
全　体	1,297	30.6	58.2	11.2
０歳	216	38.0	53.7	8.3
１・２歳	408	31.9	53.7	14.5
３～５歳	609	27.8	62.9	9.4

利用目的

「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」の割合が 69.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」の割合が 52.1%、「不定期な仕事」の割合が 32.2%となっています。

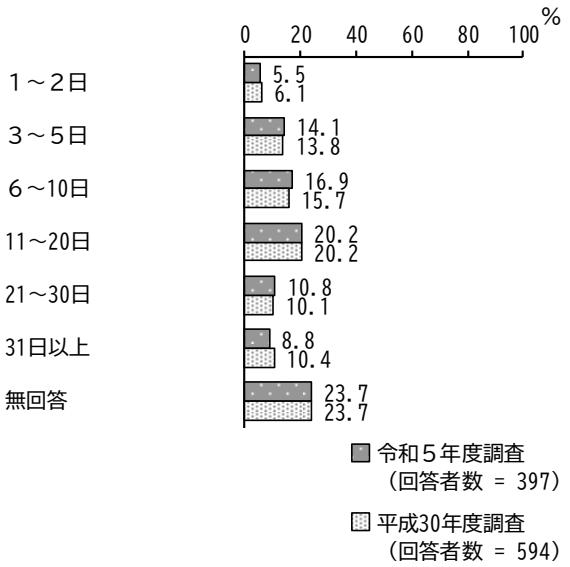
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用したい日数の合計

「11～20 日」の割合が 20.2%と最も高く、次いで「６～10 日」の割合が 16.9%、「３～５日」の割合が 14.1%となっています。

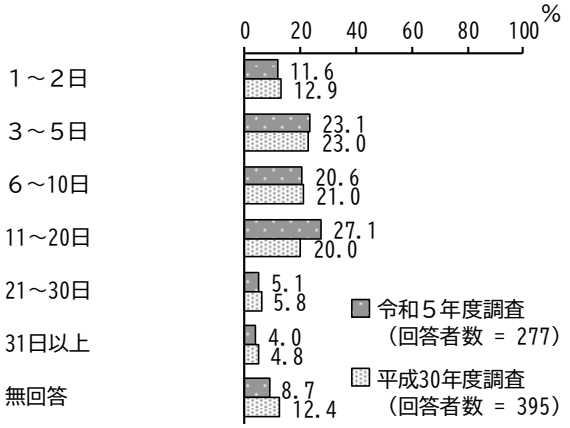
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア．買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ

「11～20 日」の割合が 27.1%と最も高く、次いで「３～５日」の割合が 23.1%、「６～10 日」の割合が 20.6%となっています。

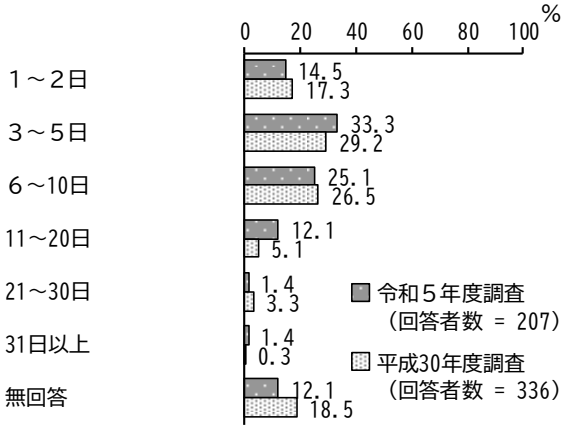
平成 30 年度調査と比較すると、「11～20 日」の割合が増加しています。



イ．冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など

「３～５日」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「６～10 日」の割合が 25.1%、「１～２日」の割合が 14.5%となっています。

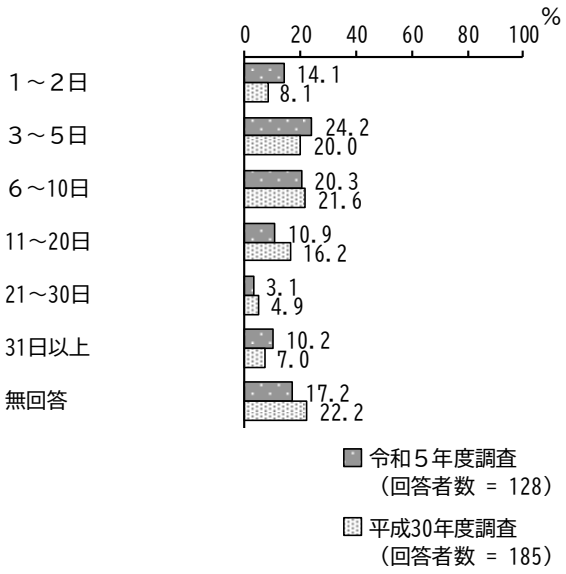
平成 30 年度調査と比較すると、「11～20 日」の割合が増加しています。



ウ．不定期な仕事

「３～５日」の割合が 24.2%と最も高く、次いで「６～10 日」の割合が 20.3%、「１～２日」の割合が 14.1%となっています。

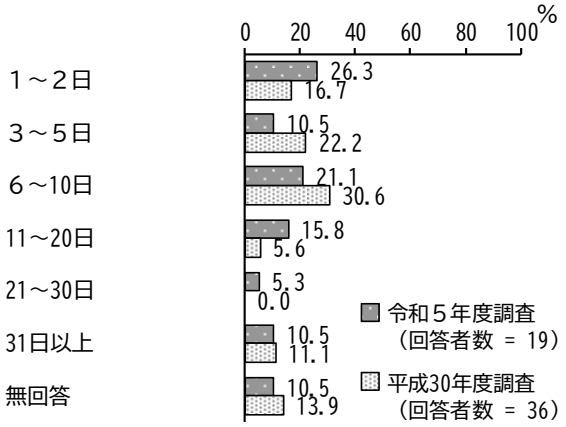
平成 30 年度調査と比較すると、「１～２日」の割合が増加しています。一方、「11～20 日」の割合が減少しています。



エ．その他

「１～２日」の割合が 26.3%と最も高く、次いで「６～10 日」の割合が 21.1%、「11～20 日」の割合が 15.8%となっています。

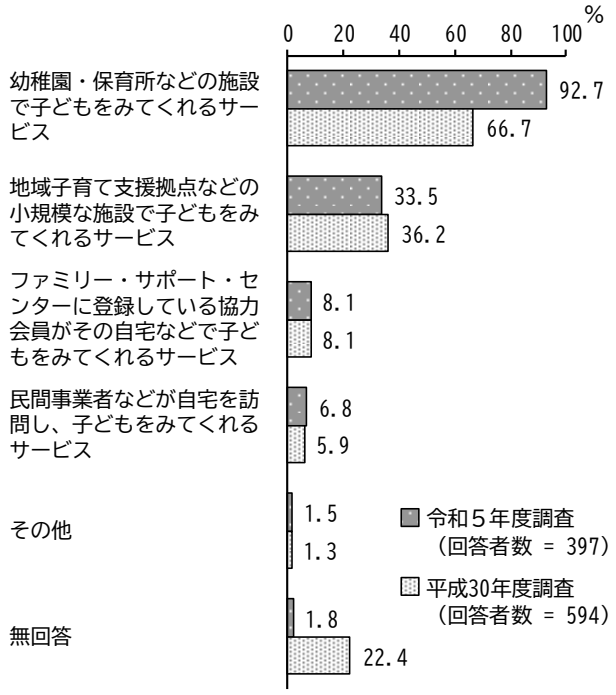
平成 30 年度調査と比較すると、「１～２日」「11～20 日」「21～30 日」の割合が増加しています。一方、「３～５日」「６～10 日」の割合が減少しています。



問 32－１　問 32 で「１．利用したい」を選ばれた方におうかがいします。問 32 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

「幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が 92.7%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が 33.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が増加しています。



※前回調査では、「幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてくれるサービス」の選択肢が「幼稚園・保育所などの大規模な施設で子どもを保育するサービス」、「地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてくれるサービス」の選択肢が「小規模な施設で子どもを保育するサービス」、「ファミリー・サポート・センターに登録している協力会員がその自宅などで子どもをみてくれるサービス」の選択肢が「ファミリー・サポート・センターに登録している地域住民がその自宅などで子どもを預かるサービス」、「民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス」の選択肢が「ベビーシッターなどが利用者宅を訪問し、子どもを保育するサービス」でした。

【子どもの年齢別】

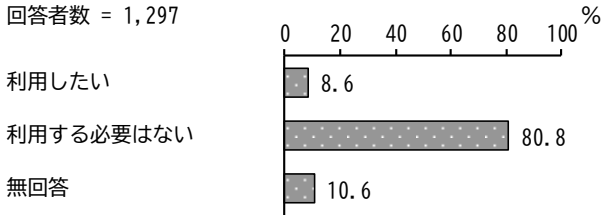
子どもの年齢別にみると、０歳で「地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてくれるサービス	地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてくれるサービス	ファミリー・サポート・センターに登録している協力会員がその自宅などで子どもをみてくれるサービス	民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス	その他	無回答
全　体	397	92.7	33.5	8.1	6.8	1.5	1.8
０歳	82	93.9	47.6	14.6	9.8	2.4	－
１・２歳	130	92.3	40.0	10.0	7.7	－	3.1
３～５歳	169	93.5	22.5	4.1	5.3	1.8	1.2

問 33　封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。
短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）を利用したいか、利用する必要はないかについて、どちらか１つに○をつけてください。利用したいに○をつけた場合、利用したい目的ごとに必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。）
なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 8.6%、「利用する必要はない」の割合が 80.8%となっています。



【母親の就労状況別】

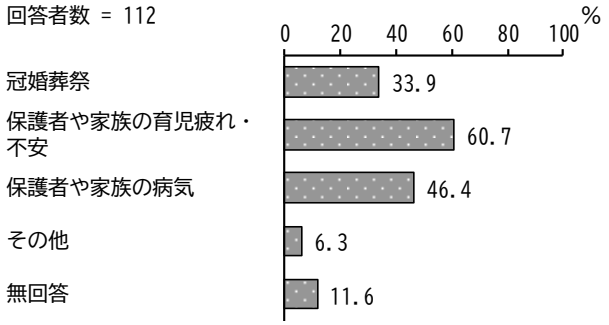
母親の就労状況別にみると、働いていない（学生含む）で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	利用したい	利用する必要はない	無回答
全　体	1,297	8.6	80.8	10.6
フルタイム（休業中含む）	575	10.3	76.3	13.4
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	423	7.6	82.3	10.2
働いていない（学生含む）	293	7.2	87.7	5.1

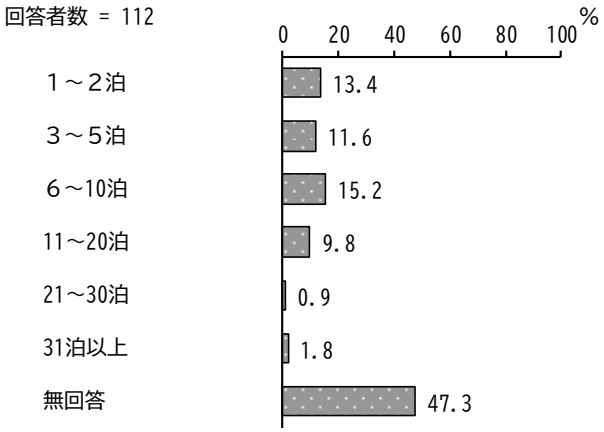
保護者の用事

「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 60.7%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が 46.4%、「冠婚葬祭」の割合が 33.9%となっています。



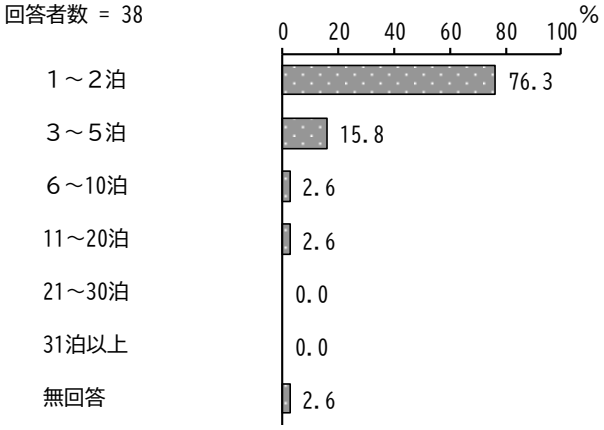
利用したい泊数の合計

「６～10 泊」の割合が 15.2%と最も高く、次いで「１～２泊」の割合が 13.4%、「３～５泊」の割合が 11.6%となっています。



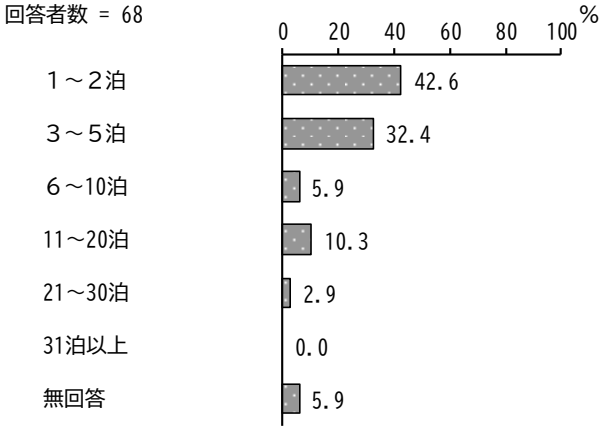
ア．冠婚葬祭

「１～２泊」の割合が 76.3%と最も高く、次いで「３～５泊」の割合が 15.8%となっています。



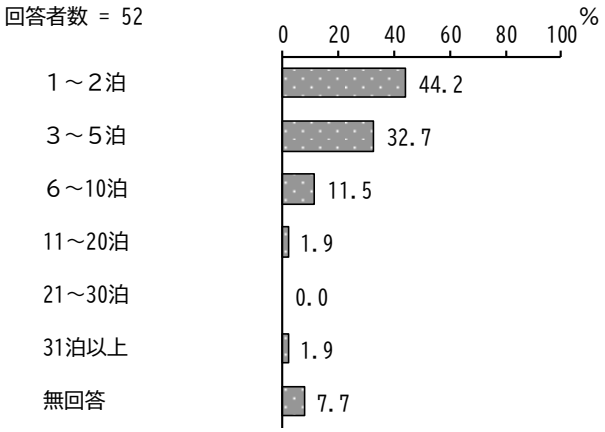
イ．保護者や家族の育児疲れ・不安

「１～２泊」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「３～５泊」の割合が 32.4%、「11～20 泊」の割合が 10.3%となっています。



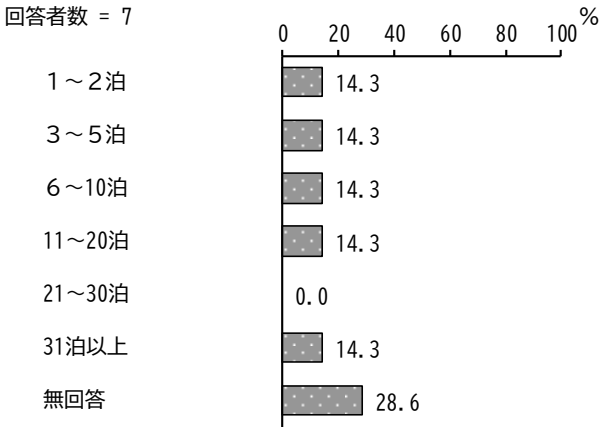
ウ．保護者や家族の病気

「１～２泊」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「３～５泊」の割合が 32.7%、「６～10 泊」の割合が 11.5%となっています。



エ．その他

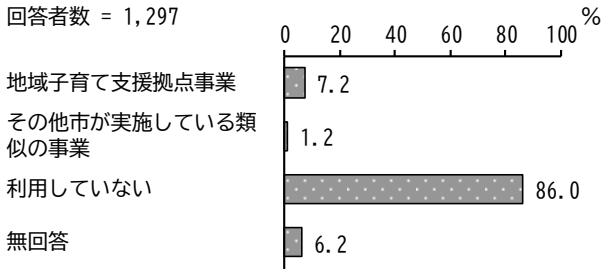
「１～２泊」、「３～５泊」、「６～10 泊」、「11～20 泊」が１件となっています。



（９）封筒のあて名のお子さんの地域の子育て支援サービスの利用状況について

問 34　地域子育て支援拠点事業についておうかがいします。現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、枠内に具体的な数字を入れてください。

「利用していない」の割合が 86.0%と最も高くなっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、３～５歳で「利用していない」の割合が高くなっています。

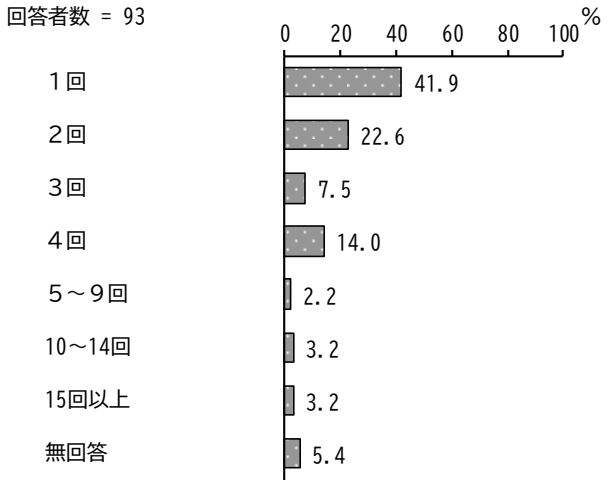
単位：%

区分	回答者数（件）	地域子育て支援拠点事業	その他市が実施している類似の事業	利用していない	無回答
全　体	1,297	7.2	1.2	86.0	6.2
０歳	216	16.2	0.5	81.0	2.8
１・２歳	408	11.0	2.9	80.1	7.4
３～５歳	609	1.8	0.5	92.1	5.7

１．地域子育て支援拠点事業

現在利用している１ヶ月あたりの利用回数

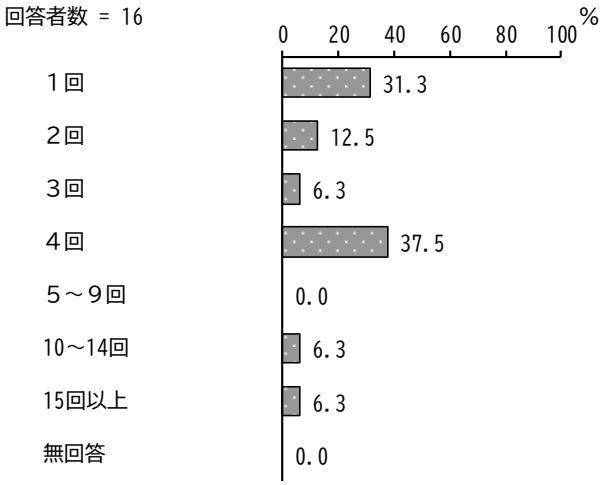
「１回」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「２回」の割合が 22.6%、「４回」の割合が 14.0%となっています。



２．その他市が実施している類似の事業

現在利用している１ヶ月あたりの利用回数

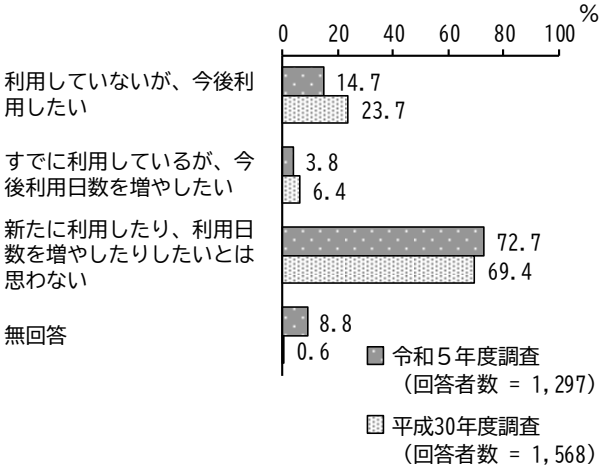
「４回」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「１回」の割合が 31.3%、「２回」の割合が 12.5%となっています。



問 35　地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号１つに○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」の割合が 72.7%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 14.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」の割合が減少しています。



※前回調査では、「利用していないが、今後利用したい」の選択肢が「現在、利用していないが、今後は利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の選択肢が「現在、利用している」、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」の選択肢が「現在、利用していないし、今後も利用しない」でした。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、０歳で「利用していないが、今後利用したい」の割合が高くなっています。

単位：％

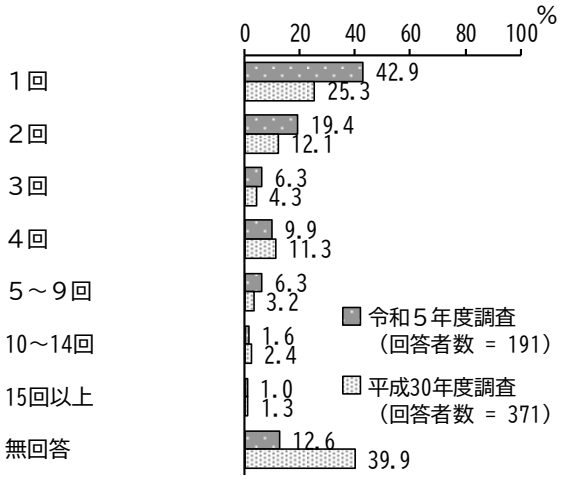
区分	回答者数（件）	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない	無回答
全　体	1,297	14.7	3.8	72.7	8.8
０歳	216	23.6	9.3	61.1	6.0
１・２歳	408	14.0	5.9	71.3	8.8
３～５歳	609	11.3	0.8	79.5	8.4

１．利用していないが、今後利用したい

１ヶ月あたりの利用希望回数

「１回」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「２回」の割合が 19.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「１回」「２回」の割合が増加しています。

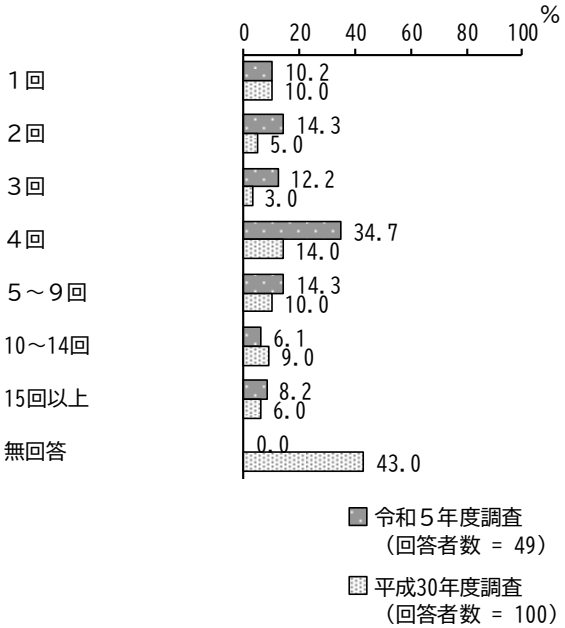


２．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

１ヶ月あたりの利用希望回数

「４回」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「２回」、「５～９回」の割合が 14.3%となっています。

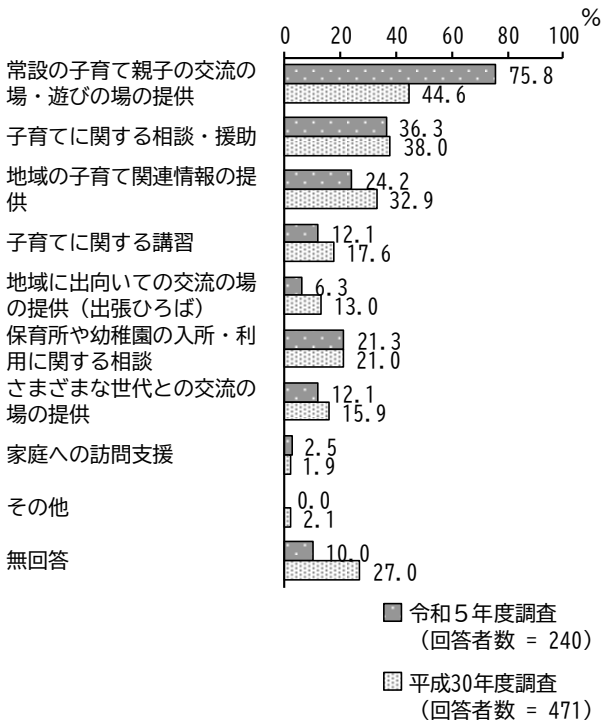
平成 30 年度調査と比較すると、「２回」「３回」「４回」の割合が増加しています。



問 35－１　問 35 で「１.」、「２.」を選ばれた、地域子育て支援拠点事業を利用したい方やすでに利用している方におうかがいします。地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスを３つまで○をつけてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」の割合が 75.8%と最も高く、次いで「子育てに関する相談・援助」の割合が 36.3%、「地域の子育て関連情報の提供」の割合が 24.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」の割合が増加しています。一方、「地域の子育て関連情報の提供」「子育てに関する講習」「地域に出向いての交流の場の提供（出張ひろば）」の割合が減少しています。



※前回調査では、「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」の選択肢が「常設の子育て親子の交流の場の提供」でした。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、１・２歳で「保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談」の割合が高くなっています。

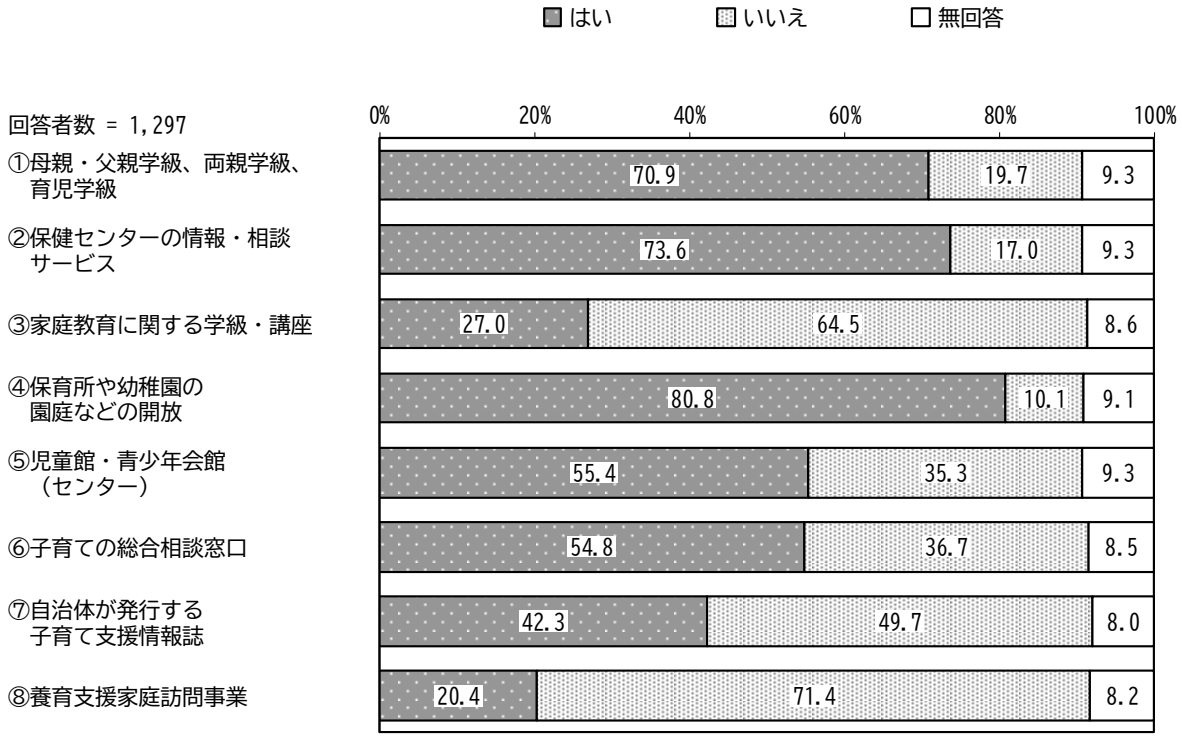
単位：％

区分	回答者数（件）	常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供	子育てに関する相談・援助	地域の子育て関連情報の提供	子育てに関する講習	地域に出向いての交流の場の提供(出張ひろば)	保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談	さまざまな世代との交流の場の提供	家庭への訪問支援	その他	無回答
全　体	240	75.8	36.3	24.2	12.1	6.3	21.3	12.1	2.5	－	10.0
０歳	71	78.9	29.6	15.5	18.3	4.2	23.9	11.3	2.8	－	12.7
１・２歳	81	82.7	35.8	28.4	4.9	7.4	28.4	11.1	1.2	－	6.2
３～５歳	74	64.9	41.9	25.7	16.2	8.1	10.8	13.5	2.7	－	12.2

問 36　子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。また、今後、利用したいと思うものはありますか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

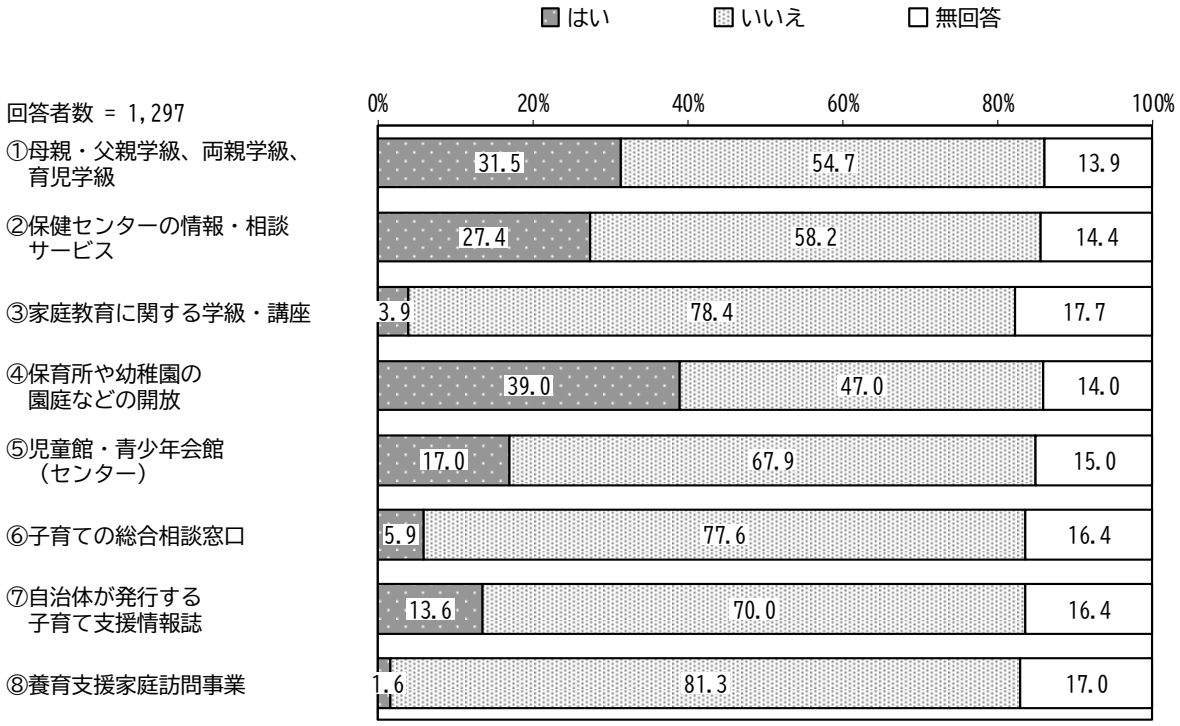
知っている

『④保育所や幼稚園の園庭などの開放』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『③家庭教育に関する学級・講座』『⑧養育支援家庭訪問事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。



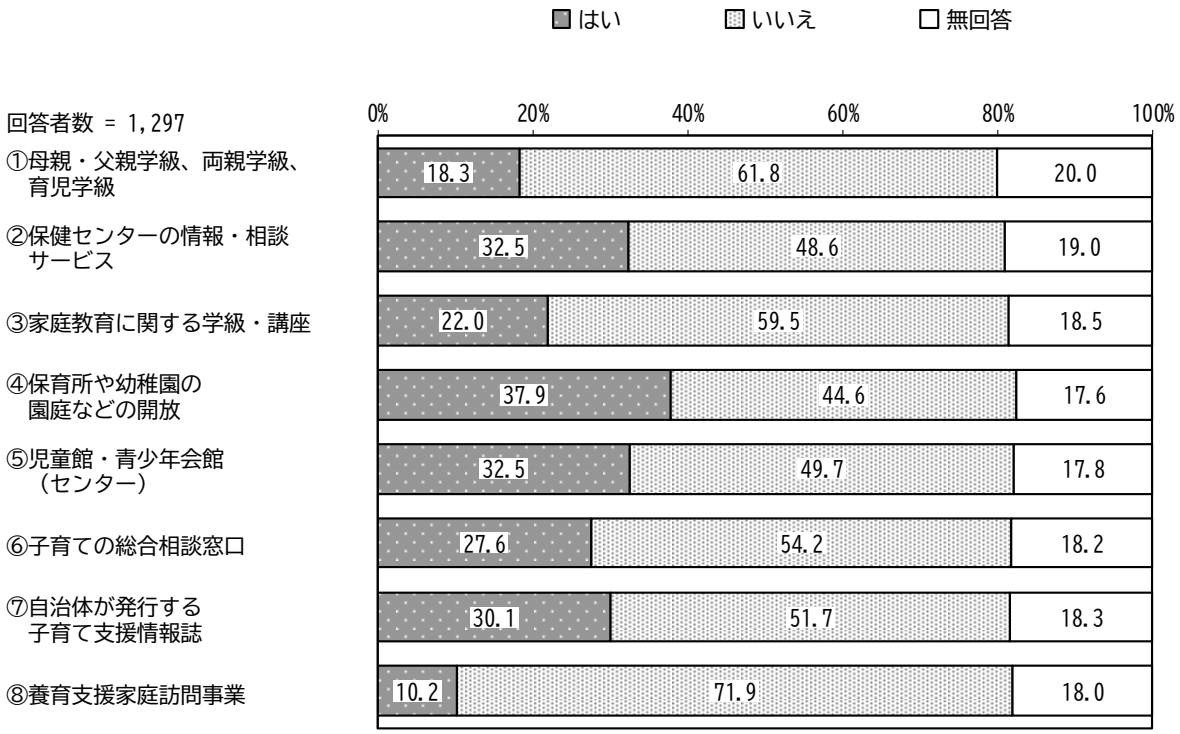
利用したことがある

『④保育所や幼稚園の園庭などの開放』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『③家庭教育に関する学級・講座』『⑧養育支援家庭訪問事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。



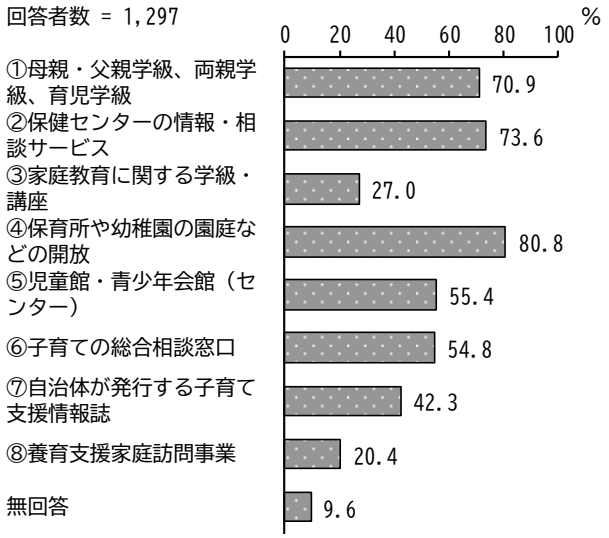
今後利用したい

『④保育所や幼稚園の園庭などの開放』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑧養育支援家庭訪問事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。



子育て支援サービスの認知度

「④保育所や幼稚園の園庭などの開放」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「②保健センターの情報・相談サービス」の割合が 73.6%、「①母親・父親学級、両親学級、育児学級」の割合が 70.9%となっています。



【子どもの年齢別】

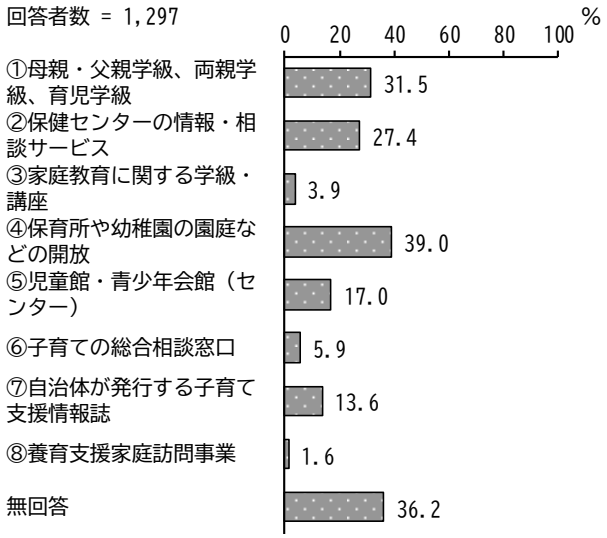
子どもの年齢別にみると、０歳で「①母親・父親学級、両親学級、育児学級」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	①母親・父親学級、両親学級、育児学級	②保健センターの情報・相談サービス	③家庭教育に関する学級・講座	④保育所や幼稚園の園庭などの開放	⑤児童館・青少年会館（センター）	⑥子育ての総合相談窓口	⑦自治体が発行する子育て支援情報誌	⑧養育支援家庭訪問事業	無回答
全　体	1,297	70.9	73.6	27.0	80.8	55.4	54.8	42.3	20.4	9.6
０歳	216	81.9	81.9	28.7	80.1	56.9	55.6	40.3	24.5	5.1
１・２歳	408	74.5	75.0	27.0	83.1	56.6	53.9	43.6	21.3	8.1
３～５歳	609	65.5	70.0	26.3	80.8	55.0	54.8	43.3	18.6	11.2

子育て支援サービスの利用度

「④保育所や幼稚園の園庭などの開放」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「①母親・父親学級、両親学級、育児学級」の割合が 31.5%、「②保健センターの情報・相談サービス」の割合が 27.4%となっています。



【子どもの年齢別】

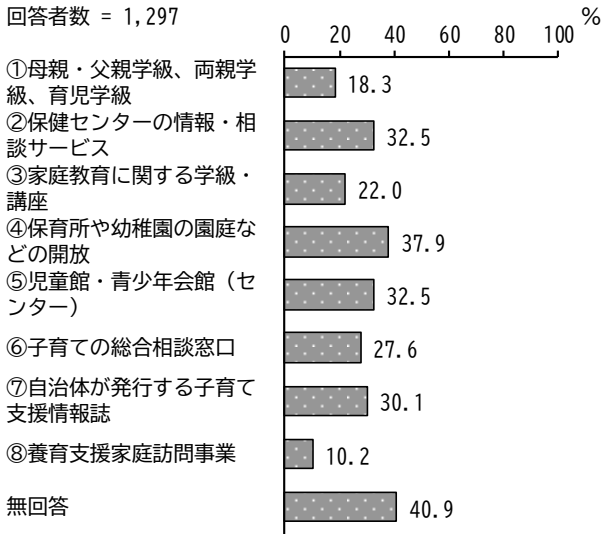
子どもの年齢別にみると、０歳で「②保健センターの情報・相談サービス」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	①母親・父親学級、両親学級、育児学級	②保健センターの情報・相談サービス	③家庭教育に関する学級・講座	④保育所や幼稚園の園庭などの開放	⑤児童館・青少年会館（センター）	⑥子育ての総合相談窓口	⑦自治体が発行する子育て支援情報誌	⑧養育支援家庭訪問事業	無回答
全　体	1,297	31.5	27.4	3.9	39.0	17.0	5.9	13.6	1.6	36.2
０歳	216	34.7	36.1	2.8	24.1	13.9	6.9	13.4	2.3	35.6
１・２歳	408	29.7	24.0	3.2	39.2	18.4	5.6	15.0	1.2	36.3
３～５歳	609	31.9	26.9	4.8	44.8	17.9	6.2	13.3	1.6	35.0

子育て支援サービス利用希望

「④保育所や幼稚園の園庭などの開放」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「⑤児童館・青少年会館（センター）」の割合が 32.5%、「②保健センターの情報・相談サービス」の割合が 32.5%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、０歳で「④保育所や幼稚園の園庭などの開放」の割合が高くなっています。

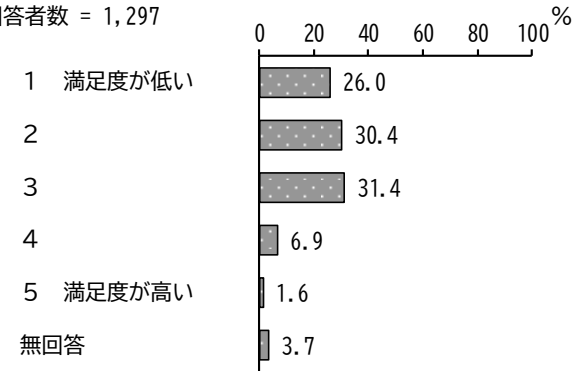
単位：%

区分	回答者数（件）	①母親・父親学級、両親学級、育児学級	②保健センターの情報・相談サービス	③家庭教育に関する学級・講座	④保育所や幼稚園の園庭などの開放	⑤児童館・青少年会館（センター）	⑥子育ての総合相談窓口	⑦自治体が発行する子育て支援情報誌	⑧養育支援家庭訪問事業	無回答
全　体	1,297	18.3	32.5	22.0	37.9	32.5	27.6	30.1	10.2	40.9
０歳	216	24.1	43.1	28.2	58.3	43.1	36.6	34.7	13.4	27.8
１・２歳	408	20.6	30.4	20.1	41.9	33.6	27.5	31.9	9.6	38.0
３～５歳	609	14.3	29.9	20.7	27.9	28.4	24.0	27.3	8.9	46.1

（10）市への要望について

問 37　岸和田市における子育て環境や子育て支援への満足度について当てはまる番号１つに○をつけてください。

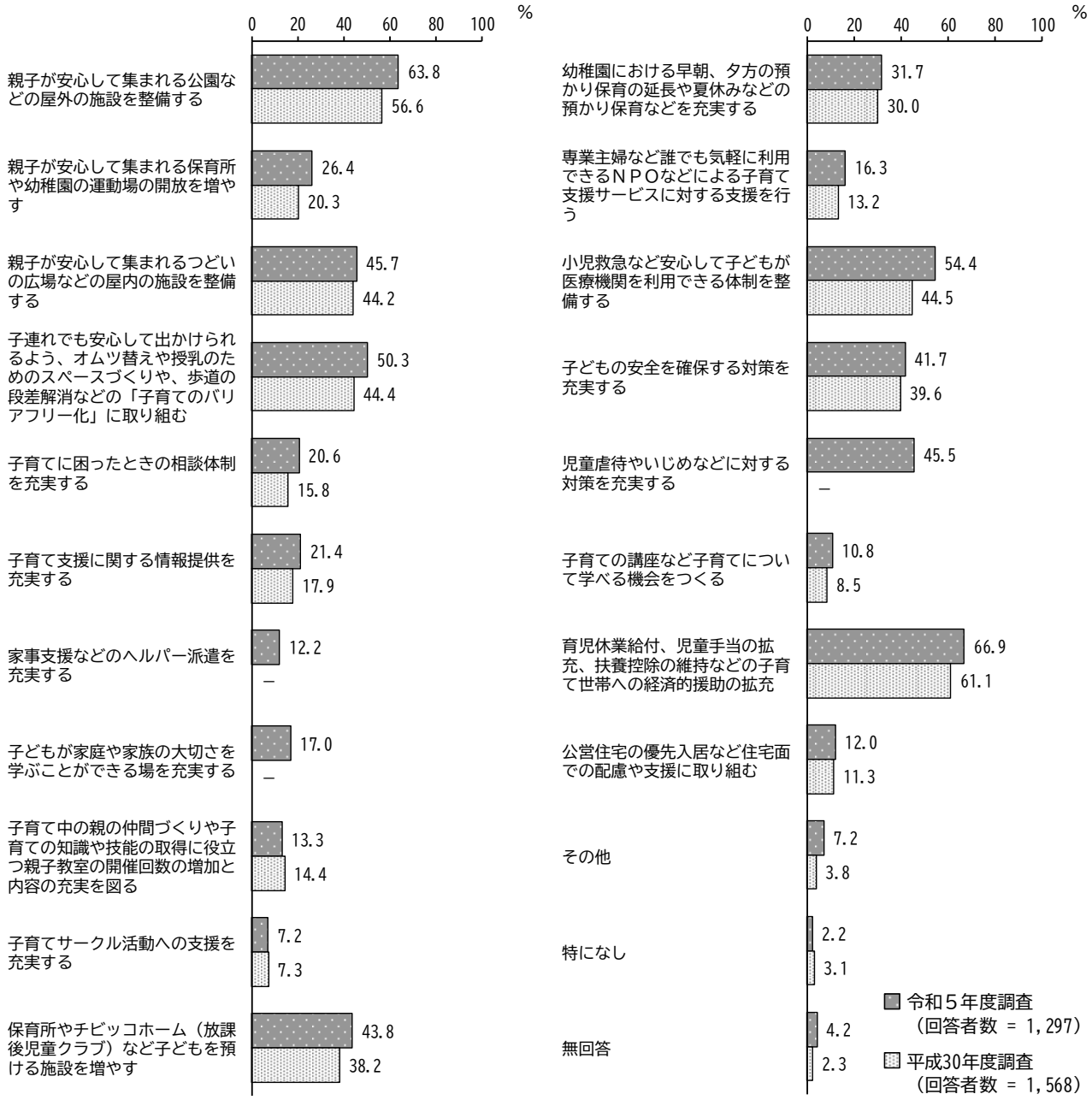
「３」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「２」の割合が 30.4%、「１　満足度が低い」の割合が 26.0%となっています。



問 38　市に対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」の割合が 66.9%と最も高く、次いで「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」の割合が 63.8%、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」の割合が 54.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」「親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす」「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む」「保育所やチビッコホーム（放課後児童クラブ）など子どもを預ける施設を増やす」「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」「育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」の割合が増加しています。



※前回調査では、「家事支援などのヘルパー派遣を充実する」「子どもが家庭や家族の大切さを学ぶことができる場を充実する」の選択肢はありませんでした。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、０歳で「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する	親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす	親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する	子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む	子育てに困ったときの相談体制を充実する	子育て支援に関する情報提供を充実する	家事支援などのヘルパー派遣を充実する	子どもが家庭や家族の大切さを学ぶことができる場を充実する	子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る	子育てサークル活動への支援を充実する	保育所やチビッコホーム（放課後児童クラブ）など子どもを預ける施設を増やす
全　体	1,297	63.8	26.4	45.7	50.3	20.6	21.4	12.2	17.0	13.3	7.2	43.8
０歳	216	69.0	29.6	57.9	73.1	21.3	25.5	12.5	16.7	17.1	7.4	45.8
１・２歳	408	68.9	28.4	49.3	54.2	20.3	20.8	12.3	16.2	14.2	8.1	46.1
３～５歳	609	59.1	23.2	39.2	39.9	20.4	21.2	12.0	17.7	11.5	6.7	42.5

区分	幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する	専業主婦など誰でも気軽に利用できるＮＰＯなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う	小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する	子どもの安全を確保する対策を充実する	児童虐待やいじめなどに対する対策を充実する	子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる	育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充	公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む	その他	特になし	無回答
全　体	31.7	16.3	54.4	41.7	45.5	10.8	66.9	12.0	7.2	2.2	4.2
０歳	33.3	20.8	59.3	51.4	45.8	11.1	76.4	15.3	8.3	1.9	1.4
１・２歳	32.8	18.9	57.6	43.6	45.8	10.8	69.6	12.7	8.1	1.7	3.9
３～５歳	31.2	14.0	51.1	37.6	45.3	10.5	63.1	10.7	6.9	2.6	5.1

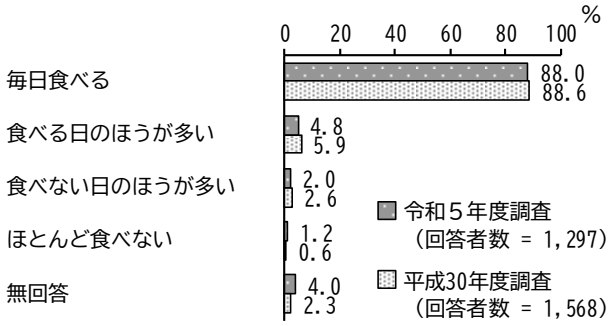
（11）封筒のあて名のお子さんの生活習慣について

問 39　お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号１つに○をつけてください。

（１）朝ごはんを食べますか。

「毎日食べる」の割合が 88.0%と最も高くなっています。

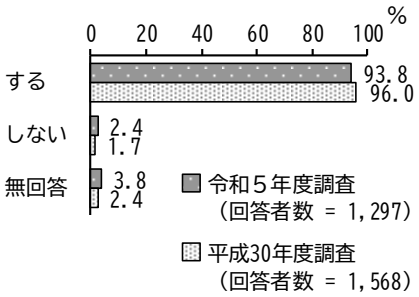
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



（２）１日１回は家族と一緒に食事をしますか。

「する」の割合が 93.8%、「しない」の割合が 2.4%となっています。

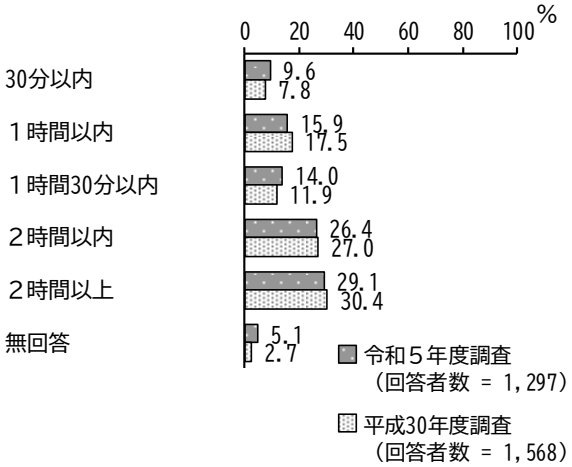
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



（３）平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の１日あたり平均視聴時間は何時間ですか。

「２時間以上」の割合が 29.1%と最も高く、次いで「２時間以内」の割合が 26.4%、「１時間以内」の割合が 15.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

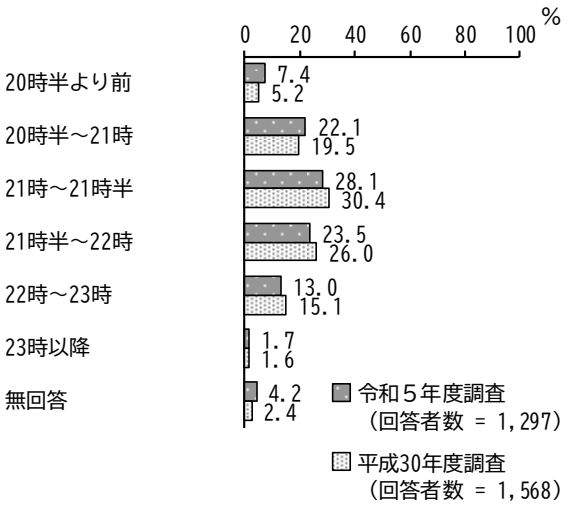


※前回調査では、「視聴しない」の選択肢がありました。

（４）就寝時刻は何時ですか。

「21 時～21 時半」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「21 時半～22 時」の割合が 23.5%、「20 時半～21 時」の割合が 22.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

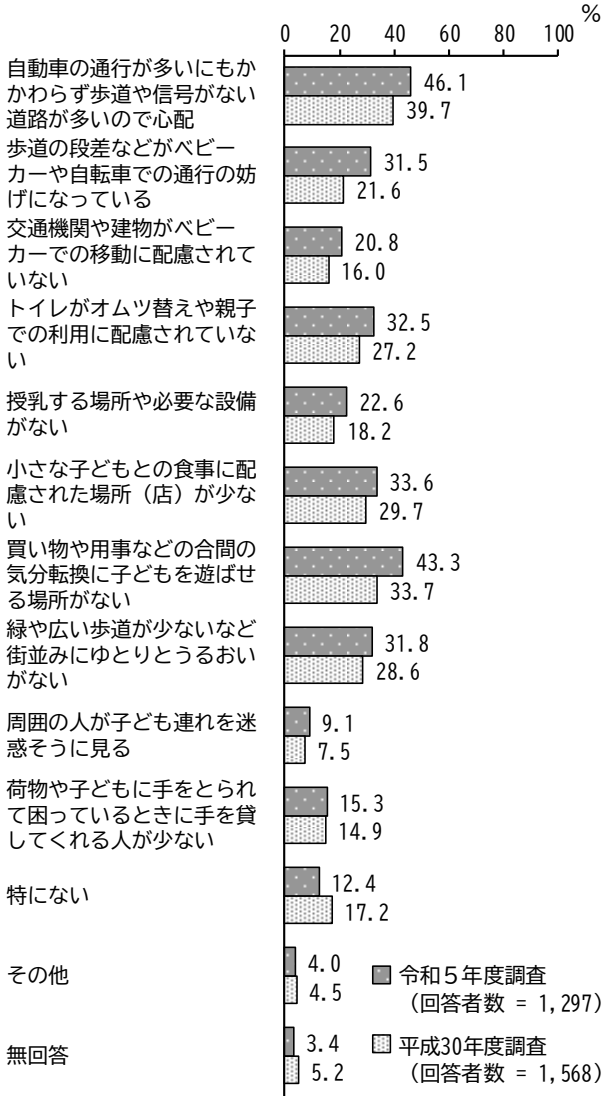


（12）子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について

問 40　封筒のあて名のお子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」の割合が 43.3%、「小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない」の割合が 33.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」「歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている」「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない」「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」の割合が増加しています。



【地区別】

地区別にみると、久米田地域で「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配	歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている	交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない	授乳する場所や必要な設備がない	小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない	買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない	緑や広い歩道が少ないなど街並みにゆとりとうるおいがない	周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る	荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ない	特にない	その他	無回答
全　体	1,297	46.1	31.5	20.8	32.5	22.6	33.6	43.3	31.8	9.1	15.3	12.4	4.0	3.4
都市中核地域	310	41.9	32.9	21.6	31.6	25.2	32.6	43.5	34.2	6.8	15.5	13.5	5.8	1.9
岸和田北部地域	189	42.3	36.0	27.0	40.2	24.9	31.7	34.9	33.3	7.4	17.5	14.8	2.6	3.2
葛城の谷地域	203	42.9	29.1	16.7	27.6	17.7	33.0	41.9	31.0	9.4	16.3	13.8	3.0	2.5
岸和田中部地域	174	53.4	28.7	20.1	29.9	21.8	40.2	47.7	23.6	13.2	16.1	9.2	5.7	1.7
久米田地域	196	56.1	35.2	19.4	35.2	23.0	34.7	43.9	34.2	13.8	13.8	8.2	4.6	6.6
牛滝の谷地域	133	46.6	28.6	22.6	33.8	25.6	37.6	50.4	33.1	7.5	12.8	13.5	3.0	3.0

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、０歳で「授乳する場所や必要な設備がない」の割合が高くなっています。

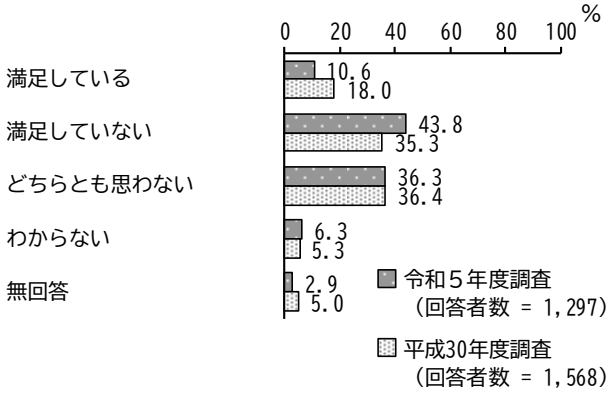
単位：％

区分	回答者数（件）	自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配	歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている	交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない	授乳する場所や必要な設備がない	小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない	買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない	緑や広い歩道が少ないなど街並みにゆとりとうるおいがない	周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る	荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ない	特にない	その他	無回答
全　体	1,297	46.1	31.5	20.8	32.5	22.6	33.6	43.3	31.8	9.1	15.3	12.4	4.0	3.4
０歳	216	43.1	47.2	28.2	44.4	39.4	46.8	46.8	34.3	8.8	16.2	8.8	3.2	1.4
１・２歳	408	41.9	31.9	22.5	37.3	23.8	38.2	48.8	31.6	9.8	16.2	12.7	4.7	2.7
３～５歳	609	50.1	25.9	17.2	25.0	15.6	26.3	39.6	31.4	9.5	14.6	13.6	3.9	3.8

問 41　お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「満足していない」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「どちらとも思わない」の割合が 36.3%、「満足している」の割合が 10.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「満足していない」の割合が増加しています。一方、「満足している」の割合が減少しています。



※前回調査では、「どちらとも思わない」の選択肢が「どちらともいえない」でした。

【地区別】

地区別にみると、牛滝の谷地域で「満足していない」の割合が高くなっています。

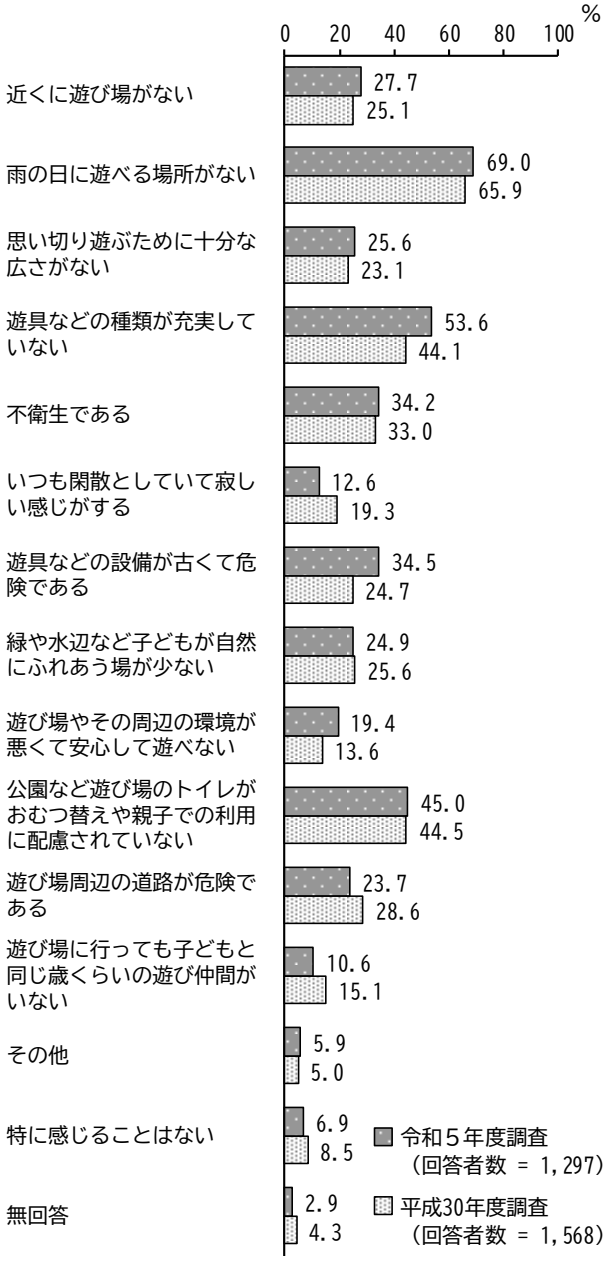
単位：%

区分	回答者数（件）	満足している	満足していない	どちらとも思わない	わからない	無回答
全　体	1,297	10.6	43.8	36.3	6.3	2.9
都市中核地域	310	10.3	45.5	35.8	6.1	2.3
岸和田北部地域	189	13.2	50.3	29.1	4.8	2.6
葛城の谷地域	203	7.4	45.8	37.9	5.9	3.0
岸和田中部地域	174	11.5	39.7	42.0	5.7	1.1
久米田地域	196	9.7	38.3	38.8	8.7	4.6
牛滝の谷地域	133	11.3	50.4	26.3	9.8	2.3

問 42　お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「雨の日に遊べる場所がない」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」の割合が 53.6%、「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」の割合が 45.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「遊具などの種類が充実していない」「遊具などの設備が古くて危険である」「遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない」の割合が増加しています。一方、「いつも閑散としていて寂しい感じがする」の割合が減少しています。



【地区別】

地区別にみると、牛滝の谷地域で「近くに遊び場がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	近くに遊び場がない	雨の日に遊べる場所がない	思い切り遊ぶために十分な広さがない	遊具などの種類が充実していない	不衛生である	いつも閑散としていて寂しい感じがする	遊具などの設備が古くて危険である
全　体	1,297	27.7	69.0	25.6	53.6	34.2	12.6	34.5
都市中核地域	310	24.5	70.6	27.1	56.5	40.0	12.6	42.9
岸和田北部地域	189	24.9	66.1	23.3	55.6	38.6	16.9	41.3
葛城の谷地域	203	38.4	70.9	33.0	53.7	27.6	11.8	29.1
岸和田中部地域	174	21.3	67.8	19.0	44.3	32.2	7.5	23.0
久米田地域	196	24.0	70.4	26.0	56.1	32.1	7.7	33.7
牛滝の谷地域	133	39.1	70.7	27.8	57.9	30.1	21.1	35.3

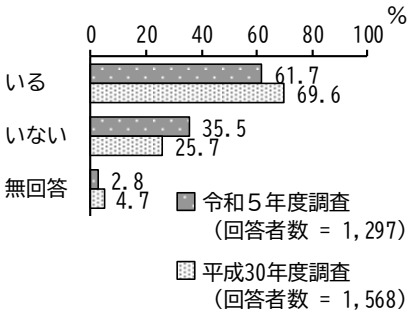
区分	緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない	遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない	公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない	遊び場周辺の道路が危険である	遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない	その他	特に感じることはない	無回答
全　体	24.9	19.4	45.0	23.7	10.6	5.9	6.9	2.9
都市中核地域	31.0	23.5	47.7	22.6	10.3	4.8	6.1	2.3
岸和田北部地域	33.3	23.3	51.9	25.4	11.1	4.8	4.8	2.1
葛城の谷地域	24.1	16.3	39.4	20.2	8.9	5.4	8.9	3.4
岸和田中部地域	14.9	20.7	36.8	23.6	7.5	10.9	9.2	1.1
久米田地域	23.5	17.3	47.4	29.6	11.7	7.7	6.1	4.6
牛滝の谷地域	18.0	13.5	52.6	27.1	16.5	3.8	6.8	1.5

（13）子育てに対する意識について

問 43　近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

「いる」の割合が 61.7%、「いない」の割合が 35.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「いない」の割合が増加しています。一方、「いる」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、０歳で「いない」の割合が高くなっています。

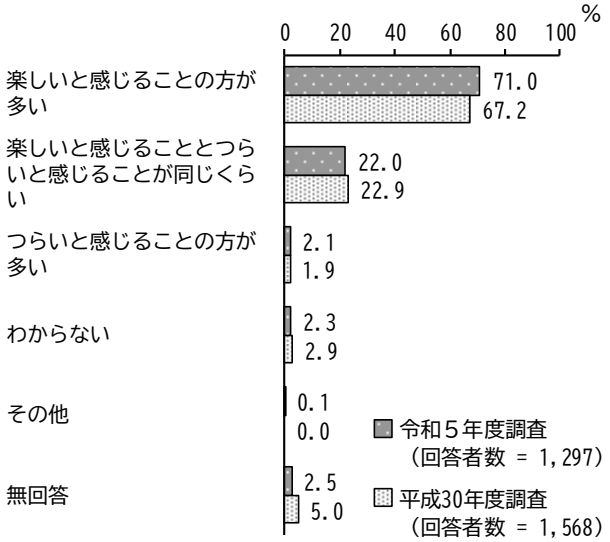
単位：%

区分	回答者数（件）	いる	いない	無回答
全　体	1,297	61.7	35.5	2.8
０歳	216	58.3	40.7	0.9
１・２歳	408	60.0	38.0	2.0
３～５歳	609	64.4	32.0	3.6

問 44　ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が 71.0%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が 22.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

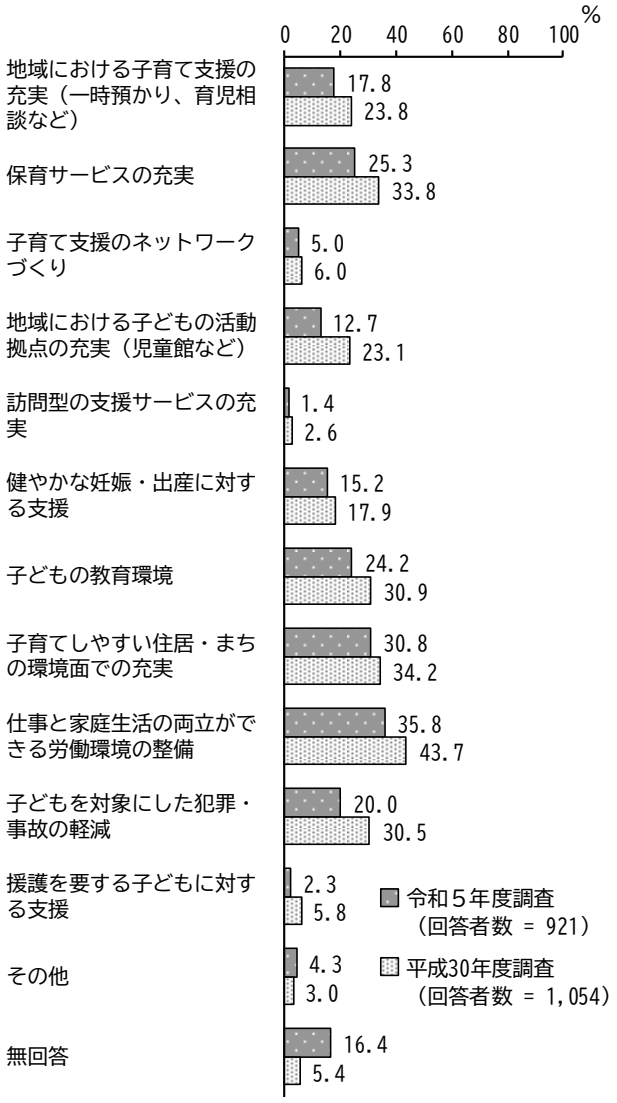
単位：％

区分	回答者数（件）	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい	つらいと感じることの方が多い	わからない	その他	無回答
全　体	1,297	71.0	22.0	2.1	2.3	0.1	2.5
フルタイム（休業中含む）	575	73.4	19.8	2.1	2.1	－	2.6
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	423	70.0	24.8	0.9	1.7	0.2	2.4
働いていない（学生含む）	293	68.3	21.8	3.8	3.8	－	2.4

問 44－１　問 44 で「１.」を選ばれた、子育てを楽しいと感じる方におうかがいします。子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。

「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」の割合が 30.8%、「保育サービスの充実」の割合が 25.3%となっています。

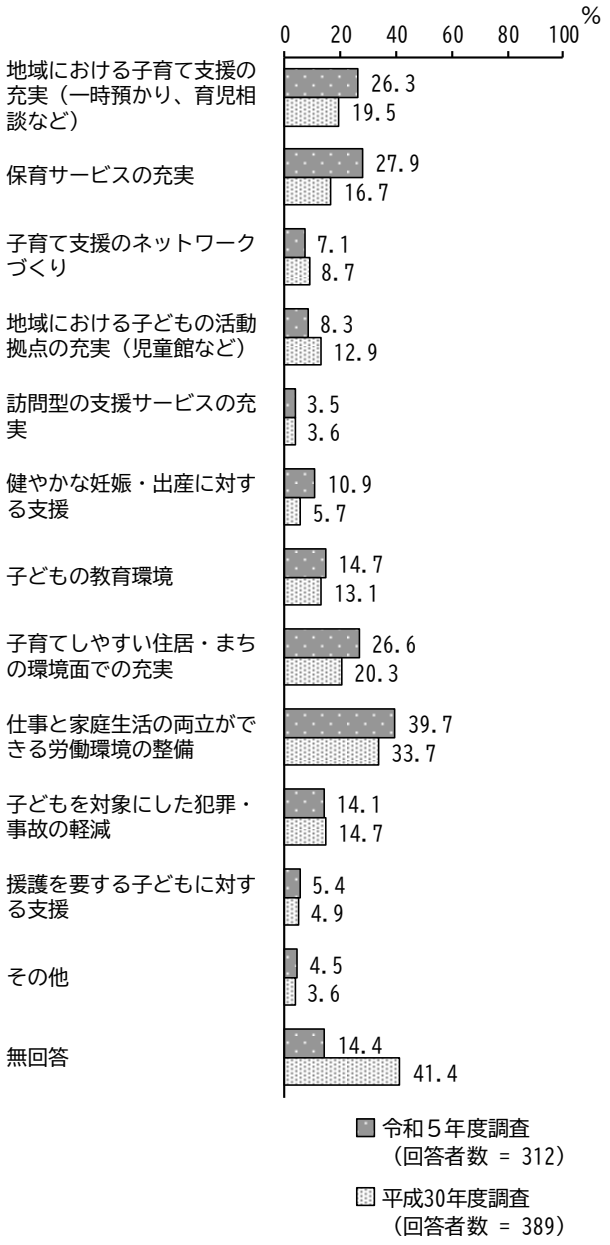
平成 30 年度調査と比較すると、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」「保育サービスの充実」「地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）」「子どもの教育環境」「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」の割合が減少しています。



問44－２　問44で「２.」「３.」を選ばれた方におうかがいします。あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。

「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」の割合が39.7%と最も高く、次いで「保育サービスの充実」の割合が27.9%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」の割合が26.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」「保育サービスの充実」「健やかな妊娠・出産に対する支援」「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」の割合が増加しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、働いていない（学生含む）で「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」の割合が高くなっています。

単位：％

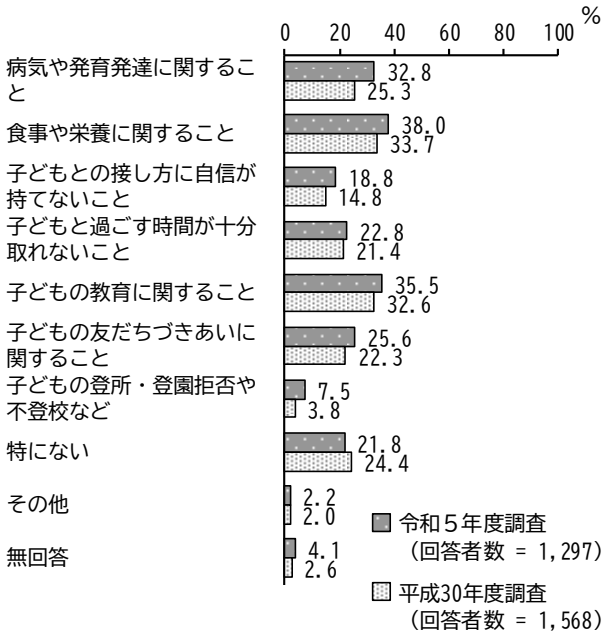
区分	回答者数（件）	地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）	訪問型の支援サービスの充実	健やかな妊娠・出産に対する支援	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	援護を要する子どもに対する支援	その他	無回答
全　体	312	26.3	27.9	7.1	8.3	3.5	10.9	14.7	26.6	39.7	14.1	5.4	4.5	14.4
フルタイム（休業中含む）	126	19.8	32.5	8.7	5.6	3.2	10.3	15.1	27.0	51.6	17.5	5.6	3.2	13.5
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	109	24.8	25.7	7.3	6.4	5.5	11.9	17.4	29.4	34.9	12.8	4.6	4.6	15.6
働いていない（学生含む）	75	38.7	24.0	4.0	16.0	1.3	10.7	10.7	22.7	28.0	10.7	6.7	5.3	14.7

問 45　子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

（1）子どもに関すること

「食事や栄養に関すること」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」の割合が 35.5%、「病気や発育発達に関すること」の割合が 32.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「病気や発育発達に関すること」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、０歳で「食事や栄養に関すること」の割合が高くなっています。

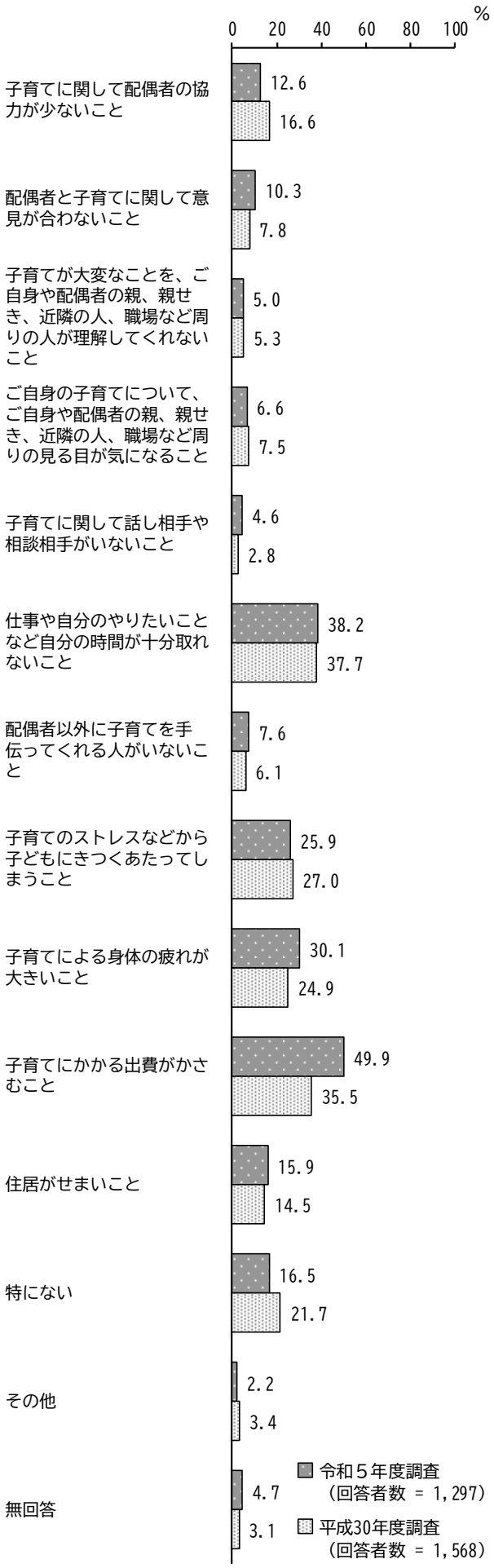
単位：%

区分	回答者数（件）	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもとの接し方に自信が持てないこと	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育に関すること	子どもの友だちづきあいに関すること	子どもの登所・登園拒否や不登校など	特にない	その他	無回答
全　体	1,297	32.8	38.0	18.8	22.8	35.5	25.6	7.5	21.8	2.2	4.1
０歳	216	35.6	47.7	18.1	14.8	32.9	17.6	5.6	25.5	3.2	2.8
１・２歳	408	34.3	43.9	21.8	24.0	36.8	20.8	6.1	19.9	2.0	3.2
３～５歳	609	30.4	30.4	16.9	25.9	35.5	32.5	9.0	22.0	1.8	4.9

（2）ご自身に関すること

「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が49.9%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が38.2%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が30.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が増加しています。一方、「特にない」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、０歳で「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関して配偶者の協力が少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
全　体	1,297	12.6	10.3	5.0	6.6	4.6	38.2	7.6
０歳	216	12.5	10.6	4.6	5.1	6.5	38.4	4.6
１・２歳	408	10.3	10.0	5.6	7.8	4.4	42.4	9.3
３～５歳	609	14.3	10.0	4.8	6.1	4.3	36.5	7.7

区分	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てにかかる出費がかさむこと	住居がせまいこと	特にない	その他	無回答
全　体	25.9	30.1	49.9	15.9	16.5	2.2	4.7
０歳	17.1	36.6	54.6	20.4	15.3	2.8	4.2
１・２歳	27.9	33.1	46.1	15.7	17.9	1.7	4.7
３～５歳	27.9	26.6	51.1	14.1	15.8	2.1	4.4

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、働いていない（学生含む）で「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が高くなっています。

単位：％

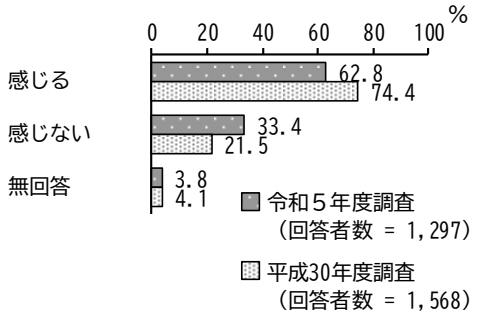
区分	回答者数（件）	子育てに関して配偶者の協力が少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
全　体	1,297	12.6	10.3	5.0	6.6	4.6	38.2	7.6
フルタイム（休業中含む）	575	10.8	11.7	5.2	6.6	4.3	41.2	6.1
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	423	12.5	8.7	5.7	6.4	3.5	34.3	7.3
働いていない（学生含む）	293	15.7	9.9	3.8	6.1	6.5	38.2	10.6

区分	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てにかかる出費がかさむこと	住居がせまいこと	特にない	その他	無回答
全　体	25.9	30.1	49.9	15.9	16.5	2.2	4.7
フルタイム（休業中含む）	24.7	29.6	50.8	14.1	13.4	2.8	5.6
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	28.1	26.5	51.1	17.5	18.9	2.4	3.5
働いていない（学生含む）	24.9	36.2	46.8	17.1	19.1	1.0	4.4

問 46　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

「感じる」の割合が 62.8%、「感じない」の割合が 33.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「感じない」の割合が増加しています。一方、「感じる」の割合が減少しています。



【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。

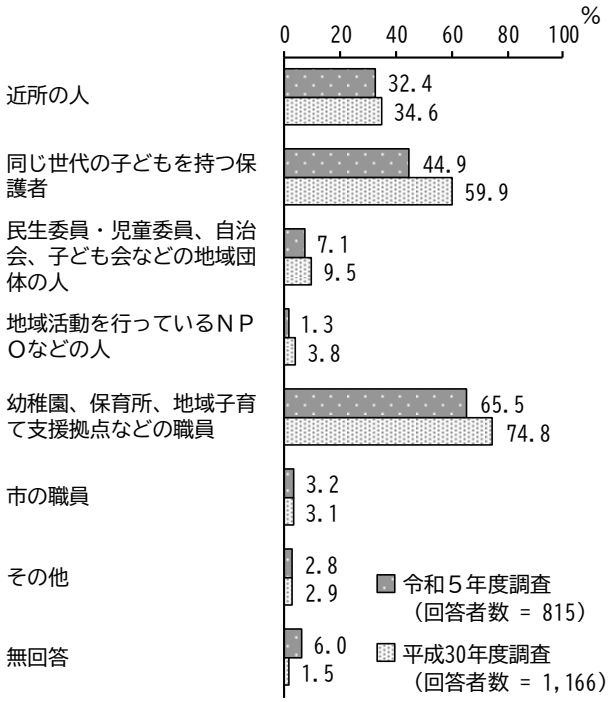
単位：%

区分	回答者数（件）	感じる	感じない	無回答
全　体	1,297	62.8	33.4	3.8
都市中核地域	310	63.5	32.6	3.9
岸和田北部地域	189	65.6	31.2	3.2
葛城の谷地域	203	63.5	32.0	4.4
岸和田中部地域	174	67.2	32.2	0.6
久米田地域	196	60.7	34.2	5.1
牛滝の谷地域	133	58.6	38.3	3.0

支えられている人

「幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「同じ世代の子どもを持つ保護者」の割合が 44.9%、「近所の人」の割合が 32.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「同じ世代の子どもを持つ保護者」「幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員」の割合が減少しています。



※前回調査では、「市の職員」の選択肢が「市役所の職員」でした。

【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。

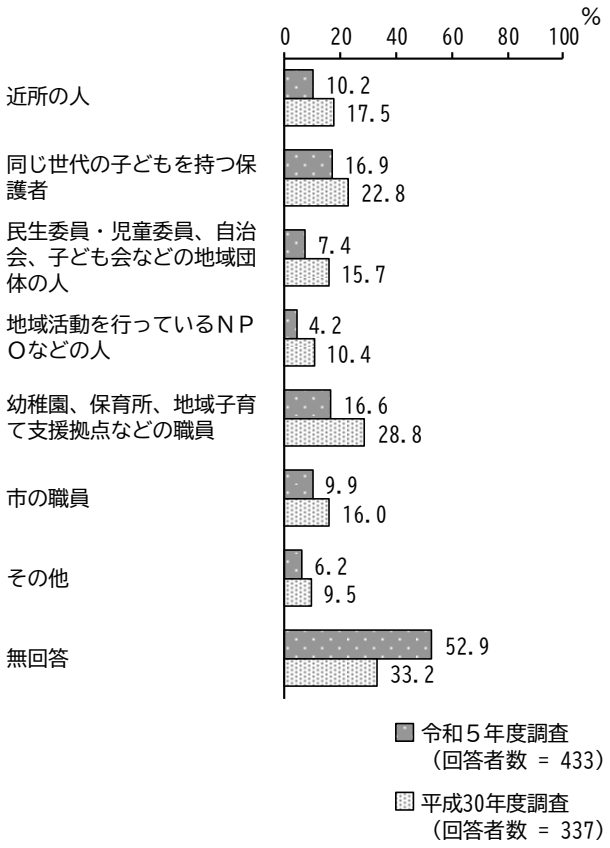
単位：%

区分	回答者数（件）	近所の人	同じ世代の子どもを持つ保護者	民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人	地域活動を行っているＮＰＯなどの人	幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員	市の職員	その他	無回答
全　体	815	32.4	44.9	7.1	1.3	65.5	3.2	2.8	6.0
都市中核地域	197	34.0	46.7	9.1	2.5	64.0	3.0	3.6	7.6
岸和田北部地域	124	33.9	43.5	5.6	－	69.4	0.8	5.6	4.0
葛城の谷地域	129	28.7	42.6	4.7	0.8	66.7	3.9	3.9	9.3
岸和田中部地域	117	29.1	43.6	8.5	3.4	60.7	1.7	0.9	7.7
久米田地域	119	29.4	49.6	6.7	0.8	64.7	3.4	0.8	5.0
牛滝の谷地域	78	37.2	42.3	9.0	－	60.3	7.7	2.6	2.6

支えてほしい人

「同じ世代の子どもを持つ保護者」の割合が16.9%と最も高く、次いで「幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員」の割合が16.6%、「近所の人」の割合が10.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「近所の人」「同じ世代の子どもを持つ保護者」「民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人」「地域活動を行っているＮＰＯなどの人」「幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員」「市の職員」の割合が減少しています。



※前回調査では、「市の職員」の選択肢が「市役所の職員」でした。

【地区別】

地区別にみると、岸和田北部地域で「幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員」の割合が高くなっています。

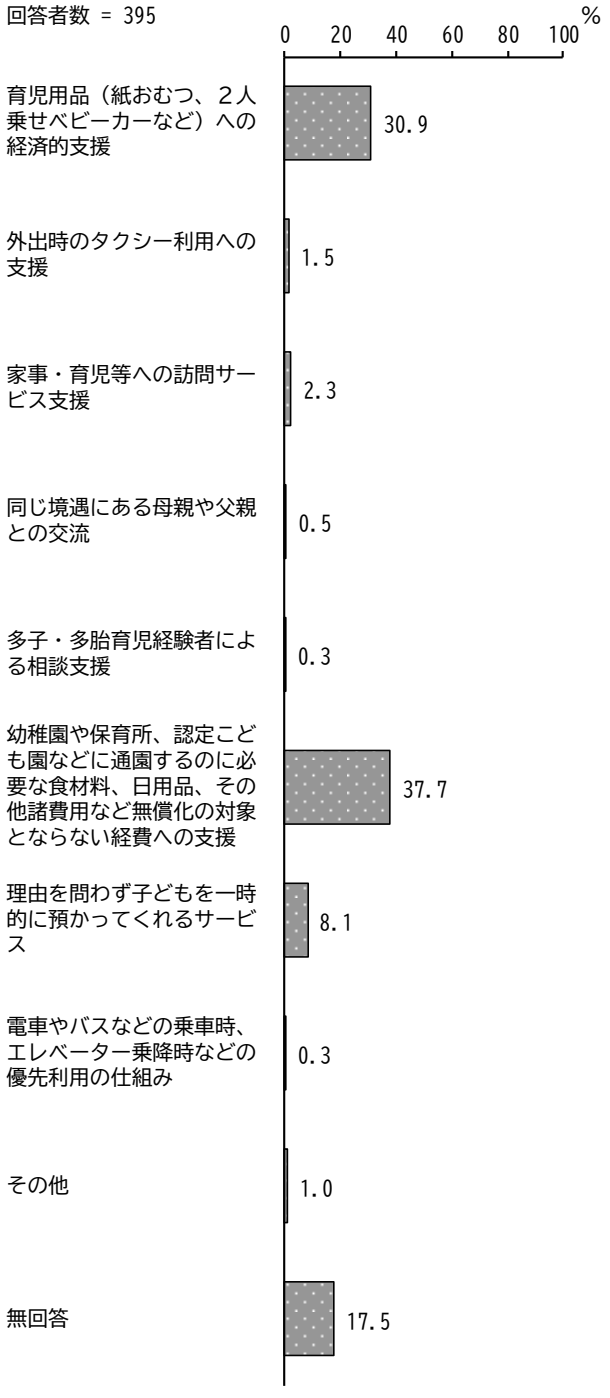
単位：%

区分	回答者数（件）	近所の人	同じ世代の子どもを持つ保護者	民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人	地域活動を行っているＮＰＯなどの人	幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員	市の職員	その他	無回答
全　体	433	10.2	16.9	7.4	4.2	16.6	9.9	6.2	52.9
都市中核地域	101	11.9	19.8	7.9	6.9	20.8	7.9	11.9	42.6
岸和田北部地域	59	8.5	20.3	6.8	5.1	22.0	8.5	5.1	47.5
葛城の谷地域	65	10.8	18.5	3.1	1.5	12.3	7.7	3.1	61.5
岸和田中部地域	56	5.4	10.7	14.3	3.6	16.1	10.7	1.8	55.4
久米田地域	67	10.4	14.9	6.0	3.0	14.9	14.9	4.5	55.2
牛滝の谷地域	51	13.7	15.7	9.8	5.9	15.7	11.8	7.8	52.9

（14）封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんが３人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）のお子さんがいる方

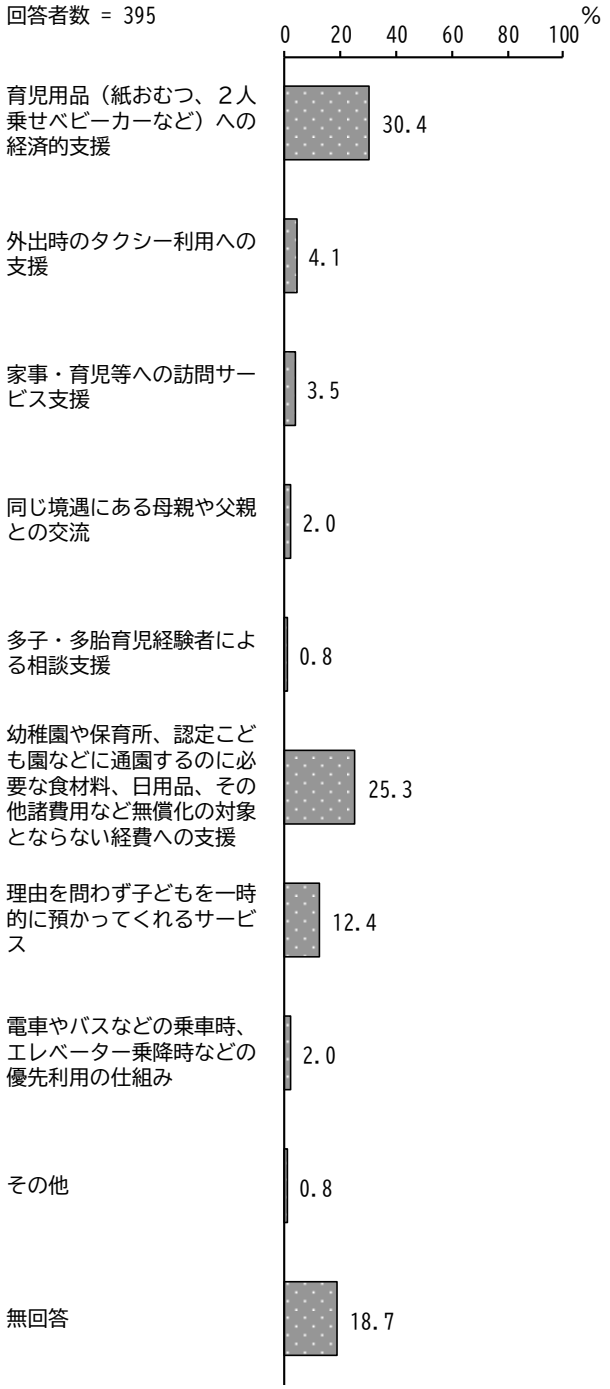
問 47　どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思われますか。もっとも有効だと思われる番号１つに○をつけてください。

「幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「育児用品（紙おむつ、２人乗せベビーカーなど）への経済的支援」の割合が 30.9%となっています。



問 47－１　２番目に有効だと思われる番号に１つ○をつけてください。

「育児用品（紙おむつ、２人乗せベビーカーなど）への経済的支援」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援」の割合が 25.3%、「理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス」の割合が 12.4%となっています。



2　小学生児童調査

（１）ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

問１　お住まいの小学校区について、あてはまる番号１つに○をつけてください。

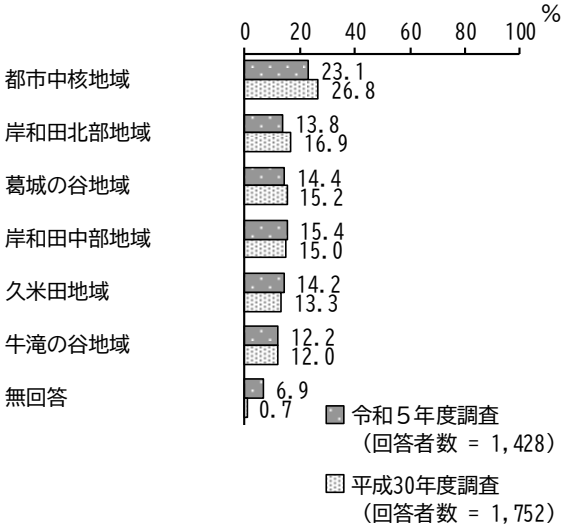
「常盤」の割合が 8.6%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

居住地域

「都市中核地域」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「岸和田中部地域」の割合が 15.4%、「葛城の谷地域」の割合が 14.4%となっています。

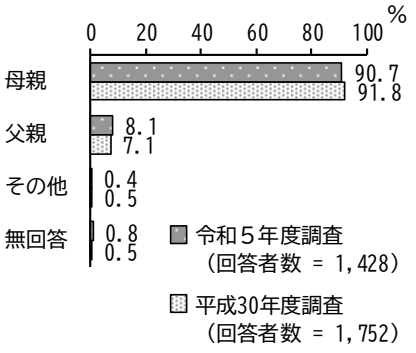
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問２　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号１つに○をつけてください。

「母親」の割合が 90.7%、「父親」の割合が 8.1%となっています。

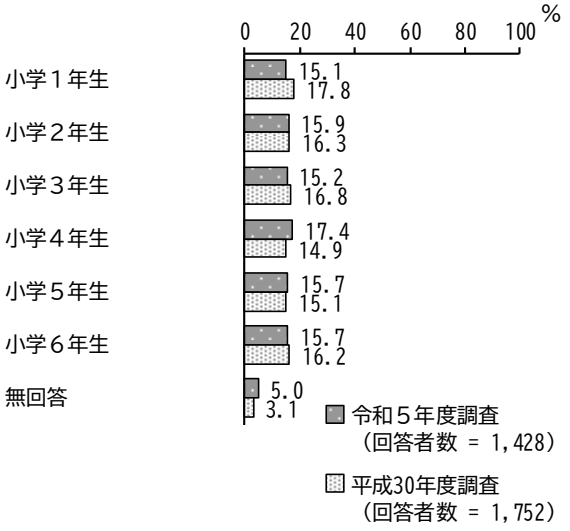
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問３　封筒のあて名のお子さんの生年月について、「平成」か「西暦」に○をつけ、枠内に数字を入れてください。

「小学４年生」の割合が 17.4%と最も高く、次いで「小学２年生」の割合が 15.9%、「小学５年生」、「小学６年生」の割合が 15.7%となっています。

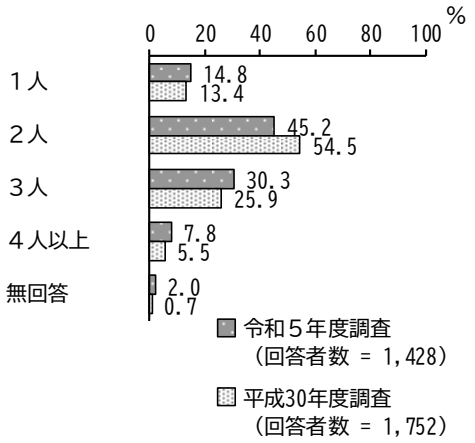
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問４　封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、２人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和５年４月１日現在の年齢）を記入してください。

「２人」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「３人」の割合が 30.3%、「１人」の割合が 14.8%となっています。

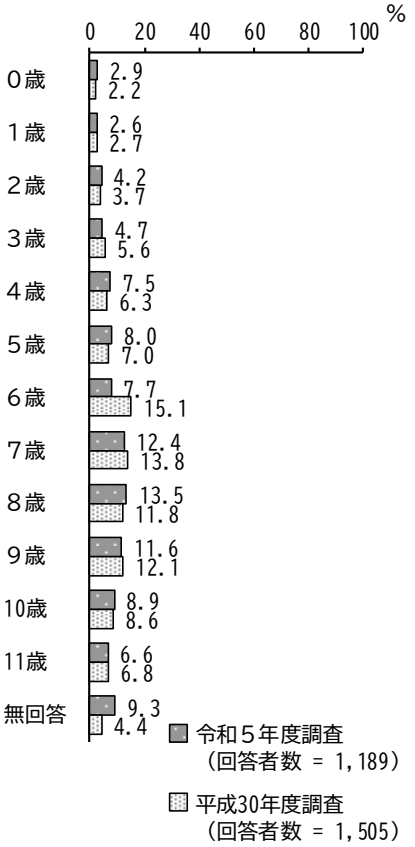
平成 30 年度調査と比較すると、「２人」の割合が減少しています。



子どもが２人以上いる場合の末子の年齢

「８歳」の割合が 13.5%と最も高く、次いで「７歳」の割合が 12.4%、「９歳」の割合が 11.6%となっています。

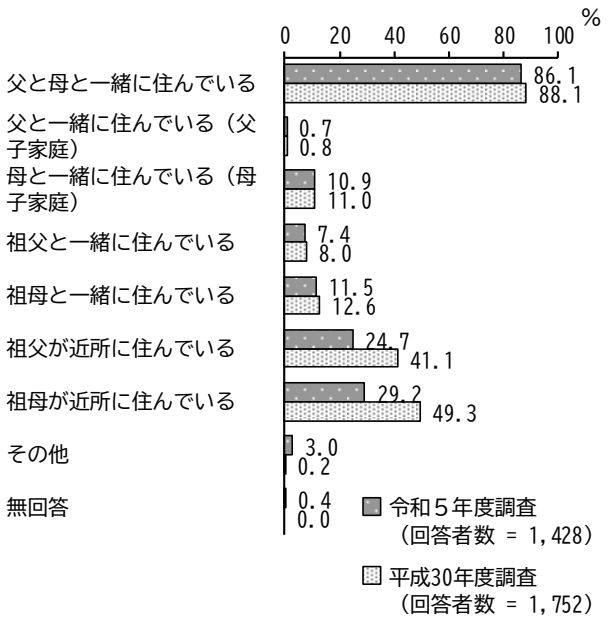
平成 30 年度調査と比較すると、「６歳」の割合が減少しています。



問５　封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

「父と母と一緒に住んでいる」の割合が 86.1%と最も高く、次いで「祖母が近所に住んでいる」の割合が 29.2%、「祖父が近所に住んでいる」の割合が 24.7%となっています。

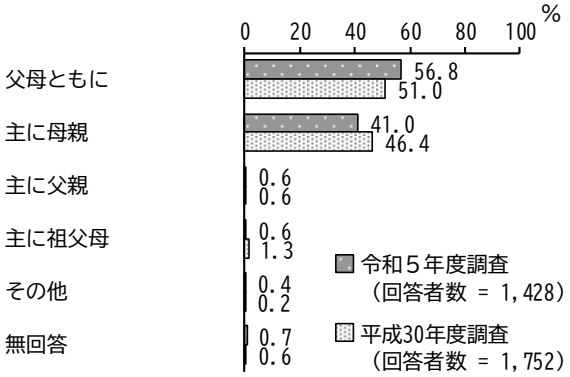
平成 30 年度調査と比較すると、「祖父が近所に住んでいる」「祖母が近所に住んでいる」の割合が減少しています。



問６　封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

「父母ともに」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 41.0%となっています。

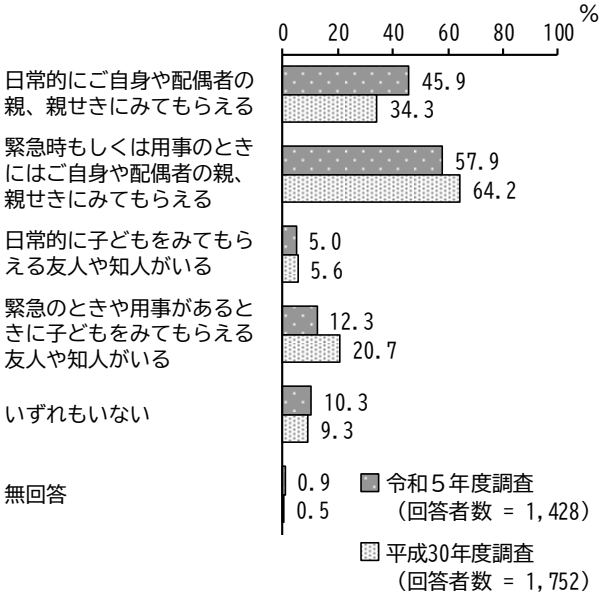
平成 30 年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。



問７　日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」の割合が57.9%と最も高く、次いで「日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」の割合が45.9%、「緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」の割合が12.3%となっています。

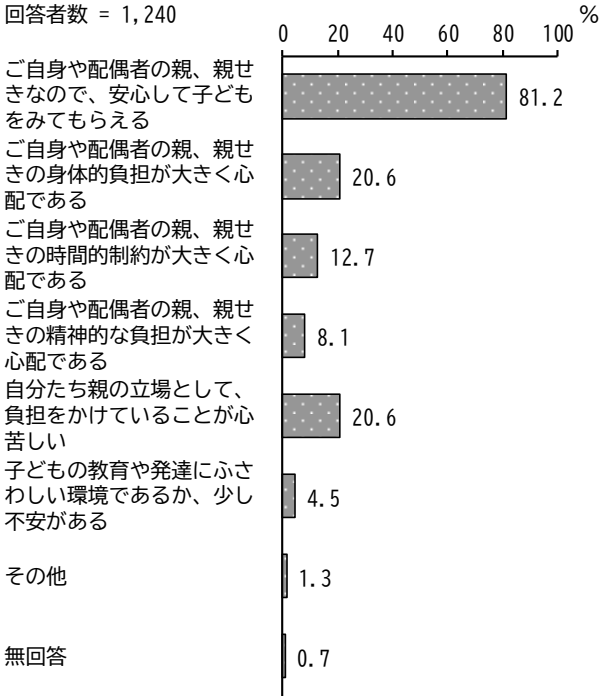
平成30年度調査と比較すると、「日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」の割合が増加しています。一方、「緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」「緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」の割合が減少しています。



※前回調査では、「日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」の選択肢は「日常的に子どもの祖父母、親せきにみてもらえる」、「緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」の選択肢は「緊急時もしくは用事のときには子どもの祖父母、親せきにみてもらえる」となっていました。

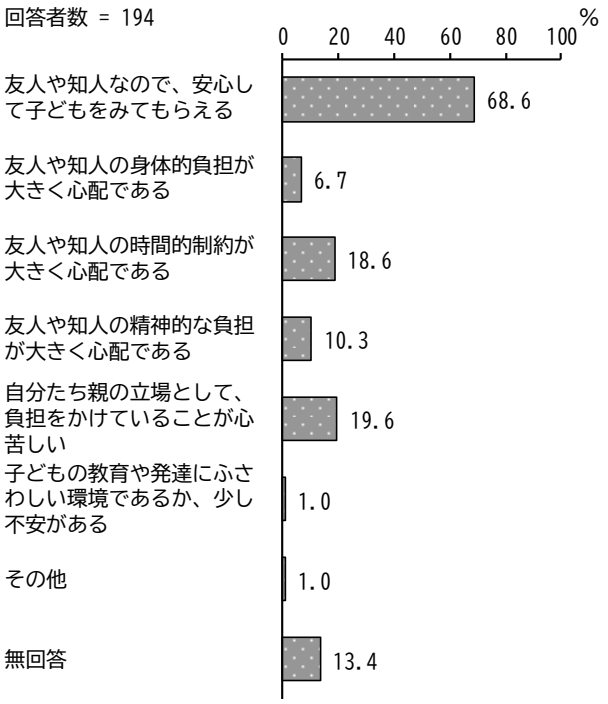
問７－１　問７で「１.」または「２.」を選ばれた、お子さんをご自身や配偶者の親、親せきにみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「ご自身や配偶者の親、親せきなので、安心して子どもをみてもらえる」の割合が81.2%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 20.6%、「ご自身や配偶者の親、親せきの身体的負担が大きく心配である」の割合が 20.6%となっています。



問７－２　問７で「３.」または「４.」を選ばれた、お子さんを友人や知人にみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

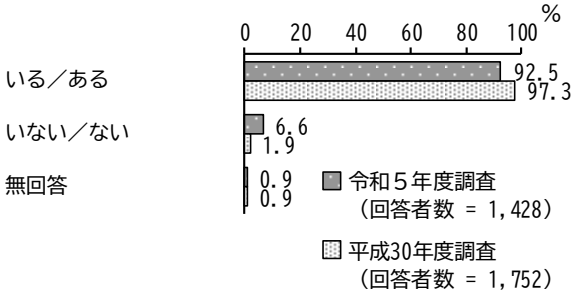
「友人や知人なので、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 68.6%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 19.6%、「友人や知人の時間的制約が大きく心配である」の割合が 18.6%となっています。



問８　あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が 92.5%、「いない／ない」の割合が 6.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

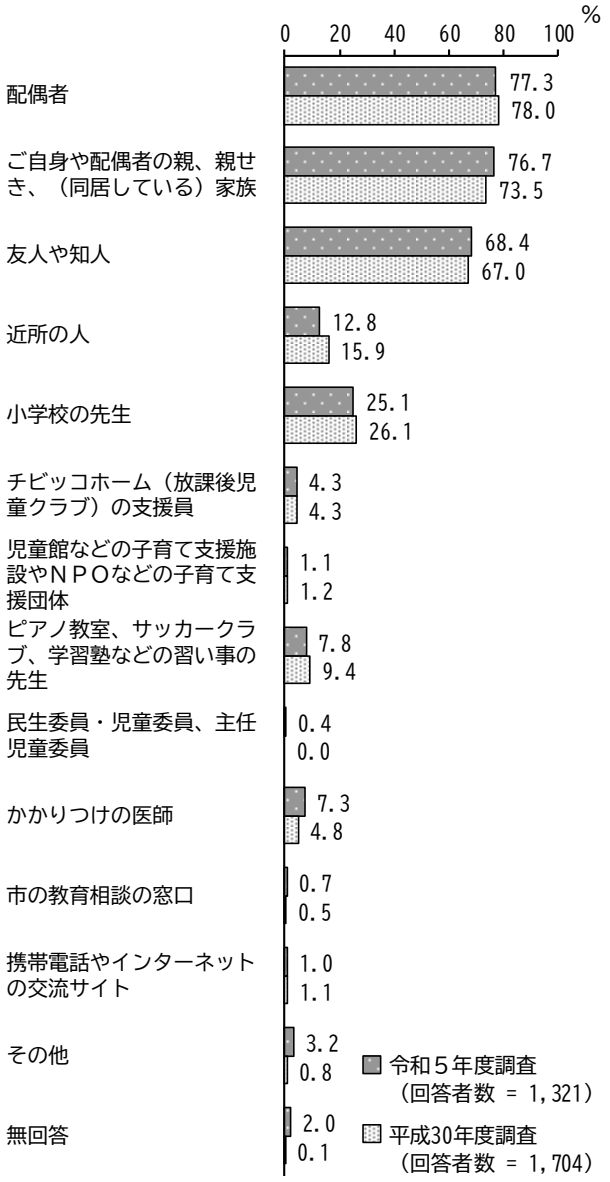


※前回調査では、「いる／ある」の選択肢は「ある」、「いない／ない」の選択肢は「ない」となっていました。

問８－１　問８で「いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者」の割合が 77.3%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」の割合が 76.7%、「友人や知人」の割合が 68.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

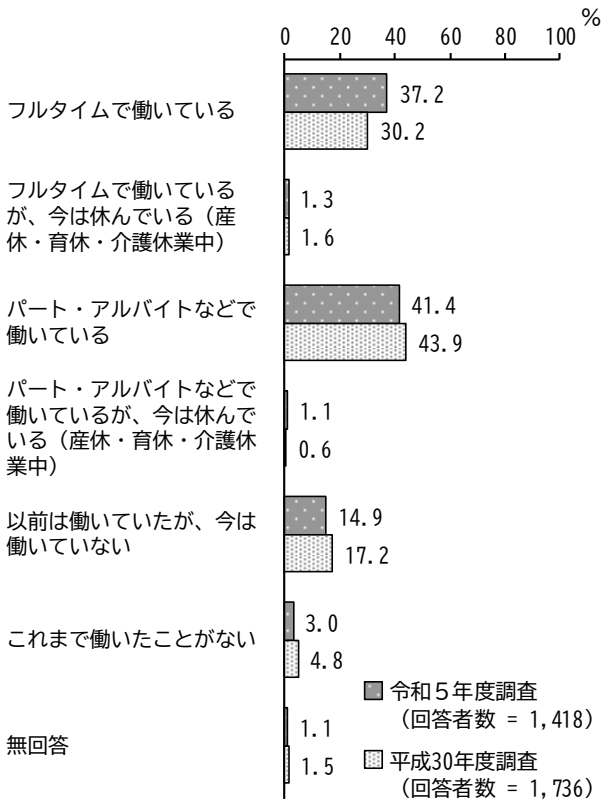


※前回調査では、「配偶者」の選択肢は「子どもの祖父母、親せき、(同居している)家族」、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）の支援員」の選択肢は「放課後児童クラブ（チビッコホーム）の支援員」、「児童館などの子育て支援施設やＮＰＯなどの子育て支援団体」の選択肢は「子育て支援センターや NPO などの子育て支援団体」、「ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの習い事の先生」の選択肢は「ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾などの習い事の先生」、「市の教育相談の窓口」の選択肢は「市役所の子育て支援担当の窓口」となっていました。

問９　封筒のあて名のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「パート・アルバイトなどで働いている」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が 37.2%、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が 14.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイムで働いている」の割合が増加しています。



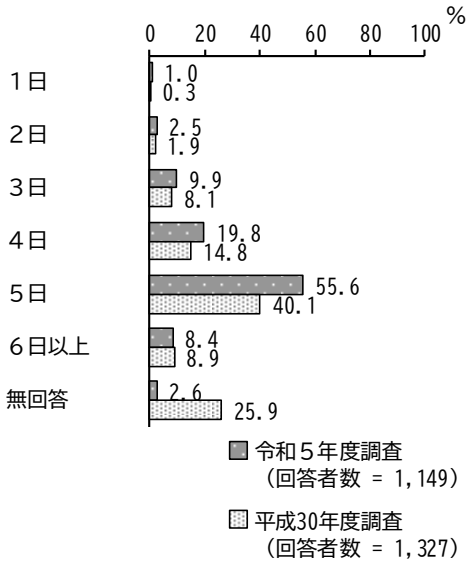
※前回調査では、「フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）」の選択肢は「フルタイムで働いているが、今は休んでいる」、「パート・アルバイトなどで働いている」の選択肢は「パート・アルバイト・派遣などで働いている」、「パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）」の選択肢は「パート・アルバイト・派遣などで働いているが、今は休んでいる」となっていました。

問９－１　問９で「１.」から「４.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。１週間にどのくらいの日数働きますか。また、１日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

１週当たりの就労日数

「５日」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「４日」の割合が 19.8%となっています。

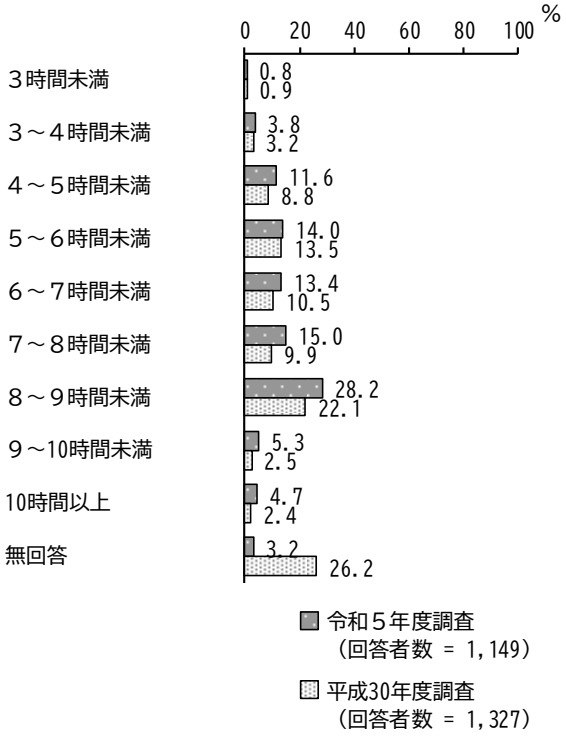
平成 30 年度調査と比較すると、「５日」の割合が増加しています。



１日当たりの就労時間

「８～９時間未満」の割合が 28.2%と最も高く、次いで「７～８時間未満」の割合が 15.0%、「５～６時間未満」の割合が 14.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「７～８時間未満」「８～９時間未満」の割合が増加しています。

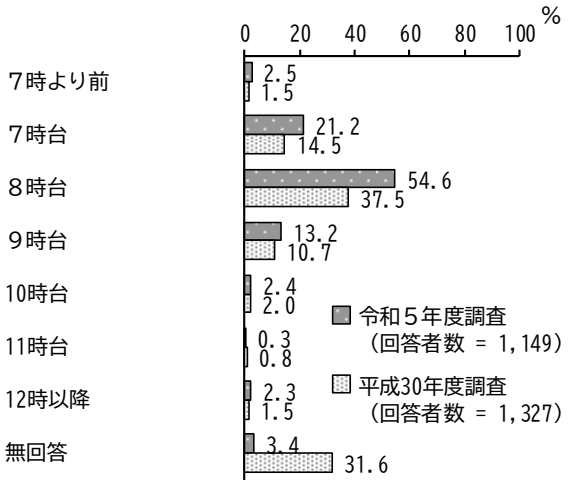


問９－２　問９で「１.」から「４.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）に引き続きおうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18:00）のように、24 時間制でお答えください。

家を出る時間

「８時台」の割合が 54.6%と最も高く、次いで「７時台」の割合が 21.2%、「９時台」の割合が 13.2%となっています。

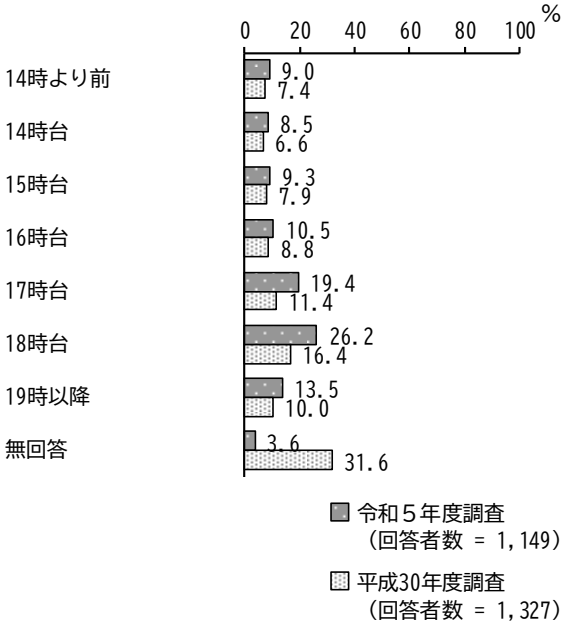
平成 30 年度調査と比較すると、「７時台」「８時台」の割合が増加しています。



帰宅時間

「18 時台」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 19.4%、「19 時以降」の割合が 13.5%となっています。

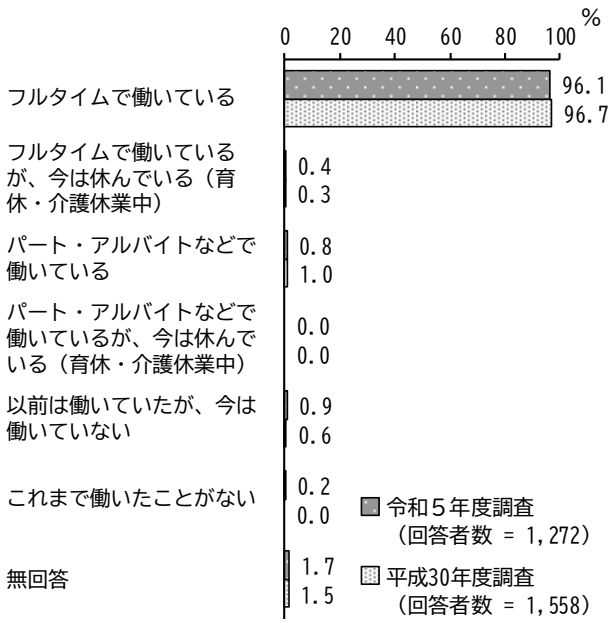
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」「18 時台」の割合が増加しています。



問 10　封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「フルタイムで働いている」の割合が 96.1%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



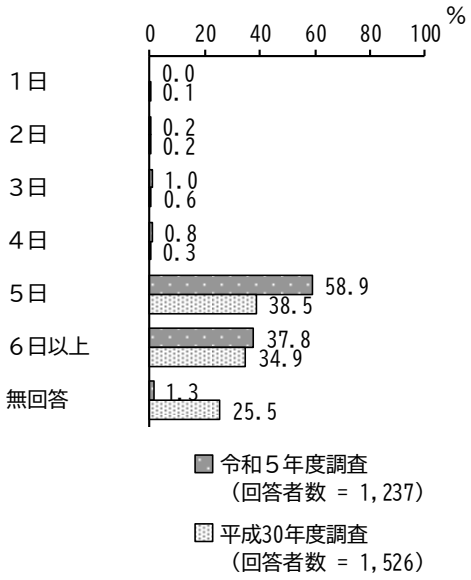
※前回調査では、「フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）」の選択肢は「フルタイムで働いているが、今は休んでいる」、「パート・アルバイトなどで働いている」の選択肢は「パート・アルバイト・派遣などで働いている」、「パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）」の選択肢は「パート・アルバイト・派遣などで働いているが、今は休んでいる」となっていました。

問 10－１　問 10 で「１.」から「４.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。１週間にどのくらいの日数働きますか。また、１日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

１週当たりの就労日数

「５日」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「６日以上」の割合が 37.8%となっています。

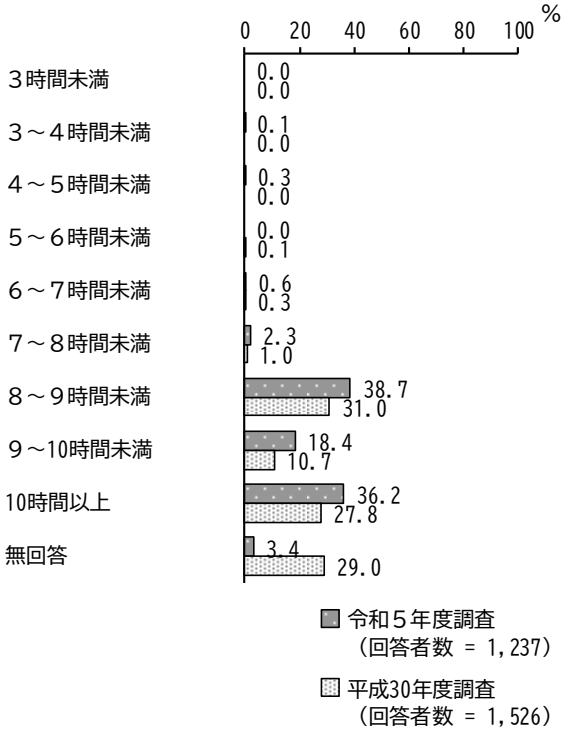
平成 30 年度調査と比較すると、「５日」の割合が増加しています。



１日当たりの就労時間

「８～９時間未満」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「10 時間以上」の割合が 36.2%、「９～10 時間未満」の割合が 18.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「８～９時間未満」「９～10 時間未満」「10 時間以上」の割合が増加しています。

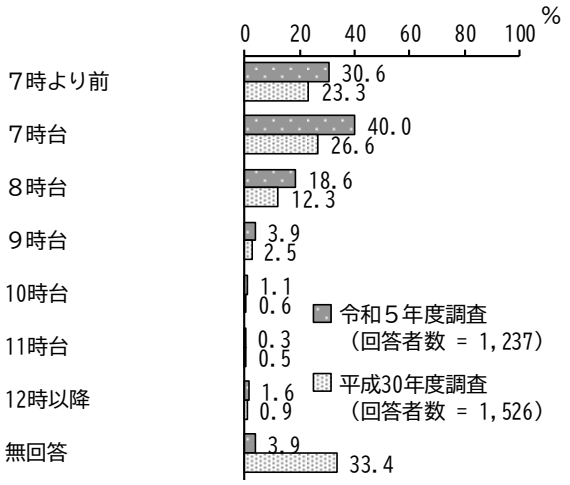


問 10－２　問 10 で「１.」から「４.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）に引き続きおうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18:00）のように、24 時間制でお答えください。

家を出る時間

「７時台」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「７時より前」の割合が 30.6%、「８時台」の割合が 18.6%となっています。

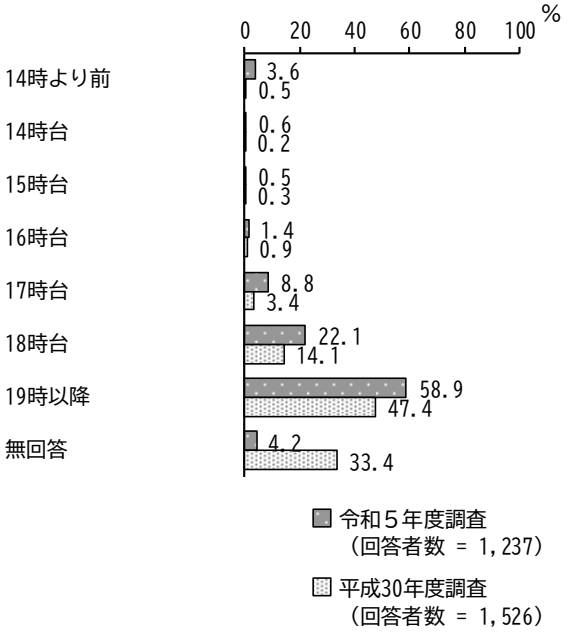
平成 30 年度調査と比較すると、「７時より前」「７時台」「８時台」の割合が増加しています。



帰宅時間

「19 時以降」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 22.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」「18 時台」「19 時以降」の割合が増加しています。

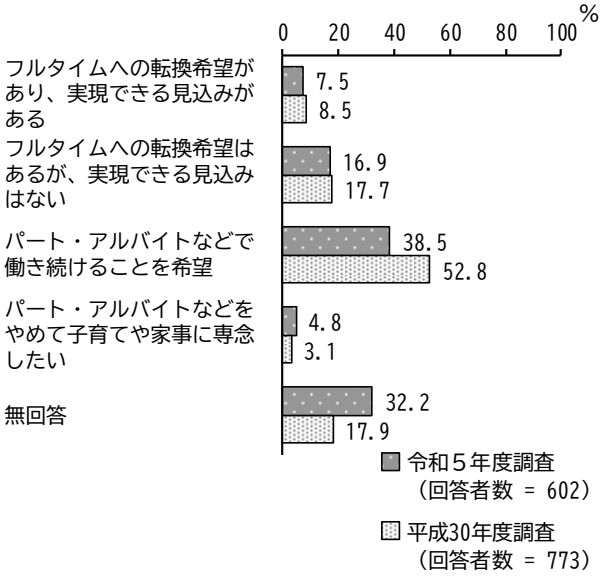


問 11　問９または問 10 で、「３.」または「４.」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

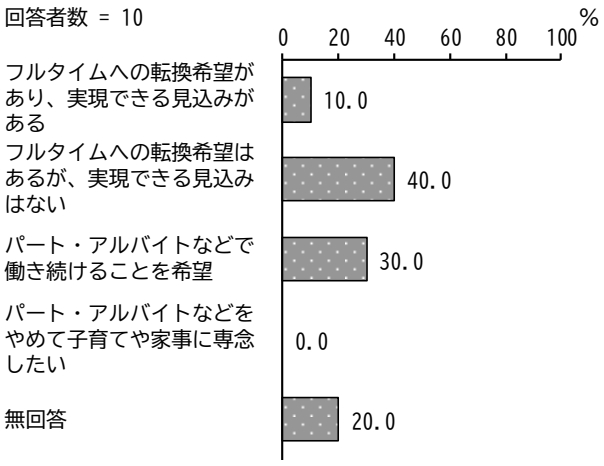
「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 16.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」の割合が減少しています。



（２）父親

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」の割合が 30.0%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が 10.0%となっています。

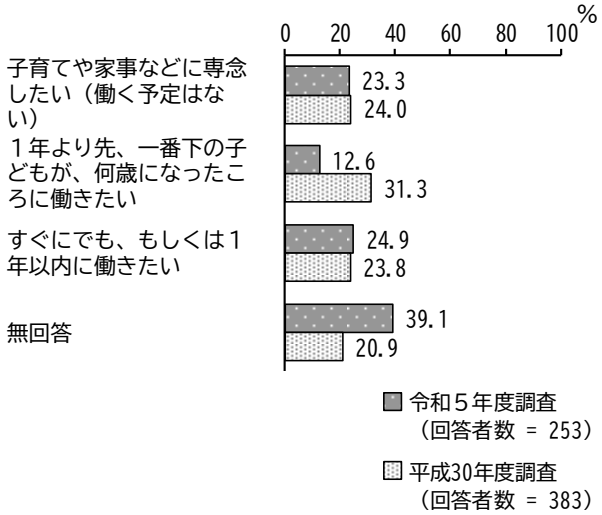


問 12　問９または問 10 で「５.」または「６.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方におうかがいします。働きたいという希望はありますか。あてはまる番号１つに○をつけ、枠内に具体的な数字を入れてください。

（１）母親

「すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」の割合が 23.3%、「１年より先、一番下の子どもが、何歳になったころに働きたい」の割合が 12.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「１年より先、一番下の子どもが、何歳になったころに働きたい」の割合が減少しています。

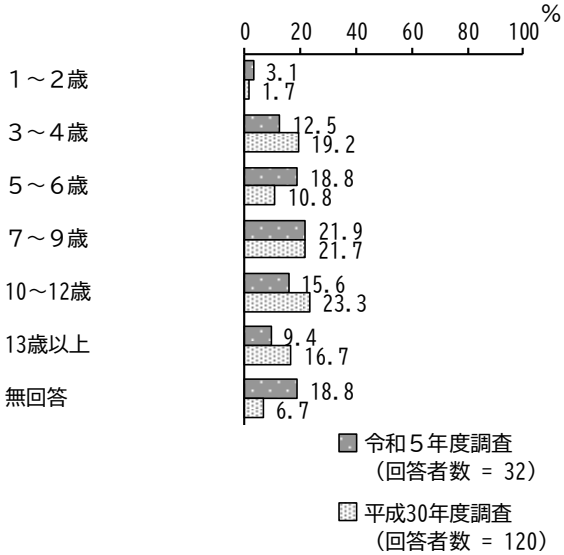


※前回調査では、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」の選択肢は「子育てや家事などに専念したい（働く、勉強する予定はない）」、「１年より先、一番下の子どもが、何歳になったころに働きたい」の選択肢は「１年より先働き・勉強したい」、「すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい」の選択肢は「すぐにでも、もしくは１年以内に働き・勉強したい」となっていました。

就労したい時の一番下の子どもの年齢

「７～９歳」の割合が 21.9%と最も高く、次いで「５～６歳」の割合が 18.8%、「10～12 歳」の割合が 15.6%となっています。

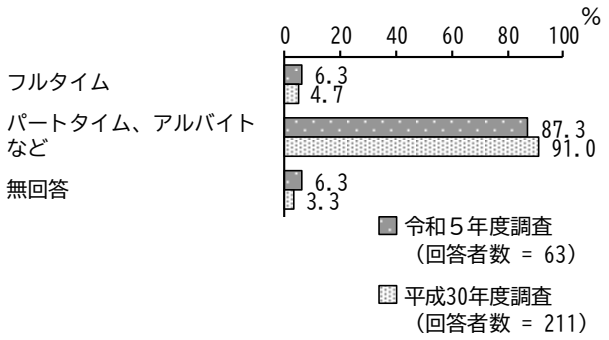
平成 30 年度調査と比較すると、「５～６歳」の割合が増加しています。一方、「３～４歳」「10～12 歳」「13 歳以上」の割合が減少しています。



希望する働き方

「フルタイム」の割合が 6.3%、「パートタイム、アルバイトなど」の割合が 87.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

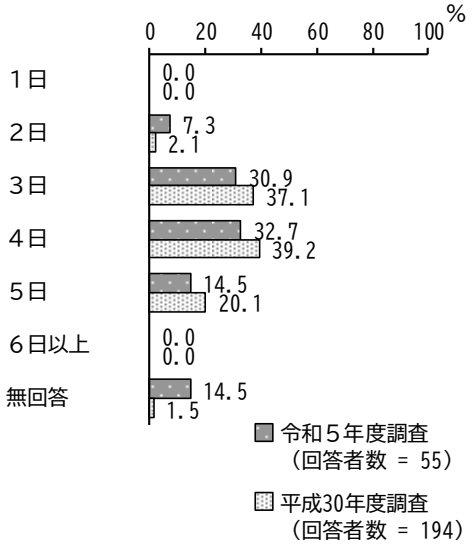


※前回調査では、「パートタイム、アルバイトなど」の選択肢は「パートタイム、アルバイト、派遣など」となっていました。

１週当たりの希望就労日数

「４日」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「３日」の割合が 30.9%、「５日」の割合が 14.5%となっています。

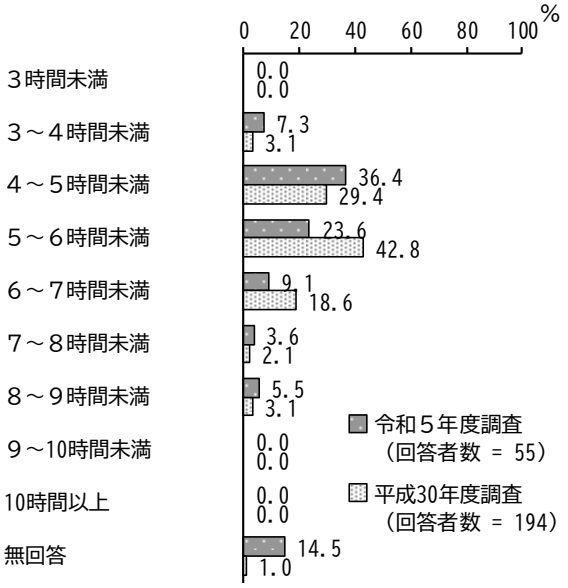
平成 30 年度調査と比較すると、「２日」の割合が増加しています。一方、「３日」「４日」「５日」の割合が減少しています。



１日当たりの希望就労時間

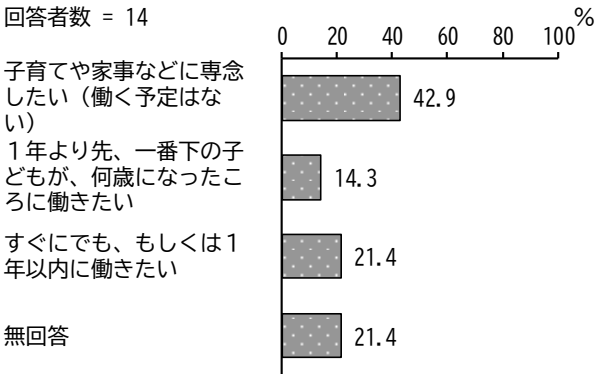
「４～５時間未満」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「５～６時間未満」の割合が 23.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「４～５時間未満」の割合が増加しています。一方、「５～６時間未満」「６～７時間未満」の割合が減少しています。



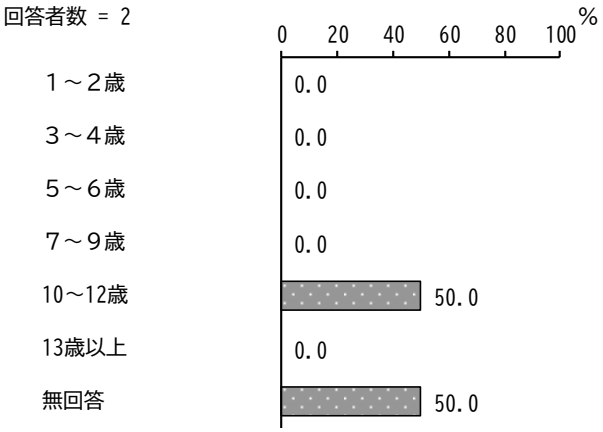
（2）父親

「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい」の割合が 21.4%、「１年より先、一番下の子どもが、何歳になったころに働きたい」の割合が 14.3%となっています。



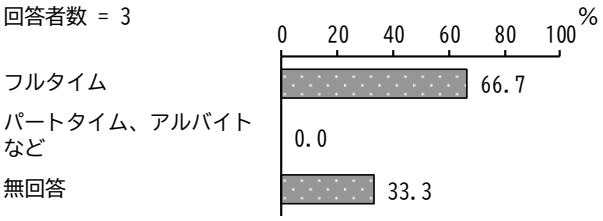
就労したい時の一番下の子どもの年齢

「10～12 歳」が１件となっています。



希望する働き方

「フルタイム」が２件、「パートタイム、アルバイトなど」が０件となっています。



父親の１週当たりの希望就労日数

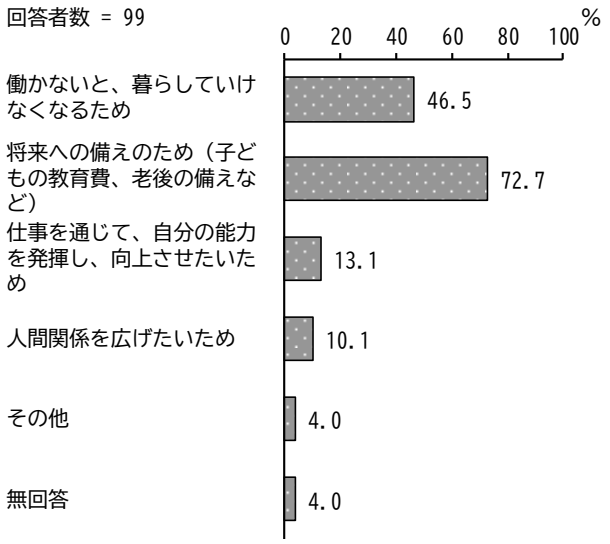
有効回答がありませんでした。

父親の１日当たりの希望就労時間

有効回答がありませんでした。

問12－１　問12の（１）または（２）で「２.」「３.」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方におうかがいします。働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

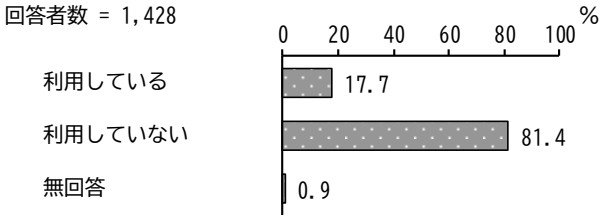
「将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど)」の割合が72.7%と最も高く、次いで「働かないと、暮らしていけなくなるため」の割合が46.5%、「仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため」の割合が13.1%となっています。



（２）封筒のあて名のお子さんのチビッコホーム（放課後児童クラブ）の利用について

問 13　平日（月曜日から金曜日）に、現在、チビッコホーム（放課後児童クラブ）を利用されていますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「利用している」の割合が 17.7%、「利用していない」の割合が 81.4%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学１年生で「利用している」の割合が高くなっています。

単位：%

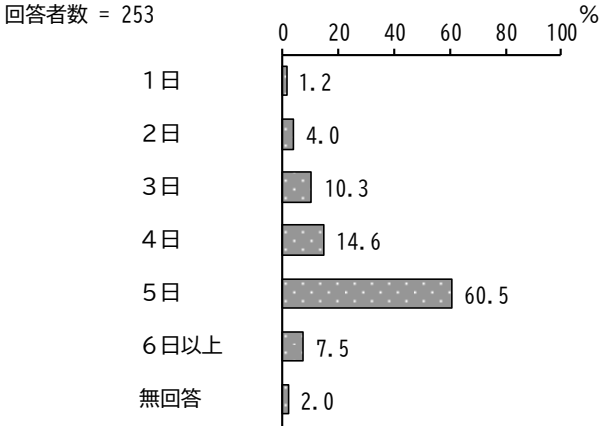
区分	回答者数（件）	利用している	利用していない	無回答
全　体	1,428	17.7	81.4	0.9
小学１年生	216	42.1	57.4	0.5
小学２年生	227	29.1	69.2	1.8
小学３年生	217	22.1	77.9	－
小学４年生	248	8.9	90.3	0.8
小学５年生	224	4.0	93.8	2.2
小学６年生	224	1.8	98.2	－

問 14　問 13 で「１．利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在利用しているチビッコホーム（放課後児童クラブ）について、もっとも多いパターンとして、１週間に何日利用し、また、１日あたり何時間（何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制で記入してください。

（１）現在

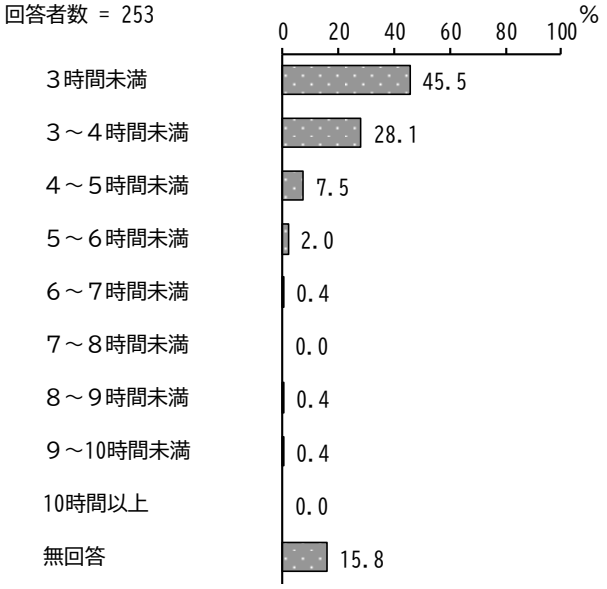
１週当たりの利用日数

「５日」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「４日」の割合が 14.6%、「３日」の割合が 10.3%となっています。



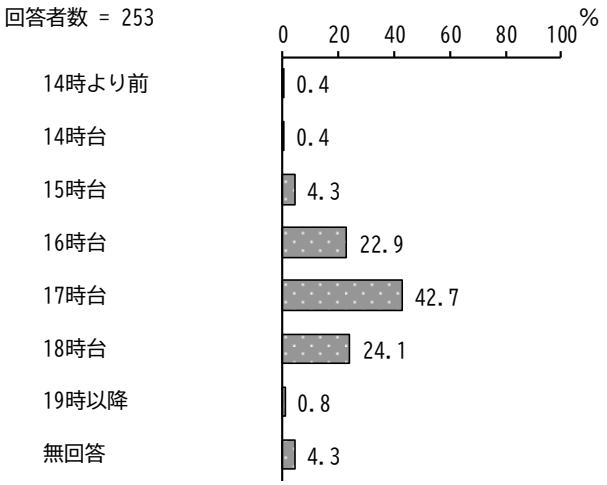
１日当たりの利用時間

「３時間未満」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「３～４時間未満」の割合が 28.1%となっています。



利用終了時刻

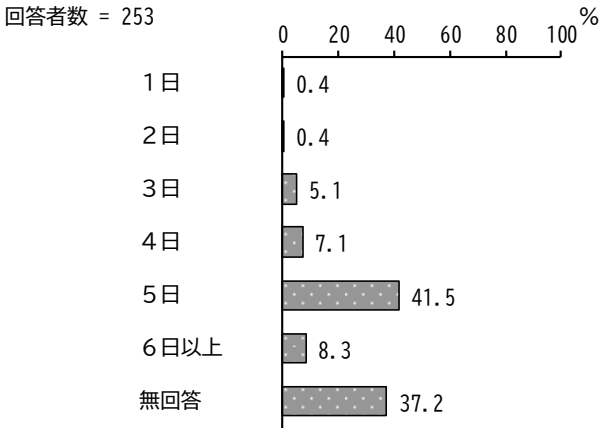
「17 時台」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 24.1%、「16 時台」の割合が 22.9%となっています。



（2）希望

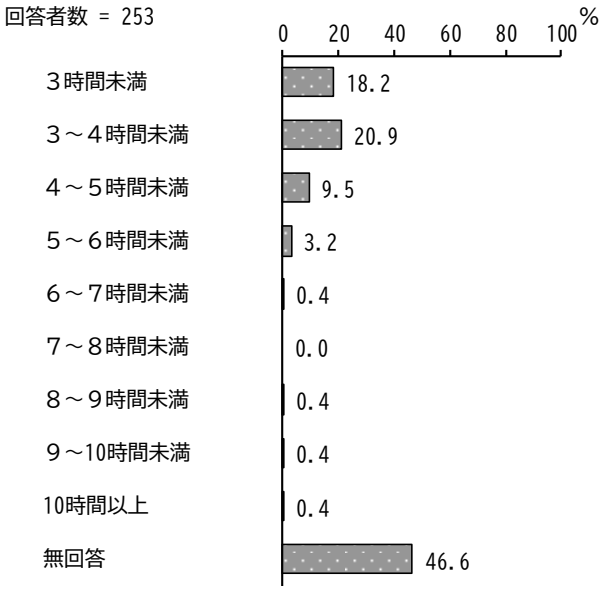
1週当たりの利用日数

「5日」の割合が 41.5%と最も高くなっています。



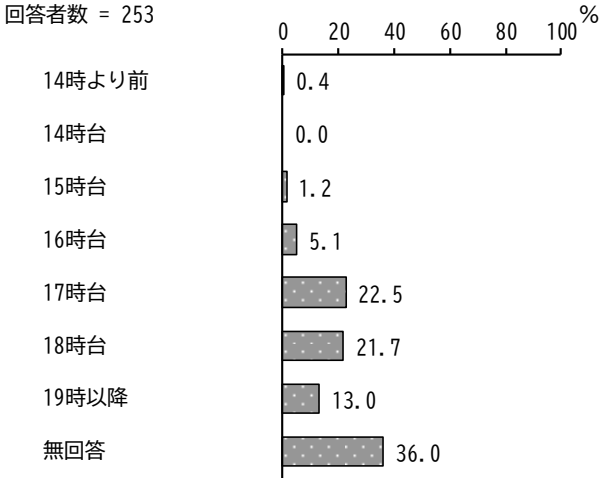
1日当たりの利用時間

「3～4時間未満」の割合が 20.9%と最も高く、次いで「3時間未満」の割合が 18.2%となっています。



利用終了時刻

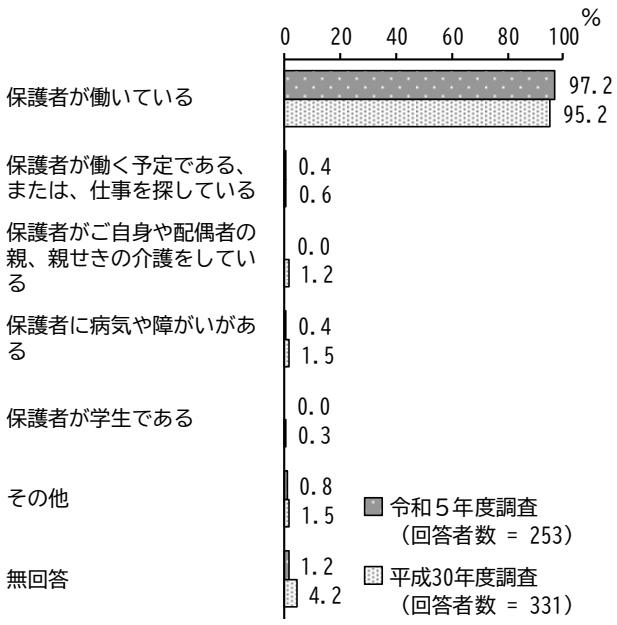
「17 時台」の割合が 22.5%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 21.7%、「19 時以降」の割合が 13.0%となっています。



問 14－１　問 13 で「１．利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。
チビッコホーム（放課後児童クラブ）を利用されている理由について、もっともあてはまる番号１つに○をつけてください。

「保護者が働いている」の割合が 97.2%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

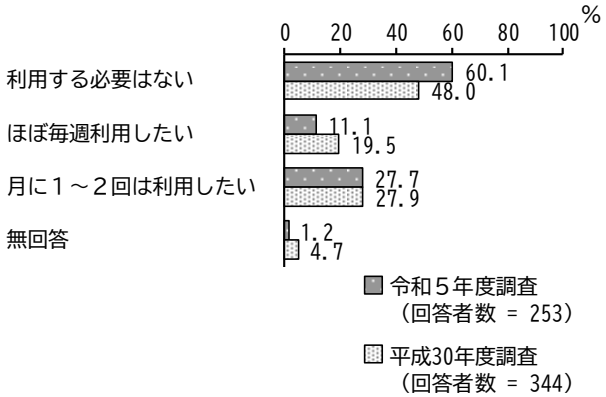


問 14－２　問 13 で「１．利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。
土曜日、日曜日・祝日に、チビッコホーム（放課後児童クラブ）の利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号１つに○をつけてください。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

（１）土曜日

「利用する必要はない」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が 27.7%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が 11.1%となっています。

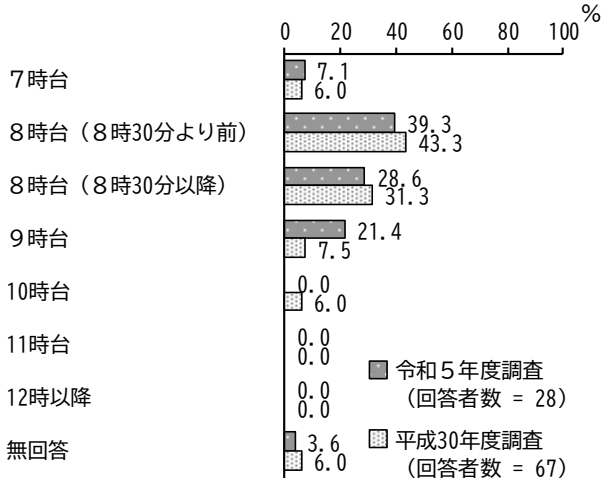
平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「ほぼ毎週利用したい」の割合が減少しています。



“ほぼ毎週利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台（８時 30 分より前)」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「８時台（８時 30 分以降)」の割合が 28.6%、「９時台」の割合が 21.4%となっています。

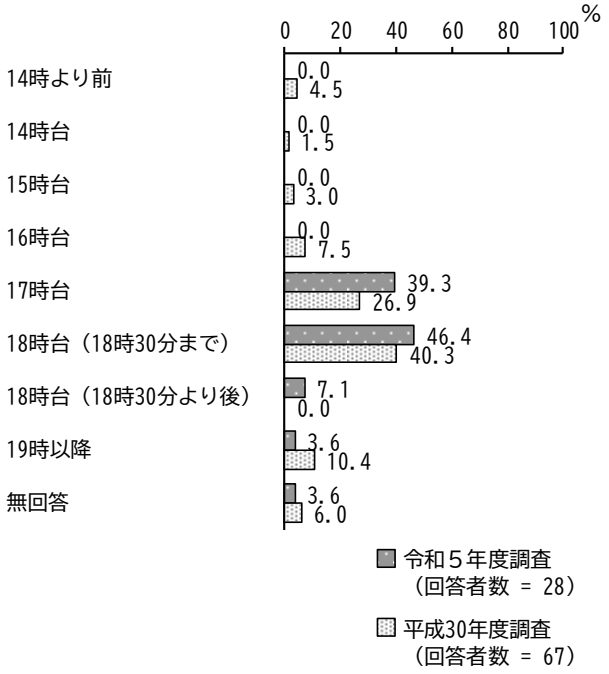
平成 30 年度調査と比較すると、「９時台」の割合が増加しています。一方、「10 時台」の割合が減少しています。



“ほぼ毎週利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「18 時台（18 時 30 分まで)」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 39.3%となっています。

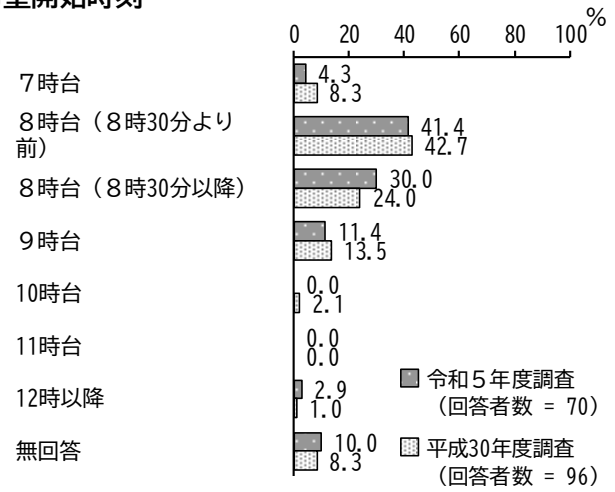
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」「18 時台（18 時 30 分まで)」「18 時台（18 時 30 分より後)」の割合が増加しています。一方、「16 時台」「19 時以降」の割合が減少しています。



“月に１～２回は利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台（８時 30 分より前)」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「８時台（８時 30 分以降)」の割合が 30.0%、「９時台」の割合が 11.4%となっています。

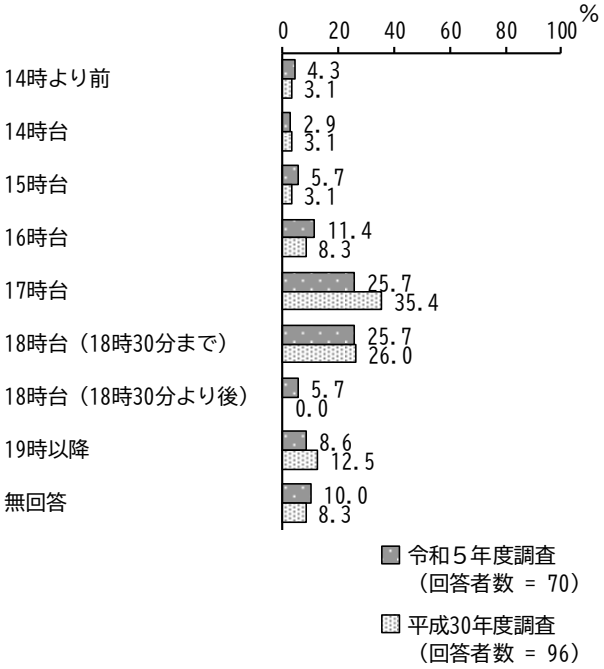
平成 30 年度調査と比較すると、「８時台（８時 30 分以降)」の割合が増加しています。



“月に１～２回は利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「17 時台」、「18 時台（18 時 30 分まで)」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 11.4%となっています。

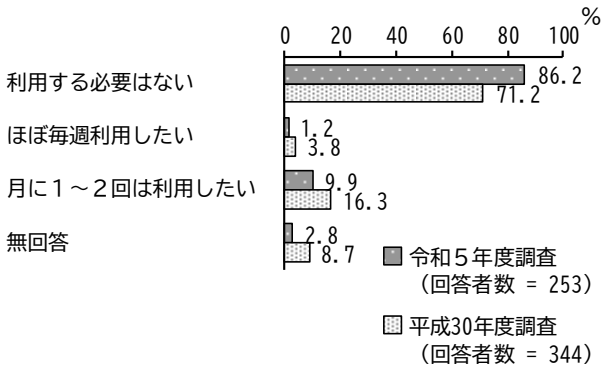
平成 30 年度調査と比較すると、「18 時台（18 時 30 分より後)」の割合が増加しています。一方、「17 時台」の割合が減少しています。



（２）日曜日・祝日

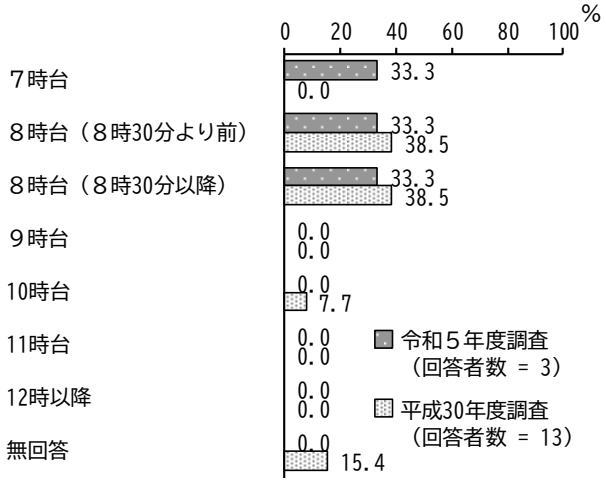
「利用する必要はない」の割合が 86.2%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「月に１～２回は利用したい」の割合が減少しています。



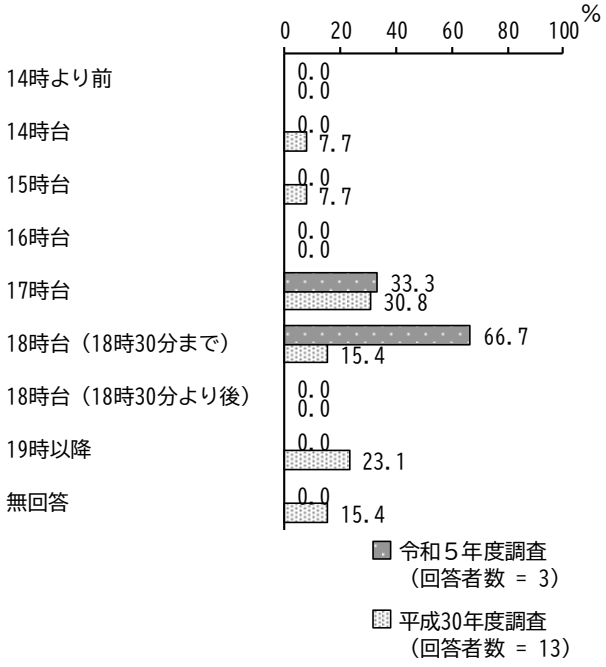
“ほぼ毎週利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「７時台」、「８時台（８時 30 分より前)」、「８時台（８時 30 分以降)」が１件となっています。



“ほぼ毎週利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

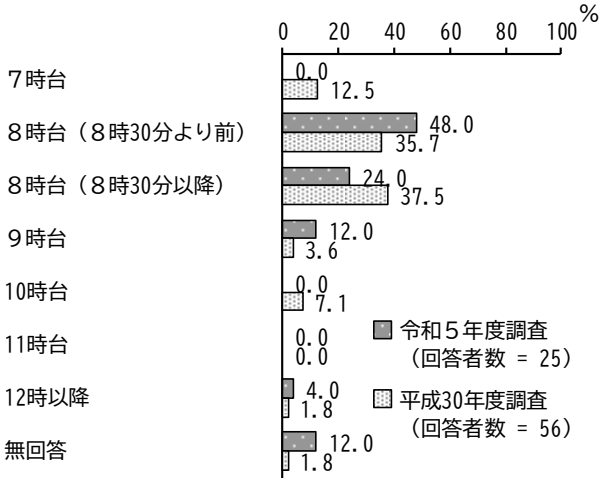
「18 時台（18 時 30 分まで)」が２件となっています。「17 時台」が１件となっています。



“月に１～２回は利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台（８時 30 分より前)」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「８時台（８時 30 分以降)」の割合が 24.0%、「９時台」の割合が 12.0%となっています。

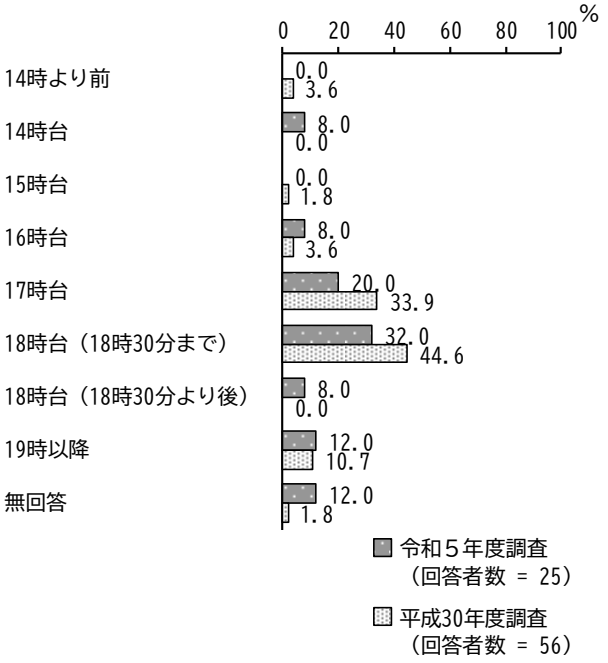
平成 30 年度調査と比較すると、「８時台（８時 30 分より前)」「９時台」の割合が増加しています。一方、「７時台」「８時台（８時 30 分以降)」「10 時台」の割合が減少しています。



“月に１～２回は利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「18 時台（18 時 30 分まで)」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 20.0%、「19 時以降」の割合が 12.0%となっています。

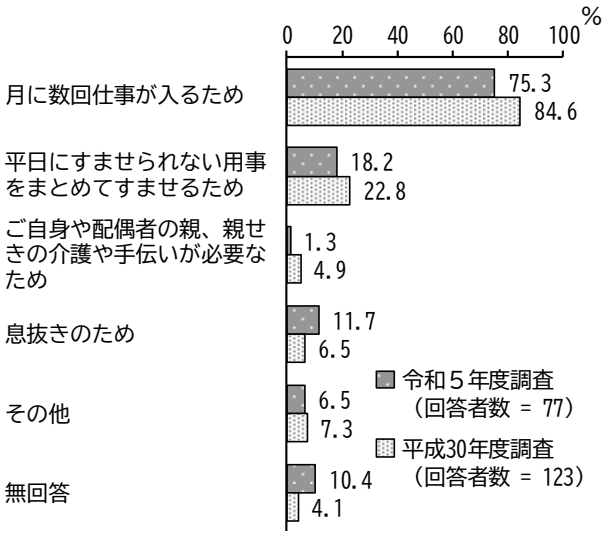
平成 30 年度調査と比較すると、「14 時台」「18 時台 (18 時 30 分より後)」の割合が増加しています。一方、「17 時台」「18 時台 (18 時 30 分まで)」の割合が減少しています。



問 14－３　問 14－２の（１）または（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」の割合が 75.3%と最も高く、次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」の割合が 18.2%、「息抜きのため」の割合が 11.7%となっています。

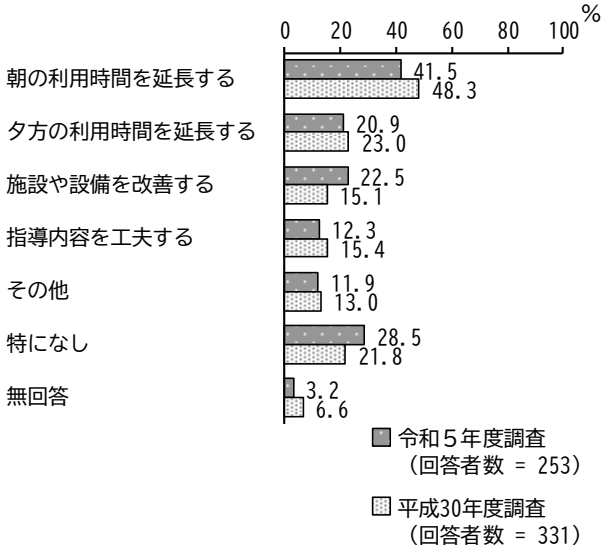
平成 30 年度調査と比較すると、「息抜きのため」の割合が増加しています。一方、「月に数回仕事が入るため」の割合が減少しています。



問 14－４　問 13 で「１．利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。現在通っているチビッコホーム（放課後児童クラブ）にどのようなことを希望しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

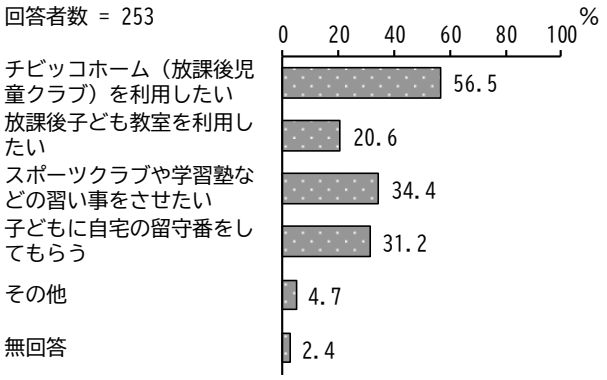
「朝の利用時間を延長する」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「特になし」の割合が 28.5%、「施設や設備を改善する」の割合が 22.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「施設や設備を改善する」「特になし」の割合が増加しています。一方、「朝の利用時間を延長する」の割合が減少しています。



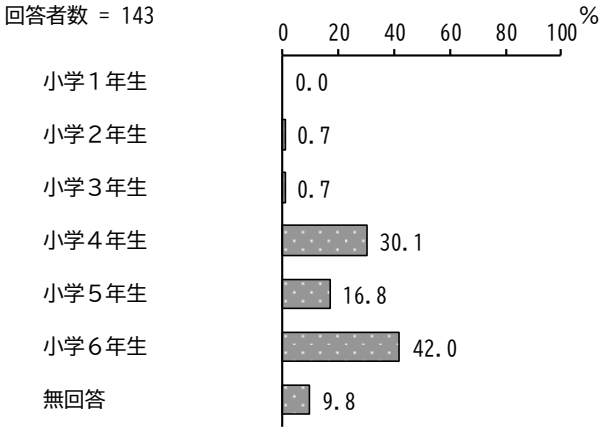
問 14－５　問 13 で「１．利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。
小学４年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。「１．」を選択した場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。

「チビッコホーム（放課後児童クラブ）を利用したい」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」の割合が 34.4%、「子どもに自宅の留守番をしてもらう」の割合が 31.2%となっています。



小学何年生までチビッコホーム（放課後児童クラブ）を利用したい

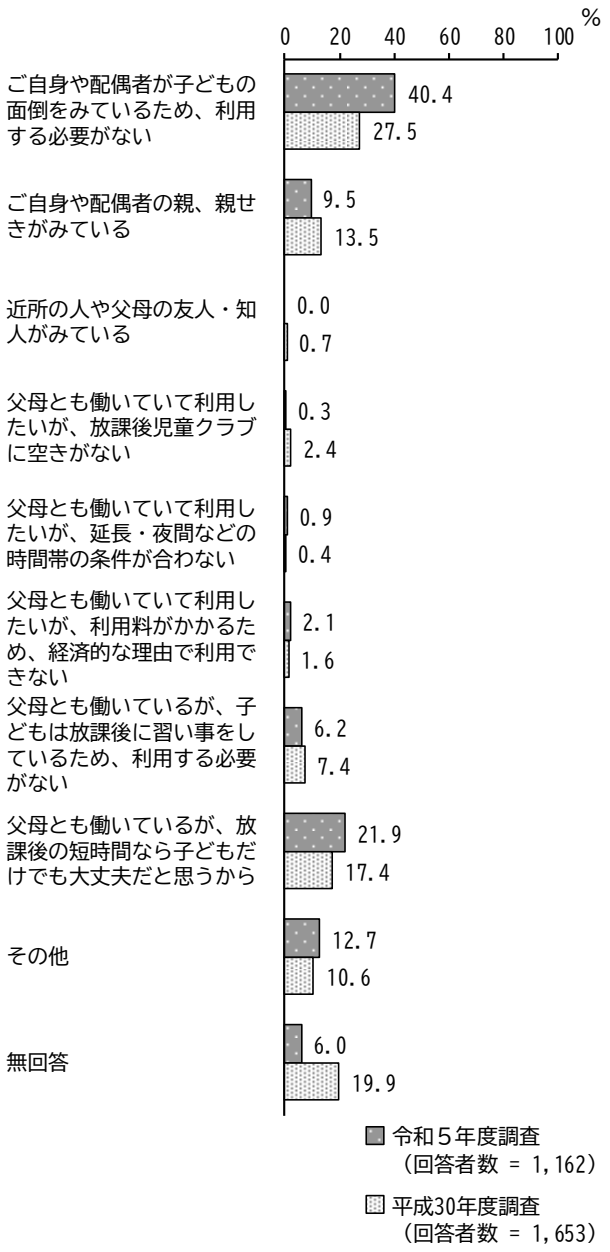
「小学６年生」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「小学４年生」の割合が 30.1%、「小学５年生」の割合が 16.8%となっています。



問 15　問 13 で「２．利用していない」を選ばれた方におうかがいします。チビッコホーム（放課後児童クラブ）を利用していない理由は何ですか。もっともあてはまる番号１つに○をつけてください。

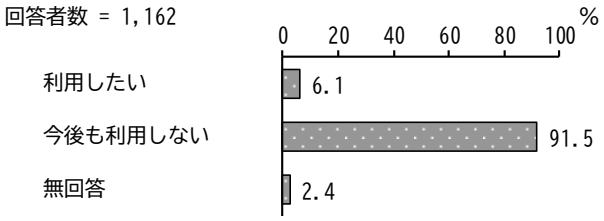
「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」の割合が 21.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」の割合が増加しています。



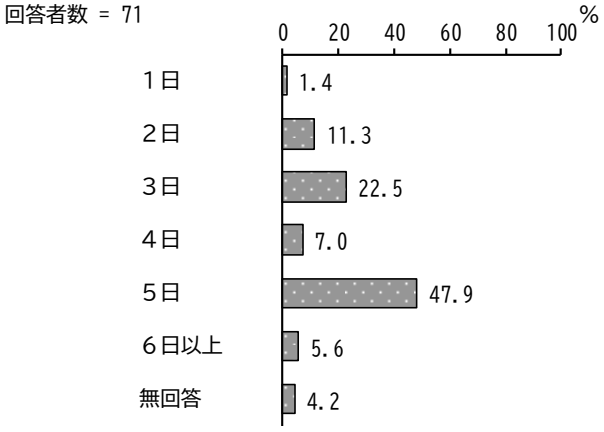
問 15－１　問 13 で「２．利用していない」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、チビッコホーム（放課後児童クラブ）を利用したいとお考えですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用負担金が発生します。

「利用したい」の割合が 6.1%、「今後も利用しない」の割合が 91.5%となっています。



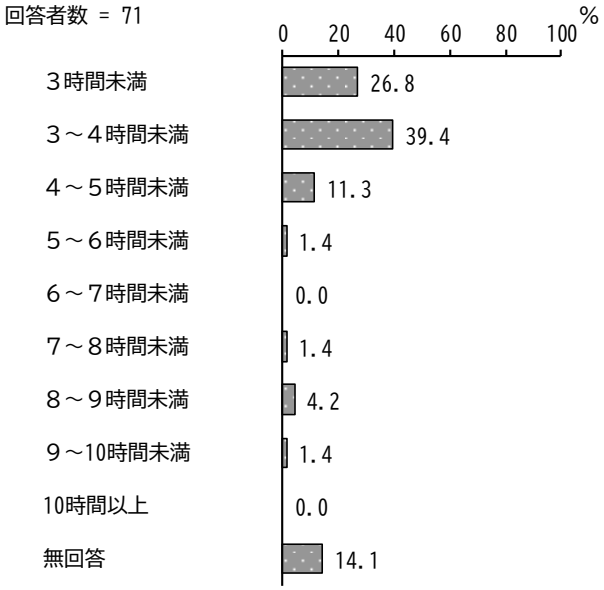
１週当たりの利用希望日数

「５日」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「３日」の割合が 22.5%、「２日」の割合が 11.3%となっています。



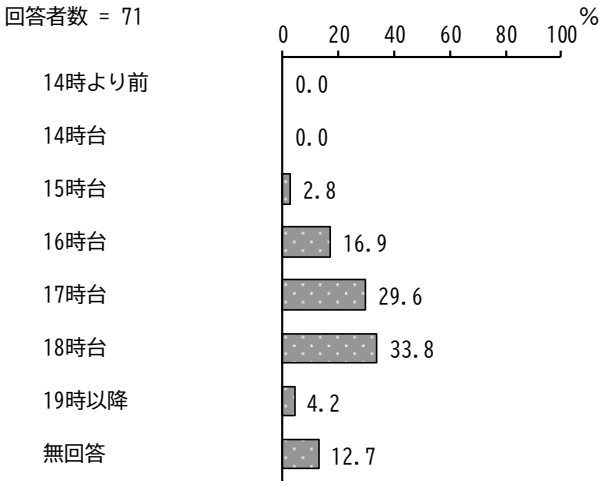
１日当たりの利用希望時間

「３～４時間未満」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「３時間未満」の割合が 26.8%、「４～５時間未満」の割合が 11.3%となっています。



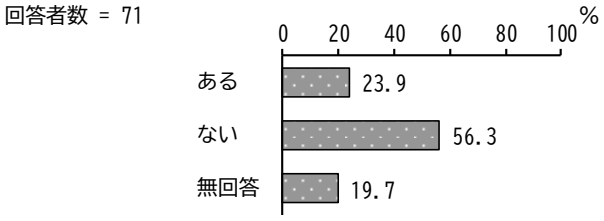
希望終了時刻

「18 時台」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 29.6%、「16 時台」の割合が 16.9%となっています。



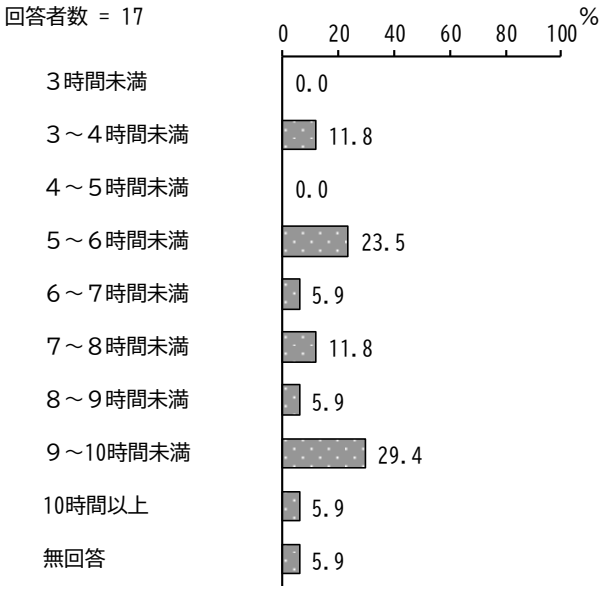
土曜日の利用希望

「ある」の割合が 23.9%、「ない」の割合が 56.3%となっています。



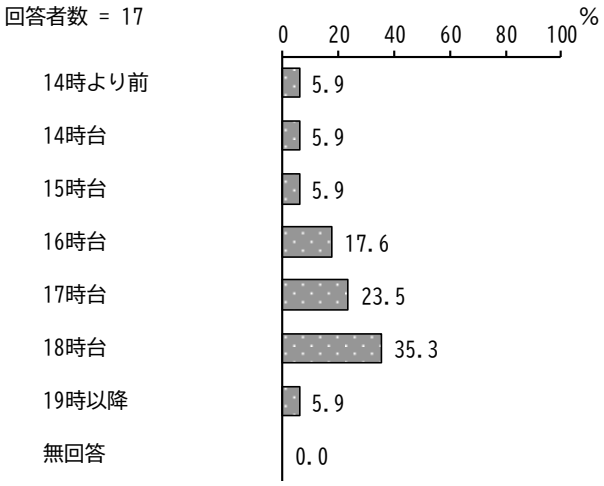
１日当たりの利用希望時間

「９～10 時間未満」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「５～６時間未満」の割合が 23.5%、「３～４時間未満」、「７～８時間未満」の割合が 11.8%となっています。



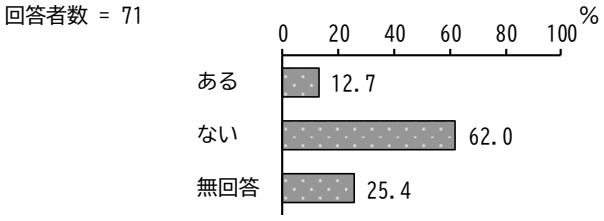
希望終了時刻

「18 時台」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 23.5%、「16 時台」の割合が 17.6%となっています。



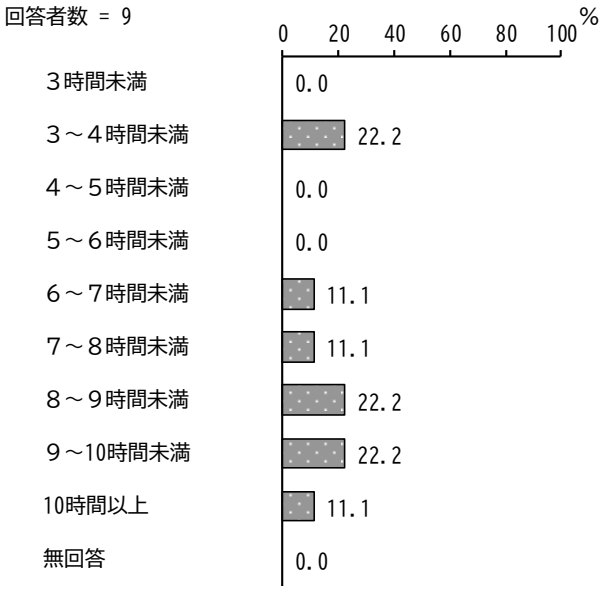
日曜日・祝日の利用希望

「ある」の割合が 12.7%、「ない」の割合が 62.0%となっています。



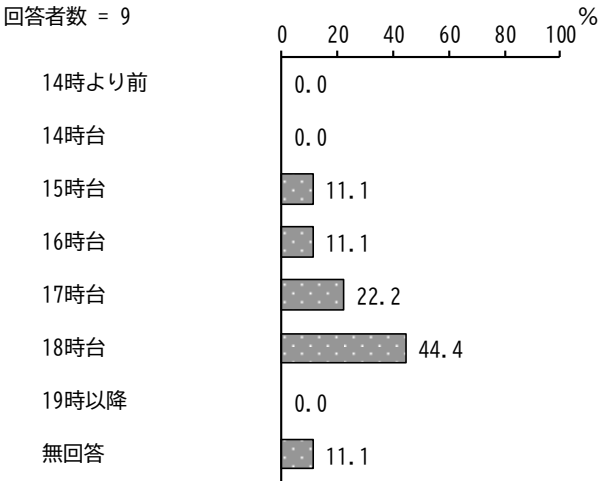
１日当たりの利用希望時間

「３～４時間未満」、「８～９時間未満」、「９～10 時間未満」が２件となっています。



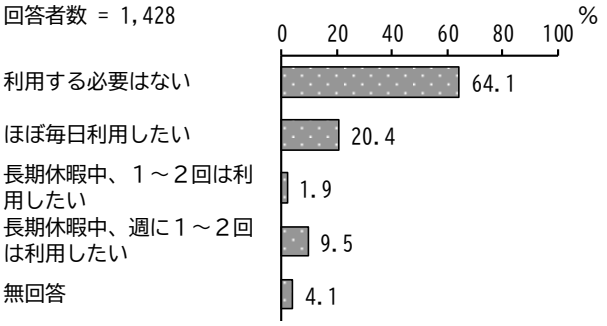
希望終了時刻

「18 時台」が４件となっています。「17 時台」が２件、「15 時台」、「16 時台」が１件となっています。



問 15－２　長期休暇（夏休み、冬休み、春休み）中に、チビッコホーム（放課後児童クラブ）の利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号１つに○をつけてください。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用負担金が発生します。

「利用する必要はない」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「ほぼ毎日利用したい」の割合が 20.4%となっています。



【子どもの年齢別】

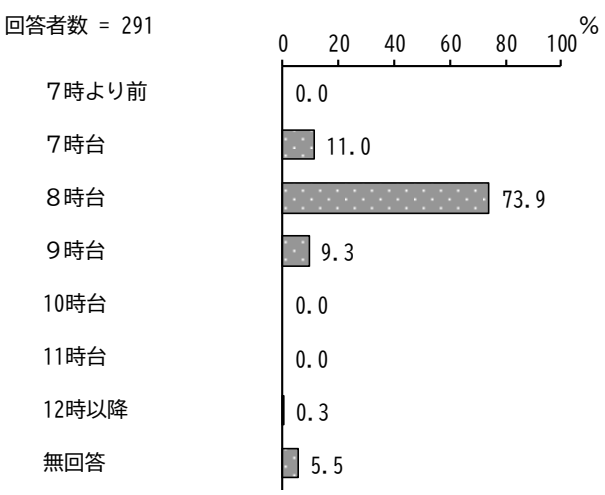
子どもの年齢別にみると、小学１年生で「ほぼ毎日利用したい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	利用する必要はない	ほぼ毎日利用したい	長期休暇中、１～２回は利用したい	長期休暇中、週に１～２回は利用したい	無回答
全　体	1,428	64.1	20.4	1.9	9.5	4.1
小学１年生	216	36.1	45.4	3.2	11.6	3.7
小学２年生	227	47.6	31.7	2.6	12.3	5.7
小学３年生	217	57.6	25.8	0.5	12.9	3.2
小学４年生	248	77.0	11.7	2.0	6.0	3.2
小学５年生	224	79.5	5.8	1.3	8.0	5.4
小学６年生	224	87.1	3.1	0.4	5.4	4.0

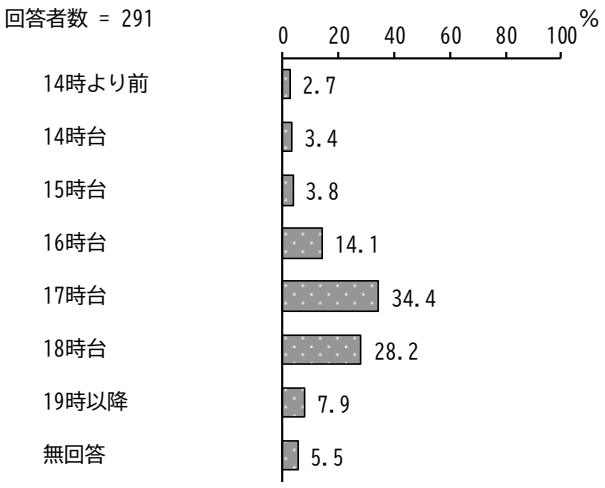
“ほぼ毎日利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台」の割合が 73.9%と最も高く、次いで「７時台」の割合が 11.0%となっています。



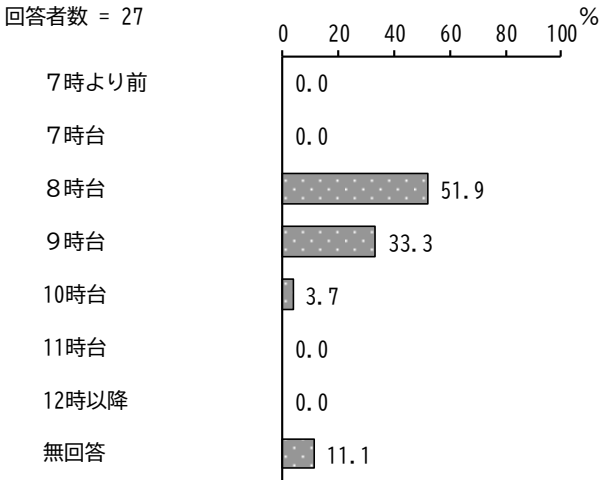
“ほぼ毎日利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「17 時台」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 28.2%、「16 時台」の割合が 14.1%となっています。



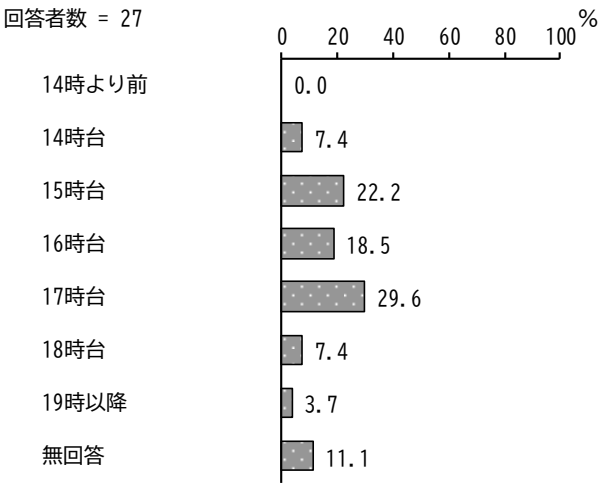
“長期休暇中、１～２回は利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 33.3%となっています。



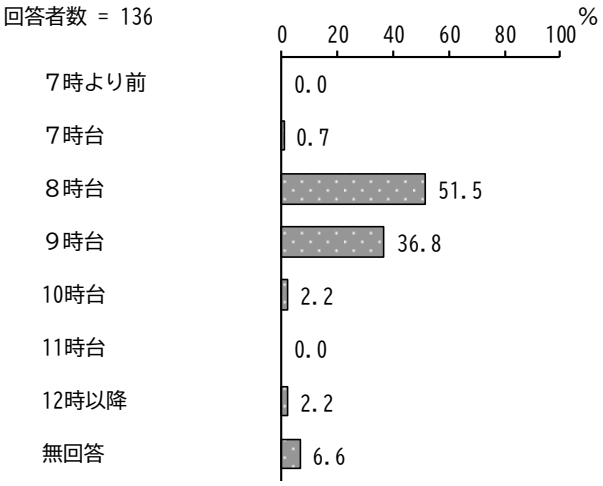
“長期休暇中、１～２回は利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「17 時台」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「15 時台」の割合が 22.2%、「16 時台」の割合が 18.5%となっています。



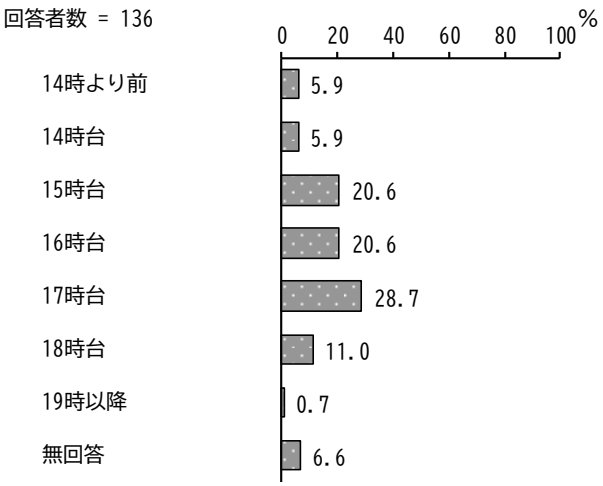
“長期休暇中、週に１～２回は利用したい”と回答した人の利用希望開始時刻

「８時台」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 36.8%となっています。



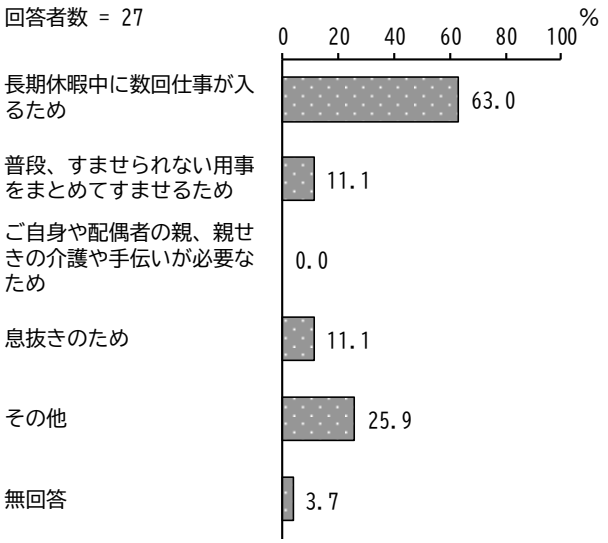
“長期休暇中、週に１～２回は利用したい”と回答した人の利用希望終了時刻

「17 時台」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「15 時台」、「16 時台」の割合が 20.6%となっています。



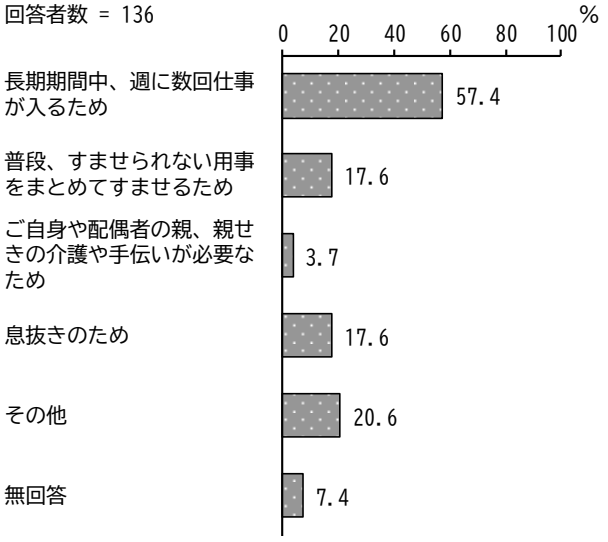
問 15－３　問 15－２で、「３．長期休暇中、１～２回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。長期休暇中、１～２回利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「長期休暇中に数回仕事が入るため」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「普段、すませられない用事をまとめてすませるため」、「息抜きのため」の割合が 11.1%となっています。



問 15－４　問 15－２で、「４．長期期間中、週に１～２回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。長期休暇中、週に１～２回利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「長期期間中、週に数回仕事が入るため」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「普段、すませられない用事をまとめてすませるため」、「息抜きのため」の割合が 17.6%となっています。

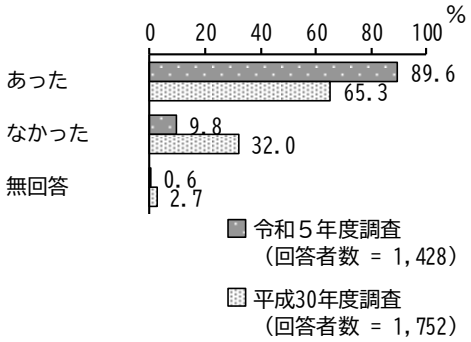


（3）封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応や、不定期な一時預かりについて

問 16　封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。
この１年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。

「あった」の割合が 89.6%、「なかった」の割合が 9.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	あった	なかった	無回答
全　体	1,428	89.6	9.8	0.6
小学１年生	216	88.9	10.2	0.9
小学２年生	227	89.0	10.6	0.4
小学３年生	217	87.6	12.0	0.5
小学４年生	248	89.9	10.1	－
小学５年生	224	91.5	8.0	0.4
小学６年生	224	93.3	5.8	0.9

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

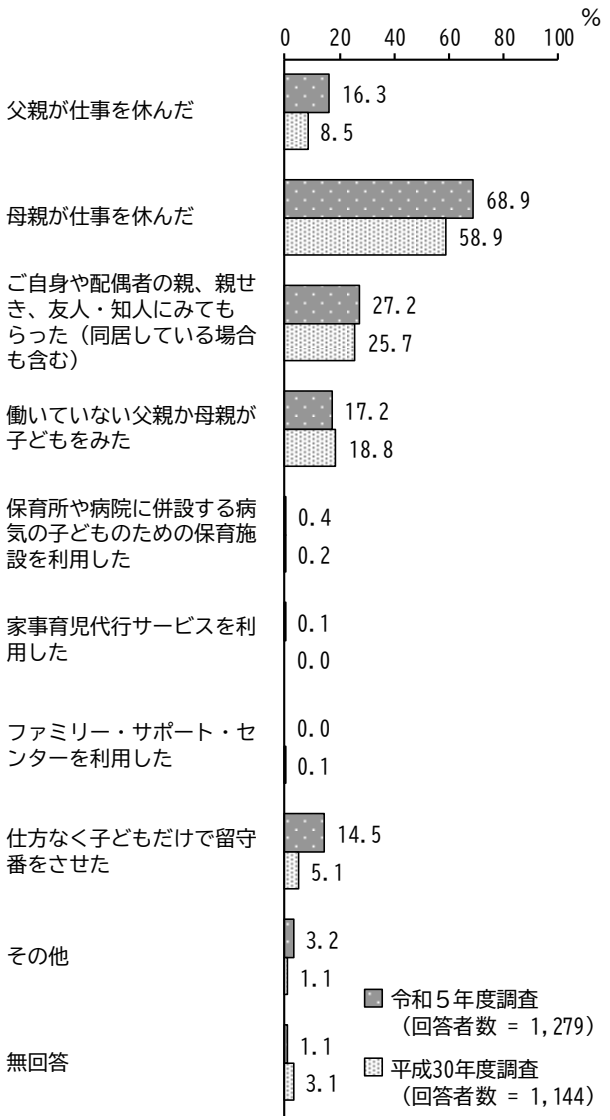
単位：%

区分	回答者数（件）	あった	なかった	無回答
全　体	1,418	89.5	9.9	0.6
フルタイム（休業中含む）	547	89.6	10.1	0.4
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	602	90.2	9.3	0.5
働いていない（学生含む）	253	87.7	11.5	0.8

問16－1　問16で「1．あった」を選ばれた方におうかがいします。この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について枠内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

「母親が仕事を休んだ」の割合が68.9%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」の割合が27.2%、「働いていない父親か母親が子どもをみた」の割合が 17.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の割合が増加しています。



※前回調査では、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」の選択肢は「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」、「家事育児代行サービスを利用した」の選択肢は「民間事業者による訪問型サービス（ベビーシッター）を利用した」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学５年生で「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	働いていない父親か母親が子どもをみた	保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	家事育児代行サービスを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全　体	1,279	16.3	68.9	27.2	17.2	0.4	0.1	－	14.5	3.2	1.1
小学１年生	192	21.4	71.4	32.3	21.4	0.5	－	－	7.3	2.1	1.6
小学２年生	202	16.8	72.8	30.2	16.3	0.5	－	－	7.4	3.5	2.0
小学３年生	190	18.4	66.3	23.2	23.2	1.1	－	－	16.8	2.1	－
小学４年生	223	18.4	68.2	25.6	17.9	－	－	－	12.1	4.5	0.4
小学５年生	205	12.7	66.3	25.4	15.6	0.5	0.5	－	22.0	3.4	0.5
小学６年生	209	10.5	68.4	23.9	10.0	－	－	－	21.5	4.3	2.4

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、働いていない（学生含む）で「働いていない父親か母親が子どもをみた」の割合が高くなっています。

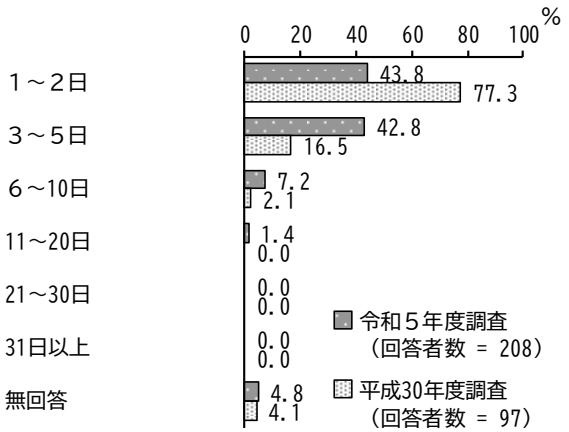
単位：％

区分	回答者数（件）	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	働いていない父親か母親が子どもをみた	保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	家事育児代行サービスを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全　体	1,269	16.0	69.4	26.9	17.3	0.4	0.1	－	14.6	3.2	1.1
フルタイム（休業中含む）	490	26.1	82.7	41.0	1.8	0.6	－	－	17.6	2.4	0.6
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	543	11.8	83.1	20.1	5.9	0.4	－	－	16.4	4.2	1.1
働いていない（学生含む）	222	4.5	8.6	13.5	79.3	－	0.5	－	3.6	1.8	1.4

１．父親が仕事を休んだ

「１～２日」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「３～５日」の割合が 42.8%となっています。

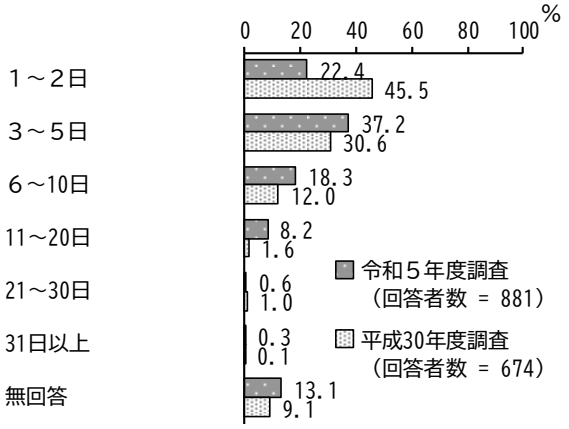
平成 30 年度調査と比較すると、「３～５日」「６～10 日」の割合が増加しています。一方、「１～２日」の割合が減少しています。



２．母親が仕事を休んだ

「３～５日」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「１～２日」の割合が 22.4%、「６～10 日」の割合が 18.3%となっています。

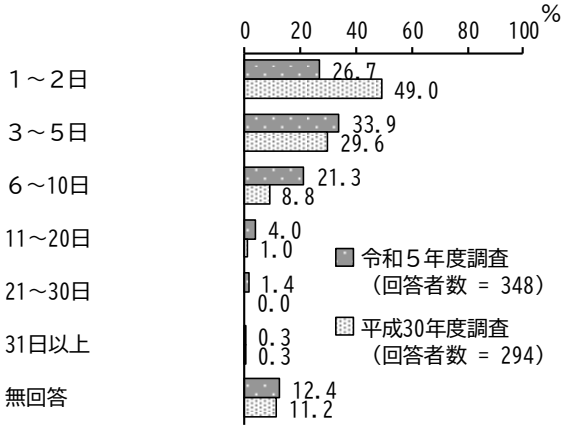
平成 30 年度調査と比較すると、「３～５日」「６～10 日」「11～20 日」の割合が増加しています。一方、「１～２日」の割合が減少しています。



３．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）

「３～５日」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「１～２日」の割合が 26.7%、「６～10 日」の割合が 21.3%となっています。

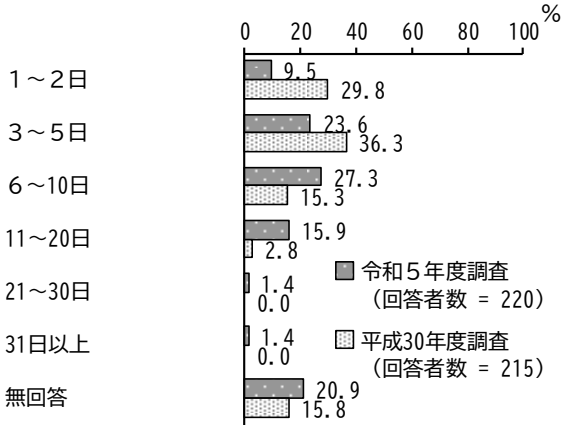
平成 30 年度調査と比較すると、「６～10 日」の割合が増加しています。一方、「１～２日」の割合が減少しています。



４．働いていない父親か母親が子どもをみた

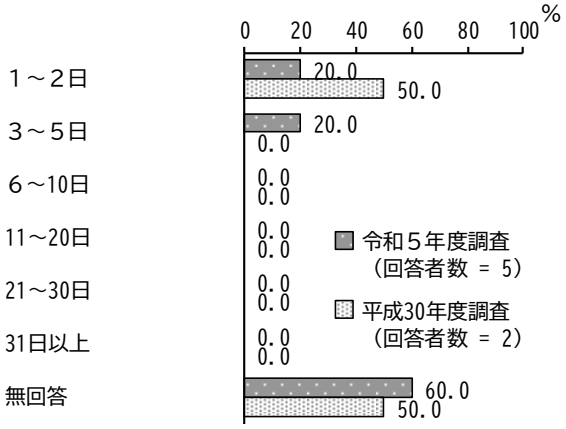
「６～10 日」の割合が 27.3%と最も高く、次いで「３～５日」の割合が 23.6%、「11～20 日」の割合が 15.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「６～10 日」「11～20 日」の割合が増加しています。一方、「１～２日」「３～５日」の割合が減少しています。



５．保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した

「１～２日」、「３～５日」が１件となっています。



６．家事育児代行サービスを利用した

有効回答がありませんでした。

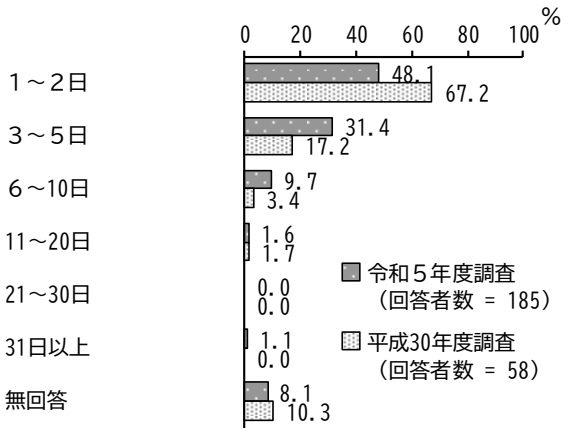
７．ファミリー・サポート・センターを利用した

有効回答がありませんでした。

８．仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「１～２日」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「３～５日」の割合が 31.4%となっています。

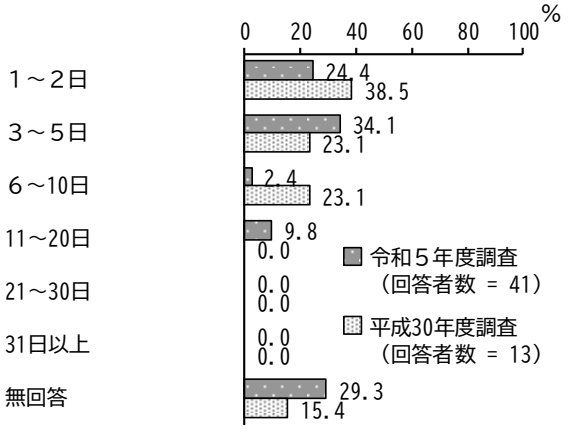
平成 30 年度調査と比較すると、「３～５日」「６～10 日」の割合が増加しています。一方、「１～２日」の割合が減少しています。



９．その他

「３～５日」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「１～２日」の割合が 24.4%となっています。

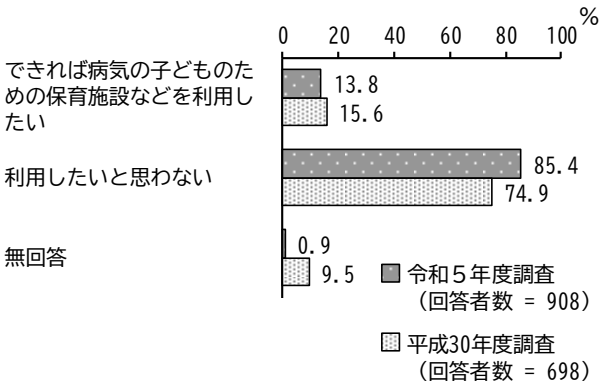
平成 30 年度調査と比較すると、「３～５日」「11～20 日」の割合が増加しています。一方、「１～２日」「６～10 日」の割合が減少しています。



問 16－２　問 16－１で「１.」「２.」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号１つに○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要な場合があります。

「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」の割合が 13.8%、「利用したいと思わない」の割合が 85.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したいと思わない」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

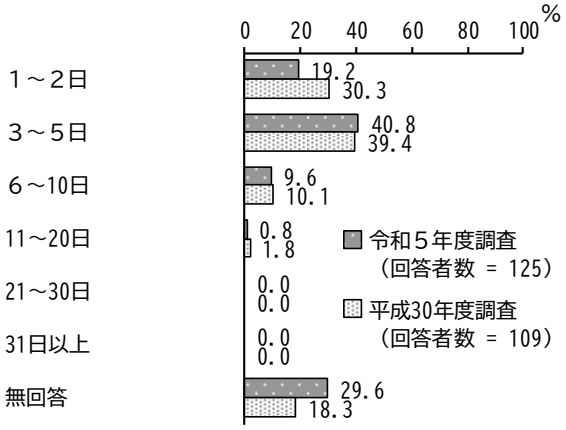
単位：％

区分	回答者数（件）	できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい	利用したいと思わない	無回答
全　体	908	13.8	85.4	0.9
小学１年生	144	15.3	82.6	2.1
小学２年生	149	16.8	81.9	1.3
小学３年生	132	15.9	82.6	1.5
小学４年生	157	10.2	89.8	－
小学５年生	142	14.1	85.2	0.7
小学６年生	144	10.4	89.6	－

病児・病後児保育施設の利用希望日数

「３～５日」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「１～２日」の割合が 19.2%となっています。

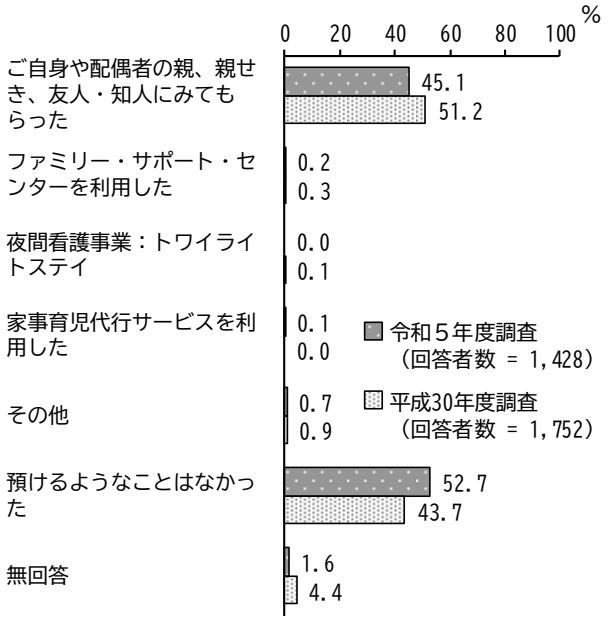
平成 30 年度調査と比較すると、「１～２日」の割合が減少しています。



問 17　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、１年間のおおよその利用日数について枠内に具体的な数字を入れてください。

「預けるようなことはなかった」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」の割合が 45.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「預けるようなことはなかった」の割合が増加しています。一方、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」の割合が減少しています。

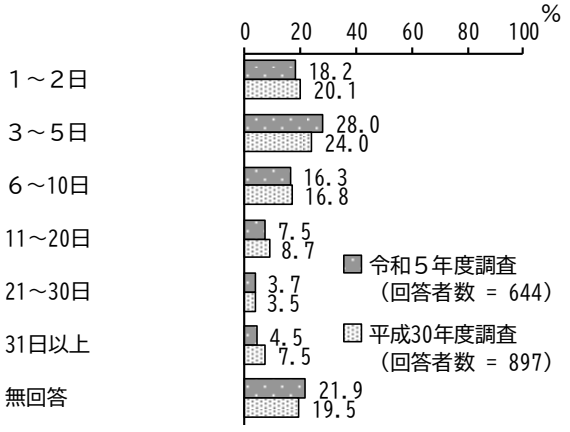


※前回調査では、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」の選択肢は「祖父母、親せき、友人・知人にみてもらった」、「夜間看護事業：トワイライトステイ」の選択肢は「トワイライトステイを利用した」、「家事育児代行サービスを利用した」の選択肢は「ベビーシッターを利用した」となっていました。

１．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった

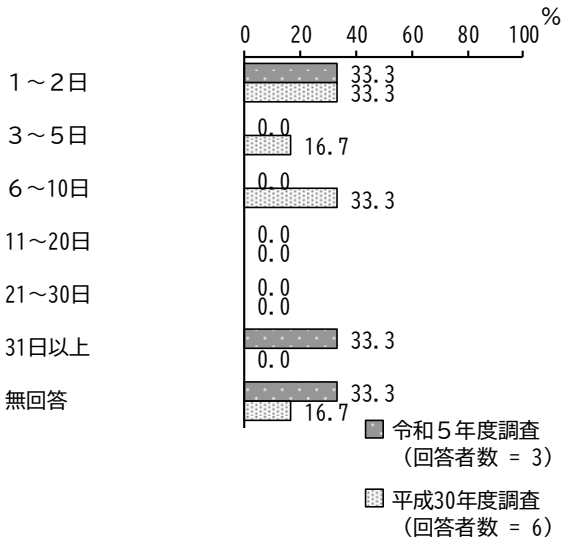
「３～５日」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「１～２日」の割合が 18.2%、「６～10 日」の割合が 16.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



２．ファミリー・サポート・センターを利用した

「１～２日」、「31 日以上」が１件となっています。



３．夜間看護事業：トワイライトステイ

有効回答がありませんでした。

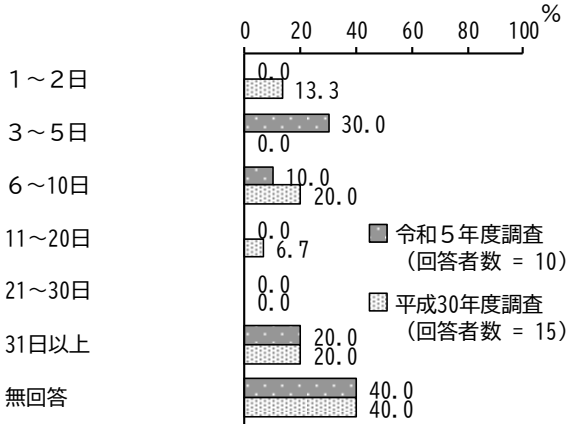
４．家事育児代行サービスを利用した

有効回答がありませんでした。

５．その他

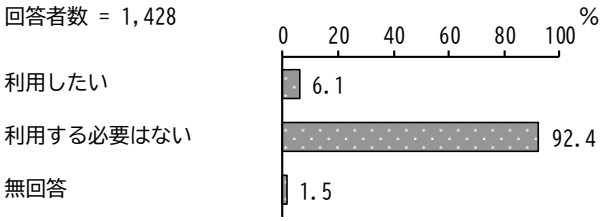
「３～５日」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「31 日以上」の割合が 20.0%、「６～10 日」の割合が 10.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「３～５日」の割合が増加しています。一方、「１～２日」「６～10 日」「11～20 日」の割合が減少しています。



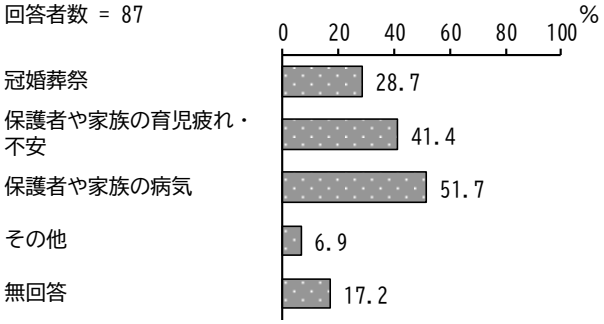
問 18　封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。
短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。）なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 6.1%、「利用する必要はない」の割合が 92.4%となっています。



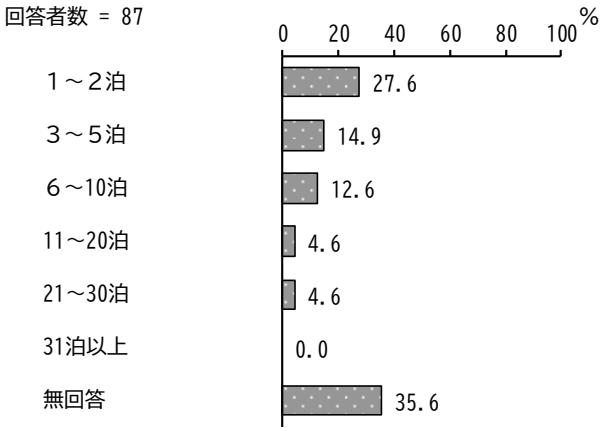
対処方法

「保護者や家族の病気」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 41.4%、「冠婚葬祭」の割合が 28.7%となっています。



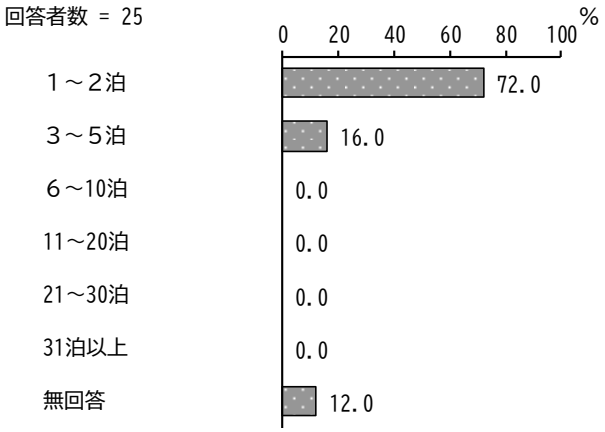
利用したい泊数の合計

「１～２泊」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「３～５泊」の割合が 14.9%、「６～10 泊」の割合が 12.6%となっています。



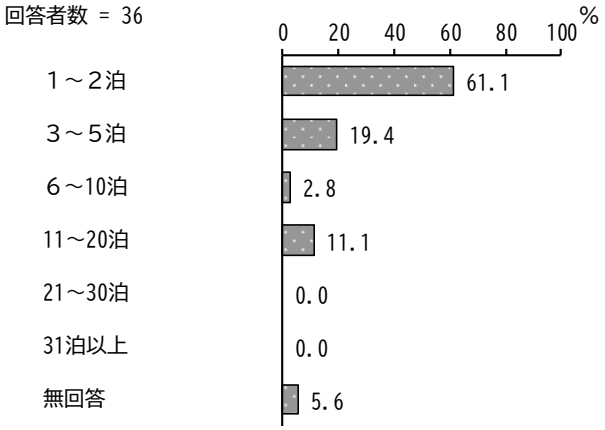
ア．冠婚葬祭

「１～２泊」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「３～５泊」の割合が 16.0%となっています。



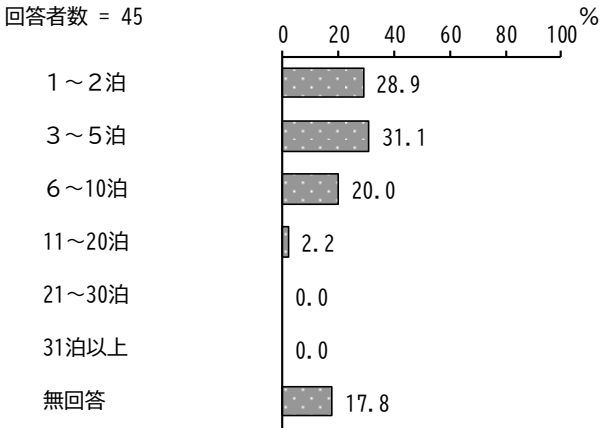
イ．保護者や家族の育児疲れ・不安

「１～２泊」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「３～５泊」の割合が 19.4%、「11～20 泊」の割合が 11.1%となっています。



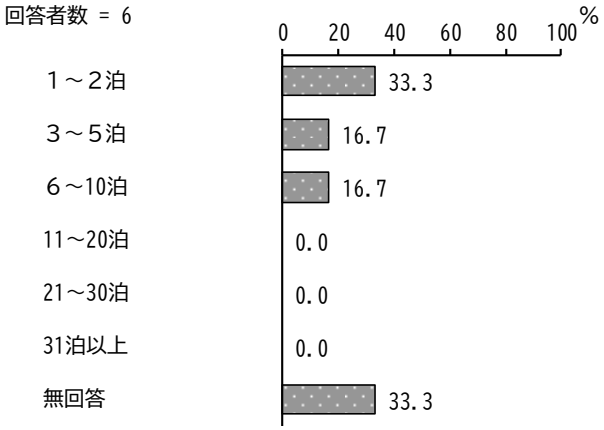
ウ．保護者や家族の病気

「３～５泊」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「１～２泊」の割合が 28.9%、「６～10 泊」の割合が 20.0%となっています。



エ．その他

「１～２泊」が２件となっています。「３～５泊」、「６～10 泊」が１件となっています。



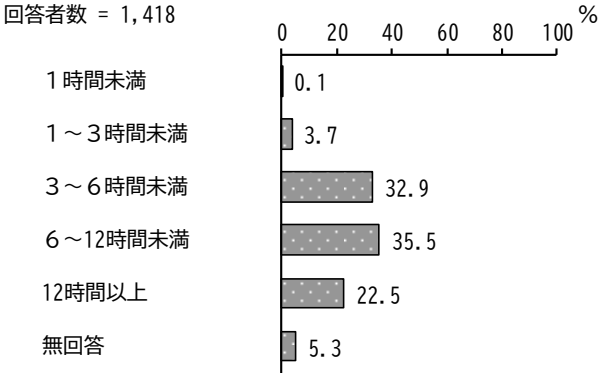
（４）仕事と子育ての両立について

問 19　１日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。１週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号１つを記入してください。

（１）母親

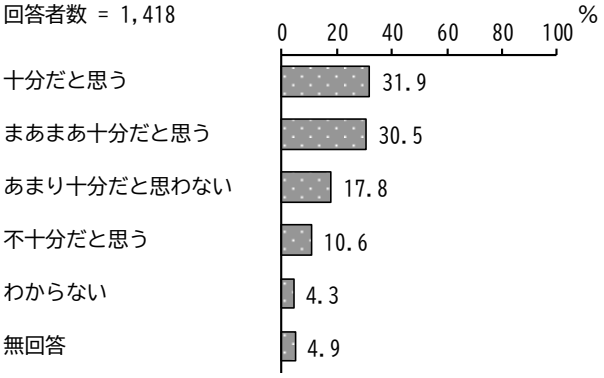
子どもと一緒に過ごす１日当たりの時間

「６～12 時間未満」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「３～６時間未満」の割合が 32.9%、「12 時間以上」の割合が 22.5%となっています。



十分だと思うか

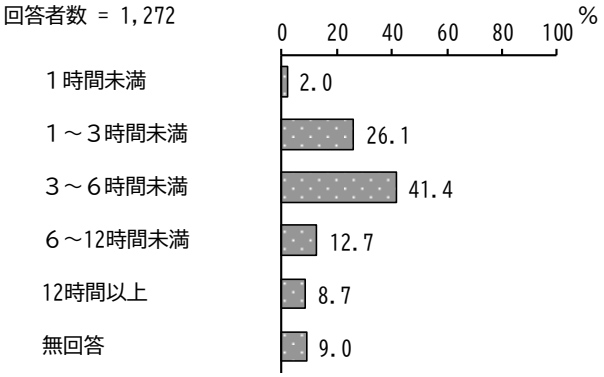
「十分だと思う」の割合が 31.9%と最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」の割合が 30.5%、「あまり十分だと思わない」の割合が 17.8%となっています。



（２）父親

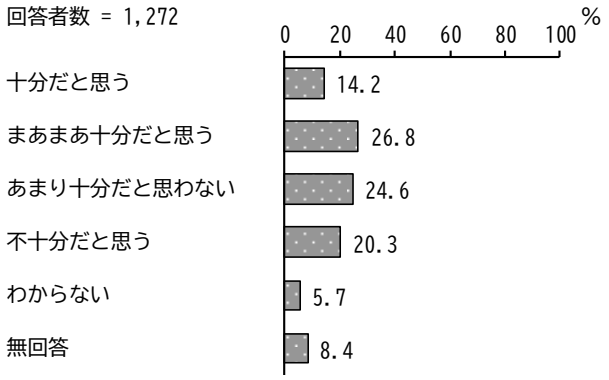
子どもと一緒に過ごす１日当たりの時間

「３～６時間未満」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「１～３時間未満」の割合が 26.1%、「６～12 時間未満」の割合が 12.7%となっています。



十分だと思うか

「まあまあ十分だと思う」の割合が 26.8%と最も高く、次いで「あまり十分だと思わない」の割合が 24.6%、「不十分だと思う」の割合が 20.3%となっています。

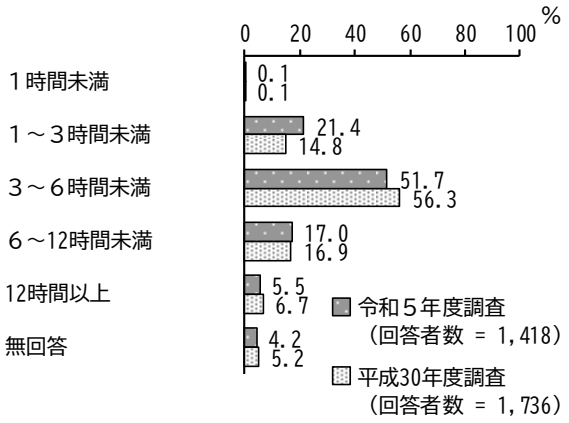


問 20　１日当たりの家事を何時間くらいしますか。１週間の平均的な時間を記入してください。

（１）母親

「３～６時間未満」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「１～３時間未満」の割合が 21.4%、「６～12 時間未満」の割合が 17.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「１～３時間未満」の割合が増加しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイム（休業中含む）で「１～３時間未満」の割合が高くなっています。

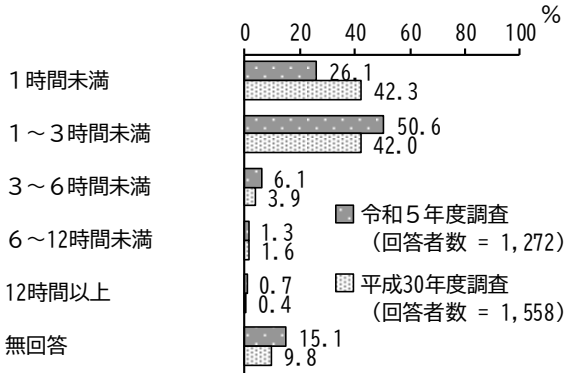
単位：%

区分	回答者数（件）	１時間未満	１～３時間未満	３～６時間未満	６～12時間未満	12時間以上	無回答
全　体	1,418	0.1	21.4	51.7	17.0	5.5	4.2
フルタイム（休業中含む）	547	0.4	36.0	47.3	9.9	3.5	2.9
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	602	－	14.6	56.0	19.6	5.1	4.7
働いていない（学生含む）	253	－	5.9	51.8	26.5	10.7	5.1

（２）父親

「１～３時間未満」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「１時間未満」の割合が 26.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「１～３時間未満」の割合が増加しています。一方、「１時間未満」の割合が減少しています。



【父親の就労状況別】

父親の就労状況別にみると、働いていない（学生含む）で「１時間未満」の割合が高くなっています。

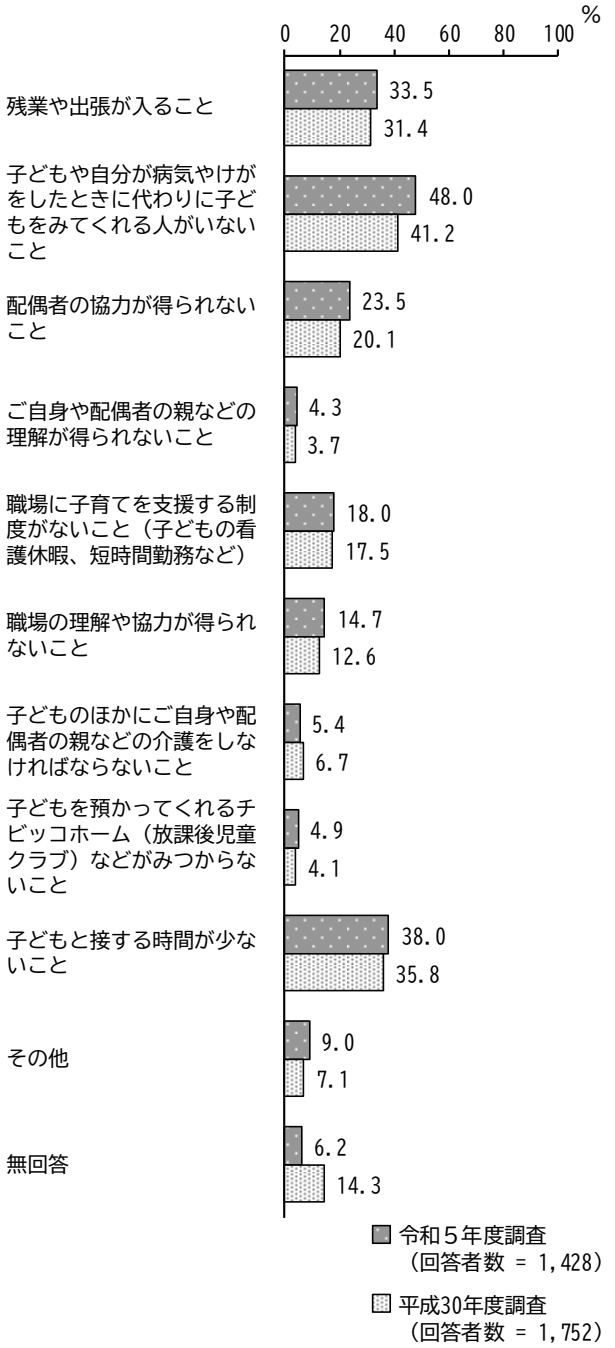
単位：%

区分	回答者数（件）	１時間未満	１～３時間未満	３～６時間未満	６～12時間未満	12時間以上	無回答
全　体	1,272	26.1	50.6	6.1	1.3	0.7	15.1
フルタイム（休業中含む）	458	20.1	56.3	9.4	1.7	0.9	11.6
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	554	29.1	47.5	4.7	1.3	0.5	17.0
働いていない（学生含む）	235	32.8	46.8	3.0	0.9	0.9	15.7

問 21　仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」の割合が 38.0%、「残業や出張が入ること」の割合が 33.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」の割合が増加しています。



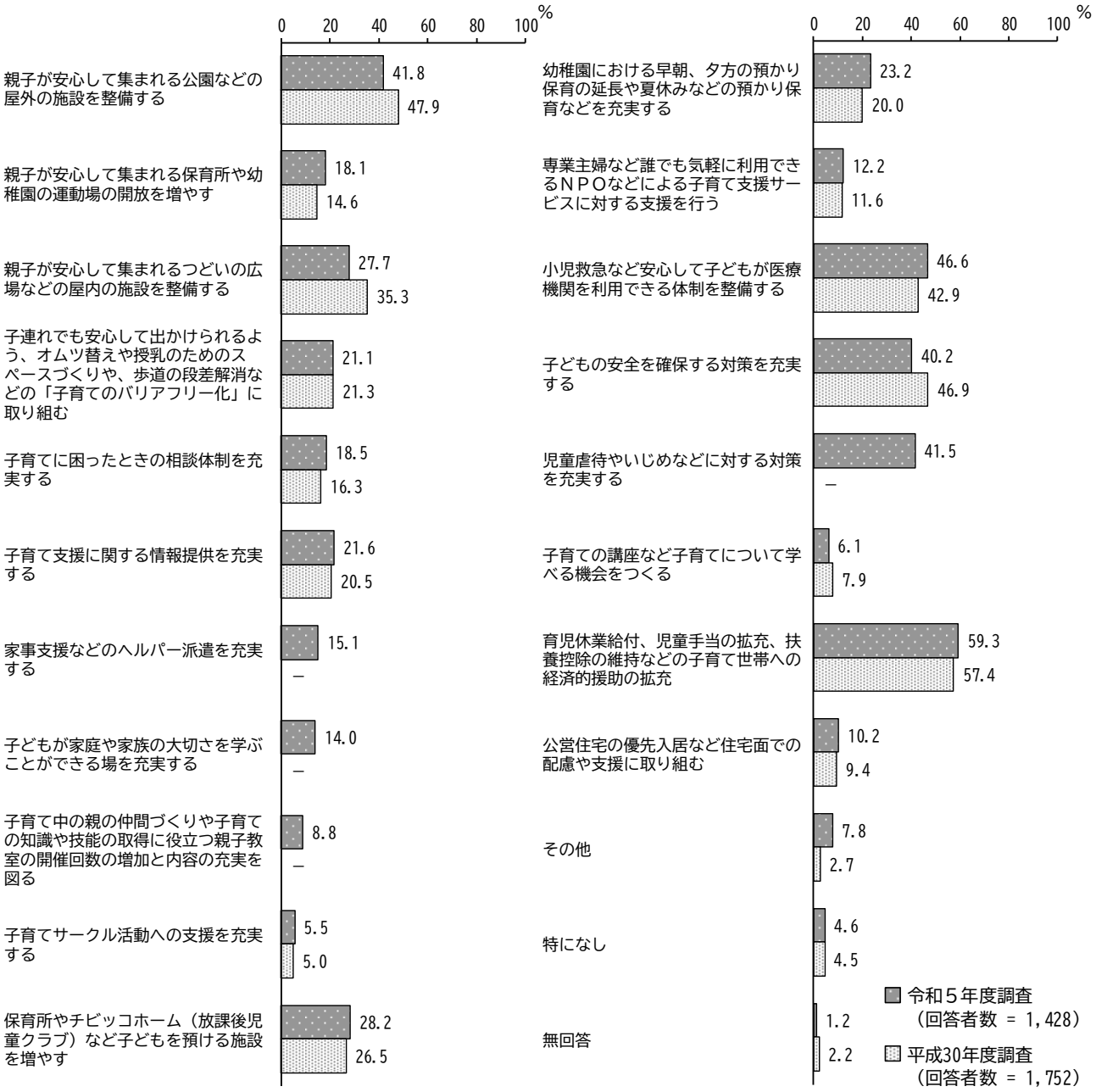
※前回調査では、「ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと」の選択肢は「自身や配偶者の親などの理解が得られないこと」、「職場に子育てを支援する制度がないこと（子どもの看護休暇、短時間勤務など）」の選択肢は「職場に子育てを支援する制度がないこと（子どもの看護休暇、短時間勤務など）」、「子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならないこと」の選択肢は「子どもの他に自身や配偶者の親等の介護をしなければならないこと」、「子どもを預かってくれるチビッコホーム（放課後児童クラブ）などがみつからないこと」の選択肢は「子どもを預かってくれる保育所などがみつからないこと」となっていました。

（５）市への要望について

問 22　市に対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」の割合が 46.6%、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」の割合が 41.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」「親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する」「子どもの安全を確保する対策を充実する」の割合が減少しています。



※前回調査では、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」の選択肢は「親子が安心して集まれる公園や遊び場などの屋外の施設を整備する」、「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む」の選択肢は「子連れでも安心して出かけられるように子育てのバリアフリー化」、「保育所やチビッコホーム（放課後児童クラブ）など子どもを預ける施設を増やす」の選択肢は「保育所や放課後児童クラブなど子どもを預ける施設を増やす」、「幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する」の選択肢は「幼稚園の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育を充実する」、「専業主婦など誰でも気軽に利用できるＮＰＯなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う」の選択肢は「ＮＰＯなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う」、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」の選択肢は「小児救急等安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」、「育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」の選択肢は「育児休業給付の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」となっていました。

※前回調査では、「家事支援などのヘルパー派遣を充実する」「子どもが家庭や家族の大切さを学ぶことができる場を充実する」「子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る」「児童虐待やいじめなどに対する対策を充実する」の選択肢はありませんでした。

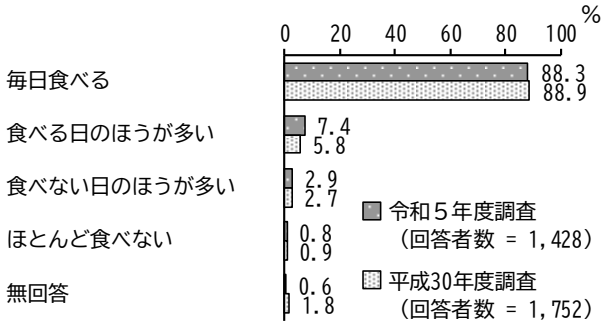
（６）封筒のあて名のお子さんの生活習慣について

問 23　お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号１つに○をつけてください。

（１）朝ごはんを食べますか。

「毎日食べる」の割合が 88.3%と最も高くなっています。

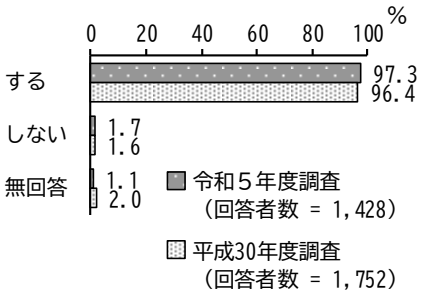
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



（２）１日１回は家族と一緒に食事をしますか。

「する」の割合が 97.3%、「しない」の割合が 1.7%となっています。

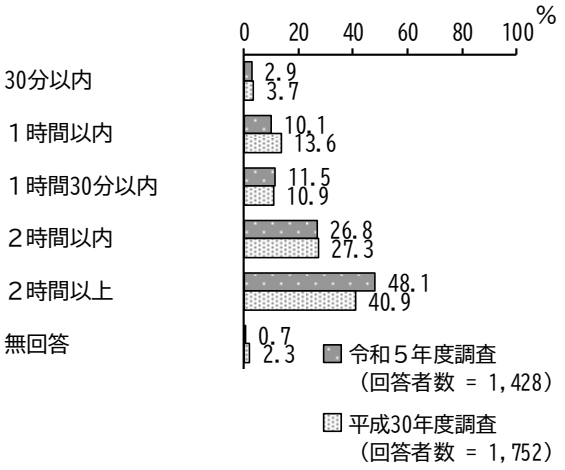
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



（３）平日のテレビ・ビデオ（ゲームも含む）の１日あたり平均視聴時間は何時間ですか。

「２時間以上」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「２時間以内」の割合が 26.8%、「１時間 30 分以内」の割合が 11.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「２時間以上」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学６年生で「２時間以上」の割合が高くなっています。

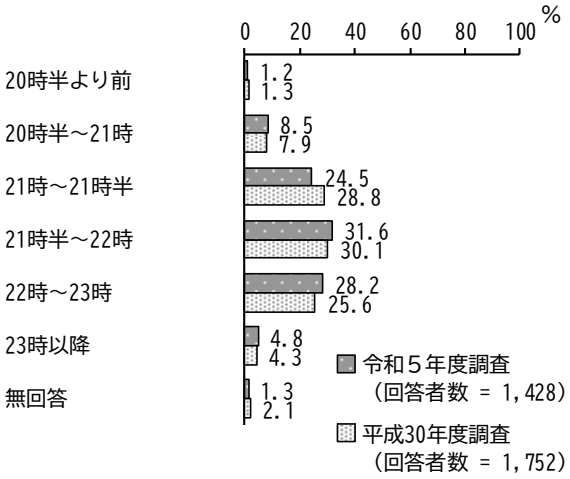
単位：％

区分	回答者数（件）	30分以内	1時間以内	1時間30分以内	2時間以内	2時間以上	無回答
全　体	1,428	2.9	10.1	11.5	26.8	48.1	0.7
小学１年生	216	1.9	10.2	14.8	29.6	43.5	－
小学２年生	227	1.8	10.6	10.1	28.6	48.0	0.9
小学３年生	217	3.7	10.1	12.0	29.5	44.7	－
小学４年生	248	3.2	12.1	10.9	26.6	45.6	1.6
小学５年生	224	4.0	8.5	11.2	23.7	52.2	0.4
小学６年生	224	2.7	9.8	9.8	22.8	54.0	0.9

（４）就寝時刻は何時ですか。

「21 時半～22 時」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「22 時～23 時」の割合が 28.2%、「21 時～21 時半」の割合が 24.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学６年生で「22 時～23 時」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	20時半より前	20時半～21時	21時～21時半	21時半～22時	22時～23時	23時以降	無回答
全　体	1,428	1.2	8.5	24.5	31.6	28.2	4.8	1.3
小学１年生	216	2.3	17.6	31.9	28.2	17.6	0.5	1.9
小学２年生	227	1.8	14.1	31.7	27.8	22.5	0.9	1.3
小学３年生	217	2.3	6.9	28.1	35.9	23.5	2.3	0.9
小学４年生	248	0.4	7.7	20.6	34.7	31.0	4.4	1.2
小学５年生	224	0.9	4.0	18.3	33.5	33.5	8.5	1.3
小学６年生	224	－	0.9	15.6	29.9	42.0	11.2	0.4

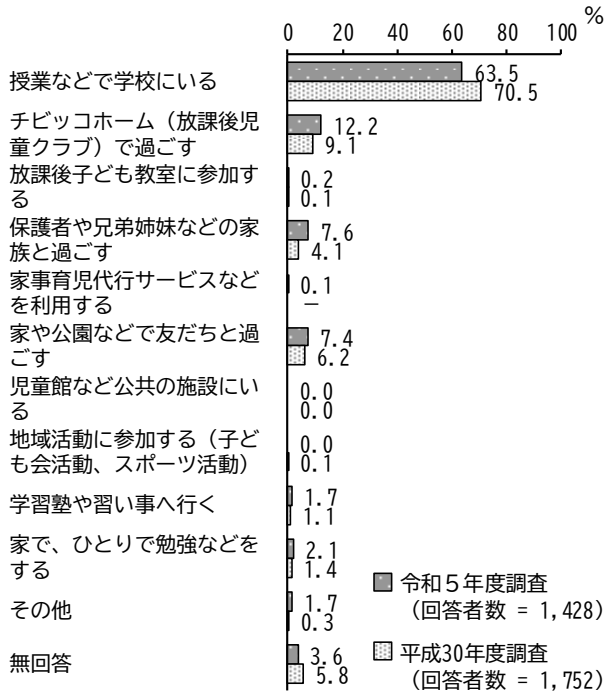
（７）封筒のあて名のお子さんの普段の過ごし方について

問 24－１　平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で１番多いものについて、時間帯ごとに、枠内の選択肢の中からあてはまる番号１つを選んで記入してください。

１．平日 14～16 時

「授業などで学校にいる」の割合が 63.5%と最も高く、次いで「チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす」の割合が 12.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「授業などで学校にいる」の割合が減少しています。



※前回調査では、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす」の選択肢は「放課後児童クラブ（チビッコホーム）で過ごす」、「児童館など公共の施設にいる」の選択肢は「公民館や図書館など公共の施設にいる」、「地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）」の選択肢は「スポーツクラブの活動や子ども会などの地域活動に参加する」、「家で、ひとりで勉強などをする」の選択肢は「家で、ひとりで勉強などをして過ごす」となっていました。

※前回調査では、「家事育児代行サービスなどを利用する」の選択肢はありませんでした。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学５年生で「授業などで学校にいる」の割合が高くなっています。

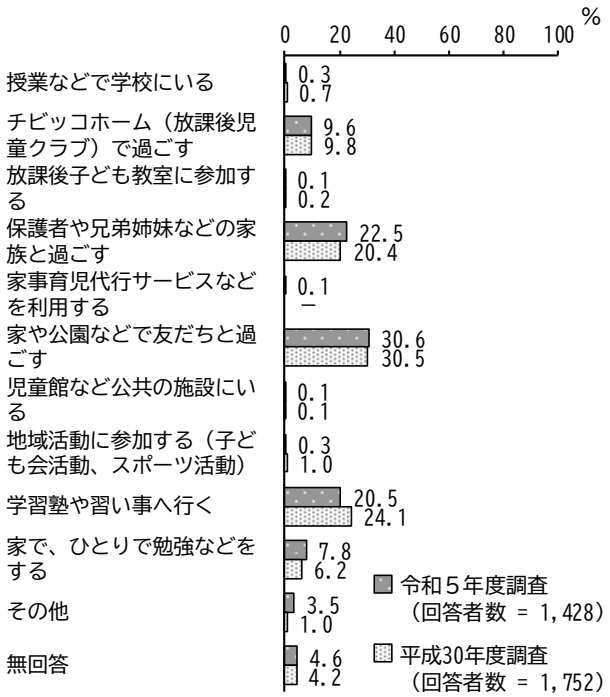
単位：％

区分	回答者数（件）	授業などで学校にいる	チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす	放課後子ども教室に参加する	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	家事育児代行サービスなどを利用する	家や公園などで友だちと過ごす	児童館など公共の施設にいる	地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）	学習塾や習い事へ行く	家で、ひとりで勉強などをする	その他	無回答
全　体	1,428	63.5	12.2	0.2	7.6	0.1	7.4	－	－	1.7	2.1	1.7	3.6
小学１年生	216	22.7	33.3	0.5	18.1	－	12.0	－	－	2.3	3.7	4.2	3.2
小学２年生	227	41.0	21.6	0.4	11.9	－	11.9	－	－	3.5	1.8	1.8	6.2
小学３年生	217	69.1	12.0	0.5	6.5	－	6.9	－	－	2.3	1.4	1.4	－
小学４年生	248	76.2	6.0	－	4.0	－	4.8	－	－	0.8	3.6	1.2	3.2
小学５年生	224	86.2	－	－	2.2	0.4	4.0	－	－	0.4	0.9	1.8	4.0
小学６年生	224	85.3	0.9	－	2.7	－	4.5	－	－	0.9	1.3	－	4.5

２．平日 16～18 時

「家や公園などで友だちと過ごす」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が 22.5%、「学習塾や習い事へ行く」の割合が 20.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす」の選択肢は「放課後児童クラブ（チビッコホーム）で過ごす」、「児童館など公共の施設にいる」の選択肢は「公民館や図書館など公共の施設にいる」、「地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）」の選択肢は「スポーツクラブの活動や子ども会などの地域活動に参加する」、「家で、ひとりで勉強などをする」の選択肢は「家で、ひとりで勉強などをして過ごす」となっていました。
※前回調査では、「家事育児代行サービスなどを利用する」の選択肢はありませんでした。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学１年生で「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が高くなっています。

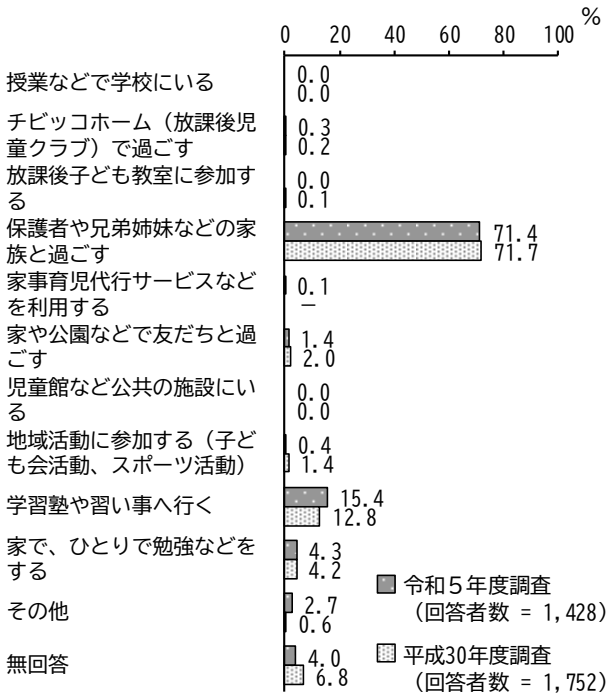
単位：%

区分	回答者数（件）	授業などで学校にいる	チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす	放課後子ども教室に参加する	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	家事育児代行サービスなどを利用する	家や公園などで友だちと過ごす	児童館など公共の施設にいる	地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）	学習塾や習い事へ行く	家で、ひとりで勉強などをする	その他	無回答
全　体	1,428	0.3	9.6	0.1	22.5	0.1	30.6	0.1	0.3	20.5	7.8	3.5	4.6
小学１年生	216	0.5	22.7	－	39.8	－	10.6	－	0.5	13.9	3.7	3.7	4.6
小学２年生	227	0.4	15.9	－	26.4	0.4	26.0	－	－	18.9	2.6	3.5	5.7
小学３年生	217	－	15.7	0.9	20.3	－	26.3	－	0.5	27.2	3.7	3.7	1.8
小学４年生	248	－	4.0	－	17.7	－	35.9	－	－	26.6	9.7	1.6	4.4
小学５年生	224	－	0.9	－	14.3	－	37.9	－	0.9	23.2	12.1	5.8	4.9
小学６年生	224	0.9	0.9	－	16.5	－	45.5	－	－	13.4	15.2	2.7	4.9

３．平日 18～20 時

「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が 71.4%と最も高く、次いで「学習塾や習い事へ行く」の割合が 15.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす」の選択肢は「放課後児童クラブ（チビッコホーム）で過ごす」、「児童館など公共の施設にいる」の選択肢は「公民館や図書館など公共の施設にいる」、「地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）」の選択肢は「スポーツクラブの活動や子ども会などの地域活動に参加する」、「家で、ひとりで勉強などをする」の選択肢は「家で、ひとりで勉強などをして過ごす」となっていました。

※前回調査では、「家事育児代行サービスなどを利用する」の選択肢はありませんでした。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学１年生で「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が高くなっています。

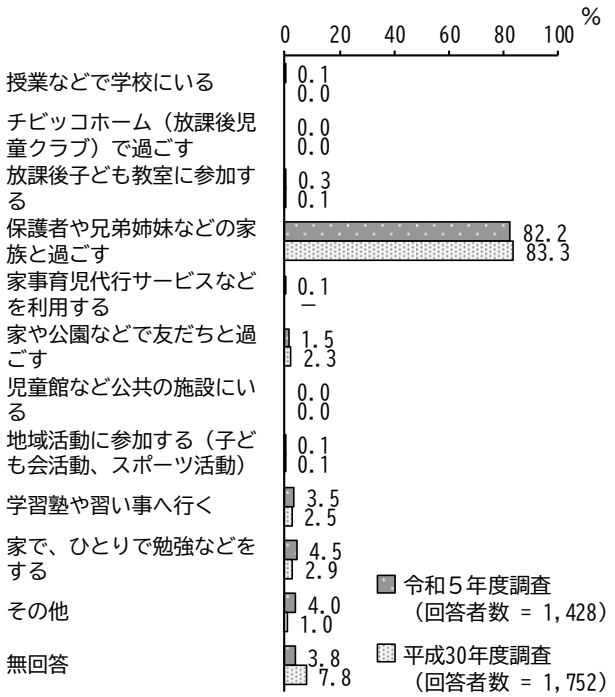
単位：%

区分	回答者数（件）	授業などで学校にいる	チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす	放課後子ども教室に参加する	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	家事育児代行サービスなどを利用する	家や公園などで友だちと過ごす	児童館など公共の施設にいる	地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）	学習塾や習い事へ行く	家で、ひとりで勉強などをする	その他	無回答
全　体	1,428	－	0.3	－	71.4	0.1	1.4	－	0.4	15.4	4.3	2.7	4.0
小学１年生	216	－	0.5	－	86.1	－	0.5	－	－	4.6	0.9	3.7	3.7
小学２年生	227	－	0.4	－	80.2	－	1.3	－	0.4	8.8	3.1	1.8	4.0
小学３年生	217	－	0.5	－	80.2	0.5	0.9	－	－	9.7	5.5	2.3	0.5
小学４年生	248	－	－	－	65.3	－	2.0	－	0.8	19.0	6.0	3.6	3.2
小学５年生	224	－	0.4	－	60.7	－	2.2	－	0.9	24.1	3.1	4.5	4.0
小学６年生	224	－	－	－	55.4	－	0.9	－	－	29.9	5.8	1.3	6.7

４．平日 20 時以降

「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が 82.2%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす」の選択肢は「放課後児童クラブ（チビッコホーム）で過ごす」、「児童館など公共の施設にいる」の選択肢は「公民館や図書館など公共の施設にいる」、「地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）」の選択肢は「スポーツクラブの活動や子ども会などの地域活動に参加する」、「家で、ひとりで勉強などをする」の選択肢は「家で、ひとりで勉強などをして過ごす」となっていました。
※前回調査では、「家事育児代行サービスなどを利用する」の選択肢はありませんでした。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学１年生で「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が高くなっています。

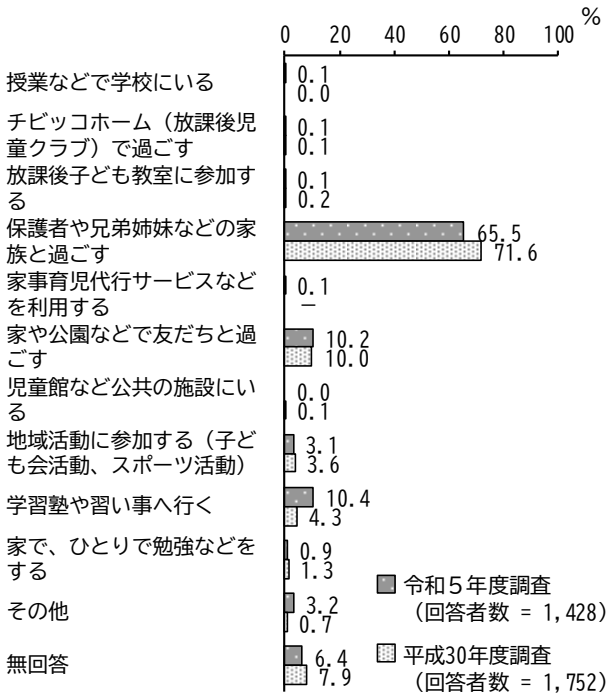
単位：%

区分	回答者数（件）	授業などで学校にいる	チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす	放課後子ども教室に参加する	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	家事育児代行サービスなどを利用する	家や公園などで友だちと過ごす	児童館など公共の施設にいる	地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）	学習塾や習い事へ行く	家で、ひとりで勉強などをする	その他	無回答
全　体	1,428	0.1	－	0.3	82.2	0.1	1.5	－	0.1	3.5	4.5	4.0	3.8
小学１年生	216	－	－	－	89.4	－	0.5	－	－	0.9	1.9	4.2	3.2
小学２年生	227	－	－	－	88.1	－	2.2	－	－	0.9	2.6	2.6	3.5
小学３年生	217	－	－	0.9	88.9	－	0.9	－	－	1.4	3.7	3.7	0.5
小学４年生	248	0.4	－	－	80.2	－	2.4	－	－	4.0	3.6	6.0	3.2
小学５年生	224	－	－	0.9	75.0	0.4	0.9	－	0.4	5.8	6.7	5.4	4.5
小学６年生	224	0.4	－	－	71.9	－	1.3	－	－	8.9	8.0	2.7	6.7

５．休日

「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「学習塾や習い事へ行く」の割合が 10.4%、「家や公園などで友だちと過ごす」の割合が 10.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「学習塾や習い事へ行く」の割合が増加しています。一方、「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が減少しています。



※前回調査では、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす」の選択肢は「放課後児童クラブ（チビッコホーム）で過ごす」、「児童館など公共の施設にいる」の選択肢は「公民館や図書館など公共の施設にいる」、「地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）」の選択肢は「スポーツクラブの活動や子ども会などの地域活動に参加する」、「家で、ひとりで勉強などをする」の選択肢は「家で、ひとりで勉強などをして過ごす」となっていました。
※前回調査では、「家事育児代行サービスなどを利用する」の選択肢はありませんでした。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学１年生で「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が高くなっています。

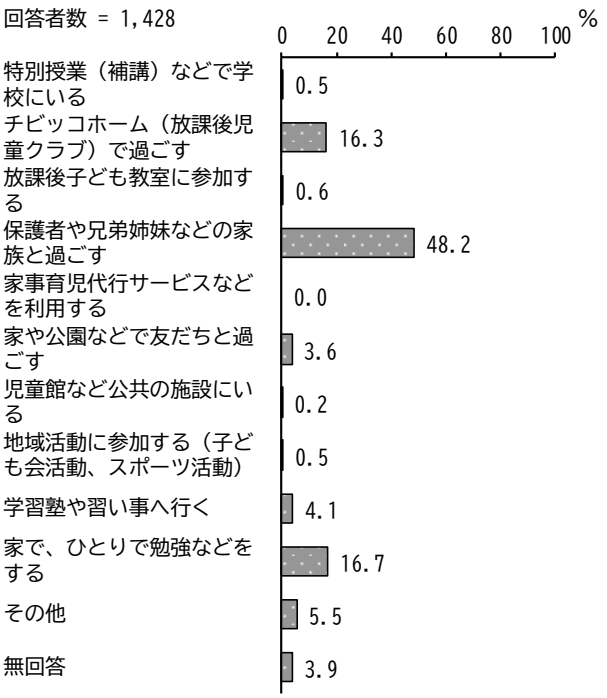
単位：%

区分	回答者数（件）	授業などで学校にいる	チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす	放課後子ども教室に参加する	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	家事育児代行サービスなどを利用する	家や公園などで友だちと過ごす	児童館など公共の施設にいる	地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）	学習塾や習い事へ行く	家で、ひとりで勉強などをする	その他	無回答
全　体	1,428	0.1	0.1	0.1	65.5	0.1	10.2	－	3.1	10.4	0.9	3.2	6.4
小学１年生	216	－	－	－	79.2	－	3.7	－	0.5	6.9	－	2.8	6.9
小学２年生	227	－	－	－	70.9	0.4	4.8	－	3.5	11.5	0.4	4.4	4.0
小学３年生	217	－	0.5	0.5	72.8	－	9.2	－	2.3	9.7	0.5	2.3	2.3
小学４年生	248	－	－	－	63.7	－	11.7	－	2.8	13.3	1.2	2.4	4.8
小学５年生	224	－	－	－	53.6	0.4	13.4	－	5.8	11.6	1.8	4.9	8.5
小学６年生	224	0.4	－	－	54.0	－	16.5	－	3.6	10.3	1.8	2.7	10.7

問 24－２　長期休暇（夏休み、冬休み、春休み）中のお子さんの過ごし方で１番多いものについて、時間帯ごとに、枠内の選択肢の中からあてはまる番号１つを選んで記入してください。

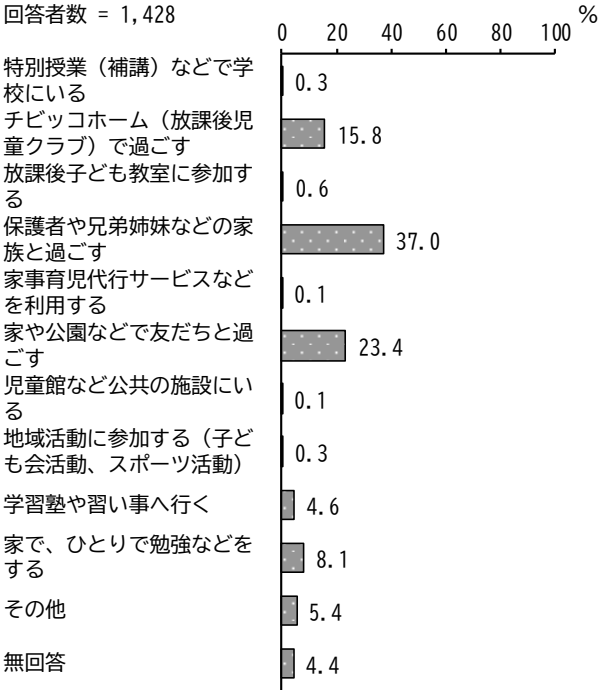
１．９～12 時

「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「家で、ひとりで勉強などをする」の割合が 16.7%、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす」の割合が 16.3%となっています。



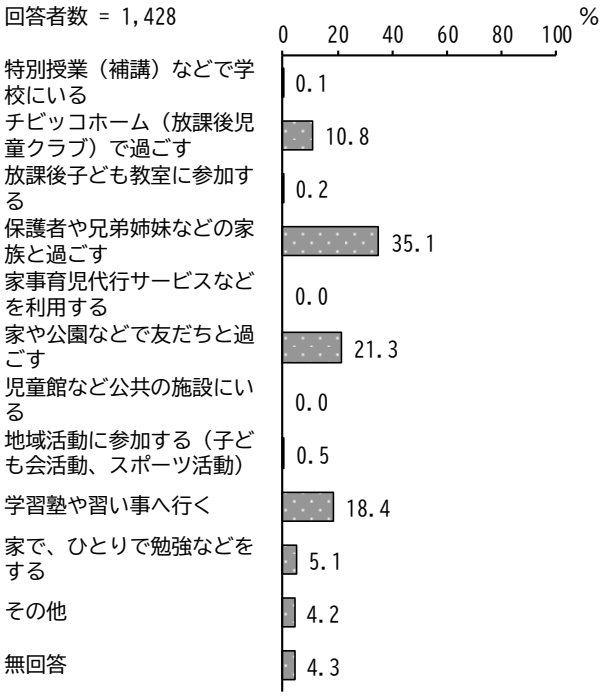
２．12～15 時

「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「家や公園などで友だちと過ごす」の割合が 23.4%、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす」の割合が 15.8%となっています。



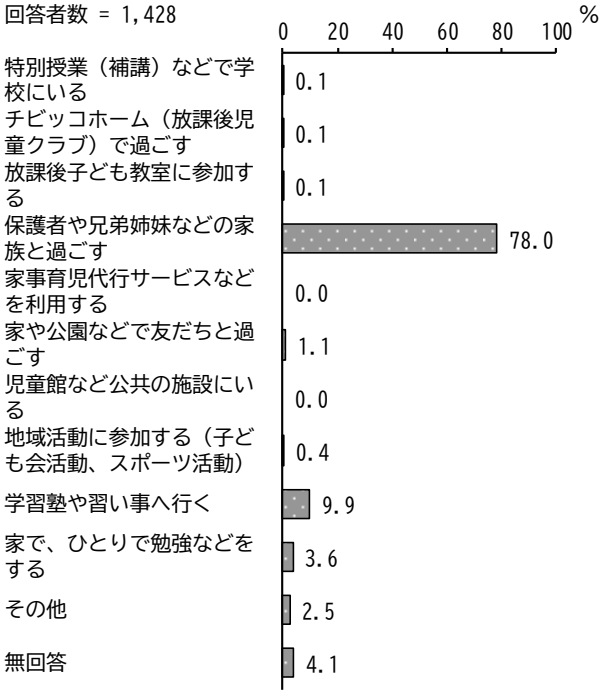
３．15～18 時

「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「家や公園などで友だちと過ごす」の割合が 21.3%、「学習塾や習い事へ行く」の割合が 18.4%となっています。



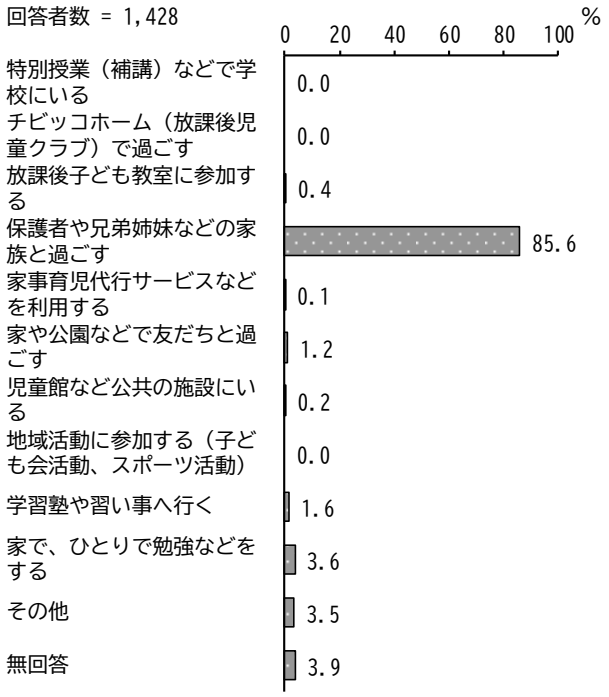
４．18～20 時

「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が 78.0%と最も高くなっています。



５．20 時以降

「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が 85.6%と最も高くなっています。

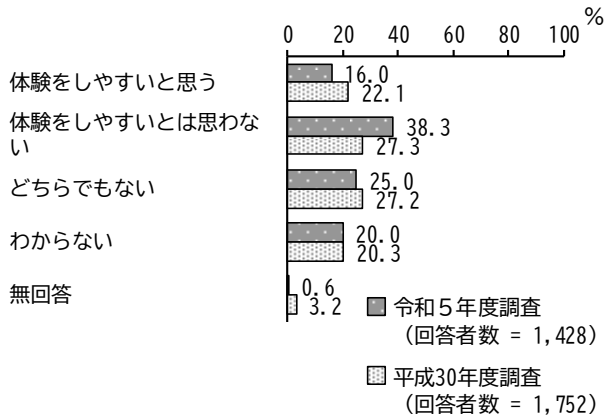


（８）封筒のあて名のお子さんの地域での自然体験などへの参加などについて

問 25　お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「体験をしやすいとは思わない」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が 25.0%、「わからない」の割合が 20.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「体験をしやすいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「体験をしやすいと思う」の割合が減少しています。



【地域別】

地域別にみると、岸和田北部地域で「体験をしやすいとは思わない」の割合が高くなっています。

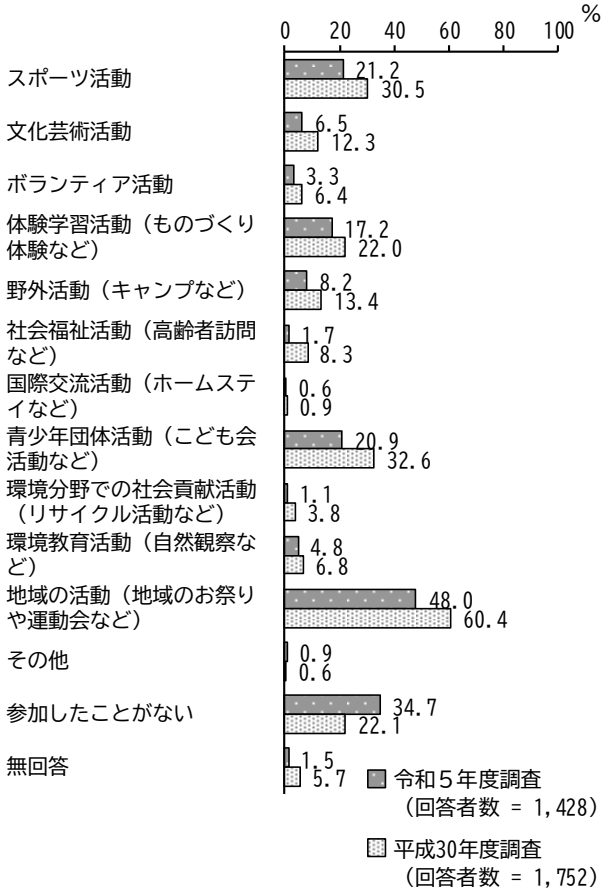
単位：%

区分	回答者数（件）	体験をしやすいと思う	体験をしやすいとは思わない	どちらでもない	わからない	無回答
全　体	1,428	16.0	38.3	25.0	20.0	0.6
都市中核地域	330	10.0	45.2	22.1	22.4	0.3
岸和田北部地域	197	9.1	47.7	25.9	16.8	0.5
葛城の谷地域	205	25.4	32.7	24.9	16.1	1.0
岸和田中部地域	220	21.8	34.5	25.5	17.7	0.5
久米田地域	203	13.3	31.5	29.6	25.1	0.5
牛滝の谷地域	174	20.1	35.6	24.1	19.5	0.6

問 26　参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「参加したことがない」の割合が 34.7%、「スポーツ活動」の割合が 21.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「参加したことがない」の割合が増加しています。一方、「スポーツ活動」「文化芸術活動」「野外活動（キャンプなど）」「社会福祉活動（高齢者訪問など）」「青少年団体活動（こども会活動など）」「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学５年生で「スポーツ活動」の割合が高くなっています。

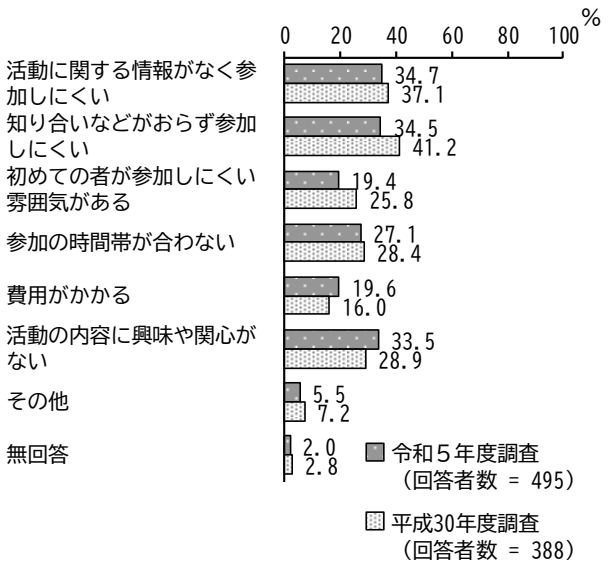
単位：%

区分	回答者数（件）	スポーツ活動	文化芸術活動	ボランティア活動	体験学習活動（ものづくり体験など）	野外活動（キャンプなど）	社会福祉活動（高齢者訪問など）	国際交流活動（ホームステイなど）	青少年団体活動（こども会活動など）	環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など）	環境教育活動（自然観察など）	地域の活動（地域のお祭りや運動会など）	その他	参加したことがない	無回答
全　体	1,428	21.2	6.5	3.3	17.2	8.2	1.7	0.6	20.9	1.1	4.8	48.0	0.9	34.7	1.5
小学１年生	216	17.1	5.6	1.4	17.6	5.6	1.4	0.5	17.6	0.9	6.0	46.8	0.5	38.0	1.4
小学２年生	227	21.1	6.6	3.1	14.5	5.3	0.9	0.4	19.8	0.4	1.8	46.3	0.9	35.7	1.3
小学３年生	217	21.7	6.5	3.2	17.5	6.5	2.3	1.4	18.9	0.9	5.5	48.8	0.5	34.6	1.8
小学４年生	248	22.2	5.2	3.6	13.3	9.7	1.6	－	21.8	1.2	4.8	45.6	0.8	38.3	0.4
小学５年生	224	26.8	8.5	3.6	18.3	8.5	1.8	0.4	23.2	2.2	5.8	50.4	2.7	32.1	1.3
小学６年生	224	22.3	5.8	5.4	20.5	12.5	2.2	－	26.3	0.9	4.0	49.6	－	30.8	1.8

問 26－１　問 26 で「13. 参加したことがない」を選ばれた方におうかがいします。お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「活動に関する情報がなく参加しにくい」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「知り合いなどがおらず参加しにくい」の割合が 34.5%、「活動の内容に興味や関心がない」の割合が 33.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「知り合いなどがおらず参加しにくい」「初めての者が参加しにくい雰囲気がある」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学１年生で「活動に関する情報がなく参加しにくい」の割合が高くなっています。

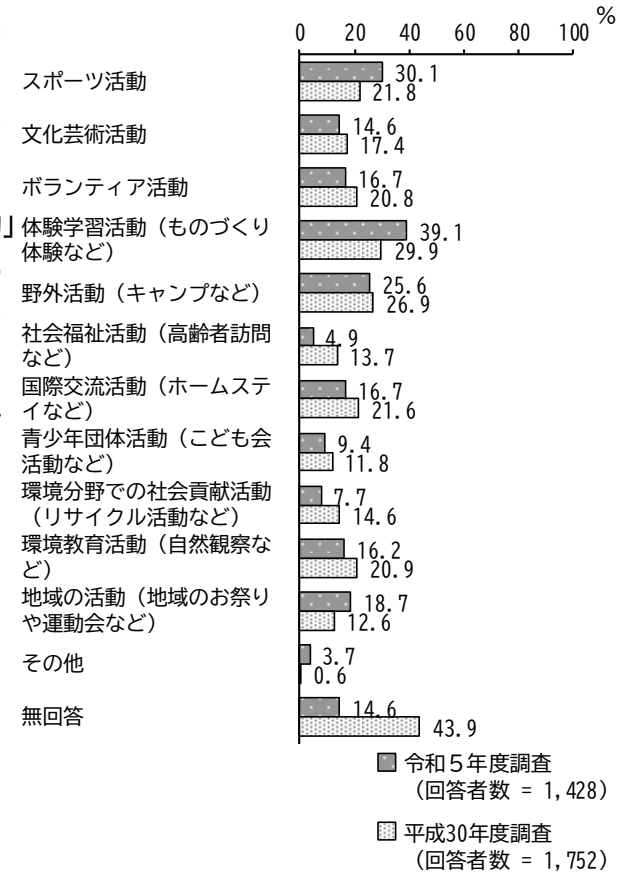
単位：%

区分	回答者数（件）	活動に関する情報がなく参加しにくい	知り合いなどがおらず参加しにくい	初めての者が参加しにくい雰囲気がある	参加の時間帯が合わない	費用がかかる	活動の内容に興味や関心がない	その他	無回答
全　体	495	34.7	34.5	19.4	27.1	19.6	33.5	5.5	2.0
小学１年生	82	48.8	36.6	22.0	19.5	25.6	22.0	7.3	1.2
小学２年生	81	27.2	33.3	18.5	29.6	22.2	28.4	7.4	4.9
小学３年生	75	25.3	36.0	22.7	28.0	20.0	36.0	4.0	1.3
小学４年生	95	35.8	37.9	21.1	28.4	16.8	36.8	5.3	1.1
小学５年生	72	34.7	18.1	13.9	26.4	18.1	44.4	4.2	2.8
小学６年生	69	40.6	44.9	18.8	34.8	14.5	33.3	4.3	1.4

問 27　お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「体験学習活動（ものづくり体験など）」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「スポーツ活動」の割合が 30.1%、「野外活動（キャンプなど）」の割合が 25.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「スポーツ活動」「体験学習活動（ものづくり体験など）」「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」の割合が増加しています。一方、「社会福祉活動（高齢者訪問など）」「環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など）」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学１年生で「スポーツ活動」の割合が高くなっています。

単位：%

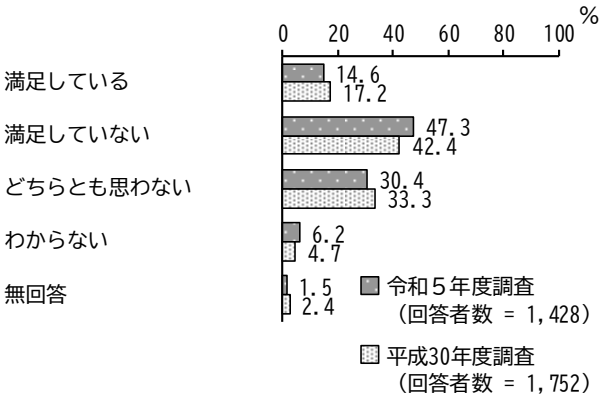
区分	回答者数（件）	スポーツ活動	文化芸術活動	ボランティア活動	体験学習活動（ものづくり体験など）	野外活動（キャンプなど）	社会福祉活動（高齢者訪問など）	国際交流活動（ホームステイなど）	青少年団体活動（こども会活動など）	環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など）	環境教育活動（自然観察など）	地域の活動（地域のお祭りや運動会など）	その他	無回答
全　体	1,428	30.1	14.6	16.7	39.1	25.6	4.9	16.7	9.4	7.7	16.2	18.7	3.7	14.6
小学１年生	216	40.3	19.0	19.4	42.1	28.7	4.2	17.1	9.7	8.8	25.9	21.3	2.8	13.9
小学２年生	227	32.2	13.2	11.0	43.6	30.0	3.1	10.1	12.8	5.3	15.4	23.8	3.1	16.3
小学３年生	217	26.3	14.7	14.7	44.2	31.3	6.0	21.2	11.1	7.8	20.7	17.1	3.2	11.5
小学４年生	248	29.8	14.5	13.3	47.2	22.6	4.0	14.1	8.9	7.3	12.9	17.7	4.0	13.7
小学５年生	224	26.8	13.4	19.2	33.9	22.8	6.7	16.5	9.4	9.4	15.2	17.4	4.5	16.5
小学６年生	224	25.4	13.4	24.1	25.0	17.9	6.7	23.2	6.7	7.1	9.4	14.3	4.0	15.2

（９）子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について

問 28　お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「満足していない」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「どちらとも思わない」の割合が 30.4%、「満足している」の割合が 14.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「どちらとも思わない」の選択肢は「どちらともいえない」となっていました。

【地域別】

地域別にみると、牛滝の谷地域で「満足していない」の割合が高くなっています。

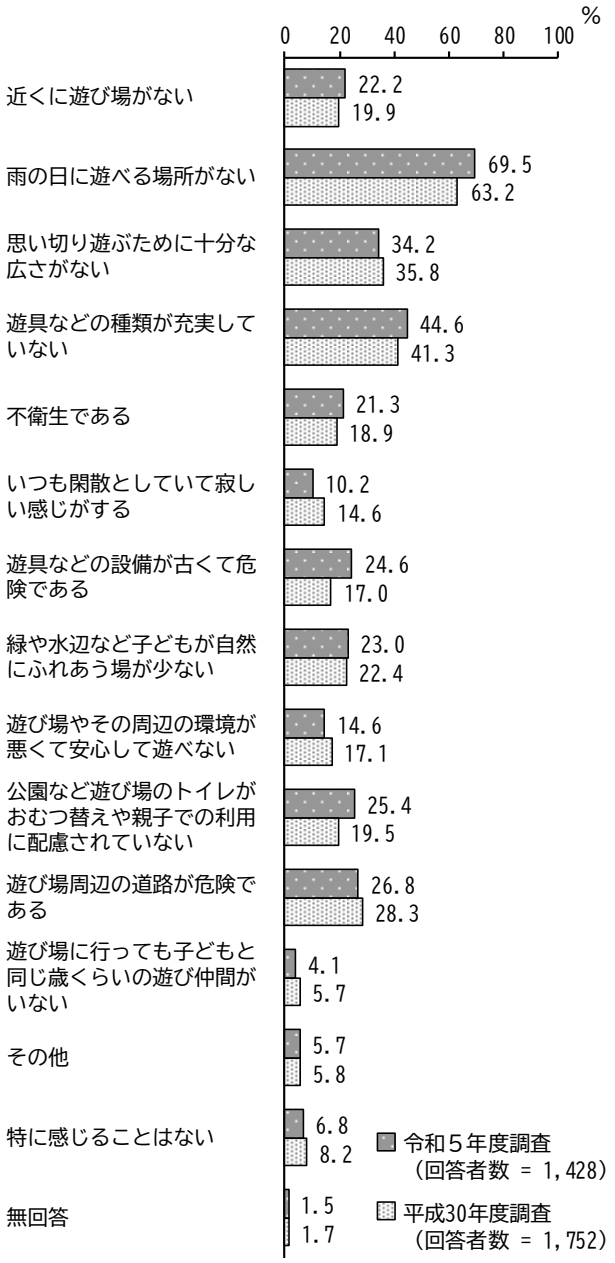
単位：%

区分	回答者数（件）	満足している	満足していない	どちらとも思わない	わからない	無回答
全　体	1,428	14.6	47.3	30.4	6.2	1.5
都市中核地域	330	13.3	47.6	32.1	6.4	0.6
岸和田北部地域	197	15.7	46.7	30.5	6.1	1.0
葛城の谷地域	205	11.2	55.6	25.4	4.9	2.9
岸和田中部地域	220	20.9	40.9	30.9	4.5	2.7
久米田地域	203	17.7	41.9	33.5	5.9	1.0
牛滝の谷地域	174	9.2	56.3	25.3	8.6	0.6

問 29　お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「雨の日に遊べる場所がない」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」の割合が 44.6%、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」の割合が 34.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「雨の日に遊べる場所がない」「遊具などの設備が古くて危険である」「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」の割合が増加しています。



※前回調査では、「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」の選択肢は「公園などのトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」となっていました。

【地域別】

地域別にみると、牛滝の谷地域で「近くに遊び場がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	近くに遊び場がない	雨の日に遊べる場所がない	思い切り遊ぶために十分な広さがない	遊具などの種類が充実していない	不衛生である	いつも閑散としていて寂しい感じがする	遊具などの設備が古くて危険である
全　体	1,428	22.2	69.5	34.2	44.6	21.3	10.2	24.6
都市中核地域	330	22.1	71.2	31.5	44.2	25.2	9.1	29.4
岸和田北部地域	197	18.3	69.5	37.6	41.1	29.4	9.1	26.4
葛城の谷地域	205	30.7	66.8	42.4	56.6	20.0	14.1	22.9
岸和田中部地域	220	14.1	69.1	28.2	37.7	13.2	7.7	14.5
久米田地域	203	14.8	69.0	29.6	43.3	20.2	5.4	27.1
牛滝の谷地域	174	35.1	74.7	43.7	47.7	18.4	16.7	26.4

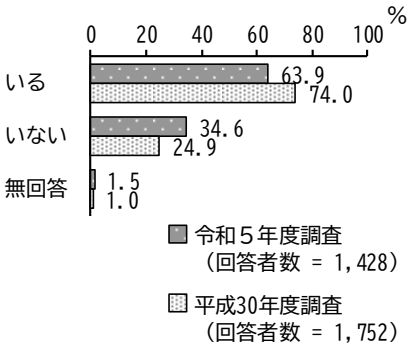
区分	緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない	遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない	公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない	遊び場周辺の道路が危険である	遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない	その他	特に感じることはない	無回答
全　体	23.0	14.6	25.4	26.8	4.1	5.7	6.8	1.5
都市中核地域	21.2	15.8	27.0	27.3	1.2	3.6	7.9	0.3
岸和田北部地域	25.4	19.3	28.4	24.4	5.1	4.6	5.1	1.5
葛城の谷地域	26.8	13.7	27.8	20.5	3.9	7.8	7.3	2.0
岸和田中部地域	20.5	9.5	22.7	25.5	3.2	6.4	7.3	3.2
久米田地域	29.6	16.7	23.2	35.5	4.4	5.9	9.4	－
牛滝の谷地域	16.7	14.4	26.4	33.3	9.8	5.2	3.4	2.9

（10）子育てに対する意識について

問 30　近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

「いる」の割合が 63.9%、「いない」の割合が 34.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「いない」の割合が増加しています。一方、「いる」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

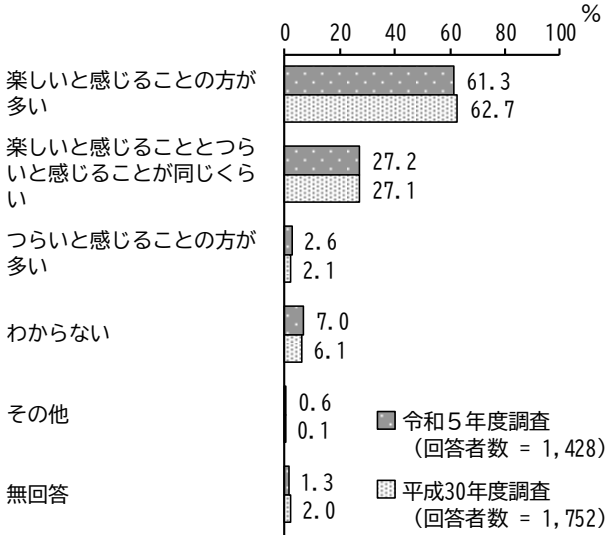
単位：%

区分	回答者数（件）	いる	いない	無回答
全　体	1,428	63.9	34.6	1.5
小学１年生	216	68.5	30.1	1.4
小学２年生	227	66.1	33.0	0.9
小学３年生	217	60.4	38.7	0.9
小学４年生	248	64.9	33.5	1.6
小学５年生	224	58.0	39.3	2.7
小学６年生	224	63.4	35.7	0.9

問 31　ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が61.3%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が27.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

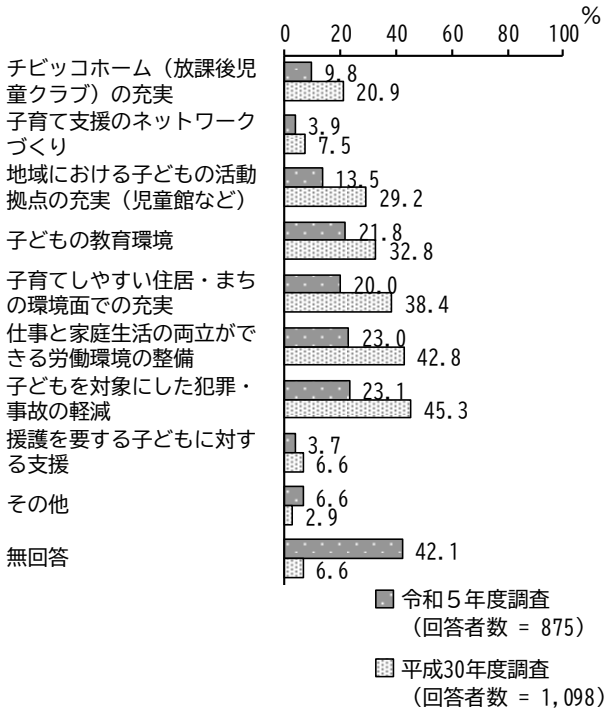
単位：%

区分	回答者数（件）	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい	つらいと感じることの方が多い	わからない	その他	無回答
全　体	1,418	61.5	27.2	2.5	6.8	0.6	1.3
フルタイム（休業中含む）	547	62.5	27.1	2.9	6.2	0.2	1.1
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	602	61.1	26.9	2.0	7.6	1.0	1.3
働いていない（学生含む）	253	60.9	28.5	3.2	6.3	0.8	0.4

問 31－１　問 31 で「１.」を選ばれた、子育てを楽しいと感じる方におうかがいします。子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。

「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」の割合が 23.0%、「子どもの教育環境」の割合が 21.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）の充実」「地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）」「子どもの教育環境」「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」の割合が減少しています。

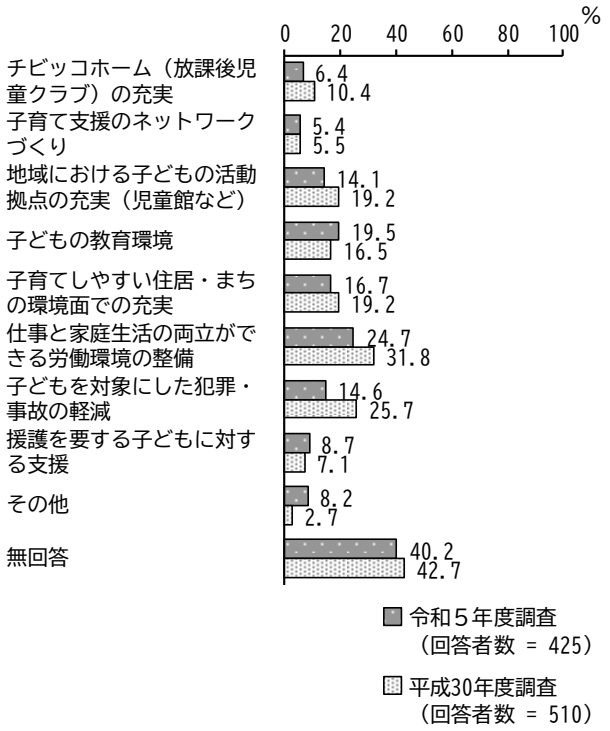


※前回調査では、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）の充実」の選択肢は「放課後児童クラブ（チビッコホーム）の充実」となっていました。

問31－２　問31で「２.」「３.」を選ばれた方におうかがいします。あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。

「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」の割合が24.7%と最も高く、次いで「子どもの教育環境」の割合が19.5%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）」「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」の割合が減少しています。



※前回調査では、「チビッコホーム（放課後児童クラブ）の充実」の選択肢は「放課後児童クラブ（チビッコホーム）の充実」となっていました。

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイム（休業中含む）で「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」の割合が高くなっています。

単位：%

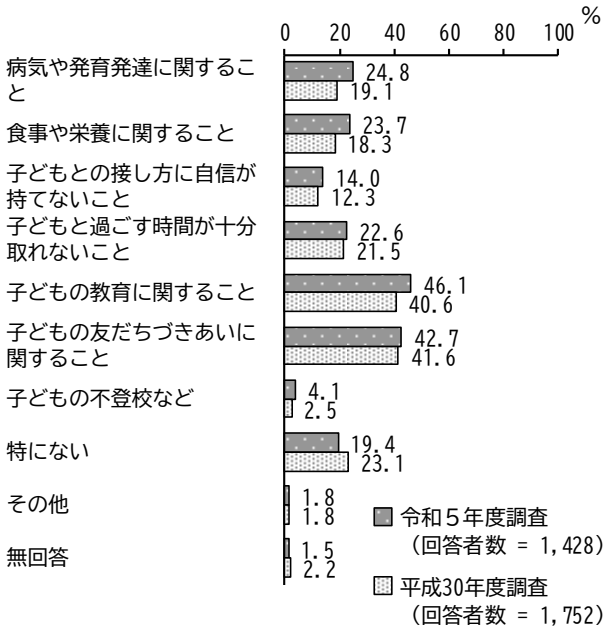
区分	回答者数（件）	チビッコホーム（放課後児童クラブ）の充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	援護を要する子どもに対する支援	その他	無回答
全　体	422	6.4	5.5	14.2	19.7	16.6	24.6	14.2	8.8	8.1	40.3
フルタイム（休業中含む）	164	7.3	1.2	9.8	17.7	13.4	32.9	12.8	4.3	6.7	46.3
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	174	8.0	7.5	17.8	19.0	16.7	23.6	15.5	9.2	8.6	35.6
働いていない（学生含む）	80	1.3	10.0	15.0	23.8	21.3	11.3	15.0	16.3	10.0	38.8

問 32　子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

（1）子どもに関すること

「子どもの教育に関すること」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「子どもの友だちづきあいに関すること」の割合が 42.7%、「病気や発育発達に関すること」の割合が 24.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「病気や発育発達に関すること」「食事や栄養に関すること」「子どもの教育に関すること」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学２年生で「子どもと過ごす時間が十分取れないこと」の割合が高くなっています。

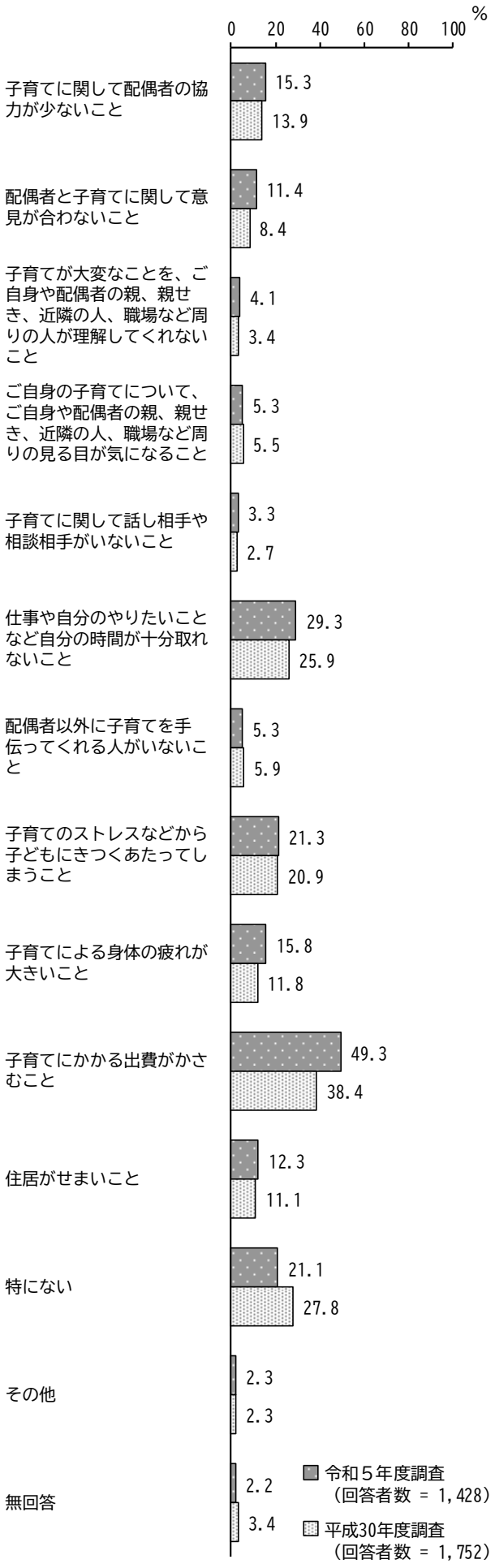
単位：%

区分	回答者数（件）	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもとの接し方に自信が持てないこと	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育に関すること	子どもの友だちづきあいに関すること	子どもの不登校など	特にない	その他	無回答
全　体	1,428	24.8	23.7	14.0	22.6	46.1	42.7	4.1	19.4	1.8	1.5
小学１年生	216	26.9	23.1	19.0	21.3	44.0	44.0	3.2	23.6	1.4	2.8
小学２年生	227	30.0	25.6	14.1	28.6	44.9	41.9	3.1	14.5	1.3	2.2
小学３年生	217	30.0	27.6	12.0	22.6	46.1	45.2	4.6	16.6	2.8	0.5
小学４年生	248	19.8	21.4	15.7	22.6	49.2	39.9	3.6	22.2	1.2	1.6
小学５年生	224	22.8	21.9	14.3	20.5	43.8	42.0	4.0	21.0	0.9	1.3
小学６年生	224	19.2	23.2	9.4	21.0	46.4	43.8	5.8	20.5	3.1	0.4

（2）ご自身に関すること

「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が49.3%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が29.3%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が21.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が増加しています。一方、「特にない」の割合が減少しています。



※前回調査では、「子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと」の選択肢は「子育てが大変なことを、周りの人が理解してくれないこと」、「ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること」の選択肢は「自身の子育てについて、周りの見る目が気になること」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学１年生で「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関して配偶者の協力が少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
全　体	1,428	15.3	11.4	4.1	5.3	3.3	29.3	5.3
小学１年生	216	13.9	11.6	4.6	9.3	4.6	34.7	4.6
小学２年生	227	12.8	13.7	5.7	5.7	2.6	29.5	4.8
小学３年生	217	14.7	12.0	2.3	5.5	3.7	31.3	6.0
小学４年生	248	17.7	9.3	5.2	5.2	2.8	26.2	4.8
小学５年生	224	16.5	9.4	4.0	5.4	3.1	28.1	6.3
小学６年生	224	16.5	12.5	3.6	2.2	2.7	28.6	6.7

区分	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てにかかる出費がかさむこと	住居がせまいこと	特にない	その他	無回答
全　体	21.3	15.8	49.3	12.3	21.1	2.3	2.2
小学１年生	28.7	20.4	47.7	12.5	22.2	3.2	2.8
小学２年生	21.6	15.4	49.3	8.4	20.3	1.8	4.0
小学３年生	25.8	19.4	48.4	12.0	18.0	1.8	2.3
小学４年生	21.4	14.1	51.6	14.1	17.7	1.2	1.6
小学５年生	17.9	16.1	48.7	16.1	25.0	2.7	1.8
小学６年生	13.4	12.9	52.7	11.2	24.1	3.1	0.9

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイム（休業中含む）で「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

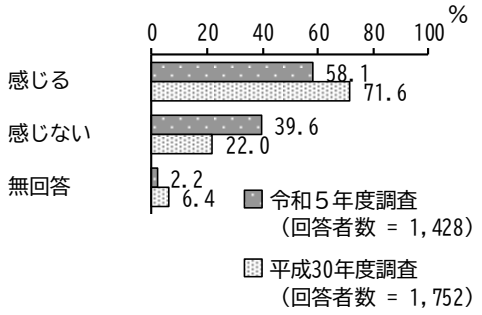
区分	回答者数（件）	子育てに関して配偶者の協力が少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
全　体	1,418	15.2	11.5	4.1	5.4	3.3	29.3	5.3
フルタイム（休業中含む）	547	14.8	11.3	3.5	4.4	2.7	35.6	3.8
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	602	16.9	12.0	3.8	5.6	3.0	24.4	5.1
働いていない（学生含む）	253	12.3	10.7	6.3	6.7	5.5	26.9	8.7

区分	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てにかかる出費がかさむこと	住居がせまいこと	特にない	その他	無回答
全　体	21.3	15.8	49.4	12.2	21.2	2.3	2.3
フルタイム（休業中含む）	22.5	17.4	49.4	12.4	19.6	3.3	1.1
パート・アルバイト・派遣（休業中含む）	20.4	13.8	50.0	12.0	21.1	1.2	2.8
働いていない（学生含む）	21.7	17.4	48.2	12.3	24.9	2.8	2.4

問 33　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を記入してください。（複数回答可）

「感じる」の割合が 58.1%、「感じない」の割合が 39.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「感じない」の割合が増加しています。一方、「感じる」の割合が減少しています。



【地域別】

地域別にみると、牛滝の谷地域で「感じる」の割合が高くなっています。

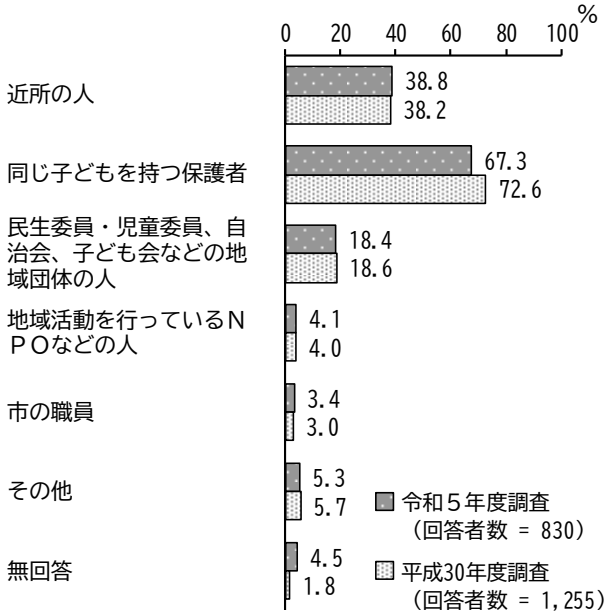
単位：%

区分	回答者数（件）	感じる	感じない	無回答
全　体	1,428	58.1	39.6	2.2
都市中核地域	330	58.2	38.8	3.0
岸和田北部地域	197	56.3	42.1	1.5
葛城の谷地域	205	60.0	37.6	2.4
岸和田中部地域	220	60.0	37.3	2.7
久米田地域	203	56.7	41.4	2.0
牛滝の谷地域	174	63.8	35.1	1.1

支えられている人

「同じ子どもを持つ保護者」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「近所の人」の割合が 38.8%、「民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人」の割合が 18.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「同じ子どもを持つ保護者」の割合が減少しています。



※前回調査では、「同じ子どもを持つ保護者」の選択肢は「同じ世代の子どもを持つ保護者」、「市の職員」の選択肢は「市役所の職員」となっていました。

【地域別】

地域別にみると、葛城の谷地域で「同じ子どもを持つ保護者」の割合が高くなっています。

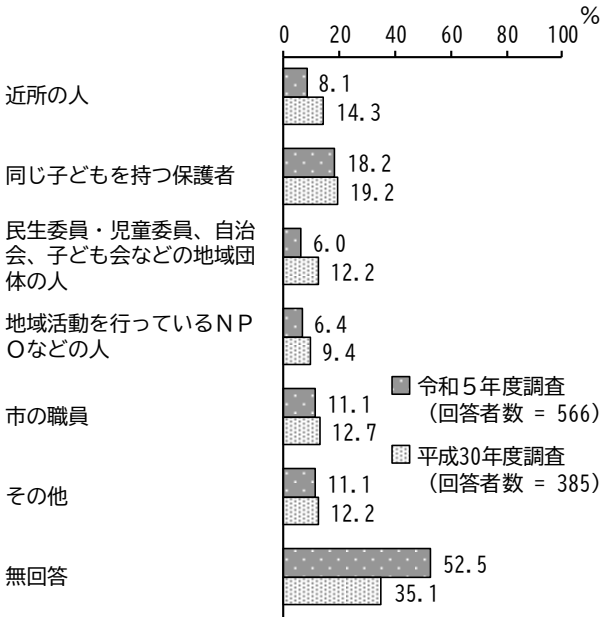
単位：%

区分	回答者数（件）	近所の人	同じ子どもを持つ保護者	民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人	地域活動を行っているＮＰＯなどの人	市の職員	その他	無回答
全　体	830	38.8	67.3	18.4	4.1	3.4	5.3	4.5
都市中核地域	192	40.1	65.1	20.8	4.7	5.2	4.7	4.2
岸和田北部地域	111	40.5	59.5	22.5	4.5	1.8	5.4	3.6
葛城の谷地域	123	34.1	79.7	14.6	3.3	4.1	4.1	3.3
岸和田中部地域	132	34.8	67.4	15.9	3.8	2.3	4.5	6.8
久米田地域	115	39.1	76.5	13.9	2.6	1.7	8.7	2.6
牛滝の谷地域	111	38.7	61.3	17.1	6.3	1.8	5.4	4.5

支えてほしい人

「同じ子どもを持つ保護者」の割合が 18.2%と最も高く、次いで「市の職員」の割合が 11.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「近所の人」「民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人」の割合が減少しています。



※前回調査では、「同じ子どもを持つ保護者」の選択肢は「同じ世代の子どもを持つ保護者」、「市の職員」の選択肢は「市役所の職員」となっていました。

【地域別】

地域別にみると、葛城の谷地域で「市の職員」の割合が高くなっています。

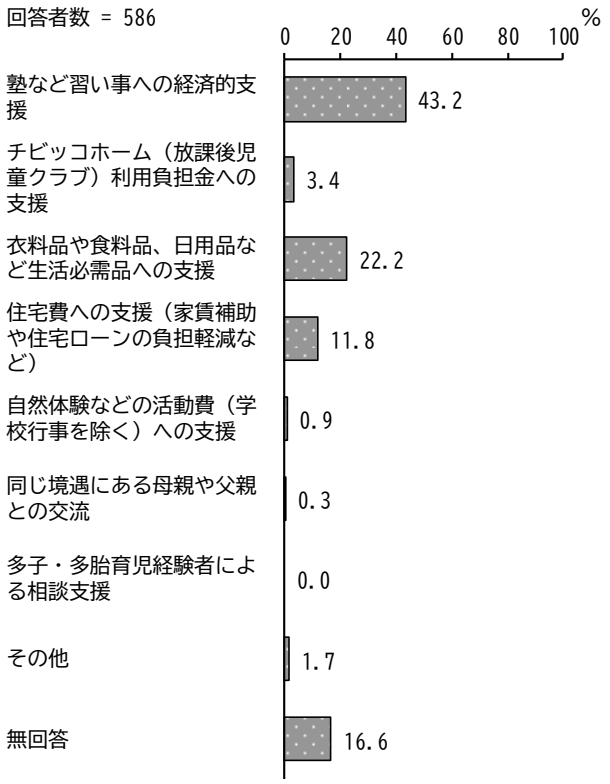
単位：%

区分	回答者数（件）	近所の人	同じ子どもを持つ保護者	民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人	地域活動を行っているＮＰＯなどの人	市の職員	その他	無回答
全　体	566	8.1	18.2	6.0	6.4	11.1	11.1	52.5
都市中核地域	128	8.6	21.1	5.5	3.9	11.7	10.2	51.6
岸和田北部地域	83	1.2	15.7	7.2	6.0	15.7	8.4	59.0
葛城の谷地域	77	7.8	16.9	1.3	3.9	18.2	15.6	48.1
岸和田中部地域	82	13.4	22.0	11.0	11.0	13.4	8.5	47.6
久米田地域	84	8.3	15.5	3.6	13.1	4.8	21.4	40.5
牛滝の谷地域	61	13.1	21.3	11.5	3.3	8.2	8.2	49.2

（11）封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんが３人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）のお子さんがいる方

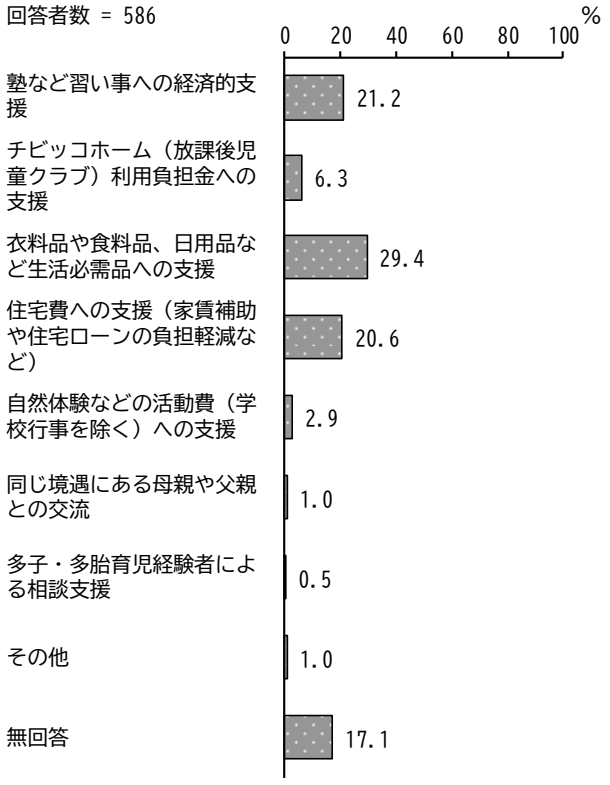
問 34　どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思われますか。もっとも有効だと思われる番号に○をつけてください。

「塾など習い事への経済的支援」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援」の割合が 22.2%、「住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）」の割合が 11.8%となっています。



問 34－１　２番目に有効だと思われる番号に○をつけてください。

「衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「塾など習い事への経済的支援」の割合が 21.2%、「住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）」の割合が 20.6%となっています。



Ⅲ　自由回答

調査票に自由意見欄を設けたところ、就学前児童の保護者 540 人（全体の 41.6%）から 635 件、小学生の保護者 496 人（全体の 34.7%）から 727 件の意見が寄せられた。

意見を項目ごとに整理すると、以下のとおりである。

1　保健・医療について

内容	就学前	小学生	合計
医療費補助の充実	5	5	10
小児科・産婦人科の充実	1		1
母子の健診・相談の充実	1		1
その他	6	3	9
合計件数	13	8	21

2　保育所について

内容	就学前	小学生	合計
保育所の増設、待機児童の解消、年度途中の受け入れ、希望する保育所へ、小学校区内の保育所へ	23	2	25
保育料見直し	26	6	32
入園条件見直し	19	2	21
一時預かりの充実	4	1	5
人員の量・質の向上	4	3	7
土日祝日・年末年始・お盆も保育してほしい	7		7
老朽化施設の改修	5		5
教育内容の充実・改善	2	1	3
園庭開放の充実	1		1
保育士の待遇の改善	8	1	9
時間延長	1		1
おむつ持ち帰りをなくして保育所で廃棄してほしい	1		1
保育時間内にスイミング等の習い事をさせてあげてほしい	3		3
その他	28	1	29
合計件数	132	17	149

３　幼稚園について

内容	就学前	小学生	合計
給食の実施	2		2
時間延長、預かり保育の時間延長		1	1
幼稚園の利用料見直し、預かり保育の利用料の見直し、子どもの年齢が離れていても同じ割引をしてほしい	2	1	3
３歳児保育実施園を増やしてほしい	1		1
人員の量質の向上	2		2
３歳児保育の人数を増やしてほしい	1		1
預かり保育の充実		1	1
施設・設備の充実	1		1
教育内容の充実・改善	1		1
幼稚園をなくさないでほしい	3		3
幼稚園の受入れ人数を増やしてほしい	1		1
園庭・教室の開放		1	1
民営化・子ども園化をしないでほしい	2		2
希望する園に入れるようにしてほしい	1		1
その他	1	1	2
合計件数	18	5	23

４　認定こども園について

内容	就学前	小学生	合計
認定こども園の増設、定員を増やしてほしい	2		2
その他	3	2	5
合計件数	5	2	7

5　学童保育について

内容	就学前	小学生	合計
時間延長	22	20	41
待機児童を解消してほしい	2	8	9
利用料見直し	1	9	10
長期休暇中にだけ対応する開設をしてほしい	3	16	19
保育内容の充実		6	6
一時利用ができるようにしてほしい		4	4
就労条件の緩和		1	1
学校給食がないときの給食の手配	3	3	6
先生の質の向上	1	3	4
利用日の改善		3	3
保護者会の役員になると負担が大きい。役員会に出ると子どもを一人で留守番させないといけなくなる。廃止してほしい		1	1
チビッコホームで習い事ができるようにしてほしい。習い事の際の一時退室を児童でできるようにしてほしい		4	4
利用申請をしやすくしてほしい	1		1
民間の学童保育の増設	2		2
その他	2	10	12
合計件数	37	88	123

６　小学校について

内容	就学前	小学生	合計
公立学校のレベルアップ、学力向上、体力向上		7	7
放課後の学習支援の実施		1	1
教育内容の充実と見直し	4	17	21
クラスの少人数化		10	10
校庭・体育館・図書室の開放		1	1
教員の量質の向上	3	6	9
登下校の安全強化		1	1
支援学校・学級の充実	3	4	7
教員の数が足りていない。教員の目が行き届いていない		8	8
施設の充実・改善	2	6	8
荒れている学校・学級崩壊の対策	2	7	9
小学校でも一時預かりをしてほしい		1	1
いじめ対策、不登校児童対策	1	5	6
給食の充実	1	3	4
プールの設置		1	1
校区にかかわらず学校選択できる制度の導入	4		4
土曜日授業の復活		1	1
教員と保護者、保護者同士がコミュニケーションをとれる場がほしい	2		2
入学前に今後のスケジュールや手続きがわかるようにしてほしい	1		1
悪いうわさを聞くので通学させるのが心配	1		1
学校が遠く１人で通学させるのが不安	1	1	2
制服を無償化してほしい	4		4
子どもに GPS を持たせてほしい（貸し出ししてほしい）		1	1
先生の労働環境をよくしてほしい		2	2
危機管理体制の強化	1		1
学習したい子へきちんと学習できる環境と時間を確保する		1	1
長期休暇中、子ども達が集まれるような環境を各小学校に整えてほしい	1		1
その他	4	19	23
合計件数	35	103	138

7　中学校について

内容	就学前	小学生	合計
公立学校のレベルアップ、学力向上、体力向上		6	6
教員の量質の向上		7	7
クラスの少人数化		3	3
学校の先生が授業に集中できるようにしてほしい		3	3
荒れている学校・学級崩壊の対策	1	6	7
支援学校・学級の充実		2	2
教育内容の充実と見直し	1	4	5
校区にかかわらず学校選択できる制度の導入		1	1
学級閉鎖や災害時に困るので、対応を考えてほしい		1	1
悪いうわさを聞くので通学させるのが心配		2	2
危機管理体制の強化	1		1
その他	2	4	6
合計件数	5	39	44

8　子育て支援について

①子育て支援事業等について

内容	就学前	小学生	合計
一時的な預け先の充実	14		14
病児・病後児保育事業の充実・改善	10	2	12
障がい児への支援充実	1	2	3
子育てサークルの実施場所を増やしてほしい。気軽に行けるようにしてほしい。土日祝も実施してほしい	1		1
放課後子ども教室の実施	1		1
小学生対象の一時預かりをしてほしい		2	2
子育て支援センターの利用時間を長くしてほしい	5		5
ファミリーサポートセンターの充実	3	2	5
児童発達支援施設の開所時間を長くしてほしい	1	1	2
無料で楽しめる子育て支援イベントをしてほしい		1	1
安心できる預け先を増やしてほしい	9		9
その他	11	4	15
合計件数	56	14	70

②情報提供・相談支援について

内容	就学前	小学生	合計
子育て相談の充実・改善	6	12	18
子育て支援に関する情報を周知してほしい	2	5	7
地域でどんな習い事ができるのか知りたい		1	1
その他		1	1
合計件数	8	19	27

③子育て支援施設等の施設整備、設備改善

内容	就学前	小学生	合計
その他		3	3
合計件数		3	3

④その他の子育て支援について

内容	就学前	小学生	合計
子育て家庭への経済的支援の充実	69	91	159
母子家庭・父子家庭への支援充実	4	13	17
より良い支援・助成があればもっと子どもを産みたい	9	3	12
無料・低料金での子ども習い事教室の実施	1	18	19
子どもと過ごす時間をもっととれるような支援をしてほしい	1	4	5
多子家庭への支援充実	2	20	22
おむつ用ゴミ袋の無料配布の拡充	14	2	16
子どもに平等な教育を受けさせてほしい	1	4	5
安心・安全な子育てができるまちづくり、地域住民の見守りや手助けがあるまちづくり、子育て家庭への理解度向上	2	7	9
経済的な不安がある、経済的に苦しい	15	3	18
子育てを学ぶ機会の充実、子育て経験者に話を聞ける機会・場所を作ってほしい		3	3
塾に通えない子どものための勉強できる環境を整えてほしい。以前、先生だった方や大学生の方などを講師として無料で教えてほしい		1	1
その他	13	14	27
合計件数	131	183	313

9　遊び場、居場所づくり、生活環境整備について

内容	就学前	小学生	合計
道路の整備	25	27	52
公園の充実・改善	47	28	75
公園・ボール遊びできる広場の増設	2	25	27
雨天でも利用できる室内施設がほしい	17	6	23
子ども（乳幼児含む）が安全に遊べる場所がほしい	7	27	34
設備の充実	21	38	59
公園で遊ぶ子どもへの理解がない	1	2	3
ベビーカーや車椅子で行動しやすい環境づくり	3	1	4
その他	7	29	36
合計件数	130	183	313

10　仕事との両立支援について

内容	就学前	小学生	合計
子育てしながら働きやすい環境にしてほしい	3	7	10
時短・産休・育休・子どもが病気になったとき・子どもの行事のとき、休みのとりやすい職場環境に。パートでもとれるように	6	6	12
母親の復職支援・就職支援の充実		1	1
障がい児を持つ母親も働けるようにしてほしい	1		1
その他		1	1
合計件数	10	15	25

11　その他

内容	就学前	小学生	合計
治安・防犯対策		1	1
アンケートがわかりにくい。書いている意味がわからない。質問が多すぎる。質問に失礼なものがある	13	6	19
子どもをもっと育てやすい環境にしてほしい	1	2	3
アンケートをしても何も変わらない。少ない予算を有効に使ってほしい	1	3	4
PTA の委員強要は早くやめてほしい。希望者ができる範囲ですればいい		1	1
平日の時間延長や日曜日、祝日の窓口開設を充実させてほしい	1		1
保護者のための施策でなく、子どものための施策を行ってほしい		3	3
公営住宅の整備・増設をしてほしい	1		1
岸和田市は子育てに向いていない	9	3	12
岸和田市が教育に熱心な市になってほしい	2		2
市役所の職員の対応が悪い	1		1
市役所は学校や保育所の実態を把握できていない。問題を放置している		1	1
障がい児が安心して生活できるまちづくり、障がい児への理解度向上、窓口を同じところにしてほしい	1	1	2
子育てが楽しいと思える支援をしてほしい	5	1	6
子育てや教育に力を入れてほしい	1	4	5
アンケートを取るのは良いと思う。 要望や意見が何らかの形で生きることを望む	9	3	12
その他	10	12	22
特になし		7	7
合計件数	55	48	103

岸和田市子ども・子育て支援事業計画策定に関するアンケート調査のお願い

就学前のお子さんのいる保護者の皆様へ
調査にご協力をお願いします。

日頃から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

岸和田市では、令和７年度（2025 年度）に、子ども・子育て支援法第 61 条に基づき、2025 年度から 2029 年度までを計画期間とする「第３期岸和田市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

このたび、皆様が日ごろから子育てについて、どのようなことを思われているのかをお聞きし、子ども・子育て支援事業計画に反映していくため、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

この調査は、市内にお住まいの就学前（０～６歳児）のお子さんがおられるご家庭を対象に、無作為に選ばせていただきました。

ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、この調査の目的のみに使用するものであり、それ以外の目的に使用して、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。また、お名前などを記入していただく必要もありません。

調査対象となられました皆様方には、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の目的・趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせいただきますようご協力をお願い申し上げます。

令和６年（2024 年）２月

岸和田市

（ご記入にあたってのお願い）

- ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆をご使用ください。
- ことわり書きのある場合以外は、封筒に書かれているあて名のお子さんについて保護者の方がご記入ください。
- 回答は選択肢に○をつけて選ぶ場合と数字を記入する場合があります。
- 設問によって回答が「１つ」や「全て」等と限定される場合がありますので、それに従って回答してください。
- 「その他」に当てはまる場合は（　）内に具体的な内容をご記入ください。
- 設問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、設問のことわり書きをお読みください。
- ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**３月２２日（金）**までにご投函くださいますよう、お願いいたします。

※今回のアンケート調査については、電子でも回答することが可能です。電子での回答を希望される場合は裏面記載の「電子での回答方法」をご覧ください。

【調査についてのお問い合わせ先】
岸和田市 子ども家庭応援部 子育て支援課
ＴＥＬ：072-423-9610

○調査内容について

このアンケート調査の内容は次のとおりです。

1．家庭の基本情報について（問１～問 17）
家族構成や保護者の働いておられる状況など、家庭の基本情報についてお聞きします。ご家庭の状況により必要なサービスは異なってきますので、サービス提供のための前提となる調査です。

2．幼稚園や保育所、認定こども園など定期的に利用したい施設やサービスについて（問 18～問 30）
幼稚園や保育所、認定こども園など定期的に利用したい施設やサービスについて、どれくらいの利用希望があるのかをお聞きするものです。また、育児休業の取得状況などについてもあわせてお聞きします。ご回答いただいた内容は、待機児童解消のための保育所の整備などに反映されます。

3．一時的な預かりや地域子育て支援拠点などの子育て支援サービスについて（問 31～問 38）
一時的な預かりや地域子育て支援拠点など、子育てを支援するサービスについて、どれくらいの利用希望があるのかなどをお聞きします。ご回答いただいた内容は、子育て支援サービスの充実などに反映されます。

4．子どもや子育て支援に関する意識などについて（問 39～問 47）
子育てについての意識や子育て環境についてお聞きします。子育て支援サービスを展開していくにあたって前提となる保護者のみなさんの意識などについて把握します。
ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

○電子での回答方法

今回のアンケート調査について、下記のアンケート回答期間のみ電子での回答を受け付けいたします。
スマートフォン、タブレットなどで 24 時間いつでも回答が可能ですので、ご活用ください。

1．電子による回答方法
以下の URL、QR コードから入力フォームへアクセスし、回答してください。

URL：https://logoform.jp/form/heqL/450436

QR コード

2．電子によるアンケート回答期間

令和６年２月２９日（木）から令和６年３月２２日（金）まで

3．注意事項

・１人の対象者（子ども）につき１回の回答が必要です。複数人の回答を同時に行うことはできません。
・回答内容に修正・変更がある場合は、再度回答はせずに必ず子育て支援課までご連絡ください。
・入力後、回答内容に誤りがないか、必ず確認してください。

１．ご家族の構成や保護者の働いている状況などについておうかがいします。

問１

お住まいの小学校区について、あてはまる番号１つに○をつけてください。
小学校区が分からない場合は、（　）に町名を記入してください。

１．中央　２．城内　３．浜　４．朝陽　５．東光　６．旭　７．太田　８．修斉
９．常盤　10．天神山　11．東葛城　12．春木　13．大芝　14．大宮　15．城北
16．新条　17．八木北　18．八木　19．八木南　20．光明　21．山直北
22．城東　23．山直南　24．山滝
※小学校区が分からない場合・・・（　　）町（　　）丁目

→問２へ

問２

この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号１つに○をつけてください。

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

→問３へ

問３

封筒のあて名のお子さんの生年月について、「平成」か「令和」か「西暦」に○をつけ、枠内に数字を入れてください。

平成・令和・西暦（　　）年（　　）月生まれ

→問４へ

問４

封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、２人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和５年４月１日現在の年齢）を記入してください。

（　　）人　　末子の年齢（　　）歳

→問５へ

問５

希望として、子どもは何人ほしいですか。

（　　）人

→問６へ

問６

もう１人以上の子どもを持ちたいと思いますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

１．持ちたいと思う
２．持ちたいと思わない

→「１．」を選ばれた方は問７へ、「２．」を選ばれた方は問６－１へ

問６－１

問６で「２．持ちたいと思わない」を選ばれた方におうかがいします。どのような環境が整えばもう１人以上の子どもを持ちたいと思いますか。もっともあてはまる番号１つに○をつけてください。

１．保育所など子どもを預かってくれる環境が整えば持ちたい
２．収入が増えれば持ちたい
３．働くところが見つかれば持ちたい
４．子どもを教育してくれる施設が充実していれば持ちたい
５．家族の理解が進めば持ちたい
６．その他（　　）

→問７へ

問７

封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

１．父と母と一緒に住んでいる　　２．父と一緒に住んでいる（父子家庭）
３．母と一緒に住んでいる（母子家庭）　　４．祖父と一緒に住んでいる
５．祖母と一緒に住んでいる　　６．祖父が近所に住んでいる
７．祖母が近所に住んでいる
８．その他（　　）

→問８へ

問８

封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

１．父母ともに　　２．主に母親
３．主に父親　　４．主に祖父母
５．その他（　　）

→問９へ

問９

封筒のあて名のお子さんの子育てや教育に日常的に関わっている人や施設として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。人についての選択肢はお子さんからみた関係です。

１．父母ともに　　２．母親
３．父親　　４．祖父母
５．幼稚園　　６．保育所
７．認定こども園
８．その他（　　）

※「認定こども園」…施設の中に幼稚園と保育所がある施設

→問 10 へ

問 10

封筒のあて名のお子さんの子育てや教育にもっとも影響すると思われるものとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．家庭　　２．地域　　３．幼稚園
４．保育所　　５．認定こども園
６．その他（　　）

→問 11 へ

問 11

日頃、封筒のあて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
２．緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
３．日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる
４．緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる
５．いずれもいない

→「１．」「２．」を選ばれた方は問 11－１へ、「３．」「４．」を選ばれた方は問 11－２へ、「５．」を選ばれた方は問 12 へ

問11－1

問11で「1．」または「2．」を選ばれた、お子さんをご自身や配偶者の親、親せきにみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．ご自身や配偶者の親、親せきなので、安心して子どもをみてもらえる
2．ご自身や配偶者の親、親せきの身体的負担が大きく心配である
3．ご自身や配偶者の親、親せきの時間的制約が大きく心配である
4．ご自身や配偶者の親、親せきの精神的な負担が大きく心配である
5．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
6．子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか、少し不安がある
7．その他（　　）

→問12へ

問11－2

問11で「3．」または「4．」を選ばれた、お子さんを友人や知人にみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．友人や知人なので、安心して子どもをみてもらえる
2．友人や知人の身体的負担が大きく心配である
3．友人や知人の時間的制約が大きく心配である
4．友人や知人の精神的な負担が大きく心配である
5．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
6．子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか、少し不安がある
7．その他（　　）

→問12へ

問12

あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1．いる／ある
2．いない／ない

→「1．」を選ばれた方は問12－1へ、「2．」を選ばれた方は問13へ

問12－1

問12で「1．いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．配偶者
2．ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族
3．友人や知人
4．近所の人
5．地域子育て支援拠点、児童館などの子育て支援施設やＮＰＯなどの子育て支援団体
6．子どもの健診などを行ってくれる保健センター
7．幼稚園の先生
8．保育所の先生
9．民生委員・児童委員、主任児童委員
10．かかりつけの医師
11．市の子育て支援担当の窓口
12．携帯電話やインターネットの交流サイト
13．キンダーカウンセラー（子育て相談を行うため私立幼稚園に配置された臨床心理士等）
14．スマイルサポーター（私立保育所における知事認定を受けた地域貢献支援員）
15．その他（　　）

→問13へ

問13

お子さんの子育てや教育のために、身近な人、市の職員などからどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

→問14へ

問14

封筒のあて名のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【父子家庭の場合は記入不要です。→問15へ】

1．フルタイムで働いている
2．フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）
3．パート・アルバイトなどで働いている
4．パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）
5．以前は働いていたが、今は働いていない
6．これまで働いたことがない

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労
→「1．」から「4．」を選ばれた方は問14－1へ、「5．」「6．」を選ばれた方は問15へ

問14－1

問14で「1．」から「4．」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1週当たり（　　）日　　1日当たり（　　）時間

→問14－2へ

問14－2

問14で「1．」から「4．」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間（　　：　　）　　帰宅時間（　　：　　）

→問15へ

問15

封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【母子家庭の場合は記入不要です。問14で「3．」「4．」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）は問16へ、「5．」「6．」を選ばれた、仕事をお持ちでない方は問17へ】

1．フルタイムで働いている
2．フルタイムで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）
3．パート・アルバイトなどで働いている
4．パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）
5．以前は働いていたが、今は働いていない
6．これまで働いたことがない

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

→「1．」から「4．」を選ばれた方は問15－1へ、「5．」「6．」を選ばれた方は問17へ

問15－1

問15で「1．」から「4．」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1週当たり（　　）日　　1日当たり（　　）時間

→問15－2へ

問15－2

問15で「1．」から「4．」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間（　　：　　）　　帰宅時間（　　：　　）

→問15で「3．」「4．」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）は問16へ、それ以外の方は問18へ

問16

問14または問15で、「3．」または「4．」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

（1）母親

1．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3．パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4．パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親

1．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3．パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4．パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

→問18へ

問17

問14または問15で「5．」または「6．」を選ばれた、仕事をお持ちでない方におうかがいします。働きたいという希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、枠内に具体的な数字を入れてください。

（1）母親

1．子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2．1年より先、一番下の子どもが、（　　）歳になったころに働きたい
3．すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
→希望する働き方
（ア．フルタイム
イ．パートタイム、アルバイトなど）
→1週当たり（　　）日　　1日当たり（　　）時間

（2）父親

1．子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2．1年より先、一番下の子どもが、（　　）歳になったころに働きたい
3．すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
→希望する働き方
（ア．フルタイム
イ．パートタイム、アルバイトなど）
→1週当たり（　　）日　　1日当たり（　　）時間

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

→（1）または（2）で「2．」「3．」を選ばれた方は問17－1へ、それ以外の方は問18へ

問17－1

問17の（1）または（2）で「2．」「3．」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方におうかがいします。働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．働かないと、暮らしていけなくなるため
2．将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
3．仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
4．人間関係を広げたいため
5．その他（　　）

→問18へ

2．封筒のあて名のお子さんが、平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについておうかがいします。

問18

平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園や保育所、認定こども園などの子どもを預かる施設（問18―2に記載の施設）やサービスを「定期的に」利用されていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1．利用している
2．利用していない

→
「1．」を選ばれた方は問18－2へ、「2．」を選ばれた方は問18－1へ

問18－1

問18で「2．利用していない」を選ばれた方におうかがいします。幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない
2．ご自身や配偶者の親、親せきがみている
3．近所の人や友人・知人がみている
4．利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない
5．利用したいが、経済的な理由で利用できない
6．利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
7．利用したいが、サービスの質や場所などで納得できる幼稚園や保育所、認定こども園などがない
8．子どもがまだ小さいため（　　）歳くらいになったら利用しようと考えている
9．その他（　　）

→問20へ

問 18－2

問 18 で「1．利用している」を選ばれた方におうかがいします。封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用されている施設やサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【教育・保育】
1．幼稚園（通常の就園時間利用）
2．幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている）
3．認可保育所（市に申し込んで入る公立保育所や私立保育園で定員 20 人以上のもの）
4．認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設）
5．小規模な保育施設（主に３歳未満の子どもをおおむね６～１９人預かる施設で、市が認可したもの）
6．家庭的保育（保育士などがその自宅などで５人以下の子どもを預かるサービス）
7．事業所内保育施設（会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設）
8．市が認証・認定した保育施設（認可外だが、市が定める基準を満たした施設）
9．その他の認可外の保育施設
10．居宅訪問型保育（ベビーシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてくれるサービス）

【子育て支援】
11．地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場
12．ファミリー・サポート・センター（市のファミリー・サポート・センターに登録している協力会員が子どもをみてくれるサービス）
【その他】
13．その他（　　）

→問 18－3へ

問 18－3

問 18 で「1．利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在利用している幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、１週間に何日利用し、また、１日あたり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように 24 時間制で記入してください。

（1）現在
１週当たり（　　）日
１日当たり（　　）時間　（　　：　　）～（　　：　　）

（2）希望
１週当たり（　　）日
１日当たり（　　）時間　（　　：　　）～（　　：　　）

→問 18－4へ

問 18－4

問 18 で「1．利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在、利用されている施設などはどこにありますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。「2．」を選択された方は、その市町村名についても枠内に記入してください。

1．住んでいる岸和田市内（自宅を訪問するサービスも含む）
2．他の市町村（　　）

→問 18－5へ

問 18－5

問 18 で「1．利用している」を選ばれた方におうかがいします。幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用されている理由について、もっともあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．子どもの教育や発達のため
2．保護者が働いている
3．保護者が働く予定である、または、仕事を探している
4．保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
5．保護者に病気や障がいがある
6．保護者が学生である
7．その他（　　）

→問 19 へ

3．封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。（平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用している方のみ）

問 19

平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などを利用していると答えた保護者の方（問 18 で１に○をつけた方）に、封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この１年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかったことはありますか。

1．あった
2．なかった

→「1．」を選ばれた方は問 19－1へ、「2．」を選ばれた方は問 20 へ

問 19－1

問 19 で「1．あった」を選ばれた方におうかがいします。この１年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について枠内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

対処方法	日数（年間）
1．父親が仕事を休んだ	（　　）日
2．母親が仕事を休んだ	（　　）日
3．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	（　　）日
4．働いていない父親か母親が子どもをみた	（　　）日
5．保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	（　　）日
6．ベビーシッターを利用した	（　　）日
7．ファミリー・サポート・センターを利用した	（　　）日
8．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）日
9．その他（　　）	（　　）日

→「1．」「2．」を選ばれた方は問 19－2へ、「3．」から「9．」を選ばれた方は問 19－5へ

問19－2

問19－1で「1．」「2．」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

1．できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい
　→（　　）日
2．利用したいと思わない

→「1．」を選ばれた方は問19－3へ、「2．」を選ばれた方は問19－4へ

問19－3

問19－2で「1．できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」を選ばれた方におうかがいします。利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス
2．小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス
3．ファミリー・サポート・センターに登録している協力会員が、その自宅などで子どもをみてくれるサービス
4．民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス
5．その他（　　）

→問20へ

問19－4

問19－2で「2．利用したいと思わない」を選ばれた方におうかがいします。その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である
2．病気の子どもは家族がみるべきである
3．サービスの質に不安がある
4．施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
5．利用料がかかる、高い
6．利用料がわからない
7．父母が仕事を休んで対応できるため
8．その他（　　）
9．特に理由はない

→問20へ

問19－5

問19－1で「3．」から「9．」を選ばれた、仕事を休まずに対応された方におうかがいします。「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい。」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、選ばれた「3．」から「9．」でご記入された日数のうち、仕事を休んでお子さんの看病をしたいと思われた日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。

1．できれば仕事を休んで子どもをみたい　　（　　）日
2．仕事を休んで子どもをみることは非常にむずかしい

→「1．」を選ばれた方は問20へ、「2．」を選ばれた方は問19－6へ

問19－6

問19－5で「2．」を選ばれた、仕事を休まないで対応される方におうかがいします。そう思われる理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．子どもの看護を理由にして休みがとれない
2．自営業なので休めない
3．子どもの看護休暇の日数が足りないので休めない
4．その他（　　）

→問20へ

4．平日（月曜日から金曜日）に、封筒のあて名のお子さんに定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについておうかがいします。

問20

幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）に封筒のあて名のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するためには、一定の利用料を支払う必要があります。

【教育・保育】
1．幼稚園（通常の就園時間だけ利用）
2．幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている）
3．認可保育所（市に申し込んで入る公立保育所や私立保育園で定員20人以上のもの）
4．認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設）
5．小規模な保育施設（主に３歳未満の子どもをおおむね６～１９人預かる施設で、市が認可したもの）
6．家庭的保育（保育士などがその自宅などで5人以下の子どもを預かるサービス）
7．事業所内保育施設（会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設）
8．市が認証・認定した保育施設（認可外だが、市が定める基準を満たした施設）
9．その他の認可外の保育施設
10．居宅訪問型保育（ベビーシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてくれるサービス）
【子育て支援】
11．地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場
12．ファミリー・サポート・センター（市のファミリー・サポート・センターに登録している協力会員が、子どもをみてくれるサービス）
【その他】
13．特になし
14．その他（　　）

→問20－1へ

問20－1

利用を希望している施設やサービスはどこにありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。「2．」を選択された方は、その市町村名についても枠内に記入してください。

1．住んでいる岸和田市内
2．他の市町村（　　）

→問20で「1．」または「2．」を選び、かつ「3．」～「12．」を選ばれた方は問20－2へ、それ以外の方は問21へ

問20－2

問20で「1．幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2．幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている）」に○をつけ、かつ3～12 にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1．はい
2．いいえ

5．封筒のあて名のお子さんについて、幼稚園や保育所、認定こども園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望についておうかがいします。

問21

封筒のあて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所、認定こども園などの利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように24時間制でご記入ください。なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

（1）土曜日

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
　利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）
3．月に1～2回は利用したい
　利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）

（2）日曜日・祝日

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
　利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）
3．月に1～2回は利用したい
　利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）

→（1）または（2）で「3．」を選ばれた方は問21－1へ、それ以外の方は問22へ

問21－1

問21の（1）または（2）で、「3．月に1～2回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．月に数回仕事が入るため
2．平日にすませられない用事をまとめてすませるため
3．ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
4．息抜きのため
5．その他（　　）

→封筒のあて名のお子さんが、幼稚園を利用している方は問22へ、利用していない方は問23へ

問22

封筒のあて名のお子さんが「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。あてはまる番号に○をつけてください。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように24時間制で記入してください。なお、これらの施設などを利用するためには、一定の利用料が必要です。

1．利用する必要はない
2．休みの期間中、ほぼ毎日使いたい
　利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）
3．休みの期間中、週に数日利用したい
　利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）

→「3．」を選ばれた方は問22－1へ、それ以外の方は問23へ

問22－1

問22で「3．休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．週に数回仕事が入るため
2．買い物などの用事をまとめてすませるため
3．ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
4．息抜きのため
5．その他（　　）

→問23へ

6．育児休業など、仕事と子育ての両立についておうかがいします。

問23

封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。父親について、「2．」を選ばれた場合は、育児休暇を取得された、あるいは、取得予定の日数について枠内に数字を入れてください。
また、「3．」「4．」選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

（1）母親

1．働いていなかった
2．育児休業を取った、あるいは、今取っている
3．育児休業を取らずに働いた
　→　その理由（番号を選択）　（　　）
4．育児休業を取らずに離職した
　→　その理由（番号を選択）　（　　）

（2）父親

1．働いていなかった
2．育児休業を取った、あるいは、今取っている　（　　）日
3．育児休業を取らずに働いた
　→　その理由（番号を選択）　（　　）
4．育児休業を取らずに離職した
　→　その理由（番号を選択）　（　　）

1．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2．仕事が忙しかった
3．出産後すぐに仕事に復帰したかった
4．仕事に戻るのが難しそうだった
5．昇給・昇格などが遅れそうだった
6．収入減となり、経済的に苦しくなる
7．保育所などに預けることができた
8．配偶者が育児休業制度を利用した
9．配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10．子育てや家事に専念するため
11．職場に育児休業の制度がなかった
12．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13．育児休業を取れることを知らなかった
14．産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らなかった
15．その他（　　）

→問23－1へ

問23－1

子どもが1歳（一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが3歳になるまでの育児休業などの期間について健康保険や厚生年金の保険料が免除になる仕組みがありますが、知っていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2．育児休業給付のみ知っていた
3．保険料免除のみ知っていた
4．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

→問23の（1）、（2）とも、または、どちらかで「2．」を選んだ方は問23－2へ、それ以外の方は問24へ

問23－2

問23の（1）、（2）とも、または、どちらかで「2．」を選ばれた、育児休業を取られた方におうかがいします。育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号1つを選び、その番号を記入してください。（問23で、片方が「2．」を選び、もう片方が「2．」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

（1）母親（　　）　　（2）父親（　　）

1．育児休業を取ったあと、職場に復帰した
2．現在も育児休業中である
3．育児休業中に仕事をやめた

→（1）、（2）とも、または、どちらかで「1．」を選ばれた方は問23－3へ、（1）、（2）とも「1．」を選ばず、（1）、（2）とも、または、どちらかで「2．」を選ばれた方は問23－9へ、（1）、（2）とも「3．」を選ばれた方は問24へ

問23－3

問23－2の（1）、（2）とも、または、どちらかで「1．」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。育児休業から職場に復帰されたのは、4月の保育所の一斉入所のときでしたか。あるいはそれ以外のときでしたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号1つを選び、その番号を記入してください。4月からの保育所入所の申し込みをしたうえで、1月～2月ごろに職場に復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合は「1．」を選択してください。また、この場合で、実際には保育所に入れなかったという場合も「1．」を選択してください。（問23－2で、片方が「1．」を選び、もう片方が「1．」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

（1）母親（　　）　　（2）父親（　　）

1．4月の一斉入所のときだった
2．それ以外だった

→問23－4へ

問23－4

問23－2の（1）、（2）とも、または、どちらかで「1．」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのことになりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号1つに○をつけてください。（問23－2で、片方が「1．」を選び、もう片方が「1．」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

（1）母親

実際の取得期間　（　　）歳　（　　）ヶ月
希望の取得期間　（　　）歳　（　　）ヶ月
1．満1歳まで
2．出生後最初の4月の一斉入所時
3．出生後2度目の4月の一斉入所時
4．その他（　　）

（2）父親

実際の取得期間　（　　）歳　（　　）ヶ月
希望の取得期間　（　　）歳　（　　）ヶ月
1．満1歳まで
2．出生後最初の4月の一斉入所時
3．出生後2度目の4月の一斉入所時
4．その他（　　）

→問23－5へ

問23－5

問23－2の（1）、（2）とも、または、どちらかで「1．」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れてください。（問23－2で、片方が「1．」を選び、もう片方が「1．」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

（1）母親

（　　）歳　（　　）ヶ月

（2）父親

（　　）歳　（　　）ヶ月

→問23－6へ

問23－6

問23－4で実際の復帰と希望が異なる方におうかがいします。希望の時期に職場復帰しなかった理由について、枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。（問23－4で、片方が実際の復帰と希望が異なり、もう片方が実際の復帰と希望が同じの場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

【母親、父親とも実際の復帰と希望が同じ方は、問23－7へ】

（1）「希望」より早く復帰した方

ア．母親　（　　）　　イ．父親　（　　）

1．希望する保育所に入るため
2．配偶者や家族の希望があったため
3．経済的な理由で早く復帰する必要があった
4．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5．その他（　　）

（２）「希望」より遅く復帰した方
ア．母親　（　　）　　イ．父親　（　　）

1．希望する保育所に入るため
2．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3．配偶者や家族の希望があったため
4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5．子どもをみてくれる人がいなかったため
6．その他（　　）

→問 23－7へ

問 23－7

問 23－2の（1）、（2）とも、または、どちらかで「1．」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。育児休業を終え、職場復帰するときに、短時間勤務制度を利用しましたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号１つを選び、その番号を記入してください。（問 23－2で、片方が「1．」を選び、もう片方が「1．」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

（1）母親（　　）　　（2）父親（　　）

1．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2．利用した
3．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

→（1）、（2）とも、または、どちらかで「3．」を選ばれた方は問 23－8へ、それ以外の方は問 24 へ

問 23－8

問 23－7の（1）、（2）とも、または、どちらかで「3．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選ばれた方におうかがいします。利用しなかった理由について、枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。（問２３－７で、片方が「2．」を選び、もう片方が「2．」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

（1）母親（　　）　　（2）父親（　　）

1．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2．仕事が忙しかった
3．短時間勤務にすると給与が減額される
4．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6．配偶者が無職である、祖父母などにみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7．子育てや家事に専念するため退職した
8．職場に短時間勤務制度がなかった
9．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10．その他（　　）

→問 23－2の（1）、（2）のどちらかで「2．」を選ばれた方は問 23－9へ、それ以外の方は問 24 へ

問 23－9

問 23－2の（1）、（2）とも、または、どちらかで「2．現在も育児休業中である」を選ばれた方におうかがいします。封筒のあて名のお子さんが１歳になったときに必ず保育所などに預けることができれば、１歳になるまで育児休業を取りますか。または、保育所などに預けられたとしても１歳になる前に復帰しますか。あてはまる答えの番号１つに○をつけてください。（問 23－2で、片方が「2．」を選び、もう片方が「2．」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

（1）母親
1．１歳になるまで育児休業を取りたい　　2．１歳になる前に復帰したい
（2）父親
1．１歳になるまで育児休業を取りたい　　2．１歳になる前に復帰したい

→問 24 へ

問 24

１日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。１週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を１つだけ記入してください。

（1）母親
ア．平日　子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間
　　番号を選択（　　）
イ．休日　子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間
　　番号を選択（　　）

（2）父親
ア．平日　子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間
　　番号を選択（　　）
イ．休日　子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間
　　番号を選択（　　）

1．十分だと思う　　2．まあまあ十分だと思う
3．あまり十分だと思わない　　4．不十分だと思う
5．わからない

→問 25 へ

問 25

１日当たりの家事を何時間くらいしますか。１週間の平均的な時間を記入してください。

（1）母親
（　　）時間
（2）父親
（　　）時間

→問 26 へ

問 26

仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．残業や出張が入ること
2．子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと
3．配偶者の協力が得られないこと
4．ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと
5．職場に子育てを支援する制度がないこと
（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など）
6．職場の理解や協力が得られないこと
7．子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならないこと
8．子どもを預かってくれる保育所などがみつからないこと
9．子どもと接する時間が少ないこと
10．その他（　　）

→封筒のあて名のお子さんが、５歳未満の方は問 31 へ、５歳以上の方は問 27 へ

7．封筒のあて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についておうかがいします。

問27

小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。
「チビッコホーム（放課後児童クラブ）」を選択された場合には、利用を希望する時間についても枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。

1．自宅	週（　　）日くらい
2．ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	週（　　）日くらい
3．チビッコホーム（放課後児童クラブ）	週（　　）日くらい
→ 下校時から（　　：　　）まで	
4．放課後子ども教室	週（　　）日くらい
5．児童館	週（　　）日くらい
6．習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
7．ファミリー・サポート・センター	週（　　）日くらい
8．その他（公民館、公園など）	週（　　）日くらい

※「チビッコホーム（放課後児童クラブ）」…地域によっては学童保育などとよばれています。保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、支援員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。サービスの利用にあたっては、一定の利用負担金が発生します。
※「放課後子ども教室」…地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校や公民館で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを体験するものです。すべての小学生が利用できます。
※選択肢「5．」の児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「3．」に○をつけてください。
→問28へ

問28

小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのように場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。
「チビッコホーム（放課後児童クラブ）」を選択された場合には、利用を希望する時間についても枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。　※だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1．自宅	週（　　）日くらい
2．ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	週（　　）日くらい
3．チビッコホーム（放課後児童クラブ）	週（　　）日くらい
→ 下校時から（　　：　　）まで	
4．放課後子ども教室	週（　　）日くらい
5．児童館	週（　　）日くらい
6．習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
7．ファミリー・サポート・センター	週（　　）日くらい
8．その他（公民館、公園など）	週（　　）日くらい

※選択肢「5．」の児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「3．」に○をつけてください。
→問27または本問で「3．」を選ばれた方は問29へ、それ以外の方は問30へ

問29

問27または問28で「3．チビッコホーム（放課後児童クラブ）」を選ばれた方におうかがいします。土曜日、日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、枠内に（9:00～18:00）のように24時間制で入れてください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

（1）土曜日

1．低学年（1～3年生）の間は利用したい
　利用したい時間帯　（　　：　　）～（　　：　　）
2．高学年（4～6年生）になっても利用したい
　利用したい時間帯　（　　：　　）～（　　：　　）
3．利用する必要はない

（2）日曜日・祝日

1．低学年（1～3年生）の間は利用したい
　利用したい時間帯　（　　：　　）～（　　：　　）
2．高学年（4～6年生）になっても利用したい
　利用したい時間帯　（　　：　　）～（　　：　　）
3．利用する必要はない

→問30へ

問30

問27または問28で「3．チビッコホーム（放課後児童クラブ）」を選ばれた方におうかがいします。お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、枠内に（9:00～18:00）のように24時間制で入れてください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

1．低学年（1～3年生）の間は利用したい
　利用したい時間帯　（　　：　　）～（　　：　　）
2．高学年（4～6年生）になっても利用したい
　利用したい時間帯　（　　：　　）～（　　：　　）
3．利用する必要はない

→問31へ

8．封筒のあて名のお子さんの幼稚園や保育所、認定こども園などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についておうかがいします。

問31

私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。（幼稚園や保育所、認定こども園などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について枠内に具体的な数字を入れてください。

利用したサービス	日数（年間）
1．一時預かり（私用などの理由で、保育所などで一時的に子どもを保育するサービス）	（　　）日
2．幼稚園の預かり保育（幼稚園に通う子どもを対象にして、通常の就園時間を延長して預かるサービスを不定期に利用している場合）	（　　）日
3．ファミリー・サポート・センター（市のファミリー・サポート・センターに登録している協力会員が子どもをみてくれるサービス）	（　　）日
4．夜間看護事業：トワイライトステイ（仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの）	（　　）日
5．ベビーシッター	（　　）日
6．その他（　　）	（　　）日
7．利用していない	

→「1．」から「6．」を選ばれた方は問32へ、「7．」を選ばれた方は問31－1へ

問31－1

問31で「7．利用していない」を選ばれた方におうかがいします。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．特に利用する必要がない
2．利用したいサービスが近くにない
3．サービスの質に不安がある
4．施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
5．利用料がかかる、高い
6．利用料がわからない
7．ご自身がサービスの対象になるのかどうかがわからない
8．手続きなどサービスの利用方法がわからない
9．その他（　　）

→問32へ

問32

私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、1年間に何日くらい保育所などで実施されている「一時預かり」を利用したいと思いますか。利用したいか、する必要がないかについて、どちらか1つに○をつけてください。利用したいに○をつけた場合、利用したい目的ごとに枠内に日数を記入し、合計の枠内についても記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

1．利用したい		合計（　　）日
	ア．買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	（　　）日
	イ．冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	（　　）日
	ウ．不定期な仕事	（　　）日
	エ．その他（　　）	（　　）日
2．利用する必要はない		

→「1．」を選ばれた方は問32－1へ、「2．」を選ばれた方は問33へ

問32－1

問32で「1．利用したい」を選ばれた方におうかがいします。問32の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

1．幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてくれるサービス
2．地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてくれるサービス
3．ファミリー・サポート・センターに登録している協力会員がその自宅などで子どもをみてくれるサービス
4．民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス
5．その他（　　）

→問33へ

問33

封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）を利用したいか、利用する必要はないかについて、どちらか1つに○をつけてください。利用したいに○をつけた場合、利用したい目的ごとに必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。）

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

対処方法		泊数（年間）
1．利用したい		計（　　）泊
	ア．冠婚葬祭	（　　）泊
	イ．保護者や家族の育児疲れ・不安	（　　）泊
	ウ．保護者や家族の病気	（　　）泊
	エ．その他（　　）	（　　）泊
2．利用する必要はない		

→問34へ

9．封筒のあて名のお子さんの地域の子育て支援サービスの利用状況についておうかがいします。

問34

地域子育て支援拠点事業についておうかがいします。現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、枠内に具体的な数字を入れてください。

1．地域子育て支援拠点事業
　1週間あたり（　　）回　または　1ヶ月あたり（　　）回程度
2．その他市が実施している類似の事業
　（具体名：　　）
　1週間あたり（　　）回　または　1ヶ月あたり（　　）回程度
3．利用していない

※地域子育て支援拠点事業…親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」などとよばれています。

→問35へ

問35

地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

1．利用していないが、今後利用したい
　1週間あたり（　　）回　または　1ヶ月あたり（　　）回程度
2．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
　1週間あたり、さらに（　　）回
　または　1ヶ月あたり、さらに（　　）回程度
3．新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない

→「1．」「2．」を選ばれた方は問35－1へ、「3．」を選ばれた方は問36へ

問35－1　問35で「1．」、「2．」を選ばれた、地域子育て支援拠点事業を利用したい方やすでに利用している方におうかがいします。地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスを3つまで○をつけてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

1．常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供
2．子育てに関する相談・援助
3．地域の子育て関連情報の提供
4．子育てに関する講習
5．地域に出向いての交流の場の提供（出張ひろば）
6．保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談
7．さまざまな世代との交流の場の提供
8．家庭への訪問支援
9．その他（　　）

→問36へ

問36　子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。また、今後、利用したいと思うものはありますか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	知っている	利用したことがある	今後利用したい
①母親・父親学級、両親学級、育児学級	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
②保健センターの情報・相談サービス	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
④保育所や幼稚園の園庭などの開放	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑤児童館・青少年会館（センター）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑦自治体が発行する子育て支援情報誌	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑧養育支援家庭訪問事業	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ

※「養育支援家庭訪問事業」…さまざまな原因で子育ての支援が必要な家庭に子育て経験者による家事や子育ての援助、保健師による訪問指導などを実施する。

→問37へ

10．市への要望についておうかがいします。

問37　岸和田市における子育て環境や子育て支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い　⇔　満足度が高い
1　2　3　4　5

→問38へ

問38　市に対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
2．親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす
3．親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する
4．子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5．子育てに困ったときの相談体制を充実する
6．子育て支援に関する情報提供を充実する
7．家事支援などのヘルパー派遣を充実する
8．子どもが家庭や家族の大切さを学ぶことができる場を充実する
9．子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
10．子育てサークル活動への支援を充実する
11．保育所やチビッコホーム（放課後児童クラブ）など子どもを預ける施設を増やす
12．幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する
13．専業主婦など誰でも気軽に利用できるＮＰＯなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う
14．小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
15．子どもの安全を確保する対策を充実する
16．児童虐待やいじめなどに対する対策を充実する
17．子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
18．育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充
19．公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
20．その他（　　）
21．特になし

→問39へ

11．封筒のあて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。

問39　お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

（1）朝ごはんを食べますか。
1．毎日食べる　2．食べる日のほうが多い
3．食べない日のほうが多い　4．ほとんど食べない

（2）1日1回は家族と一緒に食事をしますか。
1．する　2．しない

（3）平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の1日あたり平均視聴時間は何時間ですか。
1．30分以内　2．1時間以内
3．1時間30分以内　4．2時間以内
5．2時間以上

（4）就寝時刻は何時ですか。
1．20時半より前　2．20時半～21時
3．21時～21時半　4．21時半～22時
5．22時～23時　6．23時以降

→問40へ

12. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保についておうかがいします。

問40 封筒のあて名のお子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
5. 授乳する場所や必要な設備がない
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない
7. 買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない
8. 緑や広い歩道が少ないなど街並みにゆとりとうるおいがない
9. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る
10. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ない
11. 特にない
12. その他（　　）

→問41へ

問41 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 満足している　　2. 満足していない
3. どちらとも思わない　　4. わからない

→問42へ

問42 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 近くに遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない
10. 公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない
11. 遊び場周辺の道路が危険である
12. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
13. その他（　　）
14. 特に感じることはない

→問43へ

13. 子育てに対する意識についておうかがいします。

問43 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

1. いる　　2. いない

→問44へ

問44 ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
3. つらいと感じることの方が多い
4. わからない
5. その他（　　）

→「1.」を選ばれた方は問44－1へ、「2.」「3.」を選ばれた方は問44－2へ、「4.」「5.」を選ばれた方は問45へ

問44－1 問44で「1.」を選ばれた、子育てを楽しいと感じる方におうかがいします。子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）
2. 保育サービスの充実
3. 子育て支援のネットワークづくり
4. 地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）
5. 訪問型の支援サービスの充実
6. 健やかな妊娠・出産に対する支援
7. 子どもの教育環境
8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11. 援護を要する子どもに対する支援
12. その他（　　）

→問45へ

問44－2 問44で「2.」「3.」を選ばれた方におうかがいします。あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）
2. 保育サービスの充実
3. 子育て支援のネットワークづくり
4. 地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）
5. 訪問型の支援サービスの充実
6. 健やかな妊娠・出産に対する支援
7. 子どもの教育環境
8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11. 援護を要する子どもに対する支援
12. その他（　　）

→問45へ

問45　子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

（1）子どもに関すること

1．病気や発育発達に関すること
2．食事や栄養に関すること
3．子どもとの接し方に自信が持てないこと
4．子どもと過ごす時間が十分取れないこと
5．子どもの教育に関すること
6．子どもの友だちづきあいに関すること
7．子どもの登所・登園拒否や不登校など
8．特にない
9．その他（　　）

（2）ご自身に関すること

1．子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2．配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3．子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4．ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5．子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6．仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7．配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8．子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9．子育てによる身体の疲れが大きいこと
10．子育てにかかる出費がかさむこと
11．住居がせまいこと
12．特にない
13．その他（　　）

→問46へ

問46　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

1．感じる　　番号を選択（　　）
2．感じない　　番号を選択（　　）

1．近所の人
2．同じ世代の子どもを持つ保護者
3．民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人
4．地域活動を行っているＮＰＯなどの人
5．幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員
6．市の職員
7．その他（　　）

→問47へ

14．封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんが3人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）のお子さんがいる方におうかがいします。

問47　どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思われますか。もっとも有効だと思われる番号1つに○をつけてください。

1．育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援
2．外出時のタクシー利用への支援
3．家事・育児等への訪問サービス支援
4．同じ境遇にある母親や父親との交流
5．多子・多胎育児経験者による相談支援
6．幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援
7．理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス
8．電車やバスなどの乗車時、エレベーター乗降時などの優先利用の仕組み
9．その他（　　）

→該当しない場合は、問48へ

問47－1　2番目に有効だと思われる番号に1つ○をつけてください。

1．育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援
2．外出時のタクシー利用への支援
3．家事・育児等への訪問サービス支援
4．同じ境遇にある母親や父親との交流
5．多子・多胎育児経験者による相談支援
6．幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援
7．理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス
8．電車やバスなどの乗車時、エレベーター乗降時などの優先利用の仕組み
9．その他（　　）

→該当しない場合は、問48へ

15．その他についておうかがいします。

問48　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

岸和田市子ども・子育て支援事業計画策定に関するアンケート調査のお願い

小学生のお子さんのいる保護者の皆様へ
調査にご協力をお願いします。

日頃から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
岸和田市では、令和７年度（2025 年度）に、子ども・子育て支援法第 61 条に基づき、2025 年度から 2029 年度までを計画期間とする「第３期岸和田市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。
このたび、皆様が日ごろから子育てについて、どのようなことを思われているのかをお聞きし、子ども・子育て支援事業計画に反映していくため、アンケート調査を実施させていただくことになりました。
この調査は、市内にお住まいの小学生（１～６年生）のお子さんがおられるご家庭を対象に、無作為に選ばせていただきました。
ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、この調査の目的のみに使用するものであり、それ以外の目的に使用して、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。また、お名前などを記入していただく必要もありません。
調査対象となられました皆様方には、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の目的・趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせいただきますようご協力をお願い申し上げます。

令和６年（2024 年）２月

岸和田市

（ご記入にあたってのお願い）

- ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆をご使用ください。
- ことわり書きのある場合以外は、封筒に書かれているあて名のお子さんについて保護者の方がご記入ください。
- 回答は選択肢に○をつけて選ぶ場合と数字を記入する場合があります。
- 設問によって回答が「１つ」や「全て」等と限定される場合がありますので、それに従って回答してください。
- 「その他」に当てはまる場合は（　）内に具体的な内容をご記入ください。
- 設問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、設問のことわり書きをお読みください。
- ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**３月２２日（金）**までにご投函くださいますよう、お願いいたします。

※今回のアンケート調査については、電子でも回答することが可能です。電子での回答を希望される場合は裏面記載の「電子での回答方法」をご覧ください。

【調査についてのお問い合わせ先】
岸和田市 子ども家庭応援部 子育て支援課
ＴＥＬ：072-423-9610

○調査内容について

この調査の調査内容は次のとおりです。

１．家庭の基本情報について（問１～問 12）
家族構成や保護者の働いておられる状況など、家庭の基本情報についてお聞きします。ご家庭の状況により必要なサービスは異なってきますので、サービス提供のための前提となる調査です。

２．チビッコホーム（放課後児童クラブ）などの子育て支援サービスについて（問 13～問 22）
チビッコホーム（放課後児童クラブ）など、子育てを支援するサービスについて、どれくらいの利用希望があるのかなどをお聞きします。また、仕事と子育ての両立についてもあわせてお聞きします。ご回答いただいた内容は、子育て支援サービスの充実などに反映されます。

３．子どもや子育て支援に関する意識などについて（問 23～問 34）
子育てについての意識や子育て環境についてお聞きします。子育て支援サービスを展開していくにあたって前提となる保護者のみなさんの意識などについて把握します。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

○電子での回答方法

今回のアンケート調査について、下記のアンケート回答期間のみ電子での回答を受け付けいたします。
スマートフォン、タブレットなどで 24 時間いつでも回答が可能ですので、ご活用ください。

１．電子による回答方法
以下の URL、QR コードから入力フォームへアクセスし、回答してください。

URL：https://logoform.jp/form/heqL/453330

QR コード

２．電子によるアンケート回答期間

令和６年２月２９日（木）から令和６年３月２２日（金）まで

３．注意事項

・１人の対象者（子ども）につき１回の回答が必要です。複数人の回答を同時に行うことはできません。

・回答内容に修正・変更がある場合は、再度回答はせずに必ず子育て支援課までご連絡ください。

・入力後、回答内容に誤りがないか、必ず確認してください。

アンケート調査　調査票（就学児童用）　岸和田市

１．ご家族の構成や保護者の働いている状況などについておうかがいします。

問１

お住まいの小学校区について、あてはまる番号１つに○をつけてください。
小学校区が分からない場合は、（　）に町名を記入してください。

１．中央　２．城内　３．浜　４．朝陽　５．東光　６．旭　７．太田　８．修斉
９．常盤　10．天神山　11．東葛城　12．春木　13．大芝　14．大宮　15．城北
16．新条　17．八木北　18．八木　19．八木南　20．光明　21．山直北
22．城東　23．山直南　24．山滝
※小学校区が分からない場合・・・（　　）町（　　）丁目

→問２へ

問２

この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号１つに○をつけてください。

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

→問３へ

問３

封筒のあて名のお子さんの生年月について、「平成」か「西暦」に○をつけ、枠内に数字を入れてください。

平成・西暦（　　）年（　　）月生まれ

→問４へ

問４

封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、２人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和５年４月１日現在の年齢）を記入してください。

（　　）人　　末子の年齢（　　）歳

→問５へ

問５

封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

１．父と母と一緒に住んでいる　　２．父と一緒に住んでいる（父子家庭）
３．母と一緒に住んでいる（母子家庭）　　４．祖父と一緒に住んでいる
５．祖母と一緒に住んでいる　　６．祖父が近所に住んでいる
７．祖母が近所に住んでいる
８．その他（　　）

→問６へ

問６

封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

１．父母ともに　　２．主に母親
３．主に父親　　４．主に祖父母
５．その他（　　）

→問７へ

問７

日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
２．緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
３．日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる
４．緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる
５．いずれもいない

→「１．」「２．」を選ばれた方は問７－１へ、「３．」「４．」を選ばれた方は問７－２へ、
「５．」を選ばれた方は問８へ

問７－１

問７で「１．」または「２．」を選ばれた、お子さんをご自身や配偶者の親、親せきにみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．ご自身や配偶者の親、親せきなので、安心して子どもをみてもらえる
２．ご自身や配偶者の親、親せきの身体的負担が大きく心配である
３．ご自身や配偶者の親、親せきの時間的制約が大きく心配である
４．ご自身や配偶者の親、親せきの精神的な負担が大きく心配である
５．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
６．子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか、少し不安がある
７．その他（　　）

→問８へ

問７－２

問７で「３．」または「４．」を選ばれた、お子さんを友人や知人にみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．友人や知人なので、安心して子どもをみてもらえる
２．友人や知人の身体的負担が大きく心配である
３．友人や知人の時間的制約が大きく心配である
４．友人や知人の精神的な負担が大きく心配である
５．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
６．子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか、少し不安がある
７．その他（　　）

→問８へ

問８

あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

１．いる／ある
２．いない／ない

「１．」を選ばれた方は問８－１へ、「２．」を選ばれた方は問９へ

問８－１

問８で「１．いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．配偶者
２．ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族
３．友人や知人
４．近所の人
５．小学校の先生
６．チビッコホーム（放課後児童クラブ）の支援員
７．児童館などの子育て支援施設やＮＰＯなどの子育て支援団体
８．ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの習い事の先生
９．民生委員・児童委員、主任児童委員
１０．かかりつけの医師
１１．市の教育相談の窓口
１２．携帯電話やインターネットの交流サイト
１３．その他（　　）

※チビッコホーム（放課後児童クラブ）…保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、支援員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。サービスの利用にあたっては、一定の利用負担金が発生します。

→問９へ

問９

封筒のあて名のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。あてはまる番号１つに○をつけてください。

【父子家庭の場合は記入不要です。→問１０へ】

１．フルタイムで働いている
２．フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）
３．パート・アルバイトなどで働いている
４．パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）
５．以前は働いていたが、今は働いていない
６．これまで働いたことがない

※「フルタイム」…１週間に５日程度、１日に８時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労
→「１．」から「４．」を選ばれた方は問９－１へ
「５．」「６．」を選ばれた方は問１０へ

問９－１

問９で「１．」から「４．」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。１週間にどのくらいの日数働きますか。また、１日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間

→問９－２へ

問９－２

問９で「１．」から「４．」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）に引き続きおうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18:00）のように、24 時間制でお答えください。

家を出る時間（　　：　　）　　帰宅時間（　　：　　）

→問１０へ

問 10

封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。あてはまる番号１つに○をつけてください。

【母子家庭の場合は記入不要です。問９で「３．」「４．」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）は問 11 へ、「５．」「６．」を選ばれた、仕事をお持ちでない方は問 12 へ】

１．フルタイムで働いている
２．フルタイムで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）
３．パート・アルバイトなどで働いている
４．パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）
５．以前は働いていたが、今は働いていない
６．これまで働いたことがない

※「フルタイム」…１週間に５日程度、１日に８時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労
→「１．」から「４．」を選ばれた方は問 10－１へ
「５．」「６．」を選ばれた方は問 12 へ

問 10－１

問 10 で「１．」から「４．」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。１週間にどのくらいの日数働きますか。また、１日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間

→問 10－２へ

問 10－２

問 10 で「１．」から「４．」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）に引き続きおうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18:00）のように、24 時間制でお答えください。

家を出る時間（　　：　　）　　帰宅時間（　　：　　）

→問 10 で「３．」「４．」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）は問 11 へ、それ以外の方は問 13 へ

問 11

問９または問 10 で、「３．」または「４．」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
２．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
３．パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
４．パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

（２）父親

１．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
２．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
３．パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
４．パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

※「フルタイム」…１週間に５日程度、１日に８時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労
→問 13 へ

問 12

問9または問 10 で「5．」または「6．」を選ばれた、仕事をお持ちでない方におうかがいします。働きたいという希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、枠内に具体的な数字を入れてください。

（1）母親

1．子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2．1年より先、一番下の子どもが、（　　）歳になったころに働きたい
3．すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
　→希望する働き方
　［ア．フルタイム
　　イ．パートタイム、アルバイトなど］
　→1週当たり（　　）日　　1日当たり（　　）時間

（2）父親

1．子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2．1年より先、一番下の子どもが、（　　）歳になったころに働きたい
3．すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
　→希望する働き方
　［ア．フルタイム
　　イ．パートタイム、アルバイトなど］
　→1週当たり（　　）日　　1日当たり（　　）時間

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
　「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労
→（1）または（2）で「2．」「3．」を選ばれた方は問 12－1へ
　それ以外の方は問 13 へ

問 12－1

問 12 の（1）または（2）で「2．」「3．」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方におうかがいします。働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．働かないと、暮らしていけなくなるため
2．将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
3．仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
4．人間関係を広げたいため
5．その他（　　）

→問 13 へ

2．封筒のあて名のお子さんのチビッコホーム（放課後児童クラブ）の利用についておうかがいします。

問 13

平日（月曜日から金曜日）に、現在、チビッコホーム（放課後児童クラブ）を利用されていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1．利用している
2．利用していない

「1．」を選ばれた方は問 14 へ、「2．」を選ばれた方は問 15 へ

問 14

問 13 で「1．利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在利用しているチビッコホーム（放課後児童クラブ）について、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間（何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制で記入してください。

（1）現在

1週当たり（　　）日
1日当たり（　　）時間　（　　：　　）まで

（2）希望

1週当たり（　　）日
1日当たり（　　）時間　（　　：　　）まで

→問 14－1へ

問 14－1

問 13 で「1．利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。チビッコホーム（放課後児童クラブ）を利用されている理由について、もっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1．保護者が働いている
2．保護者が働く予定である、または、仕事を探している
3．保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
4．保護者に病気や障がいがある
5．保護者が学生である
6．その他（　　）

→問 14－2へ

問 14－2

問 13 で「1．利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。土曜日、日曜日・祝日に、チビッコホーム（放課後児童クラブ）の利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

（1）土曜日

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
　利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）
3．月に1～2回は利用したい
　利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）

（2）日曜日・祝日

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
　利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）
3．月に1～2回は利用したい
　利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）

→（1）または（2）で「3．」を選ばれた方は問 14－3へ、それ以外の方は問 14－4へ

問 14－3

問 14－2の（1）または（2）で、「3．月に1～2回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．月に数回仕事が入るため
2．平日にすませられない用事をまとめてすませるため
3．ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
4．息抜きのため
5．その他（　　）

→問 14－4へ

問 14－4

問 13 で「1．利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。現在通っているチビッコホーム（放課後児童クラブ）にどのようなことを希望しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．朝の利用時間を延長する　　2．夕方の利用時間を延長する
3．施設や設備を改善する　　4．指導内容を工夫する
5．その他（　　）
6．特になし

→問 14－5へ

問 14－5

問 13 で「1．利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。「1．」を選択した場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。

1．チビッコホーム（放課後児童クラブ）を利用したい
　→小学（　　）年生まで利用したい
2．放課後子ども教室を利用したい
3．スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい
4．子どもに自宅の留守番をしてもらう
5．その他（　　）

※「放課後子ども教室」…地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校や公民館で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを体験するものです。すべての小学生が利用できます。

→問 15－2へ

問 15

問 13 で「2．利用していない」を選ばれた方におうかがいします。チビッコホーム（放課後児童クラブ）を利用していない理由は何ですか。もっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1．ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない
2．ご自身や配偶者の親、親せきがみている
3．近所の人や父母の友人・知人がみている
4．父母とも働いていて利用したいが、放課後児童クラブに空きがない
5．父母とも働いていて利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
6．父母とも働いていて利用したいが、利用料がかかるため、経済的な理由で利用できない
7．父母とも働いているが、子どもは放課後に習い事をしているため、利用する必要がない
8．父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから
9．その他（　　）

→問 15－1へ

問 15－1

問 13 で「2．利用していない」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、チビッコホーム（放課後児童クラブ）を利用したいとお考えですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用負担金が発生します。

1．利用したい
　1週当たり（　　）日　1日当たり（　　）時間　（　　：　　）まで

「1．」を選ばれた方→

土曜日の利用希望
1．ある　　1日当たり（　　）時間　（　　：　　）まで
2．ない

日曜日・祝日の利用希望
1．ある　　1日当たり（　　）時間　（　　：　　）まで
2．ない

2．今後も利用しない

→問 15－2へ

問 15－2

長期休暇（夏休み、冬休み、春休み）中に、チビッコホーム（放課後児童クラブ）の利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用負担金が発生します。

長期休暇（夏休み、冬休み、春休み）

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎日利用したい
　利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）
3．長期休暇中、1～2回は利用したい
　利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）
4．長期休暇中、週に1～2回は利用したい
　利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　）

→「1．」「2．」を選ばれた方は問 16 へ
　「3．」を選ばれた方は問 15－3へ、「4．」を選ばれた方は問 15－4へ

問 15－3

問 15－2 で、「3．長期休暇中、1～2回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。長期休暇中、1～2回利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．長期休暇中に数回仕事が入るため
2．普段、すませられない用事をまとめてすませるため
3．ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
4．息抜きのため
5．その他（　　）

→問 16 へ

問 15－4

問 15－2で、「4．長期期間中、週に1～2回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。長期休暇中、週に1～2回利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．長期期間中、週に数回仕事が入るため
2．普段、すませられない用事をまとめてすませるため
3．ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
4．息抜きのため
5．その他（　　）

→問 16 へ

3．封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応や、不定期な一時預かりについておうかがいします。

問16

封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この１年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。

1．あった
2．なかった

→「1．」を選ばれた方は問16－1へ、「2．」を選ばれた方は問17へ

問16－1

問16で「1．あった」を選ばれた方におうかがいします。この１年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について枠内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

対処方法	日数（年間）
1．父親が仕事を休んだ	（　　）日
2．母親が仕事を休んだ	（　　）日
3．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	（　　）日
4．働いていない父親か母親が子どもをみた	（　　）日
5．保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	（　　）日
6．家事育児代行サービスを利用した	（　　）日
7．ファミリー・サポート・センターを利用した	（　　）日
8．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）日
9．その他（　　）	（　　）日

※ファミリー・サポート・センター…市のファミリー・サポート・センターに登録している協力会員が、子どもをみてくれるサービス

→「1．」「2．」を選ばれた方は問16－2へ、「3．」から「9．」を選ばれた方は問17へ

問16－2

問16－1で「1．」「2．」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号１つに○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要な場合があります。

1．できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい
　→（　　）日
2．利用したいと思わない

→問17へ

問17

私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、１年間のおおよその利用日数について枠内に具体的な数字を入れてください。

対処方法	日数（年間）
1．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	（　　）日
2．ファミリー・サポート・センターを利用した（市のファミリー・サポート・センターに登録している協力会員が、子どもをみてくれるサービス）	（　　）日
3．夜間看護事業：トワイライトステイ（仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの）	（　　）日
4．家事育児代行サービスを利用した	（　　）日
5．その他（　　）	（　　）日
6．預けるようなことはなかった	

→問18へ

問18

封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。）

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

対処方法	泊数（年間）
1．利用したい	計（　　）泊
ア．冠婚葬祭	（　　）泊
イ．保護者や家族の育児疲れ・不安	（　　）泊
ウ．保護者や家族の病気	（　　）泊
エ．その他（　　）	（　　）泊
2．利用する必要はない	

→問19へ

4．仕事と子育ての両立についておうかがいします。

問19

１日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。１週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号１つを記入してください。

（1）母親

子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間
番号を選択（　　）

（2）父親

子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間
番号を選択（　　）

1．十分だと思う　2．まあまあ十分だと思う
3．あまり十分だと思わない　4．不十分だと思う
5．わからない

→問20へ

問20　１日当たりの家事を何時間くらいしますか。１週間の平均的な時間を記入してください。

（１）母親
（　　）時間

（２）父親
（　　）時間

→問21へ

問21　仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．残業や出張が入ること
2．子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと
3．配偶者の協力が得られないこと
4．ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと
5．職場に子育てを支援する制度がないこと（子どもの看護休暇、短時間勤務など）
6．職場の理解や協力が得られないこと
7．子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならないこと
8．子どもを預かってくれるチビッコホーム（放課後児童クラブ）などがみつからないこと
9．子どもと接する時間が少ないこと
10．その他（　　）

→問22へ

5．市への要望についておうかがいします。

問22　市に対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
2．親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす
3．親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する
4．子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5．子育てに困ったときの相談体制を充実する
6．子育て支援に関する情報提供を充実する
7．家事支援などのヘルパー派遣を充実する
8．子どもが家庭や家族の大切さを学ぶことができる場を充実する
9．子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
10．子育てサークル活動への支援を充実する
11．保育所やチビッコホーム（放課後児童クラブ）など子どもを預ける施設を増やす
12．幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する
13．専業主婦など誰でも気軽に利用できるＮＰＯなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う
14．小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
15．子どもの安全を確保する対策を充実する
16．児童虐待やいじめなどに対する対策を充実する
17．子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
18．育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充
19．公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
20．その他（　　）
21．特になし

→問23へ

6．封筒のあて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。

問23　お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号１つに○をつけてください。

（１）朝ごはんを食べますか。
1．毎日食べる　2．食べる日のほうが多い
3．食べない日のほうが多い　4．ほとんど食べない

（２）１日１回は家族と一緒に食事をしますか。
1．する　2．しない

（３）平日のテレビ・ビデオ（ゲームも含む）の１日あたり平均視聴時間は何時間ですか。
1．３０分以内　2．１時間以内
3．１時間３０分以内　4．２時間以内
5．２時間以上

（４）就寝時刻は何時ですか。
1．２０時半より前　2．２０時半～２１時
3．２１時～２１時半　4．２１時半～２２時
5．２２時～２３時　6．２３時以降

→問24－１へ

7．封筒のあて名のお子さんの普段の過ごし方についておうかがいします。

問24－１　平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で１番多いものについて、時間帯ごとに、枠内の選択肢の中からあてはまる番号１つを選んで記入してください。

1．平日 14～16 時　（　　）
2．平日 16～18 時　（　　）
3．平日 18～20 時　（　　）
4．平日 20 時以降　（　　）
5．休日　（　　）

1．授業などで学校にいる
2．チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす
3．放課後子ども教室に参加する
4．保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす
5．家事育児代行サービスなどを利用する
6．家や公園などで友だちと過ごす
7．児童館など公共の施設にいる
8．地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）
9．学習塾や習い事へ行く
10．家で、ひとりで勉強などをする
11．その他（　　）

→問24－２へ

問24－2　長期休暇（夏休み、冬休み、春休み）中のお子さんの過ごし方で１番多いものについて、時間帯ごとに、枠内の選択肢の中からあてはまる番号１つを選んで記入してください。

1．9～12時　（　　）
2．12～15時　（　　）
3．15～18時　（　　）
4．18～20時　（　　）
5．20時以降　（　　）

1．特別授業（補講）などで学校にいる
2．チビッコホーム（放課後児童クラブ）で過ごす
3．放課後子ども教室に参加する
4．保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす
5．家事育児代行サービスなどを利用する
6．家や公園などで友だちと過ごす
7．児童館など公共の施設にいる
8．地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）
9．学習塾や習い事へ行く
10．家で、ひとりで勉強などをする
11．その他（　　）

→問25へ

8．封筒のあて名のお子さんの地域での自然体験などへの参加などについておうかがいします。

問25　お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1．体験をしやすいと思う
2．体験をしやすいとは思わない
3．どちらでもない
4．わからない

→問26へ

問26　参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．スポーツ活動
2．文化芸術活動
3．ボランティア活動
4．体験学習活動（ものづくり体験など）
5．野外活動（キャンプなど）
6．社会福祉活動（高齢者訪問など）
7．国際交流活動（ホームステイなど）
8．青少年団体活動（こども会活動など）
9．環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など）
10．環境教育活動（自然観察など）
11．地域の活動（地域のお祭りや運動会など）
12．その他（　　）
13．参加したことがない

→「13．」を選ばれた方は問26－1へ、それ以外の方は問27へ

問26－1　問26で「13．参加したことがない」を選ばれた方におうかがいします。お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．活動に関する情報がなく参加しにくい
2．知り合いなどがおらず参加しにくい
3．初めての者が参加しにくい雰囲気がある
4．参加の時間帯が合わない
5．費用がかかる
6．活動の内容に興味や関心がない
7．その他（　　）

→問27へ

問27　お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．スポーツ活動
2．文化芸術活動
3．ボランティア活動
4．体験学習活動（ものづくり体験など）
5．野外活動（キャンプなど）
6．社会福祉活動（高齢者訪問など）
7．国際交流活動（ホームステイなど）
8．青少年団体活動（こども会活動など）
9．環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など）
10．環境教育活動（自然観察など）
11．地域の活動（地域のお祭りや運動会など）
12．その他（　　）

→問28へ

9．子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保についておうかがいします。

問28　お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1．満足している　　2．満足していない
3．どちらとも思わない　　4．わからない

→問29へ

問29　お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．近くに遊び場がない
2．雨の日に遊べる場所がない
3．思い切り遊ぶために十分な広さがない
4．遊具などの種類が充実していない
5．不衛生である
6．いつも閑散としていて寂しい感じがする
7．遊具などの設備が古くて危険である
8．緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない
9．遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない
10．公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない
11．遊び場周辺の道路が危険である
12．遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
13．その他（　　）
14．特に感じることはない

→問30へ

10. 子育てに対する意識についておうかがいします。

問30 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

1．いる　　2．いない

→問31へ

問31 ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1．楽しいと感じることの方が多い
2．楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
3．つらいと感じることの方が多い
4．わからない
5．その他（　　）

→「1．」を選ばれた方は問31－1へ、「2．」「3．」を選ばれた方は問31－2へ、「4．」「5．」を選ばれた方は問32へ

問31－1 問31で「1．」を選ばれた、子育てを楽しいと感じる方におうかがいします。子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1．チビッコホーム（放課後児童クラブ）の充実
2．子育て支援のネットワークづくり
3．地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）
4．子どもの教育環境
5．子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
6．仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
7．子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
8．援護を要する子どもに対する支援
9．その他（　　）

→問32へ

問31－2 問31で「2．」「3．」を選ばれた方におうかがいします。あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1．チビッコホーム（放課後児童クラブ）の充実
2．子育て支援のネットワークづくり
3．地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）
4．子どもの教育環境
5．子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
6．仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
7．子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
8．援護を要する子どもに対する支援
9．その他（　　）

→問32へ

問32 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

（1）子どもに関すること

1．病気や発育発達に関すること
2．食事や栄養に関すること
3．子どもとの接し方に自信が持てないこと
4．子どもと過ごす時間が十分取れないこと
5．子どもの教育に関すること
6．子どもの友だちづきあいに関すること
7．子どもの不登校など
8．特にない
9．その他（　　）

（2）ご自身に関すること

1．子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2．配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3．子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4．ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5．子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6．仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7．配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8．子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9．子育てによる身体の疲れが大きいこと
10．子育てにかかる出費がかさむこと
11．住居がせまいこと
12．特にない
13．その他（　　）

→問33へ

問33 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を記入してください。（複数回答可）

1．感じる　　番号を選択（　　）
2．感じない　　番号を選択（　　）

1．近所の人
2．同じ子どもを持つ保護者
3．民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人
4．地域活動を行っているＮＰＯなどの人
5．市の職員
6．その他（　　）

→問34へ

11．封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんが３人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）のお子さんがいる方におうかがいします。

問34

どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思われますか。もっとも有効だと思われる番号に○をつけてください。

1．塾など習い事への経済的支援
2．チビッコホーム（放課後児童クラブ）利用負担金への支援
3．衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援
4．住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）
5．自然体験などの活動費（学校行事を除く）への支援
6．同じ境遇にある母親や父親との交流
7．多子・多胎育児経験者による相談支援
8．その他（　　）

→該当しない場合は、問35へ

問34－1

２番目に有効だと思われる番号に○をつけてください。

1．塾など習い事への経済的支援
2．チビッコホーム（放課後児童クラブ）利用負担金への支援
3．衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援
4．住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）
5．自然体験などの活動費（学校行事を除く）への支援
6．同じ境遇にある母親や父親との交流
7．多子・多胎育児経験者による相談支援
8．その他（　　）

→該当しない場合は、問35へ

12．その他についておうかがいします。

問35

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

岸和田市
子ども・子育て支援事業計画策定に関する
アンケート調査
調査結果報告書
令和６年５月

発　行：岸和田市　子ども家庭応援部
子育て支援課
〒596-8510 大阪府岸和田市岸城町７番１号
電　話：072-423-2121